応 用 編

このマニュアルは、以下の製品に対応しています。

C711dn2

本書の見方

表　記

本書では、次のように表記している場合があります。

- C711dn2 → C711
- Microsoft® Windows® 7 64-bit Edition operating system 日本語版→ Windows 7（64bit 版）※
- Microsoft® Windows Vista® 64-bit Edition operating system 日本語版 → Windows Vista（64bit版）※
- Microsoft® Windows Server® 2008 R2 64-bit Edition operating system 日本語版→ Windows Server 2008 R2 ※
- Microsoft® Windows Server® 2008 64-bit Edition operating system 日本語版 → Windows Server 2008（64bit版）※
- Microsoft® Windows® XP x64 Edition operating system 日本語版 → Windows XP（x64版）※
- Microsoft® Windows Server® 2003 x64 Edition operating system 日本語版 → Windows Server 2003（x64版）※
- Microsoft® Windows 7® operating system 日本語版→ Windows 7 ※
- Microsoft® Windows Vista® operating system 日本語版 → Windows Vista ※
- Microsoft® Windows Server® 2008 operating system 日本語版 → Windows Server 2008 ※
- Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版 → Windows XP ※
- Microsoft® Windows Server® 2003 operating system 日本語版 → Windows Server 2003 ※
- Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版 → Windows 2000
- Windows 7、Windows Vista、Windows Server 2008、Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000 の総称→ Windows
- PostScript3 エミュレーション→ PSE、POSTSCRIPT3 エミュレーション、POSTSCRIPT3 EMULATION

※特に記載がない場合は、Windows 7、Windows Vista と Windows Server 2008 と Windows XP と Windows Server 2003 には 64bit 版も含みます（Windows Server 2008 には、64bit 版、および Windows Server 2008 R2 も含みます）。

マーク

プリンタを正しく動作させるための注意や制限です。
誤った操作をしないため、必ずお読みください。

プリンタを使用するときに知っておくと便利なことや参考になることです。
お読みになることをお勧めします。

諸注意

紙幣、有価証券などの印刷について

紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に拘わらず、法律に違反し、罰せられます。
関連法律　刑法　第 148 条、第 149 条、第 162 条
通貨及証券模造取締法　第 1 条、第 2 条　等

電波障害防止について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

高調波規制について

この装置は、「高調波電流規格　JIS C 61000-3-2　適合品」です。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

エネルギースターについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

プリンタに搭載のソフトウェアについて

本製品は、RSA Security Inc. の RSA® BSAFE ™ソフトウェアを搭載しています。

C711dn2 は、IPv6 Ready Logo Phase 1 テストに合格しています。

商標について

OKI は沖電気工業株式会社の登録商標です。
Microsoft、Windows、Windows Server および Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国及び、その他の国における登録商標または商標です。
ProtecPaper、Val-Code、ProtecPrint、ProtecCheck は、沖電気工業株式会社の商標または登録商標です。
RSA は RSA Security Inc. の登録商標です。BSAFE は RSA Security Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。
Apple、Macintosh、Mac OS、EtherTalk、LaserWriter、Bonjour および TrueType は、米国 Apple Inc. の米国及び、その他の国における登録商標または商標です。
PostScript は、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社) の商標です。
Scalable Font は Agfa Monotype Corporation からライセンスされています。
CG Omega は Agfa Monotype Corporation の製品です。
CG Times は The Monotype Corporation のライセンスをうけた Times New Roman を基にした Agfa Monotype Corporation の製品です。
Taffy は Adobe Tekton Regular に対応する Agfa Monotype Corporation の製品です。
Candid は Adobe Carta に対応する Agfa Monotype Corporation の製品です。
CG、Candid、Taffy は Agfa Monotype Corporation の各国での登録商標または商標です。
Univers、Helvetica、Palatino、Times は Linotype-Hell AG あるいはその子会社の各国での登録商標または商標です。
ITC Avant Garde Gothic、ITC Bookman、ITC Zapf Dingbats は International Typeface Corporation の各国での登録商標または商標です。
Arial、Times New Roman、Albertus、Gill Sans は The Monotype Corporation plc. の各国での登録商標または商標です。
Wingdings は Microsoft Corporation の各国での登録商標または商標です。
Agfa からライセンスされた Marigold は Arthur Baker の各国での登録商標または商標です。
平成明朝体 W3、平成角ゴシック体 W5 は、財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したものです。許可無く複製することはできません。
SD メモリーカードは、SD Association の登録商標または商標です。
SD ロゴは SD-3C, LLC の商標です。
その他各社名、製品名は一般に各社の登録商標または商標です。

本書について

1. 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
2. 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容については万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気付きの点がありましたらお買い求めの販売店にご連絡ください。
4. 本書の内容に関して、運用上の影響につきましては 3 項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

マニュアルの版権について

使用許諾契約

以下に記載されているものは、お客様がプリンタのパッケージ内の製品をご使用になる前に同意して頂いたソフトウェア使用許諾契約書の内容です。

お客様へのお願い

プリンタのパッケージ内の製品をご使用になる前に、この本契約書を必ずお読み下さい。
お客様がこのパッケージ内の製品をご使用された場合には、本契約に同意いただいたものとみなします。
もし、本契約書の条項を承認いただけない場合には、速やかにお客様が購入された販売店に返却して下さい。

株式会社沖データ(以下「沖データ」といいます)は、お客様に対し下記条項に基づきこのパッケージに収納されているソフトウェア(ただし、Adobe Reader は除くものとし、以下「本ソフトウェア」といいます。)を非独占的に使用する権利を許諾します。沖データは本ソフトウェアをお客様に使用許諾する権利を有しております。

1. 使用範囲
お客様は、本ソフトウェアに対応する沖データプリンタを所有する場合に限り、当該プリンタに直接またはネットワークを通じて接続される複数のコンピュータにプログラムをインストールして、本ソフトウェアを使用することができます。また、お客様は、バックアップの目的として本ソフトウェアを 1 部複製することができます。

2. 財産権および義務
(1) 本ソフトウェアおよびその複製物の著作権、版権、所有権は沖データまたは沖データのライセンサーにあります。本ソフトウェアの構成、編成、コードは沖データ及び沖データのライセンサーの業務上の重要な機密事項及び機密情報にあたります。本ソフトウェアは米国及び日本国の著作権法ならびに国際条約及びその使用される国において適用される法律の保護を受けており、書籍その他の著作物と同じに扱われなければなりません。
(2) 第 1 条に定めた複製を除いて、本ソフトウェアの一部または全部の複製、貸与、レンタル、リース、譲渡、使用許諾することはできません。
(3) お客様は本ソフトウェアを、修正、改変、翻訳、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルしないことに同意します。
(4) お客様は本ソフトウェアのファイル名を変更しないことに同意します。
(5) お客様には本契約で認められた権利を除き、本ソフトウェアに関するいかなる権利も付与されません。

3. 期間
(1) お客様への本ソフトウェアの使用許諾は、本契約が解除されるまで有効です。
(2) お客様は、本ソフトウェアおよびその複製物を全て破棄および消去することにより、本契約を解除することができます。
(3) お客様が本契約の条件に違反した場合には、沖データは、お客様に対してライセンス契約の解除を行うことがあります。この様な解除が行われた場合には、お客様は本ソフトウェアおよびその複製物の全てを破棄および消去し、本ソフトウェアの使用を中止するものとします。

4. 保証
(1) 沖データ及び沖データのライセンサーは、本ソフトウェアに関して、以下のことを含む一切の保証をするものではありません。
・本ソフトウェアを使用する事によってお客様の要望する性能または結果が得られること。
・本ソフトウェアに瑕疵がないこと。
・第三者の権利を侵害していないこと。
・特定の目的に適合していること。
(2) 本ソフトウェアは、予告なく改良、変更することがあります。

5. 責任の限定
沖データ及び沖データのライセンサーは、本ソフトウェアによって生じる、いかなる直接的、間接的、派生的な損害、損失に対しても、沖データがたとえそのような損害の発生の可能性について知らされていたとしても、また、それらの損害についての請求が不法行為(過失を含むがこれに限定されない)に基づくものであれ、その他の如何なる法律上の根拠に基づくものであれ、お客様に対して一切責任を負わないものとします。また、本ソフトウェアまたは本ソフトウェアに関連して生じた、第三者からなされるいかなる請求についても、沖データ及び沖データのライセンサーはお客様に対して一切責任を負担しないものとします。

6. 準拠法
   本ソフトウェアについての使用許諾契約に関しては、契約の成立も含め日本法を準拠法とします。

7. 契約の有効性
   本契約の一部が無効で法的拘束力がないとされた場合には、本契約の他の部分の有効性には影響を与えず､他の部分は有効かつ法的拘束力をもつものとします。

8. 輸出管理
   本ソフトウェアは、米国および日本国の輸出管理法、その他の関連法令・規則で禁止されている国へは輸出されないものとし、またかかる法令・規則で禁止されている態様で使用されないものとします。 お客様は、適切な米国 及び日本政府の輸出許可を得ずに本ソフトウェアや本ソフトウェアから作られた製品を輸出、再輸出しないことに同意します。もし、お客様がこの条項に違反された場合、自動的にこの契約は解除されるものとします。

9. 完全な合意
   お客様は、本契約を読んでこれを理解したこと、および本契約がお客様に対する本ソフトウェアのライセンスについて沖データとお客様との間の事前の口頭、書面またはその他の通信手段による一切の合意に優先するお客様と沖データとの間の完全かつ唯一の合意であることを確認します。また本契約に基づくお客様の義務は、本契約に基づいてライセンスされる権利の保有者すべてに対する義務を構成するものとします。

10. Notice to U.S. Government End Users（米国政府機関のエンドユーザへの注意）
   All Software provided to the U.S. Government pursuant to solicitations issued on or after December 1, 1995 is provided with the commercial license rights and restrictions described elsewhere herein. All Software provided to the U.S. Government pursuant to solicitations issued prior to December 1, 1995 is provided with "Restricted Rights" as provided for in FAR, 48 CFR 52.227-14 (JUNE 1987) or DFAR, 48 CFR 252.227-7013 (OCT 1988), as applicable.
   本条項中で使用される "Software" とは、本契約中で定義される本ソフトウェアを指すものとします。

＊＊＊＊＊

なお、本ソフトウェアには、個別に使用許諾契約を有するものが含まれている場合がありますが、個別の使用許諾契約に同意された場合には、そのソフトウェアに関してはそれぞれの個別の使用許諾契約が優先されるものとします。

※ Adobe Reader の使用について
Adobe Reader は沖データがアドビシステムズ社との契約に基づきお客様に配布するものです。お客様は Adobe Reader に含まれているエンドユーザー使用許諾契約書に同意することにより、アドビシステムズ社から Adobe Reader の使用を許諾されることになります。

目　次

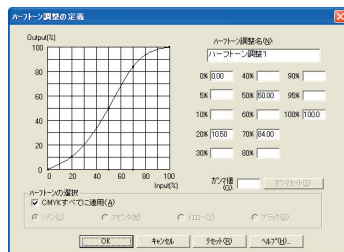
1 Windows ソフトウェア

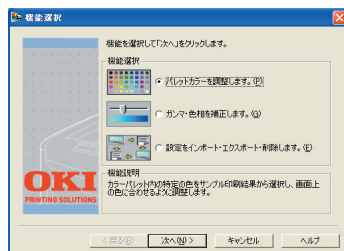
Windows スクリーンフォント

プリンタドライバをインストールするだけでプリンタに搭載されている書体のうち和文フォント名と欧文フォント名（80 書体中 66 書体）がアプリケーションのフォントリストに表示されます。Windows スクリーンフォントは添付されませんが、画面上では Windows のシステムがデザインの近いフォントを選んで表示します。

欧文フォント 66 書体		
Albertus	Courier	Palatino
Albertus ExtraBold	Courier, BOLD	Palatino, BOLD
Antique Olive	Courier, BOLDITALIC	Palatino, BOLDITALIC
Antique Olive, BOLD	Courier, ITALIC	Palatino, ITALIC
Antique Olive, ITALIC	CourierHP	Times
Antique Olive Roman	CourierHP, BOLD	Times, BOLD
AvantGarde	CourierHP, BOLDITALIC	Times, BOLDITALIC
AvantGarde, ITALIC	CourierHP, ITALIC	Univers
AvantGarde Book	Helvetica	Univers, BOLD
AvantGarde Book, ITALIC	Helvetica, BOLD	Univers, BOLDITALIC
Bookman	Helvetica, BOLDITALIC	Univers, ITALIC
Bookman, ITALIC	Helvetica, ITALIC	Univers 45 Light
Bookman Light	Helvetica-Narrow	Univers Condensed
Bookman Light, ITALIC	Helvetica-Narrow, BOLD	Univers Condensed, BOLD
CG Omega	Helvetica-Narrow, BOLDITALIC	Univers Condensed, BOLDITALIC
CG Omega, BOLD	Helvetica-Narrow, ITALIC	Univers Condensed, ITALIC
CG Omega, BOLDITALIC	Letter Gothic	ZapfChancery
CG Omega, ITALIC	Letter Gothic, BOLD	ZapfDingbats
CG Times	Letter Gothic, ITALIC	
CG Times, BOLD	Marigold	
CG Times, BOLDITALIC	NewCenturySchlbk	
CG Times, ITALIC	NewCenturySchlbk, BOLD	
Clarendon Condensed	NewCenturySchlbk, BOLDITALIC	
Coronet	NewCenturySchlbk, ITALIC	

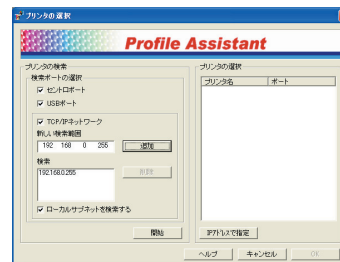
カラーユーティリティ

PS ハーフトーン調整ユーティリティ（PS ドライバのみ）

プリンタの CMYK 各色のハーフトーン濃度を調整し、写真の印刷濃度を調整できます。

カラー調整ユーティリティ

プリンタのカラーマッチングを調整します。パレットカラーの出力色の調整や、ガンマ値や原色の色相・色彩を調整することによって出力色の全体傾向を変更することができます。

色見本印刷ユーティリティ

プリンタで RGB 色の見本を印刷します。印刷された色見本を見て、希望する色をアプリケーションでどのような RGB 色の指定をするか確認することができます。

Profile Assistant

プリンタの SD メモリーカード内に ICC プロファイルを登録・管理します。ICC プロファイルはドライバの[グラフィックプロ]モードのカラーマッチングに使用します。

- 「ソフトウェア CD-ROM」には格納されていません。沖データホームページからダウンロードしてください。
- インストール方法については、沖データホームページのダウンロードページをご覧ください。

動作環境

Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008/Windows XP/Windows Server 2003/Windows 2000 日本語版の動作するコンピュータ

セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。

インストールします

❶「ソフトウェア CD-ROM」をセットします。
セットアッププログラムが起動します。

- Windows Vista 以降で、[自動再生] が表示されたら [Setup.exe の実行] をクリックします。
- Windows Vista 以降で、[ユーザアカウント制御] が表示されたら、[続行] をクリックします。

❷「モデルの選択」でプリンタの機種名を選択し、[次へ] をクリックします。

❸「使用許諾契約」をよく読み、[同意する] をクリックします。

❹ [カラーソフトウェア]、または [その他のソフトウェア] をクリックします。

❺ インストールするユーティリティをクリックします。

❻ 画面の指示に従ってセットアップします。

❼「OKI Printing Solutions」画面の右上の ☒ をクリックし、画面を閉じます。

起動します

❶ [スタート] - [すべてのプログラム]（Windows 2000 では [プログラム]）- [沖データ] - 起動したいユーティリティを選択します。

詳しくは

- 「写真の印刷濃度を調整したい（ハーフトーン調整）」（204 ページ）
- 「色見本印刷して希望色の RGB 値を決めたい」（202 ページ）
- 「パレットカラーを変更してカラーマッチングしたい（Windows）」（164 ページ）
- 「ガンマ値や色相を変更してカラーマッチングしたい（Windows）」（175 ページ）

をご覧ください。

削除します

Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008 の場合

❶ [スタート] - [コントロールパネル] を選択し、[プログラムのアンインストール] をクリックします。

❷ 削除するユーティリティを選択し、[アンインストール] をクリックします。

❸ [ユーザアカウント制御] が表示されたら、[続行] をクリックします。

❹ 画面に従って削除します。

Windows XP/Windows Server 2003 の場合

❶ [スタート] - [コントロールパネル] を選択し、[プログラムの追加と削除] をダブルクリックします。

❷ 削除するユーティリティを選択し、[削除] をクリックします。

❸ 画面に従って削除します。

Windows 2000 の場合

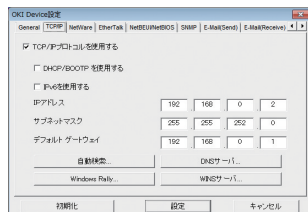
❶ [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] を選択し、[アプリケーションの追加と削除] をダブルクリックします。

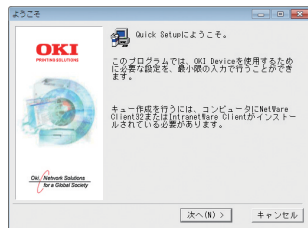
❷ 削除するユーティリティを選択し、[削除] をクリックします。

❸ 画面に従って削除します。

ネットワークユーティリティ

ネットワーク接続時に使用するユーティリティです。
必要に応じてインストールしてください。

AdminManager（17 ページ）

プリンタのネットワークの設定や IP アドレスの変更ができます。

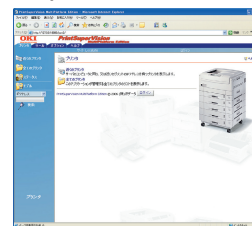
Quick Setup（21 ページ）

各プロトコルの有効 / 無効を簡易に設定します。

OKI LPR ユーティリティ（24 ページ）

ネットワーク接続での印刷、印刷ジョブの管理、プリンタのステータスを確認することができます。

Network Extension（35 ページ）

プリンタドライバからプリンタの設定項目を確認したり、プリンタのオプション構成の設定ができます。

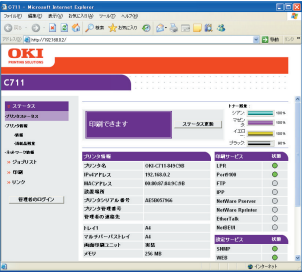
PrintSuperVision MultiPlatform Edition（38 ページ）

ネットワークに接続されるプリンタを管理する Web ベースのアプリケーションです。複数のプリンタの設定情報や消耗品情報を確認できます。

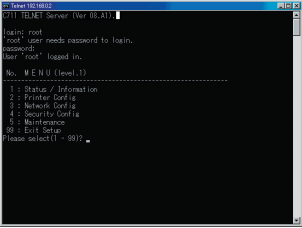
「ソフトウェア CD-ROM」には格納されていません。沖データホームページからダウンロードしてください。

Web Driver Installer（39 ページ）

ネットワーク接続されるプリンタを表示し、プリンタドライバインストールモジュールをダウンロードし、クライアントのコンピュータにインストールする Web アプリケーションです。

「ソフトウェア CD-ROM」には格納されていません。沖データホームページからダウンロードしてください。

Web ブラウザ（41 ページ）

Web 画面で、プリンタのメニューやネットワークの設定を遠隔操作できます。

TELNET（51 ページ）

TELNET を利用してプリンタのネットワークの設定をすることができます。

ユーティリティの機能一覧

○：利用できる機能

項目 / ユーティリティ	IP アドレスの設定変更	パネル表示	ジョブの管理	オプション品の管理	消耗品情報	ネットワーク管理
AdminManager	○					
OKI LPR ユーティリティ		○	○			
Network Extension				○		
PrintSuperVision MultiPlatform Edition	○	○			○	○
Web Driver Installer						○
Web ブラウザ	○	○			○	
TELNET	○					

AdminManager

プリンタのネットワークの設定ができます。

動作環境

Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008/Windows XP/Windows Server 2003/Windows 2000 日本語版が動作しているコンピュータ
TCP/IP で動作しているコンピュータ

- コンピュータはプリンタと同一セグメント上に存在している必要があります。
- セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。

以下の説明は、Windows 7 Ultimate を例にしています。

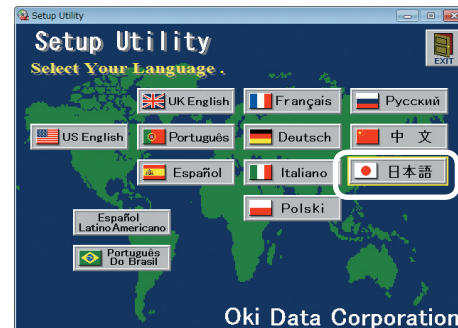
起動します

❶ プリンタの電源を ON にします。

❷ Windows が起動していることを確認し、プリンタ添付の「ソフトウェア CD-ROM」をセットします。

セットアッププログラムが起動します。

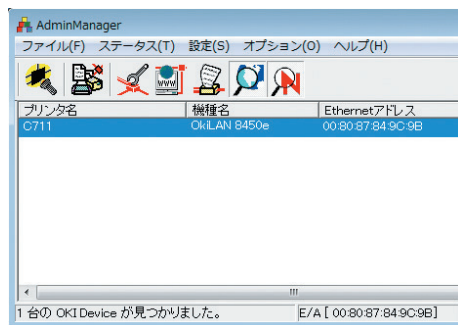
❸ [その他のソフトウェア] - [NIC セットアップユーティリティ] をクリックします。

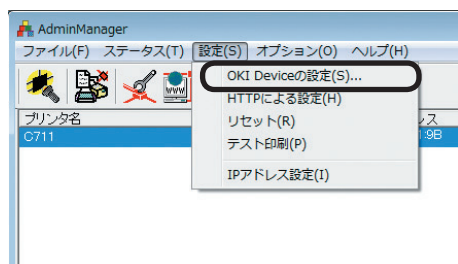
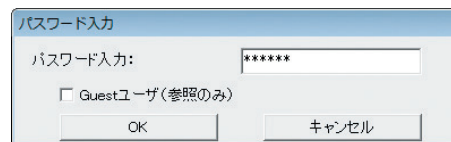
❹ [日本語] をクリックします。

❺ [OKI Device Standard Setup] をクリックします。

❻ [インストールせずに、直接 CD-ROM から起動する] を選択し、[次へ] をクリックします。

AdminManager が起動します。

プリンタのネットワークの設定を行うことができます。
各項目の詳細については、「ネットワーク設定項目の一覧」（240 ページ）をご覧ください。

❶ 一覧より Ethernet アドレスを参照して、設定を行うプリンタを選択します。
機種名には、OkiLAN 8450e と表示されます。

- Ethernet アドレスは、ネットワークの設定情報（Network Information）に MAC Address として表示されています。（256 ページ参照）
- 初期設定では「DHCP/BOOTP protocol」が「ENABLE」になっています。ネットワーク上に DHCP/BOOTP サーバがある場合はサーバから取得した IP アドレスが表示されます。

❷［設定］メニューの［OKI Device の設定］を選択します。

❸［パスワード入力］に［Ethernet アドレスの英数字下 6 桁］を入力し、［OK］をクリックします。

- パスワードは、手順❶で選択した「Ethernet アドレス」の英文字下 6 桁を入力してください。この場合は、「849C9B」となります。
- パスワードを入力すると、画面上では「******」と表示されます。
- パスワードに英文字が入っている場合、大文字 / 小文字を正しく入力してください。

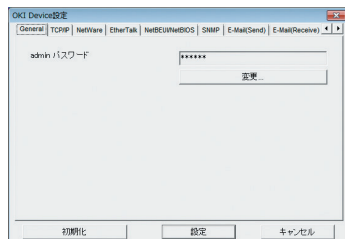
❹ 必要な項目を入力し、［設定］をクリックします。

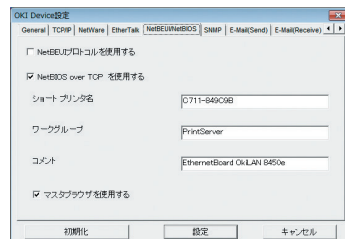
❺ 設定に間違いがなければ、［OK］をクリックします。

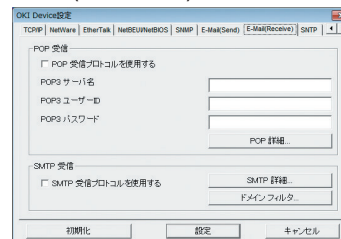
❻ 新しい設定値を有効にするため、［はい］をクリックします。

注 再起動後プリンタは新しい設定値で動作します。

❼ AdminManager を終了します。

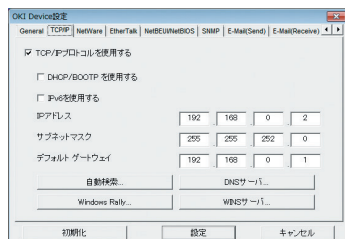
General タブ

パスワードを変更します。

NetBEUI/NetBIOS タブ

NetBEUI/NetBIOS を利用する場合に設定します。

E-mail (Receive) タブ

SMTP/POP プロトコルを利用する場合に設定します。

SSL_TLS タブ

SSL/TLS を利用する場合に設定します。

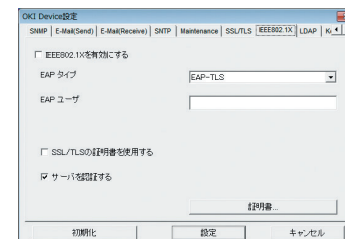
TCP/IP タブ

IP アドレスなどの設定をします。

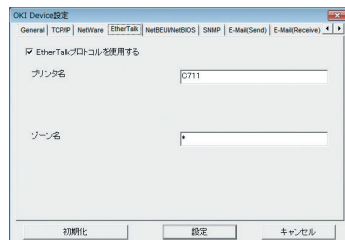
SNMP タブ

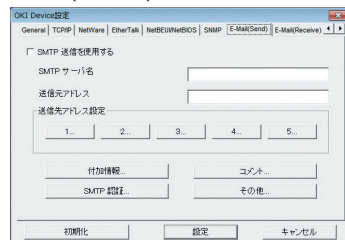
SNMP を利用する場合に設定します。

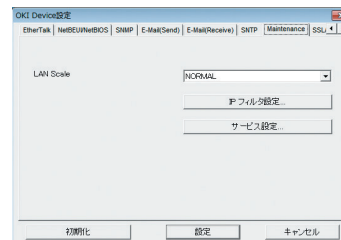
SNTP タブ

SNTP を利用する場合に設定します。

IEEE802.1X タブ

IEEE802.1X を利用する場合に設定します。

EtherTalk タブ

EtherTalk プリンタ名やゾーン名を変更する場合に設定します。

E-mail (Send) タブ

SMTP 送信プロトコルを利用する場合に設定します。

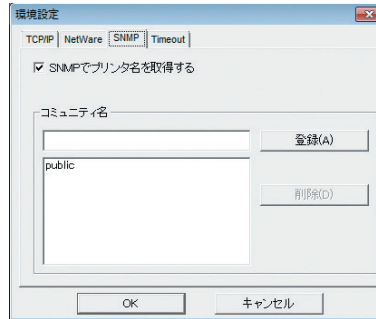
Maintenance タブ

ネットワークサービスの使用制限を設定します。

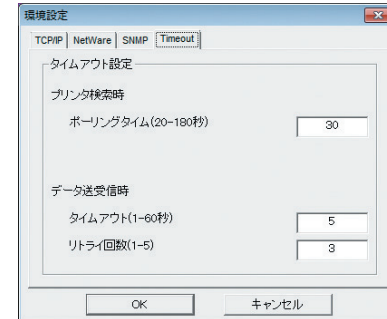
環境を設定します

AdminManager の環境を設定することができます。
［オプション］メニューの［環境設定］を選択します。

TCP/IP タブ

TCP/IP でプリンタの検索をするかどうか設定します。
ブロードキャストアドレスを設定します。

SNMP タブ

SNMP でプリンタ名の取得をするかどうか設定します。
対象のコミュニティ名を設定します。

Timeout タブ

プリンタからの応答待ち時間を秒単位で設定します。
AdminManager とプリンタの間のタイムアウト時間を秒単位で設定します。
AdminManager とプリンタの間のリトライ回数を設定します。

Quick Setup

プリンタの簡易設定ができます。

動作環境

Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008/Windows XP/Windows Server 2003/Windows 2000 日本語版が動作しているコンピュータ
TCP/IP で動作しているコンピュータ

- コンピュータはプリンタと同一セグメントに存在している必要があります。
- セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。

以下の説明は、Windows 7 Ultimate を例にしています。

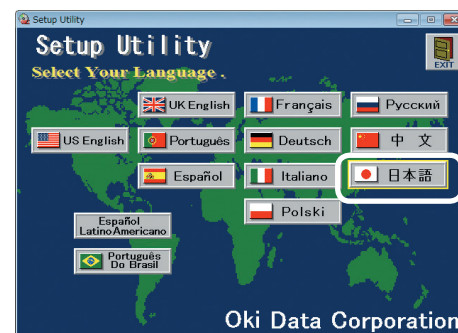
起動します

❶ プリンタの電源を ON にします。

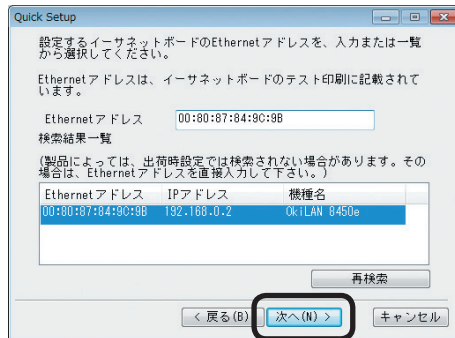
❷ Windows が起動していることを確認し、プリンタ添付の「ソフトウェア CD-ROM」をセットします。

セットアッププログラムが起動します。

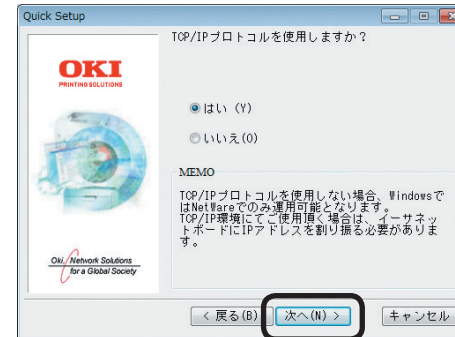
❸ [その他のソフトウェア] - [NIC セットアップユーティリティ] をクリックします。

❹ [日本語] をクリックします。

❺ [OKI Device Quick Setup] をクリックします。

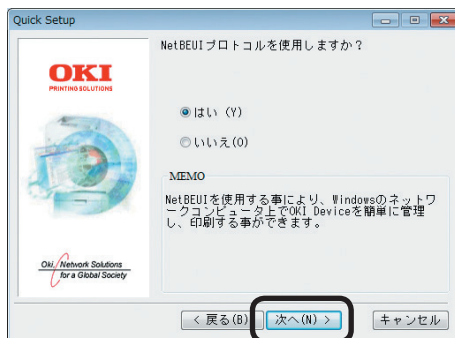
❻［次へ］をクリックします。

❼ 設定を行うプリンタの Ethernet アドレスを選択して、［次へ］をクリックします。
機種名には、OkiLAN 8450e と表示されます。

注 Ethernet アドレスは、ネットワークの設定情報（Network Information）に、MAC Address として表示されています。（256 ページ参照）

Quick Setup で設定します

❶ TCP/IP の設定を行い、［次へ］をクリックします。

❷ NetWare の設定を行い、［次へ］をクリックします。

❸ EtherTalk の設定を行い、[次へ] をクリックします。

❹ NetBEUI の設定を行い、[次へ] をクリックします。

❺ 設定内容を確認し、[実行] をクリックします。

設定値がプリンタに送信されます。

❻ 設定値を有効にするために、[完了] をクリックします。

注 再起動後プリンタは新しい設定値で動作します。

❼ Quick Setup を終了します。

OKI LPR ユーティリティ

ネットワーク接続での印刷、印刷ジョブの管理、プリンタのステータス確認ができます。

動作環境

Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008/Windows XP/Windows Server 2003/Windows 2000 日本語版が動作しているコンピュータ
TCP/IP で動作しているコンピュータ

- セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。
- 印刷方式機能は利用できません。

以下の説明は、Windows 7 Ultimate を例にしています。

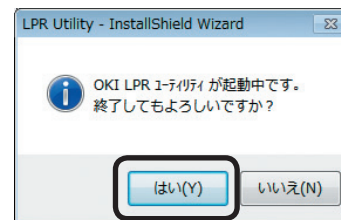
インストールします

❶ プリンタの電源を ON にします。

❷ Windows が起動していることを確認し、プリンタ添付の「ソフトウェア CD-ROM」をセットします。

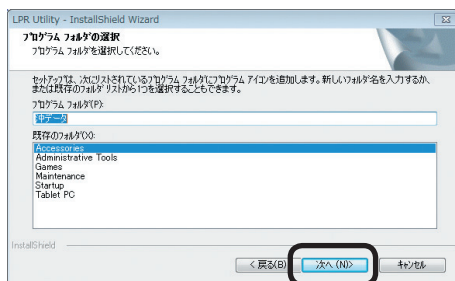
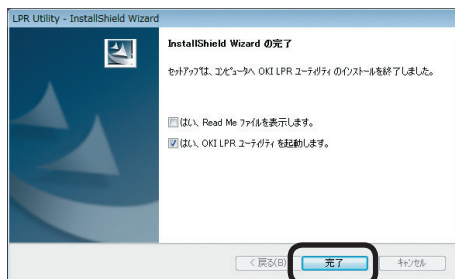
セットアッププログラムが起動します。

❸ [その他のソフトウェア] - [LPR ユーティリティ] をクリックします。

❹ すでに OKI LPR ユーティリティがインストールされて起動している場合、終了する画面がでるので [はい] をクリックします。

❺ セットアッププログラムが開始されるので、[次へ] をクリックします。

❻ インストール先とスプール先のフォルダを確認し、[次へ] をクリックします。

❼［スタートアップに登録する］にチェックが入っていることを確認し、［次へ］をクリックします。

❽ プログラムフォルダ名を確認し、［次へ］をクリックします。

❾［完了］をクリックします。

起動します

❶［スタート］-［すべてのプログラム］（Windows 2000 では［プログラム］）-［沖データ］-［OKI LPR ユーティリティ］-［OKI LPR ユーティリティ］を選択します。

下のような画面が表示されます。

リモートプリントの設定

ファイルのダウンロード

ファイルをプリンタにダウンロードすることができます。

❶ プリンタを選択します。

❷［リモートプリント］メニューの［ダウンロード］を選択します。

❸ ダウンロードするファイルを選択し、［開く］をクリックします。

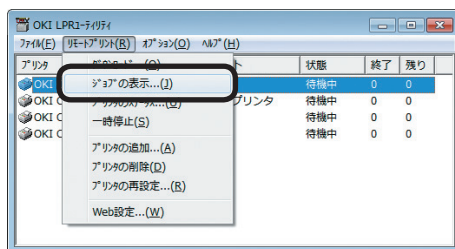
ファイルのダウンロードが開始されます。

ジョブの表示、削除と手動転送

印刷ジョブを表示したり、削除することができます。
また、プリンタが使用中やオフライン、用紙切れ等で印刷ができない場合、印刷ジョブを他のプリンタへ転送することができます。

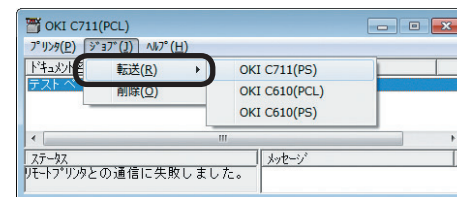
- 他社プリンタへは転送できません。
- 同じプリンタ機種名へ転送してください。

❶ プリンタを選択します。

❷［リモートプリント］メニューの［ジョブの表示］を選択します。

ジョブが表示されます。

❸ 削除したい印刷ジョブを選択し、［ジョブ］メニューの［削除］を選択します。

ジョブが削除されます。

❹ 転送したい印刷ジョブを選択し、［ジョブ］メニューの［転送］で転送先のプリンタを選択します。

転送先のプリンタにジョブが送られます。

転送できるプリンタは、あらかじめ OKI LPR ユーティリティにセットアップされている必要があります。

プリンタのステータス

プリンタのステータスを表示させることができます。

❶ プリンタを選択します。

❷［リモートプリント］メニューの［プリンタのステータス］を選択します。

プリンタのステータスが表示されます。

メモ ジョブ表示ダイアログの「ステータス」でも確認することができます。

プリンタの追加

印刷先のポートを OKI LPR ポートに変更することができます。

すでに OKI LPR ユーティリティに登録されているプリンタは設定できません。ポートを変更したい場合は、「プリンタの再設定」を選択してください。

❶［リモートプリント］メニューの［プリンタの追加］を選択します。

❷［プリンタ］を選択し、［IP アドレス］にプリンタの IP アドレスを入力し、［OK］をクリックします。

［プリンタ］には、「プリンタと FAX」（Windows 2000 の場合は「プリンタ」）フォルダにプリンタドライバが追加されている場合のみ表示されます。ネットワークプリンタに設定している場合は表示されません。

メモ ［検索］をクリックしてネットワーク上の沖データ製プリンタを検索することもできます。

メインウィンドウにプリンタが追加されます。

ジョブの自動転送

プリンタが使用中やオフライン、用紙切れ等で印刷ができない場合、自動的に印刷ジョブを他のプリンタへ転送することができます。

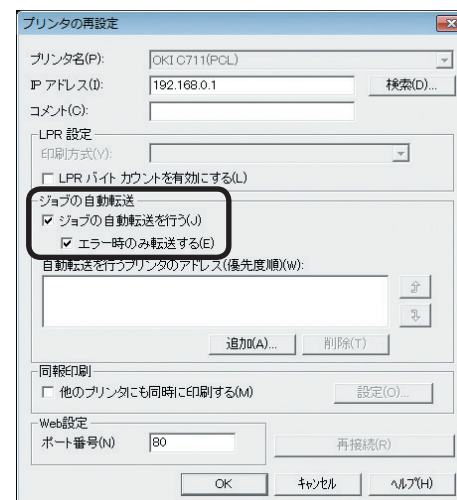
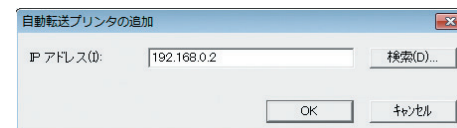
- 他社プリンタへは転送できません。
- 必ず、同じプリンタ機種名へ転送してください。

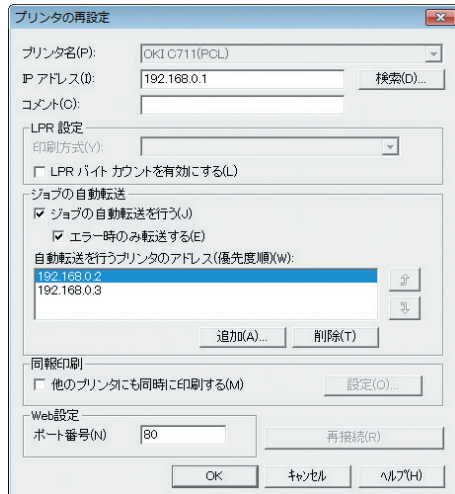
❶ プリンタを選択します。

❷［リモートプリント］メニューの［プリンタの再設定］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。

❹［ジョブの自動転送を行う］にチェックを付けます。

プリンタが「オフライン」や「用紙切れ」などのエラーのときのみ転送したい場合は、［エラー時のみ転送する］にもチェックを付けます。

❺［追加］をクリックし、転送先の IP アドレスを設定します。

メモ ［検索］をクリックして、ネットワーク上の沖データ製プリンタを検索することもできます。

❻ 転送先の候補の数だけ、❺の操作を繰り返します。

メモ 転送先の優先順を変更するには、[自動転送を行うプリンタのアドレス] から優先順を変更するプリンタを選択し､横の［↑］ボタン､または［↓］ボタンをクリックします。(［↑］ボタンをクリックすると優先度が上がり、［↓］ボタンをクリックすると優先度が下がります。

❼［OK］をクリックします。

複数のプリンタで同時に印刷する

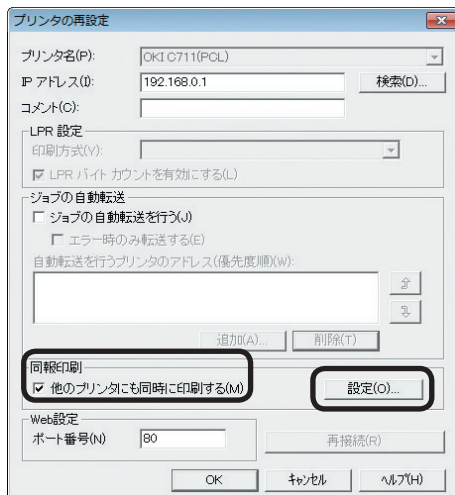
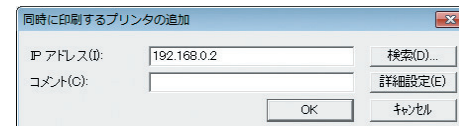
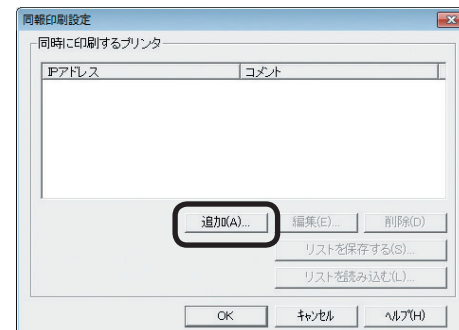
一度の印刷指示で複数のプリンタに印刷することができます。

同時に印刷するプリンタは、必ず同じプリンタ機種を指定してください。

❶ プリンタを選択します。

❷［リモートプリント］メニューの［プリンタの再設定］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。

❹［他のプリンタにも同時に印刷する］にチェックをつけ、［設定］をクリックします。

❺［追加］をクリックし、同時に印刷するプリンタの IP アドレスを設定します。

メモ　同時に印刷するプリンタに対しても、コメントを追加することができます。（33 ページ）

❻ 追加したいプリンタの数だけ、❺の操作を繰り返します。

メモ
- ［リストを保存］をクリックすることにより、追加したプリンタの情報を保存することができます。
- 保存したプリンタの情報は、［リストを読み込む］をクリックすることにより、読み込みや削除することができます。

❼［OK］をクリックします。

Web ブラウザを起動する

OKI LPR ユーティリティより、プリンタのネットワーク設定や、メニュー設定を行うための Web ブラウザを起動します。

メモ 各設定の設定方法については「Web ブラウザ」(41 ページ)をご覧ください。

❶ プリンタを選択します。

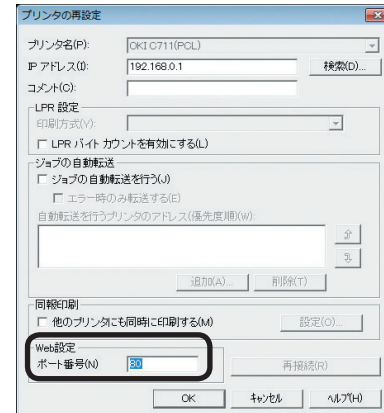
❷ [リモートプリント] メニューの [Web 設定] を選択します。

メモ Web ポート番号が変更されている場合は、OKI LPR ユーティリティのポート番号の設定を以下の手順で変更してください。

❶ プリンタを選択します。

❷ [リモートプリント] メニューの [プリンタの再設定] を選択します。

❸ [詳細設定] をクリックします。

❹ [ポート番号] に、Web ポート番号を入力します。

❺ [OK] をクリックします。

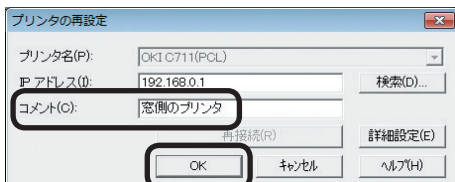
コメントを追加する

OKI LPR ユーティリティに追加したプリンタへ、コメントを追加することができます。

メモ　プリンタの設置場所、プリンタのオプション装置などを入力すると便利です。

❶ プリンタを選択します。

❷［リモートプリント］メニューの［プリンタの再設定］を選択します。

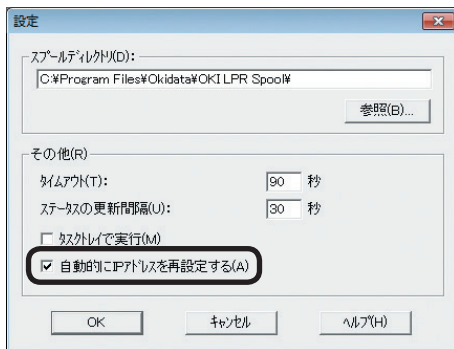
❸［コメント］にコメントを入力し、［OK］をクリックします。

❹［オプション］メニューの［コメント欄を表示］を選択します。

自動的に IP アドレス再設定

DHCP サーバに接続しプリンタの電源を入れる度にプリンタの IP アドレスが変更になる場合、自動的に変更された IP アドレスを検索し再設定することができます。

検索対象は、OKI LPR ユーティリティの検索範囲設定に従います。

❶ [オプション] メニューの [設定] を選択します。

❷ [自動的に IP アドレスを再設定する] にチェックを付けます。

❸ [OK] をクリックします。

削除します

OKI LPR ユーティリティを削除（アンインストール）するときは、以下の操作を行います。

❶ [ファイル] メニューの [終了] を選択します。

❷ [スタート] - [すべてのプログラム]（Windows 2000 では [プログラム]）- [沖データ] - [OKI LPR ユーティリティ] - [OKI LPR ユーティリティの削除] を選択します。

❸ [はい] をクリックします。

削除が開始されます。

Network Extension

プリンタドライバからプリンタの設定項目を確認したり、プリンタのオプション構成の設定が容易にできます。

動作環境

Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008/Windows XP/Windows Server 2003/Windows 2000 日本語版が動作しているコンピュータ
TCP/IP で動作しているコンピュータ

- プリンタドライバと連動して動作するため、プリンタドライバのインストールが必要です。
- TCP/IP のネットワーク接続でプリンタドライバのインストールを行うと、自動的に Network Extension がインストールされます。
- プリンタドライバの接続先が以下の場合にのみ動作します。
  OKI LPR Port
  Standard TCP/IP Port
- セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。

インストールします

以下の説明は、Windows 7 Ultimate を例にしています。

❶ プリンタの電源を ON にします。

❷ Windows が起動していることを確認し、プリンタ添付の「ソフトウェア CD-ROM」をセットします。

セットアッププログラムが起動します。

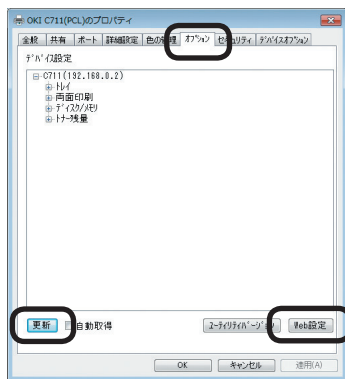
❸［その他のソフトウェア］-［Network Extension］をクリックします。

❹［次へ］をクリックします。

❺［完了］をクリックします。

プリンタの設定を確認します

接続しているプリンタの設定内容などが確認できます。

Network Extension をインストールしても、動作環境に一致しない場合は［オプション］タブは表示されません。

（Windows 7 PCL ドライバ の画面）

❶ Windows 7/Windows Server 2008 R2 では、［スタート］-［デバイスとプリンター］をクリックします。
Windows Vista/Winows Server 2008 では［スタート］-［コントロールパネル］を選択し、［プリンタ］をクリックします。
Windows XP/Windows Server 2003 では［スタート］-［プリンタと FAX］を選択します。
Windows 2000 では［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷ ［OKI C711(PS)］、［OKI C711 (PCL)］または［OKI C711 (XPS)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プリンタのプロパティ］（Windows Vista/Windows Server 2008/Windows XP/Windows Server 2003/Windows 2000 の場合は［プロパティ］）を選択します。

❸ ［オプション］タブをクリックします。

❹ ［更新］ボタンをクリックします。

「デバイス設定」にプリンタの設定内容が表示されます。

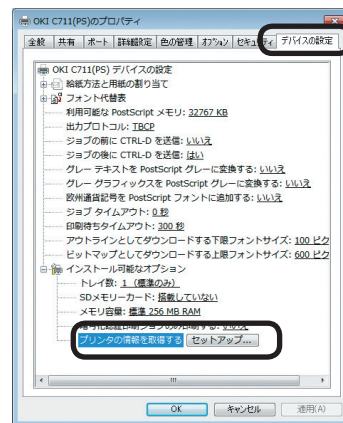
❺ ［OK］をクリックします。

［Web 設定］ボタンをクリックすると、自動的に Web ブラウザが起動し、プリンタの設定内容が表示されます。詳しくは、「Web ブラウザ」（41 ページ）をご覧ください。

オプションの自動設定をします

接続しているプリンタのオプション構成を取得して、プリンタドライバの設定を自動的に行うことができます。

Network Extension をインストールしても、動作環境に一致しない場合は設定できません。

Windows PS プリンタドライバの場合

（Windows 7 PS ドライバ の画面）

❶ Windows 7/Windows Server 2008 R2 では、［スタート］-［デバイスとプリンター］を選択します。
Windows Vista/Winows Server 2008 では［スタート］-［コントロールパネル］を選択し、［プリンタ］をクリックします。
Windows XP/Windows Server 2003 では［スタート］-［プリンタとFAX］を選択します。
Windows 2000 では［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷ ［OKI C711(PS)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プリンタのプロパティ］（Windows Vista/Windows Server 2008/Windows XP/Windows Server 2003/Windows 2000 の場合は［プロパティ］）を選択します。

❸ ［デバイスの設定］タブをクリックします。

❹ ［プリンタの情報を取得する］をクリックし、［セットアップ］をクリックします。

❺ ［OK］をクリックします。

Windows PCL/XPS プリンタドライバの場合

（Windows 7 PCL ドライバ の画面）

❶ Windows 7/Windows Server 2008 R2 では、［スタート］-［デバイスとプリンター］を選択します。
Windows Vista/Winows Server 2008 では［スタート］-［コントロールパネル］を選択し、［プリンタ］をクリックします。
Windows XP/Windows Server 2003 では［スタート］-［プリンタとFAX］を選択します。
Windows 2000 では［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷［OKI C711（PCL）］または［OKI C711（XPS）］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プリンタのプロパティ］（Windows Vista/Windows Server 2008/Windows XP/Windows Server 2003/Windows 2000 の場合は［プロパティ］）を選択します。

❸［デバイスオプション］タブをクリックします。

❹［プリンタの情報を取得する］をクリックします。

❺［OK］をクリックします。

削除します

Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008 の場合

❶［スタート］-［コントロールパネル］を選択し、［プログラムのアンインストール］をクリックします。

❷［OKI.Network.Extension］を選択し、［アンインストール］をクリックします。

❸［ユーザアカウント制御］が表示されたら、［続行］をクリックします。

❹ 画面に従って削除します。

Windows XP/Windows Server 2003 の場合

❶［スタート］-［コントロールパネル］を選択し、［プログラムの追加と削除］をダブルクリックします。

❷［OKI.Network.Extension］を選択し、［削除］をクリックします。

❸ 画面に従って削除します。

Windows 2000 の場合

❶［スタート］-［設定］-［コントロールパネル］を選択し、［アプリケーションの追加と削除］をダブルクリックします。

❷［OKI.Network.Extension］を選択し、［変更と削除］をクリックします。

❸ 画面に従って削除します。

1

PrintSuperVision MultiPlatform Edition

PrintSuperVision MultiPlatform Edition

ネットワークにつながっているプリンタを管理するための Web ベースアプリケーションです。複数のプリンタの設定情報や消耗品情報を確認することができます。1 台のコンピュータに PrintSuperVision をインストールし、他のコンピュータから Web ブラウザを使用して、リモートで PrintSuperVision MultiPlatform Edition にアクセスします。

- PrintSuperVision MultiPlatform Edition は「ソフトウェア CD-ROM」には格納されていません。沖データホームページからダウンロードしてください。
- インストール方法 , 操作方法については、「PSV ME ユーザーズマニュアル」をご覧ください。
- 「PSV ME ユーザーズマニュアル」は、沖データホームページから入手できます。

動作環境

PrintSuperVision をインストールするコンピュータ

- Red Hat Enterprise Linux 5 (x86/x64)
- openSUSE 11.0 (x86/x64)
- openSUSE 11.1 (x86/x64)
- openSUSE 11.2 (x86/x64)
- TurboLinux 11 Server (x86/x64)
- Sun Microsystems Solaris 9 (x86/x64, SPARC, UltraSPARC)
- Sun Microsystems Solaris 10 (x86/x64, SPARC, UltraSPARC)
- Microsoft Windows 2000 Professional (x86)
- Microsoft Windows 2000 Server (x86)
- Microsoft Windows XP Home Edition (x86/x64)
- Microsoft Windows XP Professional Edition (x86/64)
- Microsoft Windows Server 2003 (x86/x64)
- Microsoft Windows Vista (x86/x64)
- Microsoft Windows Server 2008 (x86/x64)
- Microsoft Windows 7 (x86/x64)
- Microsoft Windows Server 2008 R2 (x64)
- Sun Java System Application Server Platform Edition 9 がインストールされているコンピュータまたは、インストール可能なコンピュータ
- TCP/IP で動作するコンピュータ

PrintSuperVision にリモートでアクセスするコンピュータ

- 以下のブラウザのうちのいずれかがインストールされているコンピュータ
  Microsoft Internet Explorer Ver 5.5 以上
  Microsoft Internet Explorer for PocketPC2002 以上
  Firefox Ver 1.0 以上
  Mozilla Ver 1.2 以上
  Safari Ver 1.1 以上
- TCP/IP で動作しているコンピュータ

- PSV ME アプリケーションは、上記のブラウザがサポートするどの Windows、Macintosh、Unix、Linux デスクトップからでもアクセスする事ができます。
- お使いのブラウザのキャッシュ機能を無効にすると安全です。
- PSV ME は通信の為にポート 25 (SMTP)、110 (POP3)、995 (POP3S)、161 (SNMP)、162 (SNMP-Trap)、8080 (HTTP)、1043 (HTTPS)、及び 50702 (PrintSuperVisor［デーモン］) を使用します。お使いの環境のファイアウォールはこれらのポートに対するアクセスを許可する設定がなされている必要があります。
- PSV ME のインストールプログラムは、256色 800x600 の解像度以上の能力を持つビデオアダプタが必要です。
- アプリケーションについての補足情報に関しては、オンラインヘルプを参照してください。
- PSV ME は PrintSuperVision 1.2.x と互換性はありません。

Web Driver Installer

- Web Driver Installer は「ソフトウェア CD-ROM」には格納されておりません。沖データホームページからダウンロードしてください。
- Web Driver Installer のインストール方法，操作方法については、Web Driver Installer のマニュアルをご覧ください。
- Web Driver Installer のマニュアルは、沖データホームページから入手できます。

Web Driver Installer とは

Web Driver Installer は、Web ベースのアプリケーションです。以下の作業を自動的に行い管理者の負担を軽減します。

- TCP/IP ネットワークにつながったプリンタを検索します。
- 検索したプリンタを Web ページに表示します。
- ユーザに検索したプリンタのプリンタドライバインストールプログラムがダウンロードできる URL を E メールで通知します。

また、部門やフロアごとにグループを作成してプリンタとユーザを管理できます。

特徴

グループ管理

Windows エクスプローラのように、プリンタやユーザを階層的に管理することができます。

自動検索機能

Web Driver Installer は、ネットワーク上に新しく接続されたプリンタがあるかを一定時間間隔で検索します。この間隔は、管理者が 5 分から 2 週間の間で設定します。この機能は、無効にすることもできます。無効にした場合、管理者は手動で検索する必要があります。
Web Driver Installer に登録されているプリンタドライバがサポートしているプリンタを検出した場合に、ユーザに E メールを送信します。

プリンタドライバ登録機能

Web Driver Installer にはあらかじめ、登録できるプリンタとプリンタドライバの種類が記憶されています。管理者は、Web Driver Installer の運用を開始する前に TCP/IP ネットワーク上に接続されているプリンタのためのプリンタドライバを登録できます。また、運用中に自動検索機能により、新しく検索されたプリンタのプリンタドライバが登録されていないことを通知する E メールを受け、E メールに記載されているプリンタドライバを登録できます。
この作業は、Web Driver Installer をインストールしたサーバコンピュータ上で行う必要があります。

E メール送信機能

Web Driver Installer は、登録されているユーザに自動的に E メールを送信します。

プリンタドライバインストール機能

ユーザは Web ブラウザを通して、表形式または、グラフィカルに表示された地図の中から目的のプリンタを探し出し、プリンタドライバインストーラをダウンロードできます。ダウンロードしたインストーラを実行するだけで印刷可能状態となります。
また、E メールによる［プリンタの追加］通知に記載されている URL へアクセスすることでプリンタドライバのインストールができます。

動作環境

Web Driver Installerをインストールするコンピュータ(以下、サーバコンピュータと略す)

Windows Server 2003/ Windows XP Professional 日本語版が動作するコンピュータ
TCP/IP ネットワークに接続されているコンピュータ
Microsoft インターネットインフォメーションサーバ 4 以上がインストールされているコンピュータ

サーバコンピュータから Web Driver Installer に Web ブラウザを使ってアクセスする場合、Internet Explorer 5.5 以上または、Netscape Navigator 6.0 以上が必要です。
Web ブラウザからマニュアルを参照するために Acrobat Reader がインストールされている必要があります。

- ウイルス感染を回避するために、Web Driver Installer のインストール前に Microsoft のホームページから最新のセキュリティパッチを入手し、コンピュータにインストールすることをお勧めします。
- Web Driver Installer をインストールするには、コンピュータの管理者権限が必要です。
- インストールした後、インストール先の仮想ディレクトリ名、TCP ポート番号と、サイトを変更すると Web Driver Installer は動作しません。
- Windows XP、Windows Server 2003 をお使いの場合は Web Driver Installer ユーザーズマニュアルの「Windows XP Service Pack2、Windows Server 2003 Service Pack1 に関する制限事項」をご覧ください。

Web Driver Installerにアクセスするコンピュータ(以下、クライアントコンピュータと略す)

Windows 日本語版が動作するコンピュータ
TCP/IP ネットワークに接続されているコンピュータ
Internet Explorer 5.5 以上または Netscape Navigator 6.0 以上がインストールされているコンピュータ
E メールが受信できるように設定されているコンピュータ
OKI LPR ユーティリティのバージョン 3.08 以上がインストールされているコンピュータ
また、Web ブラウザからマニュアルを参照するために Acrobat Reader がインストールされている必要があります。

- Web Driver Installer の「プリンタドライバのインストール」機能を使用するには、コンピュータの管理者権限が必要です。
- Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008 では動作しません。

Web ブラウザ

プリンタのネットワークの設定や、メニュー設定ができます。

動作環境

Microsoft Internet Explorer Ver.5.5 以上または Netscape Navigator Ver.6.0 以上がインストールされているコンピュータ
TCP/IP で動作しているコンピュータ

メモ お使いのブラウザの設定が以下のようになっているか確認してください。

Microsoft Internet Explorer Ver.5.5 の場合は、[ツール] メニューの [インターネットオプション] - [セキュリティ→このゾーンのセキュリティレベル] を「中」に設定します。

Microsoft Internet Explorer Ver.6.x の場合は、[ツール] メニューの [インターネットオプション] - [プライバシー] - [設定] を「中」に設定します。

Netscape Navigator 6.x ～ 7 の場合は、[編集] メニューの [設定] - [プライバシーとセキュリティ] - [Cookie] - [すべての Cookie を有効にする] に設定します。

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

プリンタ	: C711dn2
プリンタの IP アドレス	: 192.168.0.2
MAC アドレス	: 00:80:87:84:9C:9B
Web ブラウザ	: Microsoft Internet Explorer Ver.6.0

注 MAC アドレスは、ネットワークの設定情報（Network Information）に表示されています。（256 ページ参照）

起動します

❶ Web ブラウザを起動します。

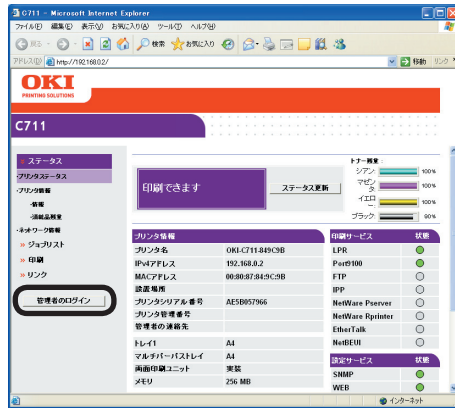
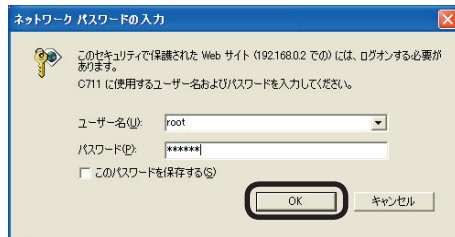
❷ [アドレス] に URL「http:// プリンタの IP アドレス /」を入力し、Enter キーを押します。

プリンタステータス画面が表示されます。

IP アドレスに 1 桁または 2 桁までの数値を含む場合、数値の前に「0」を入力しないでください。通信が正しく行われない場合があります。
（例）正しい入力値：http://192.168.0.2/
誤った入力値：http://192.168.000.002/

設定します

Web ブラウザでプリンタの設定変更を行うには、プリンタの管理者としてログインする必要があります。

❶［管理者のログイン］をクリックします。

❷［ユーザー名］に「root」、［パスワード］に現在のパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

メモ　パスワードの初期値は「操作パネルの管理者用メニューのパスワード」と同じ「aaaaaa」です。

❸ネットワーク上で確認できるプリンタ情報を設定し、［OK］または［スキップ］をクリックします。

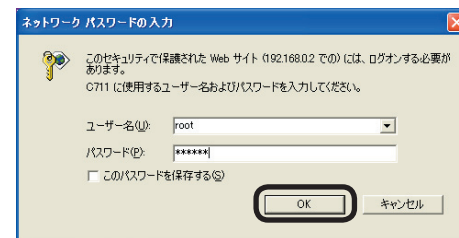
- ［スキップ］をクリックすると、設定を省略できます。
- ［次回からこのページを表示しない］にチェックを付けて、［OK］または［スキップ］をクリックすると、次回以降のログイン時に表示されなくなります。

❹ 下の画面が表示されます。

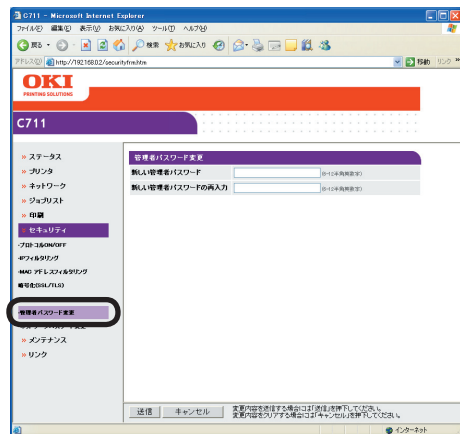
パスワードの設定

プリンタの管理者としてログインするときに使用するパスワードを変更することができます。

❶［管理者のログイン］をクリックします。

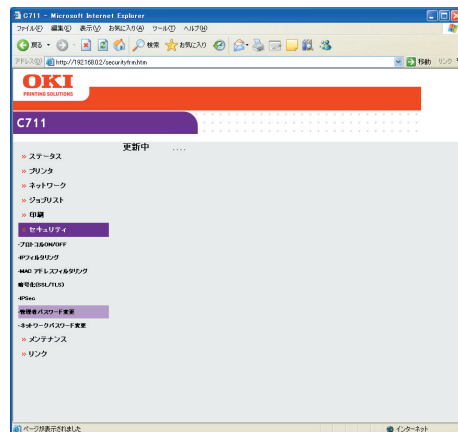
❷［ユーザー名］に「root」、［パスワード］に現在のパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

メモ パスワードの初期値は「操作パネルの管理者用メニューのパスワード」と同じ「aaaaaa」です。

❸［セキュリティ］タブをクリックします。

❹［管理者パスワード変更］をクリックします。

❺［新しい管理者パスワード］に新しいパスワードを入力し、［新しい管理者パスワードの再入力］に再度新しいパスワードを入力します。

- パスワードを入力すると､画面上では「●●●●●」と表示されます。
- パスワードは 6 ～ 12 桁までの英数字を入力してください。
- パスワードに英文字が入っている場合、大文字 / 小文字を正しく入力してください。

❻［送信］をクリックします。

新しいパスワードが設定されると、以下の画面が表示されます。

❼プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

新しいパスワードは、次回の設定を変更するときから有効となります。プリンタの電源の OFF/ON は必要ありません。

このパスワードは TELNET、AdminManager のパスワードとは異なります。ここでパスワードを変更すると、操作パネルの管理者用メニューのパスワードも変更されます。

ステータス　タブ

［プリンタステータス］

プリンタの状態を確認できます。操作パネル上の表示と同じ情報を表示する他、「障害情報」として プリンタに発生しているすべての警告やエラーを表示します。

また、各ネットワークサービスの動作状況やプリンタ情報の一覧、プリンタに設定されている IP アドレスも確認することができます。

［プリンタ詳細情報］

プリンタのシステム情報を確認することができます。

［ネットワーク詳細情報］

ネットワークの設定情報を確認することができます。

プリンタ　タブ◎

◎：プリンタの管理者としてログインした場合に表示されます。

［一般プリンタ設定］

ネットワーク上で確認できるプリンタの情報を設定できます。

［印刷設定］

コピー枚数、自動トレイ切り替え、モノクロ印刷速度、印刷品質、印刷位置等を設定できます。プリンタドライバを使用する場合には、この設定よりもプリンタドライバで設定した値が優先されます。

［用紙設定］

各トレイの用紙サイズ、名称付け、カスタム用紙等を設定できます。プリンタドライバを使用する場合には、この設定値よりもプリンタドライバで設定した値が優先されます。

［カラー設定］

色の濃度補正、色の位置ずれ補正等を設定できます。

［プリンタ構成設定］

パワーセーブへの移行、アラーム発生時の動作、タイムアウト等を設定できます。

［PCL 設定］

サポートしているエミュレーションを設定できます。

［インターフェース設定］

ネットワーク以外のインターフェースを設定できます。

［メモリ設定］

受信バッファサイズの設定。フラッシュメモリに保存されたデータの消去を実行します。

［時刻設定］

時刻を設定できます。

［システム設定］

ニアライフワーニング発生時の LED/LCD の制御方法を設定できます。

［保存 / 復元］

現在のメニュー設定を保存、または保存しているメニュー設定に変更することができます。

プリンタタブのメニュー設定が対象となります。

［ヘキサダンプ］

受信した印刷データをすべて 16 進数で表示します。プリンタを再起動すると本モードを抜けます。

［プリンタ情報印刷］

ネットワーク設定情報（Network Information）、デモページ等を印刷します。

ネットワーク　タブ◎

◎：プリンタの管理者としてログインした場合に表示されます。

［一般ネットワーク設定］
使用しないネットワークプロトコルを停止することができます。

［TCP/IP］
TCP/IP に関する情報を設定できます。

［NetWare］
NetWare に関する情報を設定できます。

［EtherTalk］
EtherTalk に関する情報を設定できます。

［NBT/NetBEUI］
NetBEUI/WINS に関する情報を設定できます。

［Email］
プリンタに発生した事象を E メールで通知する機能を設定できます。

［SNMP］
SNMP に関する情報を設定できます。

［IPP］
IPP 印刷をする機能を設定できます。

［IEEE802.1X］
IEEE802.1X/EAP に関する情報を設定できます。

ジョブリスト　タブ

［表示項目設定］
プリンタに送られた印刷ジョブの一覧を表示します。不要なジョブであれば削除することも可能です。

印刷　タブ

［Web 印刷］
任意の PDF ファイルを指定して、印刷することができます。

［Email 印刷］
プリンタが受信した E メールに PDF ファイルが添付されていた場合に、印刷することができます。

セキュリティ　タブ◎

◎：プリンタの管理者としてログインした場合に表示されます。

［プロトコル ON/OFF］
使用しないネットワークプロトコル、ネットワークサービスを停止することができます。

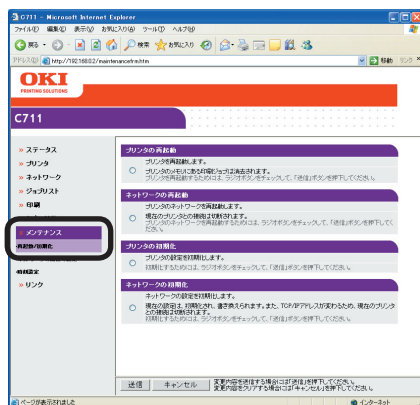
［IP フィルタリング］
TCP/IP によるアクセスを制限することができます。「IP アドレスでのアクセス制限（IP フィルタ）を使います」、「この人には印刷だけ許可しよう」、「この人には設定変更も許可しよう」といった要求にこたえる機能です。社外からのアクセスにも対応できます。ただし、本機能は IP アドレスに関する十分な知識を必要とします。設定によってはプリンタにネットワークからアクセスできなくなってしまうような重大なトラブルを招きます。

［MAC アドレスフィルタリング］
MAC アドレスによるアクセス制限をすることができます。
「この人には印刷だけ許可しよう」、「この人には設定変更も許可しよう」といった要求にこたえる機能です。社外からのアクセスにも対応できます。ただし、本機能は MAC アドレスに関する十分な知識を必要とします。設定によってはプリンタにネットワークからアクセスできなくなってしまうような重大なトラブルを招きます。

［暗号化（SSL/TLS）］
Web ページからの設定および IPP 印刷時にコンピュータ（クライアント）－プリンタ間の通信を暗号化できます。

［IPSec］
コンピュータ（クライアント）- 装置間通信の暗号化と改ざん防止のための設定をすることができます。

［管理者パスワード変更］
管理者パスワードを変更することができます。パスワードの初期値は操作パネルの管理者用メニューのパスワードと同じ「aaaaaa」です。

［ネットワークパスワード変更］
TELNET、AdminManager の管理者パスワードを変更します。パスワードの初期値は MAC アドレスの英数字下 6 桁です。

メンテナンス　タブ◎

◎：プリンタの管理者としてログインした場合に表示されます。

［再起動 / 初期化］

プリンタの再起動

プリンタを再起動します。ネットワーク機能も同時に再起動されますので、再起動が完了するまで Web ブラウザからアクセスしても、Web ページは表示されません。

ネットワークの再起動

ネットワーク機能だけを再起動します。プリンタに対してネットワーク経由でアクセスしている場合にはこのコネクションは切断されてしまいます。再起動が完了するまで Web ブラウザからアクセスしても、Web ページは表示されません。

プリンタの初期化

プリンタを初期化します。初期化すると、プリンタは動作できますが、手動で設定した情報は失われてしまいます。

ネットワークの初期化

ネットワークを初期化します。初期化すると、プリンタは動作できますが IP アドレスが初期状態に戻ってしまうため、手動で設定した情報は失われてしまいます。その場合は、Web ページも表示できなくなります。

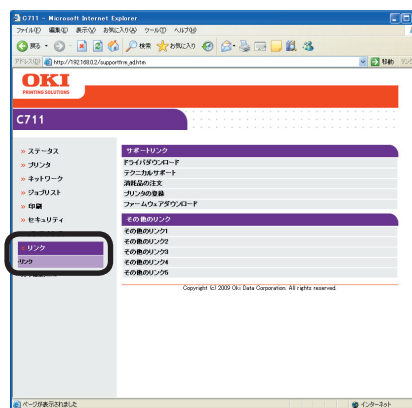
［ネットワークの規模の設定］

ネットワーク上でより効率よく動作するための設定です。スパニングツリー機能を持つハブを使用する場合、クロスケーブルでコンピュータとプリンタを 1 対 1 で接続する場合などに効果を発揮します。

［時刻設定］

プリンタに時刻を設定することができます。

リンク　タブ

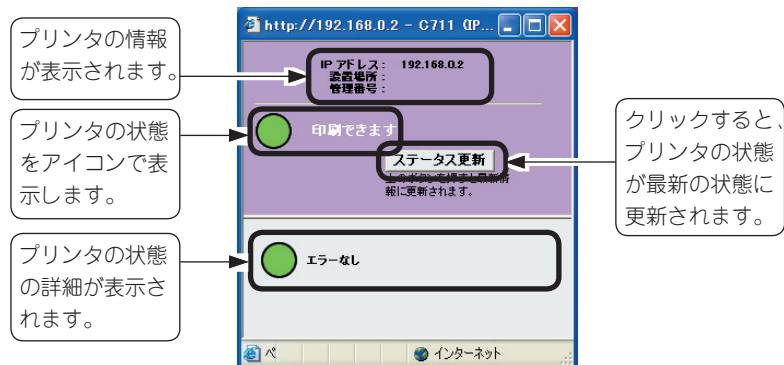
［リンク］

製造元で設定したリンクの他、管理者が設定したリンクを表示します。

［リンク編集メニュー］

管理者が好きな URL を設定できます。
サポートリンクを 5 件、その他リンクを 5 件登録できます。
URL は、http:// も含めて入力してください。

ステータスウインドウを使います

ネットワーク上のコンピュータからプリンタの状態を Web ブラウザで確認できます。

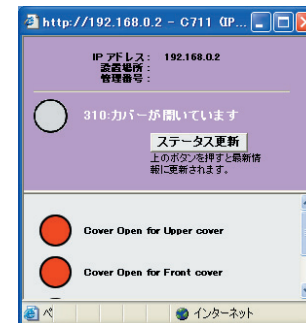
「Web ブラウザ」（41 ページ）の「動作環境」を確認してください。

機能説明

プリンタ状態アイコン	詳　細
（緑）	エラーなし / オンライン
（黄）	軽障害（印刷は可能）
（赤）	重障害（印刷は不可能）
（薄紫）	オフライン

表示例

〈トレイに用紙がない場合〉

〈カバーが開いている場合〉

TELNET

プリンタの各ネットワークプロトコルの設定ができます。

設定します

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

Windows　　　: Windows XP Professional
プリンタ　　　: C711dn2
IP アドレス　 : 192.168.0.2
MAC Address : 00:80:87:84:9C:9B

MAC Address は、ネットワークの設定情報（Network Information）に表示されています。（256 ページ参照）

❶ Windows のコマンドプロンプトを起動します。

❷ ping コマンドで接続を確認します。

```
C:¥WINDOWS>ping 192.168.0.2
```

❸ telnet でプリンタに接続します。

注 ユーザ名は「root」、パスワードの初期値は「MAC Address の英数字下 6 桁」です。

```
telnet 192.168.0.2

C711 TELNET Server (Ver 01.00).

login: root
'root' user needs password to login.
password:
User 'root' logged in.

 No.   M E N U (level.1)
------------------------------------------------------------------
   1 : Status / Information
   2 : Printer Config
   3 : Network Config
   4 : Security Config
   5 : Maintenance
  99 : Exit Setup
Please select(1 - 99)?
```

❹ 変更する項目の番号を入力し、「Enter」キーを押します。

❺ 各項目を設定します。

❻ プリンタからログアウトします。

新しい設定がプリンタに送信されます。

ストレージデバイスマネージャ

プリンタの SD メモリーカード（オプション）の設定､フォームデータの登録や削除､保存ジョブの管理をするユーティリティです｡

- ストレージデバイスマネージャは「ソフトウェア CD-ROM」には格納されていません。沖データホームページからダウンロードしてください。
- ［Boot Menu］の［Job Limitation］が［Encrypted Job］に設定してある場合、PS パーティション (%disk0%) へのアクセス、フォームの登録、フォームのテスト印刷、保存ジョブの印刷機能は使用できません。［Boot Menu］の［Job Limitation］については､「操作パネルのメニュー一覧」（セットアップ編）の「Boot Menu」をご覧ください。

動作環境

Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008/Windows XP/Windows Server 2003/Windows 2000 日本語版の動作するコンピュータ
InternetExplorer4.0 以上がインストールされていること

インストールします

❶ 沖データホームページからダウンロードしたファイルをダブルクリックします。

自動的にファイルが解凍され、インストーラが起動します。

❷ 画面の指示に従ってセットアップします。

起動します

❶ ［スタート］-［すべてのプログラム］（Windows 2000 では［プログラム］）-［沖データ］-［OKI ストレージデバイスマネージャ］-［OKI ストレージデバイスマネージャ］を選択します。

詳しくは

- 「フォームを登録したい（フォームオーバーレイ）」（120 ページ）
- 「SD メモリーカード（オプション）を初期化したい」（221 ページ）
- 「SD メモリーカード（オプション）やフラッシュメモリの空き容量を確認したい（Windows）」（226 ページ）

をご覧ください。

PDF Print Direct

プリンタに PDF ファイルを直接送り印刷することで、Adobe Reader などのようなアプリケーションを起動してファイルを開く手間が省きます。

動作環境

Windows 7/Windows Vista/Windows XP/Windows Server 2003/Windows 2000 日本語版の動作するコンピュータ

- セットアップにはコンピュータの管理者権限が必要です。
- PDF ファイルによっては、正しく印刷されない場合があります。正しく印刷されない場合は、Adobe Reader などのアプリケーションから印刷してください。
- 本機能ではマルチページ印刷は未対応です。
- 閲覧者に印刷許可を与えていない PDF ファイルは印刷できません。
- ［Boot Menu］の［Job Limitation］が［Encrypted Job］に設定してある場合、本ユーティリティを使用しての印刷はできません。［Boot Menu］の［Job Limitation］については、「操作パネルのメニュー一覧」（セットアップ編）の「Boot Menu」をご覧ください。

メモ　オプションの SD メモリーカードを取り付けると、より大きなジョブを印刷できるようになります。

以下の説明は、Windows 7 Ultimate を例にしています。

インストールします

❶ プリンタの電源を ON にします。

❷ Windows が起動していることを確認し、プリンタ添付の「ソフトウェア CD-ROM」をセットします。

セットアッププログラムが起動します。

❸［その他のソフトウェア］-［PDF Print Direct］をクリックします。

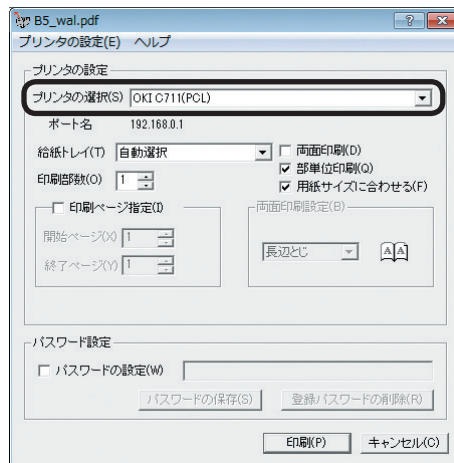
❹ セットアッププログラムが開始されるので、［次へ］をクリックします。

❺［完了］をクリックします。

PDF Print Directユーティリティを使ってPDFファイルを印刷します

❶ プリンタフォルダに［OKI C711(**)］(** は PS または PCL（プリンタドライバの種類））アイコンがあることを確認します。

❷ 印刷したい PDF ファイルを選択し、マウスの右ボタンをクリックします。次のようなメニューが表示され、[PDF Print Direct］を選択します。

❸ 印刷可能な PDF ファイルの場合、下の画面が表示されます。使用するプリンタに接続されているプリンタドライバを［プリンタの選択］で選択します。

❹ 暗号化ファイルを印刷する場合は、[パスワードの設定］にチェックを付けて、パスワードを入力します。今後も同じパスワードを使用する場合は、[パスワードの保存］をクリックします。パスワードが不要になった場合は、[登録パスワードの削除］をクリックします。登録できるパスワードは 1 つです。

❺ 必要な項目を設定し、[印刷］をクリックします。

プリントジョブアカウンティング Lite

プリントジョブアカウンティング Lite は、印刷ジョブの情報をログとして取得し、集計を行うソフトウェアです。

プリントジョブアカウンティング Lite は「ソフトウェア CD-ROM」には格納されていません。沖データホームページからダウンロードしてください。

動作環境

Windows 7（32bit 版）/Windows Vista（32bit 版）/Windows Server 2008（32bit 版）/Windows XP（32bit 版）/Windows Server 2003（32bit 版）/Windows 2000 日本語版の動作するコンピュータ

各 OS の 64bit 版では使用できません。

インストールします

❶ 沖データホームページからダウンロードしたファイルをダブルクリックします。

自動的にファイルが解凍され、インストーラが起動します。

❷ 画面の指示に従ってセットアップします。

起動します

❶ [スタート] - [すべてのプログラム]（Windows 2000 では [プログラム]）- [沖データ]-[プリントジョブアカウンティング Lite]-[プリントジョブアカウンティング Lite] を選択します。

詳しくは「操作マニュアル」をご覧ください。「操作マニュアル」は、沖データホームページから入手できます。

- 工場出荷時の状態で保存可能ログ数については、「プリントジョブアカウンティングの使用について」（366 ページ）をご覧ください。
- プリントジョブアカウンティング Lite では、ユーザ ID を登録することはできません。

2 Macintosh ソフトウェア

Macintosh スクリーンフォント

動作環境

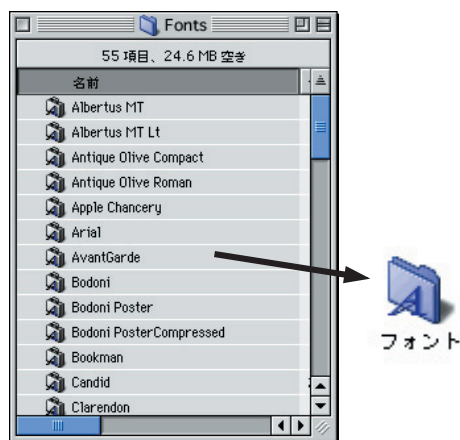
MacOS 9.0 ～ 9.2.2 日本語版

Mac OS X では利用できません。

欧文スクリーンフォントをインストールします

❶「ソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❷ [Fonts] フォルダを開きます。

❸ 使用したいフォントを [システムフォルダ] - [フォント] フォルダにコピーします。

❹ Macintosh を再起動します。

- Mac OS X では常に TrueType スクリーンフォントで印刷されます。
- [Chicago]、[Geneva]、[Monaco]、[NewYork] は添付されておりません。MacOS 添付のフォントをご使用ください。
- Macintosh のシステムに負荷がかかりますので、使用する欧文スクリーンフォントのみをインストールしてください。
- すでにシステムに同名のスクリーンフォントがインストールされている場合は、新たにインストールしなおす必要はありません。
- 和文スクリーンフォントは MacOS 添付の平成明朝、平成角ゴシックをご使用ください。フォントの置き換え機能により、文書のレイアウトはそのままにプリンタフォントに置き換えて高速に印刷されます。

MicrolinePS Utility

以下の設定を Macintosh で行うユーティリティです。

- プリンタ名 / ゾーン名の変更
- ファイルのダウンロード
- フォントリスト表示
- SD メモリーカードの初期化
- フォントの置き換え
- ハーフトーン調整
- パネル言語ファイルのダウンロード

動作環境

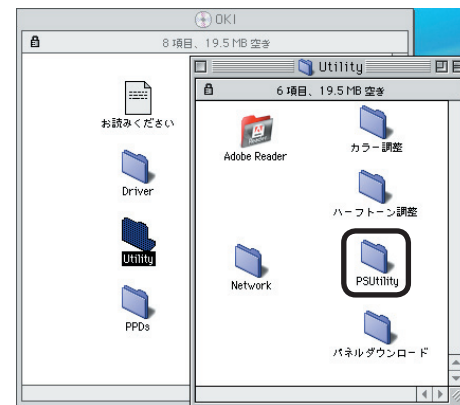
MacOS 9.0、9.0.4、9.1、9.2、9.2.1、9.2.2、Mac OS X Classic 環境日本語版が動作する Macintosh で EtherTalk インタフェースを搭載している機種
MacOS 9.0、9.0.4、9.1、9.2、9.2.1、9.2.2 日本語版が動作する Macintosh で USB インタフェースを搭載している機種

- Mac OS X では利用できません。
- [Boot Menu] の [Job Limitation] が [Encrypted Job] に設定されている場合、本ユーティリティを使用しての印刷はできません。
[Boot Menu] の [Job Limitation] については、「操作パネルのメニュー一覧」(セットアップ編)の「Boot Menu」をご覧ください。

インストールします

❶「ソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❷ [Utility] フォルダを開きます。

❸ [PSUtility] フォルダを開きます。

❹ [PSUtility] フォルダ内の PSUtil for MacOS をダブルクリックします。

❺「使用許諾契約」をよく読み、[同意する] をクリックします。

❻「お読みください」をよく読み、[続ける] をクリックします。

❼ インストール内容を確認し、[インストール] をクリックします。

起動します

❶ ネットワーク接続の場合、セレクタで［LaserWriter8］をクリックし、プリンタ名を選択し、セレクタを閉じます。

USB 接続の場合、デスクトップ上のプリンタアイコンを選択し、［プリンタ］メニューの［省略時プリンタに指定］を選択します。

❷［MicrolinePS］-［MicrolinePS Utility］フォルダ内の［MicrolinePS Utility］をダブルクリックします。

詳しくは

- 「EtherTalk プリンタ名を変更したい」（323 ページ）
- 「EtherTalk ゾーンを変更したい」（324 ページ）
- 「プリンタ内蔵フォントを確認したい」（220 ページ）
- 「ポストスクリプトファイルをダウンロードしたい」（141 ページ）
- 「プリンタフォントに置き換えて印刷したい」（130 ページ）
- 「コンピュータのフォントで印刷したい」（132 ページ）
- 「写真の印刷濃度を調整したい（ハーフトーン調整）」（204 ページ）
- 「SD メモリーカード（オプション）を初期化したい」（221 ページ）
- 「操作パネルの表示言語を変更したい（Macintosh）」（235 ページ）

をご覧ください。

PS ハーフトーン調整ユーティリティ

以下の設定を Mac OS X で行うユーティリティです。

- ハーフトーン調整

動作環境

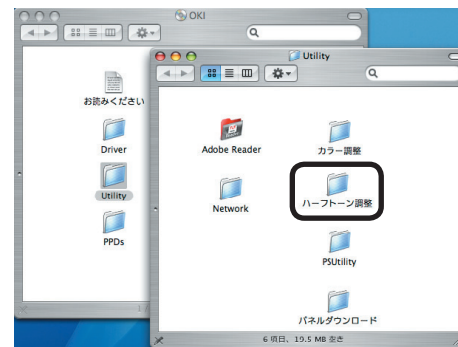
Mac OS X 10.3.9 ～ 10.6 日本語版が動作する Macintosh

- MacOS 9.0 から 9.2.2 では利用できません。
- OS X 10.6 をお使いの方は、Rosetta が必要です。

インストールします

❶「ソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❷［Utility］フォルダを開きます。

❸［ハーフトーン調整］フォルダを開きます。

❹ Halftone for MacOSX をダブルクリックします。

❺「使用許諾契約」をよく読み、［同意する］をクリックします。

❻「お読みください」をよく読み、［続ける］をクリックします。

❼ インストール内容を確認し、［インストール］をクリックします。

起動します

[アプリケーション]-[OKIDATA]-[Halftone]フォルダ内の[PS ハーフトーン調整ユーティリティ]をダブルクリックします。

詳しくは「写真の印刷濃度を調整したい（ハーフトーン調整）」（204 ページ）をご覧ください。

Web ブラウザ

プリンタのネットワークの設定や、メニュー設定ができます。

動作環境

Safari、Microsoft Internet Explorer Ver.5.1 以上または Netscape Navigator Ver.6.0 以上がインストールされているコンピュータ
TCP/IP で動作しているコンピュータ

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

プリンタ	：C711dn2
プリンタの IP アドレス	：192.168.0.2
MAC アドレス	：00:80:87:84:9C:9B
Web ブラウザ	：Safari ver.3.0

起動します

❶ Web ブラウザを起動します。

❷ ［アドレス］に URL「http:// プリンタの IP アドレス /」を入力し、Enter キーを押します。

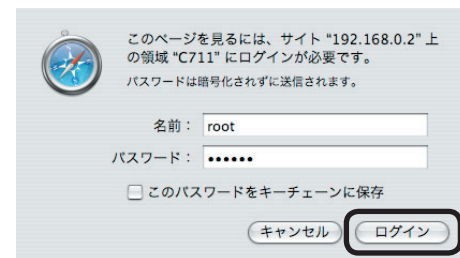
プリンタステータス画面が表示されます。

IP アドレスに 1 桁または 2 桁までの数値を含む場合、数値の前に「0」を入力しないでください。通信が正しく行われない場合があります。
（例）正しい入力値：http://192.168.0.2/
誤った入力値：http://192.168.000.002/

設定します

Web ブラウザでプリンタの設定変更を行うには、プリンタの管理者としてログインする必要があります。

❶［管理者のログイン］をクリックします。

❷［名前］に「root」、［パスワード］に現在のパスワードを入力し、［ログイン］をクリックします。

メモ パスワードの初期値は「操作パネルの管理者用メニューのパスワード」と同じ「aaaaaa」です。

❸ プリンタ情報を設定し、[OK] をクリックします。または [スキップ] をクリックします。

- [スキップ] をクリックすると、設定を省略できます。
- [次回からこのページを表示しない] にチェックを付けて [OK] または [スキップ] をクリックすると、次回以降のログイン時に表示されなくなります。

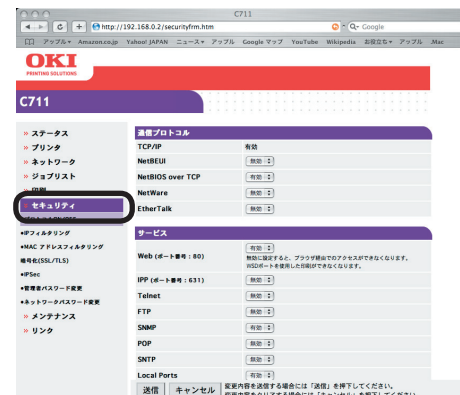
❹ 下の画面が表示されます。

パスワードの設定

プリンタの管理者としてログインするときに使用するパスワードを変更することができます。

❶［管理者のログイン］をクリックします。

❷［名前］に「root」、［パスワード］に現在のパスワードを入力し、［ログイン］をクリックします。

このページを見るには、サイト "192.168.0.2" 上の領域 "C711" にログインが必要です。
パスワードは暗号化されずに送信されます。
名前： root
パスワード： ••••••
このパスワードをキーチェーンに保存
キャンセル ログイン

メモ パスワードの初期値は「操作パネルの管理者用メニューのパスワード」と同じ「aaaaaa」です。

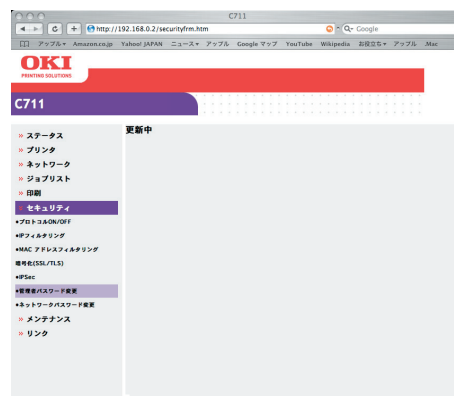
❸［セキュリティ］タブをクリックします。

❹［管理者パスワード変更］をクリックします。

❺［新しい管理者パスワード］に新しいパスワードを入力し、［新しい管理者パスワードの再入力］に再度新しいパスワードを入力します。

- パスワードを入力すると、画面上では「*****」と表示されます。
- パスワードは 6 ～ 12 桁までの英数字を入力してください。
- パスワードに英文字が入っている場合、大文字 / 小文字を正しく入力してください。

❻［送信］をクリックします。

新しいパスワードが設定されると、下の画面が表示されます。

❼プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動されます。

新しいパスワードは、次回の設定を変更するときから有効となります。プリンタの電源の OFF/ON は必要ありません。

このパスワードは TELNET、Setup Utility のパスワードとは異なります。ここでパスワードを変更すると、操作パネルの管理者用メニューのパスワードも変更されます。

ステータス　タブ

［プリンタステータス］
　プリンタの状態を確認できます。操作パネル上の表示と同じ情報を表示する他、「障害情報」としてプリンタに発生しているすべての警告やエラーを表示します。
　また、各ネットワークサービスの動作状況やプリンタ情報の一覧、プリンタに設定されている IP アドレスも確認することができます。

［プリンタ詳細情報］
　プリンタのシステム情報を確認することができます。

［ネットワーク詳細情報］
　ネットワークの設定情報を確認することができます。

プリンタ　タブ◎

◎：プリンタの管理者としてログインした場合に表示されます。

［一般プリンタ設定］
　ネットワーク上で確認できるプリンタの情報を設定できます。

［印刷設定］
　コピー枚数、自動トレイ切り替え、モノクロ印刷速度、印刷品質、印刷位置等を設定できます。プリンタドライバを使用する場合には、この設定よりもプリンタドライバで設定した値が優先されます。

［用紙設定］
　各トレイの用紙サイズ、名称付け、カスタム用紙等を設定できます。プリンタドライバを使用する場合には、この設定値よりもプリンタドライバで設定した値が優先されます。

［カラー設定］
　色の濃度補正、色の位置ずれ補正等を設定できます。

［プリンタ構成設定］
　パワーセーブへの移行、アラーム発生時の動作、タイムアウト等を設定できます。

［PCL 設定］
　サポートしているエミュレーションを設定できます。

［インターフェース設定］
　ネットワーク以外のインターフェースを設定できます。

［メモリ設定］
　受信バッファサイズの設定。フラッシュメモリに保存されたデータの消去を実行します。

［時刻設定］
　時刻を設定できます。

［システム設定］
　ニアライフワーニング発生時の LED/LCD の制御方法を設定できます。

［保存 / 復元］
　現在のメニュー設定を保存、または保存しているメニュー設定に変更することができます。

プリンタタブのメニュー設定が対象となります。

［ヘキサダンプ］
　受信した印刷データをすべて 16 進数で表示します。プリンタを再起動すると本モードを抜けます。

［プリンタ情報印刷］
　ネットワーク設定情報（Network Information）、デモページ等を印刷します。

ネットワーク　タブ◎

◎：プリンタの管理者としてログインした場合に表示されます。

［一般ネットワーク設定］
使用しないネットワークプロトコルを停止することができます。

［TCP/IP］
TCP/IP に関する情報を設定できます。

［NetWare］
NetWare に関する情報を設定できます。

［EtherTalk］
EtherTalk に関する情報を設定できます。

［NBT/NetBEUI］
NetBEUI に関する情報を設定できます。

［Email］
プリンタに発生した事象を E メールで通知する機能を設定できます。

［SNMP］
プリンタに発生した事象を SNMP で通知する機能を設定できます。

［IPP］
IPP 印刷をする機能を設定できます。

［IEEE802.1X］
IEEE802.1X/EAP に関する情報を設定できます。

ジョブリスト　タブ

［表示項目設定］
プリンタに送られた印刷ジョブの一覧を表示します。不要なジョブであれば削除することも可能です。

印刷　タブ

［Web 印刷］
任意の PDF ファイルを指定して、印刷することができます。

［Email 印刷］
プリンタが受信した E メールに PDF ファイルが添付されていた場合に、印刷することができます。

セキュリティ　タブ◎

◎：プリンタの管理者としてログインした場合に表示されます。

［プロトコル ON/OFF］

使用しないネットワークプロトコル、ネットワークサービスを停止することができます。

［IP フィルタリング］

TCP/IP によるアクセスを制限することができます。「IP アドレスでのアクセス制限（IP フィルタ）を使います」、「この人には印刷だけ許可しよう」、「この人には設定変更も許可しよう」といった要求にこたえる機能です。社外からのアクセスにも対応できます。ただし、本機能は IP アドレスに関する十分な知識を必要とします。設定によってはプリンタにネットワークからアクセスできなくなってしまうような重大なトラブルを招きます。

［MAC アドレスフィルタリング ］

MAC アドレスによるアクセス制限をすることができます。「この人には印刷だけ許可しよう」、「この人には設定変更も許可しよう」といった要求にこたえる機能です。社外からのアクセスにも対応できます。ただし、本機能は MAC アドレスに関する十分な知識を必要とします。設定によってはプリンタにネットワークからアクセスできなくなってしまうような重大なトラブルを招きます。

［暗号化（SSL/TLS）］

Web ページからの設定および IPP 印刷時にコンピュータ（クライアント）ープリンタ間の通信を暗号化できます。

［IPSec］

コンピュータ (クライアント) - 装置間通信の暗号化と改ざん防止のための設定をすることができます。

［管理者パスワード変更］

管理者パスワードを変更することができます。パスワードの初期値は操作パネルの管理者用メニューのパスワードと同じ「aaaaaa」です。

［ネットワークパスワード変更］

TELNET、Setup Utility の管理者パスワードを変更します。パスワードの初期値は MAC アドレスの英数字下 6 桁です。

メンテナンス　タブ◎

◎：プリンタの管理者としてログインした場合に表示されます。

[再起動 / 初期化]

プリンタの再起動

プリンタを再起動します。ネットワーク機能も同時に再起動されますので、再起動が完了するまで Web ブラウザからアクセスしても、Web ページは表示されません。

ネットワークの再起動

ネットワーク機能だけを再起動します。プリンタに対してネットワーク経由でアクセスしている場合にはこのコネクションは切断されてしまいます。再起動が完了するまで Web ブラウザからアクセスしても、Web ページは表示されません。

プリンタの初期化

プリンタを初期化します。初期化すると、プリンタは動作できますが、手動で設定した情報は失われてしまいます。

ネットワークの初期化

ネットワークを初期化します。初期化すると、プリンタは動作できますが IP アドレスが初期状態に戻ってしまうため、手動で設定した情報は失われてしまいます。その場合は、Web ページも表示できなくなってしまいます。

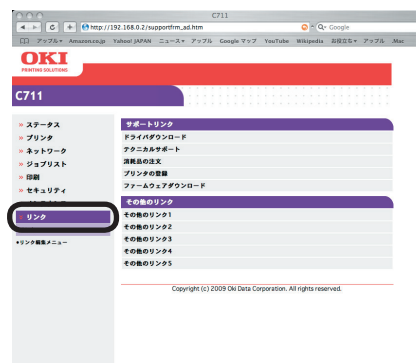
[ネットワークの規模の設定]

ネットワーク上でより効率よく動作するための設定です。スパニングツリー機能を持つハブを使用する場合、クロスケーブルでコンピュータとプリンタを 1 対 1 で接続する場合などに効果を発揮します。

[時刻設定]

プリンタに時刻を設定することができます。

リンク　タブ

[リンク]

製造元で設定したリンクの他、管理者が設定したリンクを表示します。

[リンク編集メニュー]

管理者が好きな URL を設定できます。

サポートリンクを 5 件、その他リンクを 5 件登録できます。

URL は、http:// も含めて入力してください。

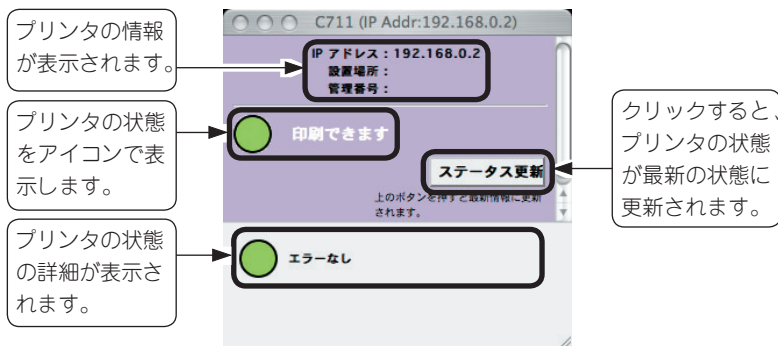
ステータスウインドウを使います

ネットワーク上のコンピュータからプリンタの状態を Web ブラウザで確認できます。

「Web ブラウザ」（63 ページ）の「動作環境」を確認してください。

機能説明

プリンタ状態アイコン	詳　細
緑	エラーなし / オンライン
黄	軽障害（印刷は可能）
赤	重障害（印刷は不可能）
薄紫	オフライン

表示例

〈トレイに用紙がない場合〉

〈カバーが開いている場合〉

Setup Utility

プリンタのネットワークの設定ができます。

MacOS 9.0 ～ 9.2.2 日本語版

動作環境

MacOS 9.0 ～ 9.2.2 日本語版
TCP/IP が動作している Macintosh

Macintosh に TCP/IP の設定が必要です。[コントロールパネル] - [TCP/IP] で設定を行ってください。

起動します

すでに Setup Utility がインストールされている場合は、必ず先に削除してください。

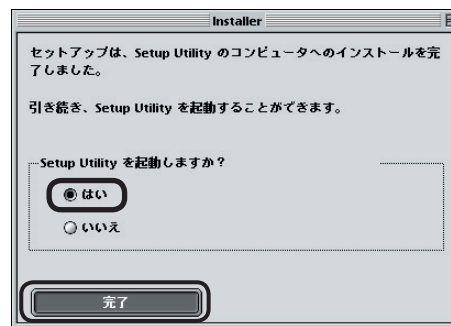
❶ プリンタの電源が ON になっていることを確認します。

❷ Macintosh が起動していることを確認し、プリンタ添付の「ソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❸ [Utility] - [Network] - [Mac OS] フォルダの中の [Installer] をダブルクリックします。

❹ [Japanese] を選択し、[OK] をクリックします。

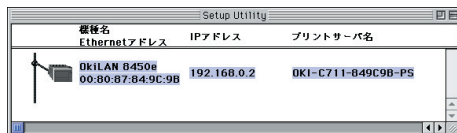
❺ インストール先のフォルダを確認し、[次へ] をクリックします。

初期設定では、Macintosh HD の [Oki Tools] フォルダにインストールされます。

❻ [Setup Utility を起動しますか？] で [はい] を選択し、[完了] をクリックします。

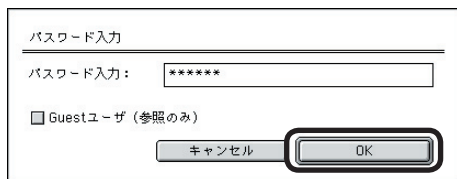
Setup Utility が起動します。

Oki Device の設定

各項目の詳細については、「ネットワーク設定項目の一覧」（240 ページ）をご覧ください。

❶ 一覧より Ethernet アドレスを参照して、設定を行うプリンタを選択します。
機種名には、C711dn2 の代わりに OkiLAN 8450e と表示されます。

注 Ethernet アドレスは、ネットワークの設定情報（Network Information）に MAC Address として表示されています。（256 ページ参照）

❷［設定］メニューの［Oki Device の設定］を選択します。

❸［パスワード入力］に［イーサネットアドレスの英数字下 6 桁］を入力し、[OK] をクリックします。

注
- パスワードは、手順❶で選択した「イーサネットアドレス」の英数字下 6 桁を入力してください。この場合は、「849C9B」となります。
- パスワードを入力すると、画面上では「******」と表示されます。
- パスワードに英文字が入っている場合、大文字 / 小文字を正しく入力してください。

❹ 必要な項目を設定し、［設定］をクリックします。

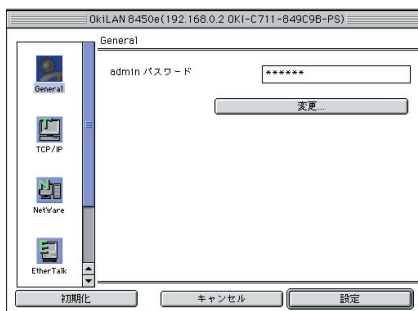
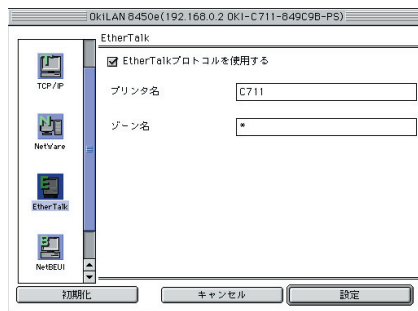
❺ 設定に間違いがなければ、[OK] をクリックします。

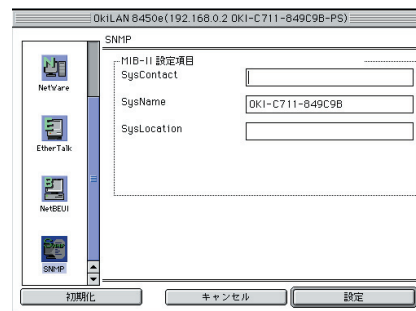
設定値がプリンタに送信されます。

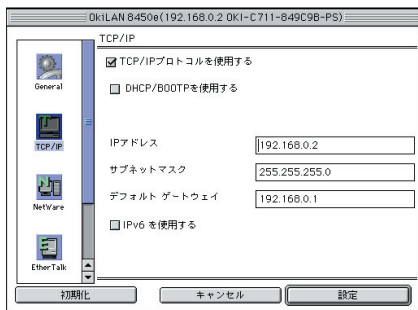
❻ 新しい設定値を有効にするため、［はい］をクリックします。

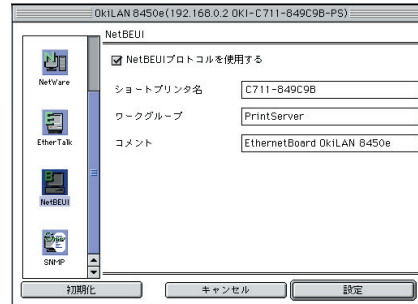
注 再起動後、プリンタは新しい設定値で動作します。

❼ Setup Utility を終了します。

General

パスワードを変更します。

EtherTalk

EtherTalk プリンタ名やゾーン名を変更する場合に設定します。

SNMP

SNMP を利用する場合に設定します。

TCP/IP

IP アドレスなどの設定をします。

NetBEUI

NetBEUI を利用する場合に設定します。

Mac OS X 日本語版

動作環境

Mac OS X 10.3.9 〜 10.6 日本語版
TCP/IP が動作している Macintosh

・Macintosh に TCP/IP の設定が必要です。[コントロールパネル]-[TCP/IP] で設定を行ってください。
・OS X 10.6 使用時は Rosetta が必要です。

起動します

すでに Setup Utility がインストールされている場合は、必ず先に削除してください。

❶ プリンタの電源が ON になっていることを確認します。

❷ Macintosh が起動していることを確認し、プリンタ添付の「ソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❸ [Utility] - [Network] - [Mac OS X] フォルダの中の [Installer] をダブルクリックします。

❹ インストール先のフォルダを確認し、[次へ] をクリックします。

初期設定では、ログインユーザのホームディレクトリの [Oki Tools] フォルダにインストールされます。

❺ [Setup Utility を起動しますか？] で [はい] を選択し、[完了] をクリックします。

Setup Utility が起動します。

Oki Device の設定

各項目の詳細については、「ネットワーク設定項目の一覧」（240 ページ）をご覧ください。

❶ 一覧より Ethernet アドレスを参照して、設定を行うプリンタを選択します。
機種名には、C711dn2 の代わりに OkiLAN 8450e と表示されます。

注 Ethernet アドレスは、ネットワークの設定情報（Network Information）に MAC Address として表示されています。（256 ページ参照）

❷［設定］メニューの［Oki Device の設定］を選択します。

❸［パスワード入力］に［Ethernet アドレスの英数字下 6 桁］を入力し、［OK］をクリックします。

- パスワードは、手順❶で選択した「Ethernet アドレス」の英数字下 6 桁を入力してください。この場合は、「849C9B」となります。
- パスワードを入力すると、画面上では「******」と表示されます。
- パスワードに英文字が入っている場合、大文字 / 小文字を正しく入力してください。

❹ 必要な項目を設定し、［設定］をクリックします。

❺ 設定に間違いがなければ、［OK］をクリックします。

設定値がプリンタに送信されます。

❻ 新しい設定値を有効にするため、［はい］をクリックします。

注 再起動後、プリンタは新しい設定値で動作します。

❼ Setup Utility を終了します。

General

パスワードを変更します。

EtherTalk

EtherTalk プリンタ名やゾーン名を変更する場合に設定します。

SNMP

SNMP を利用する場合に設定します。

TCP/IP

IP アドレスなどの設定をします。

NetBEUI

NetBEUI を利用する場合に設定します。

Profile Assistant

プリンタの SD メモリーカード内に ICC プロファイルを登録・管理します。ICC プロファイルはドライバの［グラフィックプロ］モードのカラーマッチングに使用します。

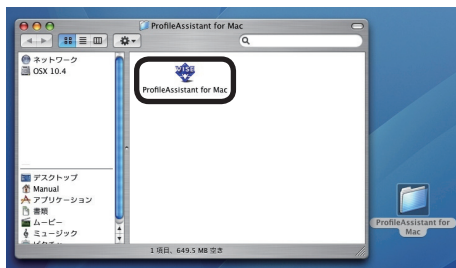
動作環境

MacOS 9.2 ～ 9.2.2 日本語版が動作し、Carbon Lib 1.6 以降がインストールされている Macintosh
Mac OS X 10.3.9 ～ 10.6（日本語版）

- OS9 をご使用の場合で Carbon Lib 1.6 未満の場合にはアップルのホームページから Carbon Lib 1.6 以降を入手し、インストールしてください。
- OS X 10.6 をお使いの方は、Rosetta が必要です。

インストールします

画面は Mac OS X 10.4 を例にしています。

❶ 沖データホームページより入手したファイルを解凍し、解凍されたフォルダ内の「ProfileAssistant for Mac」をダブルクリックします。

❷「使用許諾契約」をよく読み、［同意する］をクリックします。

❸「お読みください」の内容を確認し、［続ける］をクリックします。

❹ インストール内容を確認し、［インストール］をクリックします。

❺ 画面の指示に従ってセットアップします。

起動します

OS9：（起動ディスク）: MicrolinePS: プロファイルアシスタント : ProfileAssistant.app
OS X：（起動ディスク）：アプリケーション : OKIDATA: プロファイルアシスタント : プロファイルアシスタント
をダブルクリックします。

詳しくは

- 「ICC プロファイルをプリンタにダウンロードする」（156 ページ）
- 「ICC プロファイルを使用してカラーマッチングする（グラフィックプロ）」（162 ページ）

をご覧ください。

カラー調整ユーティリティ

Macintosh 上でプリンタのカラーマッチングを調整します。パレットカラーの出力色の調整や、ガンマ値や原色の色相・色彩を調整することによって出力色の全体傾向を変更することができます。

動作環境

MacOS 9.0、9.0.4、9.1、9.2、9.2.1、9.2.2 日本語版が動作し、Carbon Lib1.6 以降がインストールされている Macintosh
Mac OS X 10.3.9 ～ 10.6（日本語版）

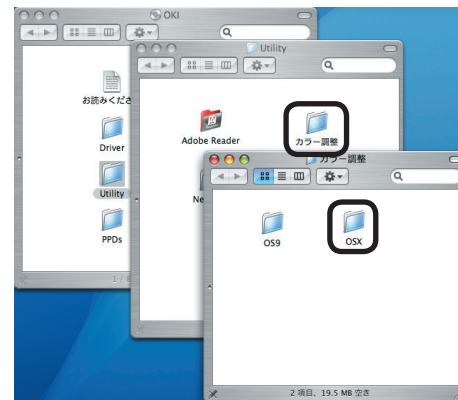
- OS9 をご使用の場合で Carbon Lib1.6 未満の場合にはアップルのホームページから Carbon Lib1.6 以降を入手し、インストールしてください。
- OS X 10.6 をお使いの方は、Rosetta が必要です。

インストールします

画面は Mac OS X 10.4 を例にしています。

❶「ソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❷［Utility］フォルダを開きます。

❸［カラー調整］フォルダを開きます。

❹［OSX］フォルダ内の ColorCor-J for MacOSX をダブルクリックします。

MacOS 9.0、9.0.4、9.1、9.2、9.2.1、9.2.2 環境でお使いの方は、［OS9］フォルダ内の ColorCor-J for MacOS をダブルクリックします。

ColorCor-J for MacOSX

❺「使用許諾契約」をよく読み、［同意する］をクリックします。

❻「お読みください」をよく読み、［続ける］をクリックします。

❼ インストール内容を確認し、［インストール］をクリックします。

起動します

OS 9：起動ディスク：アプリケーション（MacOS 9.1 以上の場合、Applications（MacOS 9））：OKIDATA：カラー調整ユーティリティ：C711：カラー調整ユーティリティ
OS X：起動ディスク：アプリケーション：OKIDATA：カラー調整ユーティリティ：C711：カラー調整ユーティリティ

をダブルクリックします。

3 いろいろな用紙に印刷するための設定

- この章では、Windows では［ワードパッド］、Macintosh では［SimpleText］、Mac OS X では［テキストエディット］を例にしています。
- アプリケーションにより画面や手順が異なる場合があります。
- プリンタドライバやユーティリティの各設定項目の詳しい説明は「オンラインヘルプ」をご覧ください。
- プリンタドライバやユーティリティのバージョンアップにより、本書の記載が異なる場合があります。

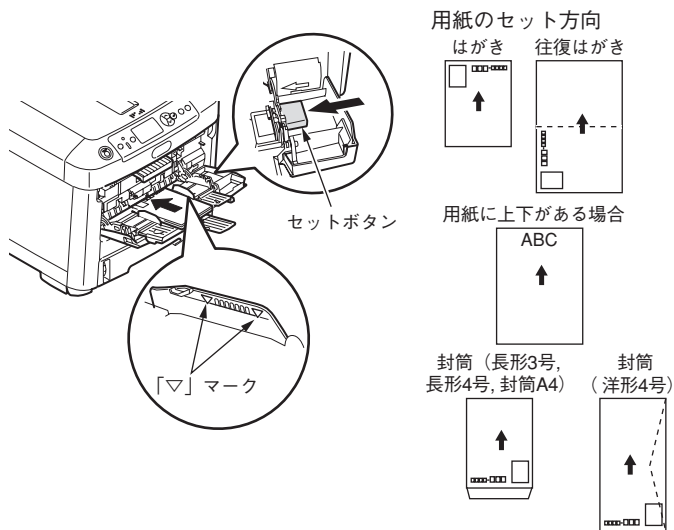
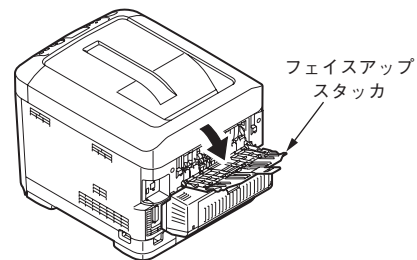
はがき、往復はがき、封筒に印刷したい

メモ 使用できるはがき・封筒の種類については、「使用できる用紙」（セットアップ編）をご覧ください。

1 用紙をセットし、セットボタンを押します。

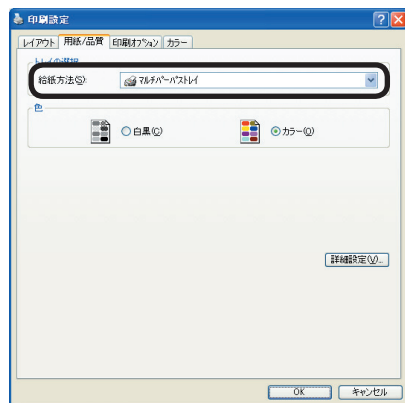
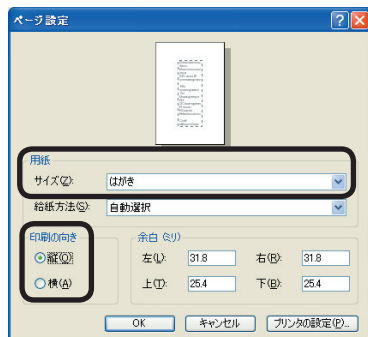
はがき、往復はがき、封筒はマルチパーパストレイから印刷します。
詳しくはセットアップ編「9　印刷します」をご覧ください。

メモ マルチパーパストレイから手差しで 1 枚ずつ印刷することもできます。詳しくはセットアップ編「9　印刷します」をご覧ください。

- はがき、往復はがき、封筒は用紙カセットからの印刷や、両面印刷はできません。
- 印刷速度は遅くなります。

2 フェイスアップスタッカを開きます。

3 操作パネルで用紙サイズを設定します。

メモ 詳しくはセットアップ編「9　印刷します」「メディアウェイト、メディアタイプを設定します」をご覧ください。

4 印刷したいファイルを開きます。

5 プリンタドライバで［用紙サイズ］、［給紙方法］を選択し、印刷します。

Windows PS プリンタドライバをお使いの方

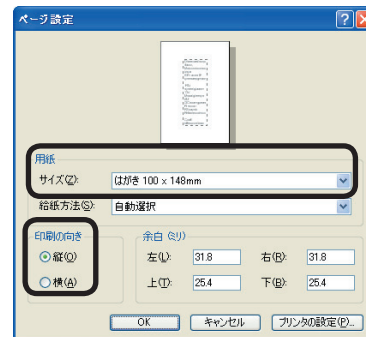
❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［サイズ］で［はがき］、［往復はがき］または［封筒 1］～［封筒 4］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹［詳細設定］をクリックします。（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❺［用紙 / 品質］タブの［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択し、［OK］をクリックします。（Windows 2000 では、［OK］をクリックする必要はありません。）

- 封筒 1～4 で、縦長（長形でフラップ（のりしろ）が上になる向き）に印刷する場合、「ページ設定」画面の［印刷の向き］で［横］を選択します。
- 封筒 1 ～ 4 で、横長（長形でフラップ（のりしろ）が右側になる向き）に印刷する場合、「ページ設定」画面の［印刷の向き］で［縦］を選択します。「印刷」画面の［用紙 / 品質］タブの［詳細設定］をクリックして［180°］で［回転あり］を選択します。

❻「印刷」画面で［印刷］をクリックし、印刷します。

Windows PCL/XPS プリンタドライバをお使いの方

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

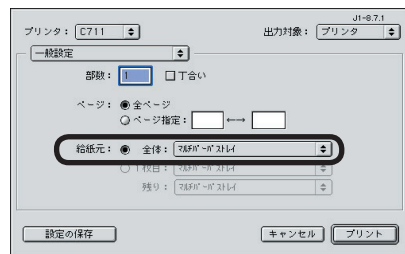
❷［サイズ］で［はがき］、［往復はがき］または［封筒 1］～［封筒 4］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹［詳細設定］をクリックします。（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❺［設定］タブの［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択し、［OK］をクリックします。（Windows 2000 では、［OK］をクリックする必要はありません。）

❻「印刷」画面で［OK］または［印刷］をクリックし、印刷します。

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶ [ファイル] メニューの [用紙設定] を選択します。

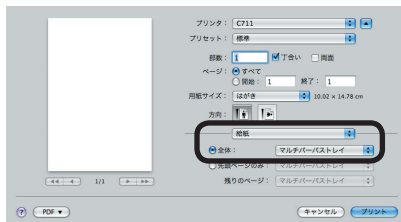
❷ [用紙] で [はがき]、[往復はがき] または [封筒1] ～ [封筒4]、[方向] で適切な方向を選択し、[OK] をクリックします。

❸ [ファイル] メニューの [プリント] を選択します。

❹ [給紙元] で [マルチパーパストレイ] を選択します。

- 封筒１～４で、縦長（長形でフラップ（のりしろ）が上になる向き）に印刷する場合、「用紙設定」画面の [方向] で横方向を選択します。
- 封筒１～４で、横長（長形でフラップ（のりしろ）が右側になる向き）に印刷する場合、「用紙設定」画面の [方向] で縦方向を選択します。[ファイル] の「プリント」画面の [ジョブオプション] パネルで [180°] にチェックを付けます。

❺ [プリント] をクリックし、印刷します。

Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

❶ [ファイル] メニューの [ページ設定] を選択します。

❷ [対象プリンタ] でプリンタの機種名を選択し、[用紙サイズ] で [はがき]、[往復はがき] または [封筒1] ～ [封筒 4]、[方向] で適切な方向を選択し、[OK] をクリックします。

❸ [ファイル] メニューの [プリント] を選択します。

❹ [プリンタ] でプリンタの機種名が選択されていることを確認します。

❺ [給紙] パネルで [マルチパーパストレイ] を選択します。

- 封筒１～４で、縦長（長形でフラップ（のりしろ）が上になる向き）に印刷する場合、「ページ設定」画面の [方向] で縦方向を選択します。[ファイル] の「プリント」画面の [プリンタの機能] パネルの [印刷オプション] 機能セットで [180°] にチェックを付けます。
- 封筒１～４で、横長（長形でフラップ（のりしろ）が右側になる向き）に印刷する場合、「ページ設定」画面の [方向] で横方向（中央のアイコン）を選択します。

❻ [プリント] をクリックし、印刷します。

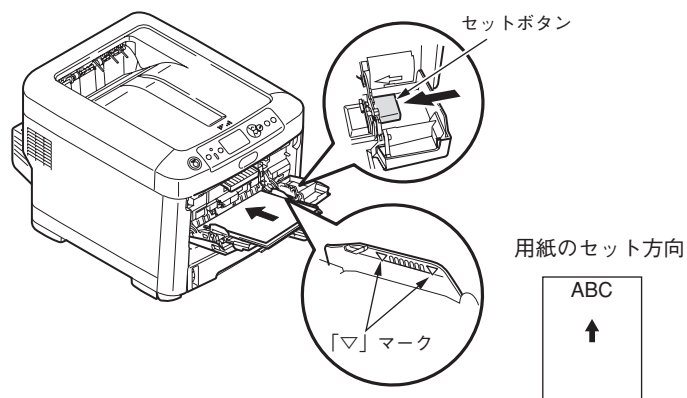
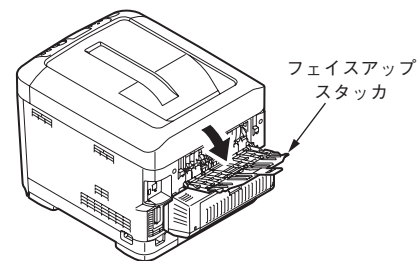
Mac OS X 10.5 ～ 10.6 で、[プリント] ダイアログに [プリンタオプション] が表示されない場合は、[プリンタ] ポップアップメニュー横にある [▼] ボタンをクリックしてください。

ラベル紙に印刷したい

メモ 使用できるラベル紙の種類については、「使用できる用紙」（セットアップ編）をご覧ください。

1 用紙をセットし、セットボタンを押します。

ラベル紙はマルチパーパストレイから印刷することができます。
詳しくはセットアップ編「9　印刷します」をご覧ください。

メモ
- マルチパーパストレイから手差しで１枚ずつ印刷することもできます。詳しくはセットアップ編「9　印刷します」をご覧ください。
- ラベル紙は用紙カセットからの印刷や、両面印刷はできません。
- 印刷速度は遅くなります。

2 フェイスアップスタッカを開きます。

3 操作パネルで用紙サイズを設定します。

メモ 詳しくはセットアップ編「9　印刷します」「メディアウェイト、メディアタイプを設定します」をご覧ください。

4 操作パネルでメディアタイプを設定します。

❶ ボタンを数回押して［メニュー］を選択し、設定ボタンを押します。

❷［トレイ構成］が選択されているので、設定ボタンを押します。

❸ ボタンを数回押して［マルチパーパストレイ設定］を選択し、設定ボタンを押します。

❹ ボタンを数回押して［メディアタイプ］を選択し、設定ボタンを押します。

❺ ボタンを数回押して［ラベル紙］を選択し、設定ボタンを押します。
［ラベル紙］が選択されました。

❻ オンラインボタンを押し、［印刷できます］を表示します。

3

ラベル紙に印刷したい

5 印刷したいファイルを開きます。

6 プリンタドライバで[用紙サイズ]、[給紙方法]を選択し、印刷します。

Windows PS プリンタドライバをお使いの方

❶ [ファイル]メニューの［ページ設定]を選択します。

❷ [サイズ] で [A4] または [レター]、[印刷の向き] で [縦] または [横] を選択し、[OK] をクリックします。

❸ [ファイル]メニューの［印刷]を選択します。

❹ [詳細設定] をクリックします。（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❺ [用紙 / 品質] タブの [給紙方法] で [マルチパーパストレイ] を選択し、[OK] をクリックします。（Windows 2000 では、[OK] をクリックする必要はありません。）

❻「印刷」画面で [印刷] をクリックし、印刷します。

Windows PCL/XPS プリンタドライバをお使いの方

❶ [ファイル] メニューの [ページ設定] を選択します。

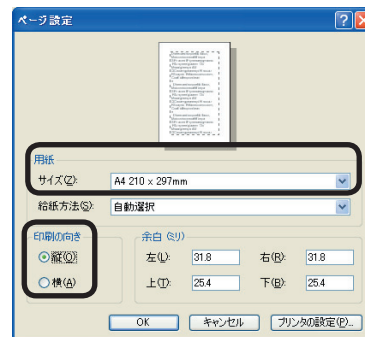
❷ [サイズ] で [A4] または [レター]、[印刷の向き] で [縦] または [横] を選択し、[OK] をクリックします。

❸ [ファイル] メニューの [印刷] を選択します。

❹ [詳細設定] をクリックします。（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❺ [設定] タブの [給紙方法] で [マルチパーパストレイ] を選択し、[OK] をクリックします。（Windows 2000 では、[OK] をクリックする必要はありません。）

❻「印刷」画面で [OK] または [印刷] をクリックし、印刷します。

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶ [ファイル] メニューの [用紙設定] を選択します。

❷ [用紙] で [A4] または [レター]、[方向] で適切な方向を選択し、[OK] をクリックします。

❸ [ファイル] メニューの [プリント] を選択します。

❹ [給紙元] で [マルチパーパストレイ] を選択します。

❺ [プリント] をクリックし、印刷します。

Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

❶ [ファイル] メニューの [ページ設定] を選択します。

❷ [対象プリンタ] でプリンタの機種名を選択し、[用紙サイズ] で [A4] または [レター]、[方向] で適切な方向を選択し、[OK] をクリックします。

❸ [ファイル] メニューの [プリント] を選択します。

❹ [プリンタ] でプリンタの機種名が選択されていることを確認します。

❺ [給紙] パネルで [マルチパーパストレイ] を選択します。

❻ [プリント] をクリックし、印刷します。

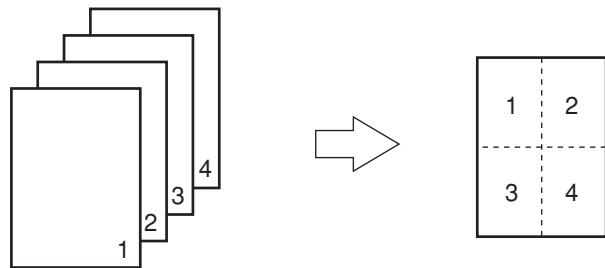
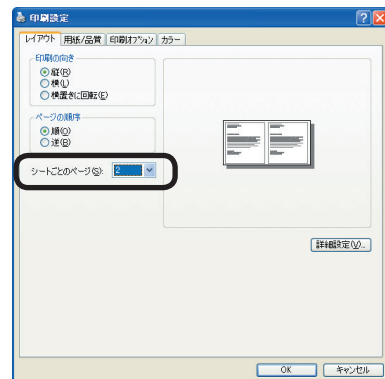
メモ

Mac OS X 10.5 ～ 10.6 で、[プリント] ダイアログに [プリンタオプション] が表示されない場合は、[プリンタ] ポップアップメニュー横にある [▼] ボタンをクリックしてください。

4 便利な印刷機能

- この章では、Windows では［ワードパッド］、Macintosh では［SimpleText］、Mac OS X では［テキストエディット］を例にしています。
- アプリケーションにより画面や手順が異なる場合があります。
- プリンタドライバやユーティリティの各設定項目の詳しい説明は「オンラインヘルプ」をご覧ください。
- プリンタドライバやユーティリティのバージョンアップにより、本書の記載が異なる場合があります。

複数ページを 1 枚に印刷したい

複数ページのデータを 1 枚の用紙に縮小して印刷できます。

- この機能はデータを縮小して印刷する機能なので、用紙の中央が正確に合わない場合があります。
- Windows PCL プリンタドライバではとじ代も設定できます。
- アプリケーションによっては利用できない場合があります。

Windows PS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹［レイアウト］タブの［シートごとのページ］を選択します。

Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008 をお使いの方は、必要に応じて、「境界線を引く」を設定します。また「詳細設定」-「シートごとのページレイアウト」でページ配置を変更することもできます。

Windows PCL/XPS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹［設定］タブの［レイアウトタイプ］で［n-up］（n は 1 枚に印刷するページ数）を選択します。

❺［詳細設定］をクリックし、必要に応じて［枠線］、［ページ配置］、［とじ代］を設定します。とじ代は上下左右に 0 ～ 30mm まで設定できます。

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

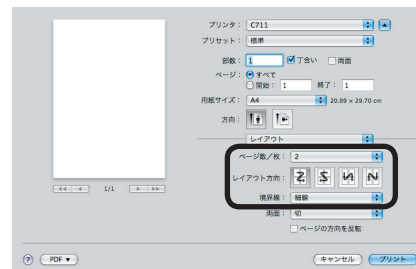
❸ [レイアウト] パネルの [ページ割り付け]、[レイアウト方向]、[枠線] を選択します。

ページ割り付け

割り付けるページ数、配置を選択します。
必ず [2ページ分]、[4ページ分] …を選択してください。[4(縦方向)]、[6(縦方向)] …は選択しないでください。

枠線

各ページを枠線で囲むことができます。

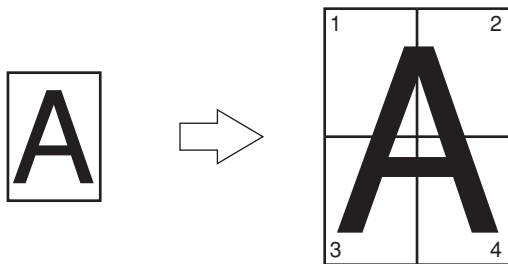
Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

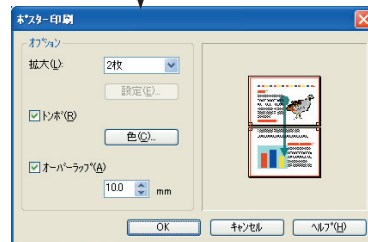
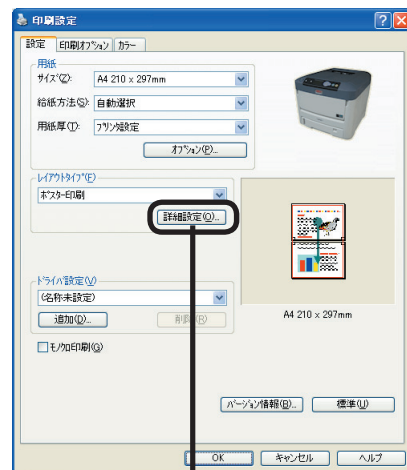
❷ [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❸ [レイアウト] パネルの [ページ数 / 枚]、[レイアウト方向]、[境界線] を選択します。

Mac OS X 10.5 ～ 10.6 で、[プリント] ダイアログに [プリンタオプション] が表示されない場合は、[プリンタ] ポップアップメニュー横にある [▼] ボタンをクリックしてください。

複数枚に拡大して印刷したい（ポスター印刷）

元のデータを拡大し、複数枚の用紙に分割して印刷できます。

- Windows PCL, XPS プリンタドライバで利用できます。
- NetBEUI または IPP でネットワークに接続している場合には、ポスター印刷を利用できません。
- ネットワーク共有でプリントサーバを作成し、クライアント側から暗号化認証印刷機能を使用して印刷する場合には、ポスター印刷を利用できません。
- PCL プリンタドライバで［ポスター印刷］が動作しない場合は、［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダの［OKI C711(PCL)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］-［詳細設定］-［プリントプロセッサ］で［MLLAPP3］を選択してください。

Windows PCL/XPS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹［設定］タブの［レイアウトタイプ］で［ポスター印刷］を選択します。

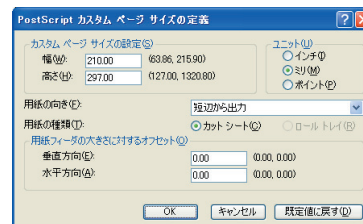
❺［詳細設定］をクリックし、必要に応じて［拡大］、［トンボ］、［オーバーラップ］などを設定できます。

任意の用紙サイズに印刷したい（カスタムページ・長尺印刷）

独自の用紙サイズを設定して通常の用紙サイズと同じように使用できます。

［設定できるサイズ］
幅　：64 ～ 215.9mm
長さ：127 ～ 1320.8mm
［用紙カセットから給紙できるサイズ］
幅　：148 ～ 215.9mm
長さ：210 ～ 356mm
［両面印刷できるサイズ］
幅　：148 ～ 215.9mm
長さ：210 ～ 356mm

- 長さが 356mm を超える用紙の印刷（長尺印刷）は、フェイスアップで排出してください。
- 用紙サイズは縦長に設定し、プリンタにセットしてください。
- アプリケーションによっては利用できない場合があります。
- 長さが 356mm を超える用紙の印刷品位は保証できません。
- マルチパーパストレイから給紙する場合、用紙サポータでサポートしきれない長さの用紙は手で支えてください。
- 用紙カセット（トレイ 1 ～ 3）から給紙する場合は、プリンタ本体の「メニュー」の「用紙サイズ」を「カスタム」に設定する必要があります。
- PS プリンタドライバで大きなサイズの用紙で正しく印刷されない場合は、［印刷品位］で「ふつう」を設定すると正しく印刷できる場合があります。
- 幅が 100mm 未満の用紙は紙づまりの原因になりますので、保証できません。
- 「給紙オプション」画面の［自動トレイ切り替え］は、初期設定では有効（チェック有り）になっています。印刷中に用紙が無くなると、別トレイから給紙することがあります。カスタムサイズ用紙を特定のトレイのみから印刷するときは、無効（チェックを外す）にしてください。

Windows PS プリンタドライバをお使いの方

❶ Windows 7/Windows Server 2008 R2 では、［スタート］-［デバイスとプリンター］を選択します。
Windows Vista/Windows Server 2008 では、［スタート］-［コントロールパネル］-［コントロールパネルホーム］から［ハードウェアとサウンド］の［プリンタと FAX］を選択します。
Windows XP では、［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタと FAX］を選択します。
Windows Server 2003 では、［スタート］-［プリンタと FAX］を選択します。
Windows 2000 では、［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷ ［OKI C711(PS)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［印刷設定］を選択します。

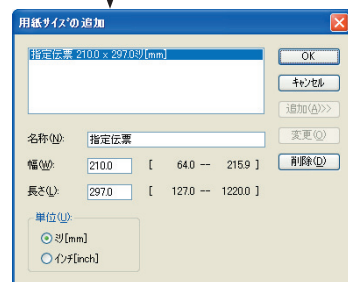
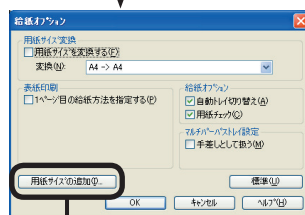
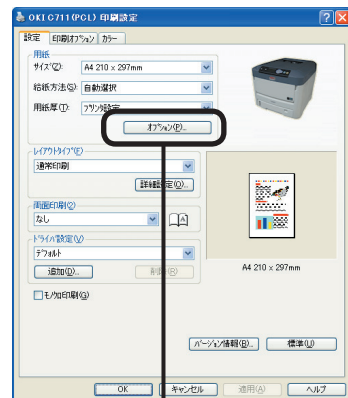
❸ ［レイアウト］タブの［詳細設定］をクリックします。

❹ ［用紙サイズ］で［PostScript カスタムページサイズ］を選択します。

❺ 「PostScript カスタムページサイズの定義」画面で［幅］と［高さ］を入力します。

❻ ［OK］をクリックします。

［用紙フィーダの大きさに対するオフセット］の設定はできません。

Windows PCL プリンタドライバをお使いの方

❶ Windows 7/Windows Server 2008 R2 では、[スタート] - [デバイスとプリンター] を選択します。
Windows Vista/Windows Server 2008 では、[スタート] - [コントロールパネル] - [コントロールパネルホーム] から [ハードウェアとサウンド] の [プリンタと FAX] を選択します。
Windows XP では、[スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [プリンタと FAX] を選択します。
Windows Server 2003 では、[スタート] - [プリンタと FAX] を選択します。
Windows 2000 では、[スタート] - [設定] - [プリンタ] を選択します。

❷ [OKI C711(PCL)] アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[印刷設定] を選択します。

❸ [設定] タブの [オプション] をクリックします。

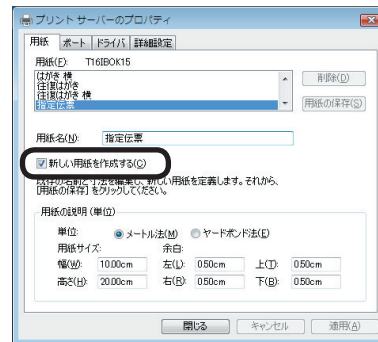
❹「給紙オプション」画面で [用紙サイズの追加] をクリックします。

❺「用紙サイズの追加」画面で [名称]、[幅]、[長さ] を入力します。

❻ [追加] をクリックします。

メモ

作成した用紙は、[設定] タブの [サイズ] リストの下の方に表示されます。合計 32 個まで定義できます。

Windows XPS プリンタドライバをお使いの方

❶ Windows 7/Windows Server 2008 R2 では、[スタート] - [デバイスとプリンター] を選択します。
Windows Vista/Windows Server 2008 では、[スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタ] を選択します。

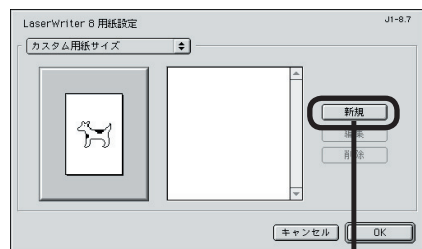
❷ プリンタアイコンを選択しないで、右ボタンでクリックして、[管理者として実行] - [サーバーのプロパティ] を選択します。

❸ [ユーザー アカウント制御] が表示されたら、[続行] をクリックします。

❹ [プリントサーバーのプロパティ] の [用紙] タブを選択します。

❺ [新しい用紙を追加する] にチェックをつけ、[用紙名]、[用紙サイズ]、[余白] を入力します。

❻ [用紙の保存] をクリックします。

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

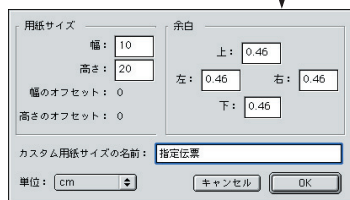
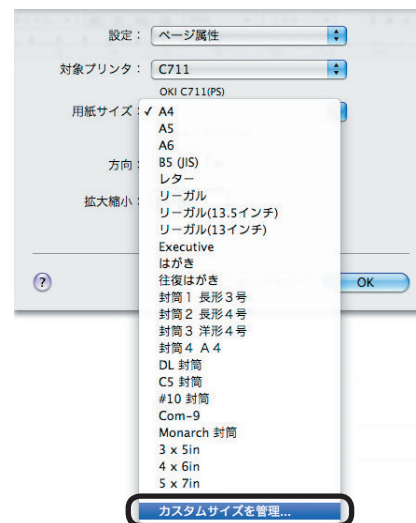
❷ ［ファイル］メニューの［用紙設定］を選択します。

❸ ［カスタム用紙サイズ］パネルで［新規］をクリックし、［幅］と［高さ］、［カスタム用紙サイズの名前］を入力します。

余白

上下左右の余白を設定します。

❹ ［OK］をクリックします。

作成した用紙は、［ページ属性］パネルの［用紙］リストの下の方に表示されます。

Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

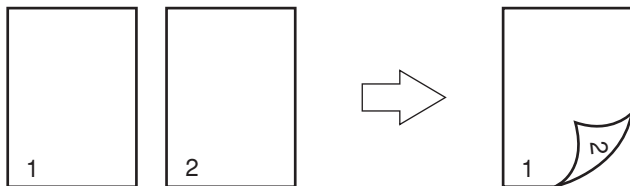
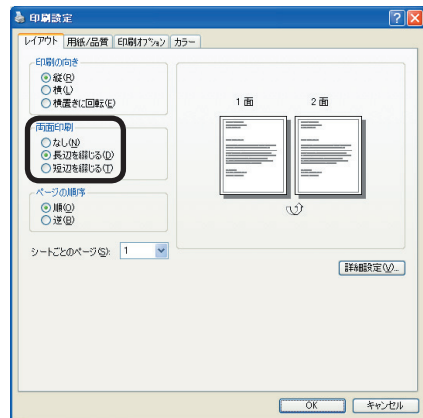
❸ ［用紙サイズ］で［カスタムサイズを管理］を選択します。（Mac OS X 10.4 未満では［設定］で［カスタム用紙サイズ］をクリックします。）

❹「カスタム・ページ・サイズ」画面で［+］をクリックし（Mac OS X 10.4 未満では［新規］をクリック）、［カスタム用紙サイズの名前］、［幅］、［高さ］を入力します。

❺ ［OK］（Mac OS X 10.4 未満では［保存］）をクリックします。

作成した用紙は［ページ属性］パネルの［用紙サイズ］リストの下の方に表示されます。

両面印刷したい

用紙の両面に印刷することができます。
両面印刷できる用紙サイズは A4、A5、B5、レター、リーガル(13 インチ)、リーガル(13.5 インチ)、リーガル(14 インチ)、エグゼクティブおよびカスタムサイズです。A6 用紙は使用できません。
両面印刷できるカスタムサイズの幅と長さの範囲については、「任意の用紙サイズに印刷したい(カスタムページ・長尺印刷)」(93 ページ)をご覧ください。
両面印刷できる用紙の厚さは、連量 55kg～189kg(64～220g/m^2)です。それ以外の厚さでは紙づまりの原因になりますので使えません。

アプリケーションによっては利用できない場合があります。

Windows PS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。(Windows 2000 では、この操作は必要ありません。)

❹［レイアウト］タブの［両面印刷］で［長辺を綴じる］または［短辺を綴じる］を選択します。

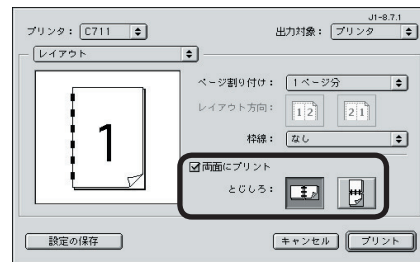
Windows PCL/XPS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

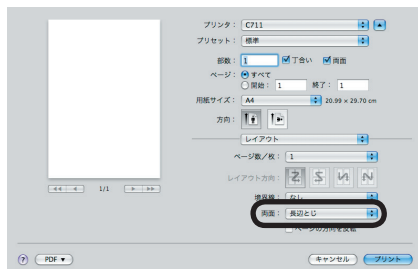
❸［詳細設定］をクリックします。(Windows 2000 では、この操作は必要ありません。)

❹［設定］タブの［両面印刷］で［長辺とじ］または［短辺とじ］を選択します。

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［レイアウト］パネルの［両面にプリント］にチェックを付け、［とじしろ］のアイコンを選択します。

Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［レイアウト］パネルの［両面］で［長辺とじ］または［短辺とじ］を選択します。

メモ Mac OS X 10.5 ～ 10.6 で、［プリント］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、［プリンタ］ポップアップメニュー横にある［▼］ボタンをクリックしてください。

モノクロ(白黒)の印刷速度を変更したい

プリンタの操作パネルでモノクロ印刷速度を設定します。

❶ ボタンを数回押して［管理者用メニュー］を選択し、設定ボタンを押します。

❷ パスワード入力画面になるので、ボタンまたはボタンで 1 桁目の英小文字、または数字を選択し、設定ボタンを押します。次の桁に移るので、同様の手順で入力します。

メモ パスワードの初期値は「aaaaaa」です。

最後に 設定ボタンを押します。

❸ ボタンまたはボタンを押して［印刷設定］を選択し、設定ボタンを押します。

❹ ボタンを数回押して［モノクロ印刷速度］を選択し、設定ボタンを押します。

❺ ボタンまたはボタンを押して、設定したい速度を選択し、設定ボタンを押します。

設定した速度の左側に * が付きます。

❻ オンラインボタンを押し、［印刷できます］を表示します。

〈「自動」の場合〉

印刷速度をバランス良く制御します。通常は「自動」のままご利用ください。

〈「普通印刷速度」の場合〉

モノクロページを大量に印刷する場合に適しています。
モノクロページは常にカラー（YMC）イメージドラムを止めて印刷しますので、高速印刷が可能です。ただし、モノクロページとカラーページの切り替わり目ではカラー（YMC）イメージドラムを再開 / 停止するための待ち時間が必要ですので、モノクロページとカラーページが混在する印刷ジョブでは、印刷時間が長くなる傾向があります。

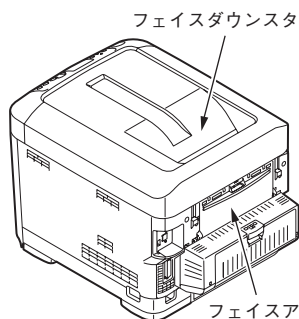
〈「カラー印刷速度」の場合〉

カラーページを大量に印刷する場合に適しています。
全てのページを常にカラー（YMC）イメージドラムを動かして印刷しますので、カラーページとモノクロページが混在する印刷ジョブでも、待ち時間が必要ありません。
ただし、カラー（YMC）イメージドラムの寿命が短くなります。

ページ順に取り出したい

複数ページの文書を印刷するとき、ページ順で取り出せます。
二通りの方法があります。

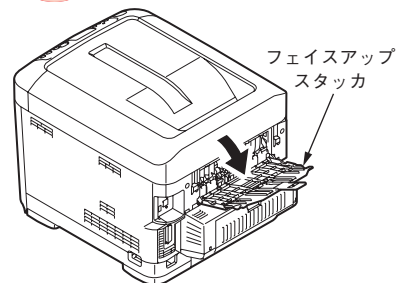
フェイスダウンスタッカに排出する

印刷面が下になって排出されます。

❶ プリンタ背面のフェイスアップスタッカが閉じていることを確認します。

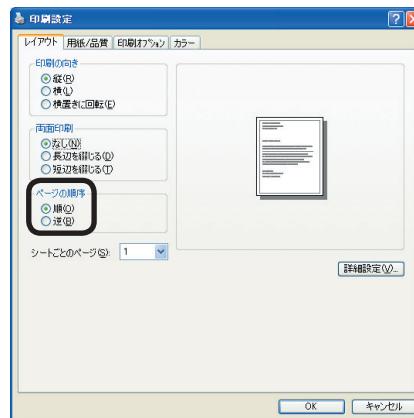
注 連量が 162 〜 215kg（189 〜 250g/m^2）の用紙、A6 サイズ、長さが 420mm を超える用紙、長さが 210 ミリ未満の用紙、はがき、封筒、ラベル紙は必ずフェイスアップスタッカを開いてフェイスアップで排出してください。

フェイスアップスタッカを使い、逆順に印刷する

印刷面が上になって排出されます。

Windows PCL/XPS プリンタドライバ、Macintosh プリンタドライバ、Mac OS X プリンタドライバでは利用できません。

❶ プリンタ背面のフェイスアップスタッカを開きます。

❷ 用紙サポータを開きます。

Windows PS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ ［レイアウト］タブの［ページの順序］で［逆］を選択します。

［ページの順序］項目が表示されない場合は、［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダの［OKI C711(PS)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］-［詳細設定］タブで［詳細な印刷機能を有効にする］にチェックを付けてください。

トレイを自動的に選択したい

プリンタドライバで設定した用紙サイズに一致するトレイ（トレイ 1、トレイ 2(オプション)、トレイ 3(オプション)、マルチパーパストレイ）を自動的に選択して印刷できます。

- 必ず用紙サイズダイヤルでトレイ 1 、トレイ 2 （オプション)、トレイ 3(オプション)の用紙サイズを設定してください。マルチパーパストレイの場合は、操作パネルで用紙サイズを設定してください。詳しくは「印刷します」(セットアップ編) をご覧ください。
- ［マルチパーパストレイ設定］の［トレイの使い方］の初期値は、［使用しない］になっています。この場合、マルチパーパストレイは自動トレイ選択の対象になりません。

1 操作パネルでマルチパーパストレイの使い方を設定します。

❶ ボタンを数回押して［メニュー］を選択し、 設定ボタンを押します。

❷［トレイ構成］が選択されているので、 設定ボタンを押します。

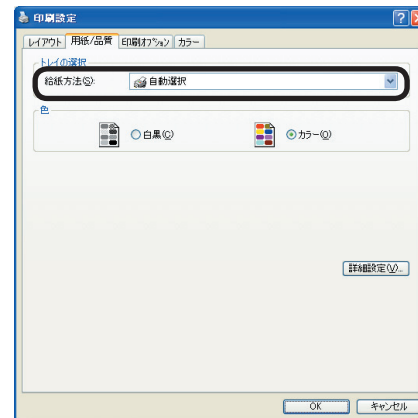
❸ ボタンを数回押して［マルチパーパストレイ設定］を選択し、 設定ボタンを押します。

❹ ボタンを数回押して［トレイの使い方］を選択し、 設定ボタンを押します。

❺ ボタンを数回押して［用紙違いの時］を選択し、 設定ボタンを押します。

❻ オンラインボタンを押し、［印刷できます］を表示します。

2 プリンタドライバで［給紙方法］を設定します。

Windows PS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。(Windows 2000 では、この操作は必要ありません。)

❹［用紙 / 品質］タブの［給紙方法］で［自動選択］を選択します。

Windows PCL/XPS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

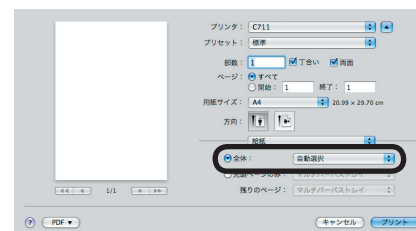
❹［設定］タブの［給紙方法］で［自動選択］を選択します。

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［一般設定］パネルの［給紙元］で［全体］、［自動選択］を選択します。

Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［給紙］パネルで［全体］、［自動選択］を選択します。

メモ

Mac OS X 10.5 ～ 10.6 で、［プリント］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、［プリンタ］ポップアップメニュー横にある［▼］ボタンをクリックしてください。

4 トレイを自動的に選択したい

表紙のみ別のトレイから給紙したい（表紙印刷）

複数ページの印刷ジョブで1ページ目を別のトレイから給紙できます。1ページ目の用紙の色や厚さを変えて表紙などを作成する場合に使用します。

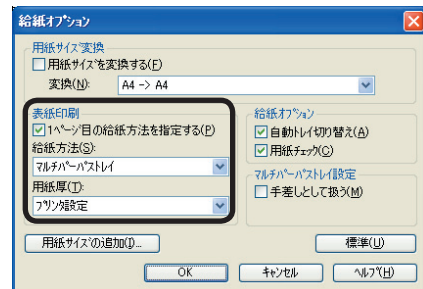
Windows PS プリンタドライバでは利用できません。

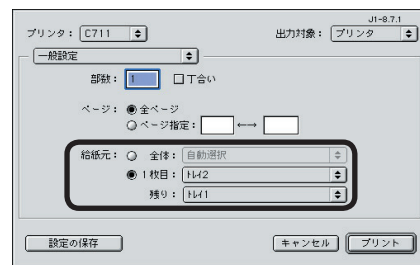
Windows PCL/XPS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

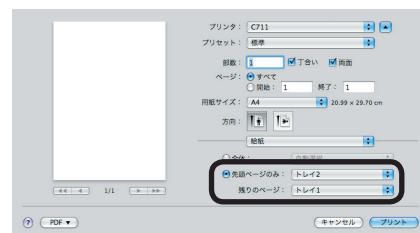
❸［詳細設定］をクリックします。（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹［設定］タブの［オプション］をクリックします。

❺［表紙印刷］の［1ページ目の給紙方法を指定する］にチェックを付け、［給紙方法］をメニューから選択します。必要に応じて用紙厚を設定します。

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［一般設定］パネルの［給紙元］で［1枚目］のラジオボタンをクリックし、［1枚目］と［残り］のメニューからそれぞれの給紙方法を選択します。

Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［給紙］パネルで［先頭ページのみ］をチェックし、［先頭ページのみ］と［残りのページ］のメニューからそれぞれの給紙方法を選択します。

Mac OS X 10.5 ～ 10.6 で、［プリント］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、［プリンタ］ポップアップメニュー横にある［▼］ボタンをクリックしてください。

同じ用紙サイズを大量に印刷したい

トレイ 1、トレイ 2（オプション）、トレイ 3（オプション）、マルチパーパストレイに同じ用紙をセットしている場合に、印刷中のトレイの用紙がなくなったら、他のトレイから継続して印刷することができます。

- 必ず用紙サイズダイヤルで用紙カセットの用紙サイズを合わせ、操作パネルで、用紙カセットのメディアウェイト、メディアタイプと、マルチパーパストレイの用紙サイズ、メディアウェイト、メディアタイプを一致させてください。詳しくは「印刷します」（セットアップ編）をご覧ください。
- ［マルチパーパストレイ設定］の［トレイの使い方］の初期値は、［使用しない］になっています。この場合、マルチパーパストレイは自動トレイ切り替えの対象になりません。

1 操作パネルでマルチパーパストレイの使い方を設定します。

❶ ボタンを数回押して［メニュー］を選択し、設定ボタンを押します。

❷［トレイ構成］が選択されているので、設定ボタンを押します。

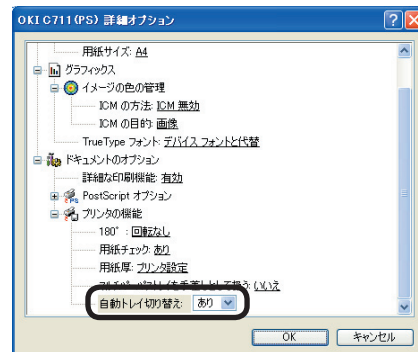
❸ ボタンを数回押して［マルチパーパストレイ設定］を選択し、設定ボタンを押します。

❹ ボタンを数回押して［トレイの使い方］を選択し、設定ボタンを押します。

❺ ボタンを数回押して［用紙違いの時］を選択し、設定ボタンを押します。

❻ オンラインボタンを押し、［印刷できます］を表示します。

2 プリンタドライバで［自動トレイ切り替え］を設定します。

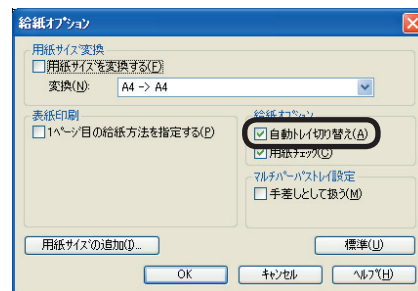
Windows PS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹［レイアウト］タブの［詳細設定］をクリックします。

❺［自動トレイ切り替え］で［あり］を選択します。

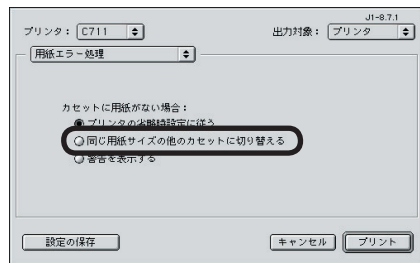
Windows PCL/XPS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

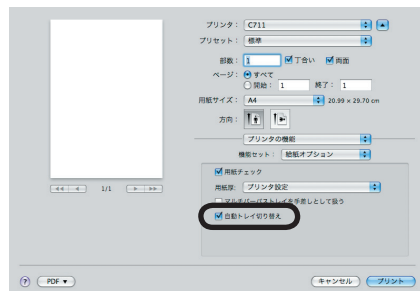
❹［設定］タブの［オプション］をクリックします。

❺［自動トレイ切り替え］にチェックを付けます。

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❸ [用紙エラー処理] パネルの [カセットに用紙がない場合] で [同じ用紙サイズの他のカセットに切り替える] を選択します。

Mac OS X 10.5 〜 10.6 プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❸ [プリンタの機能] パネルの [給紙オプション] 機能パネルの [自動トレイ切り替え] にチェックを付けます。

メモ Mac OS X 10.5 〜 10.6 で、[プリント] ダイアログに [プリンタオプション] が表示されない場合は、[プリンタ] ポップアップメニュー横にある [▼] ボタンをクリックしてください。

Mac OS X 10.3 〜 10.4 プリンタドライバをお使いの方

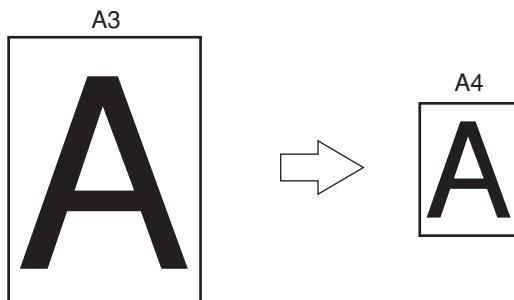
❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❸ [エラー処理] パネルの [トレイの切り替え] で [同じ用紙サイズの別のカセットに切り替える] を選択します。

目次へ 戻る 前へ 次へ 索引へ 検索する

用紙サイズを変更したい

印刷データに手を加えることなく、異なる用紙サイズに印刷できます。

- アプリケーションによっては正常に動作しない場合があります。
- Windows PS プリンタドライバ、Macintosh プリンタドライバ、Mac OS X プリンタドライバでは利用できません。

Windows PCL/XPS プリンタドライバをお使いの方

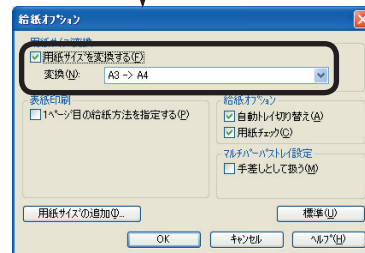
❶ 印刷したいファイルを開きます。

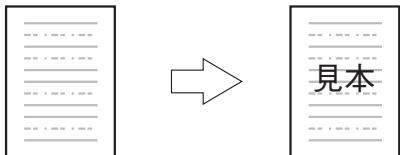
❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

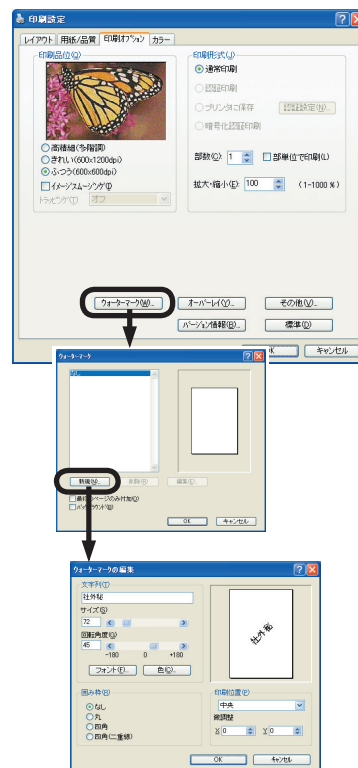
❸［詳細設定］をクリックします。（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹［設定］タブの［サイズ］で編集する用紙サイズを選択します。

❺［オプション］をクリックします。

❻［用紙サイズを変換する］にチェックを付け、［変換］で印刷したい用紙サイズを選択します。

ウォーターマークを印刷したい（スタンプ印刷）

アプリケーションから印刷される内容とは独立して「見本」や「社外秘」などの文字を重ね印刷できます。

Macintosh プリンタドライバ、Mac OS X プリンタドライバでは利用できません。

Windows プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹［印刷オプション］タブの［ウォーターマーク］をクリックします。

❺［新規］をクリックします。

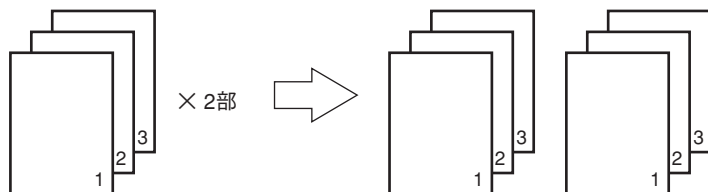
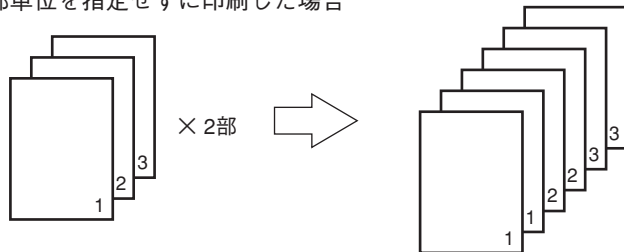
❻「ウォーターマークの編集」画面で［文字列］を入力し［サイズ］他を選択します。

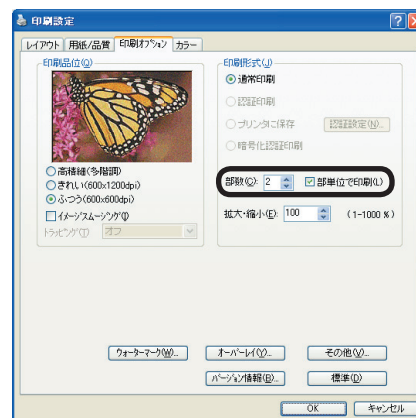
❼［OK］をクリックします。

- PS プリンタドライバの場合、初期設定ではウォーターマークは書類中の文字や図形の上に重なって印刷されます。文字や図形の下にウォーターマークを印刷したい場合は、［ウォーターマーク］タブで［バックグラウンド］にチェックします。
- ［バックグラウンド］にチェックをすると、アプリケーションによってはウォーターマークが印刷されないことがあります。この場合は、［バックグラウンド］のチェックを外してください。
- 小冊子印刷では、ウォーターマークは正しく印刷されません。

文書を部単位で印刷したい（丁合印刷）

印刷ジョブをプリンタのメモリに蓄えて部単位で印刷することができます。

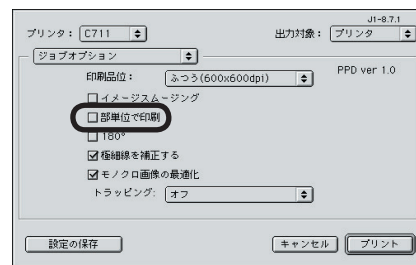
部単位を指定して印刷した場合

部単位を指定せずに印刷した場合

- PS、XPS プリンタドライバを利用する場合、アプリケーションの部単位印刷機能はオフにしてください。
- 印刷ジョブを蓄えるメモリの容量が不足した場合、「丁合印刷エラーです／オンラインボタンを押してください」を表示します。「オンライン」ボタンを押すとワーニング表示は消えます。プリンタにオプションの SD メモリーカードが装着されていると、メモリが不足しても SD メモリーカードに蓄えて印刷します。
- Macintosh プリンタドライバ、Mac OS X プリンタドライバではプリンタのメモリを利用しないで印刷することもできます。
- アプリケーションによっては利用できない場合があります。

Windows プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

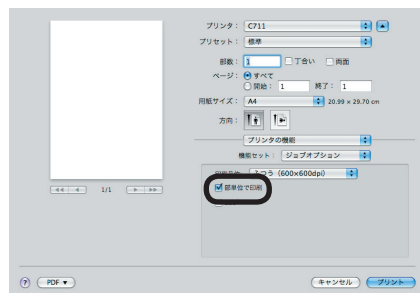
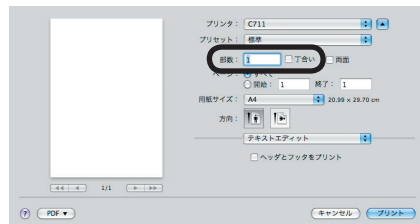
❹ ［印刷オプション］タブで［部数］に印刷部数を入力し、［部単位で印刷］にチェックを付けます。

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［一般設定］パネルの［部数］に印刷部数を入力し、［ジョブオプション］パネルの［部単位で印刷］にチェックを付けます。

［一般設定］パネルの［丁合い］にチェックを付けるとプリンタのメモリを利用しないで印刷します。

Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❸ [印刷部数と印刷ページ] パネルの[丁合い]のチェックを外し、[部数] に印刷部数を入力し、[プリンタの機能] パネルの [ジョブオプション] 機能セットで [部単位で印刷] にチェックを付けます。

メモ　[印刷部数と印刷ページ]パネルの[丁合い]にチェックを付けると、プリンタのメモリを利用しないで印刷します。

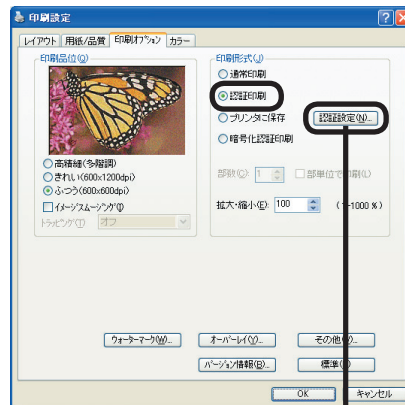
メモ　Mac OS X 10.5 ～ 10.6 で、[プリント] ダイアログに [プリンタオプション] が表示されない場合は、[プリンタ] ポップアップメニュー横にある [▼] ボタンをクリックしてください。

パスワードを入力してから印刷したい（認証印刷）

印刷ジョブをプリンタの SD メモリーカードに蓄えて、プリンタの操作パネルでパスワードを入力してから印刷することができます。

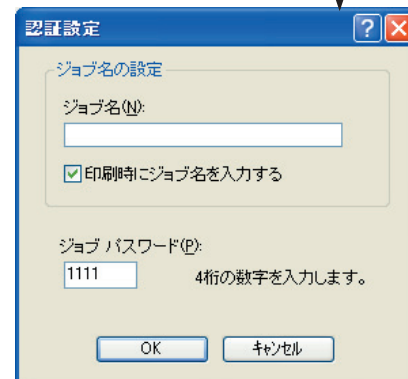
- プリンタに SD メモリーカード（オプション）が装着されている場合に利用できます。
- 印刷ジョブを蓄える SD メモリーカードの容量が不足した場合、［ファイルシステムがいっぱいです］を表示します。
- プリンタドライバで SD メモリーカードを取り付けたことをあらかじめ設定しておく必要があります。詳しくは「1　プリンタを設置します」(セットアップ編) の「SD メモリーカード」をご覧ください。
- Windows XPS プリンタドライバでは利用できません。
- Mac OS X プリンタドライバでは利用できません。

1 アプリケーションから印刷します。

Windows PS/PCL プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

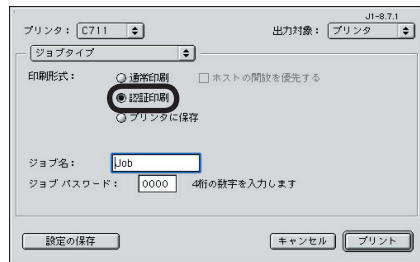
❹［印刷オプション］タブの［印刷形式］で［認証印刷］を選択します。

❺「認証設定」画面で「ジョブ名」、「ジョブパスワード」を入力し、［OK］をクリックします。

印刷時にジョブ名を入力する
印刷をかけると、ジョブ名を入力する画面がでるようになります。

ジョブパスワード
4 桁の数字で設定します。

❻ 印刷します。
［印刷時にジョブ名を入力する］にチェックした場合、「ジョブ名入力」画面で「ジョブ名」を入力し、［OK］をクリックします。

ジョブ名
最大 16 文字までの半角英数字で設定します。

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［ジョブタイプ］パネルの［印刷形式］で［認証印刷］を選択し、［ジョブ名］、［ジョブパスワード］を入力します。

❹［設定の保存］をクリックし、確認メッセージが表示されたら［OK］をクリックします。

❺ 印刷します。

2 プリンタの操作パネルからパスワードを入力します。

❶ ボタンを数回押して［認証印刷］を選択し、「設定」ボタンを押します。

❷ ボタンを数回押して［保存ジョブ］を選択し、「設定」ボタンを押します。

❸ パスワード入力画面になりますので、パスワードを入力します。

❹［保存ジョブ］で［印刷実行 / 削除］が表示されるので、印刷する場合は印刷実行を選択します。

認証印刷ジョブの印刷が行われます。

メモ

- パスワードを誤って入力した場合は、「戻る」ボタンを押し、設定しなおします。
- 印刷を行わない場合は、手順❹で ボタンで削除を選択します。

  ［実行しますか？　はい / いいえ］と表示されたら［はい］が選択されていることを確認し、「設定」ボタンを押すと、ジョブを削除できます。

  また、OKI ストレージデバイスマネージャを使ってもジョブを削除できます。

OKI ストレージデバイスマネージャ（Windows）でジョブを削除する方法

❶ ［スタート］-［すべてのプログラム］（Windows 2000 では［プログラム］）-［沖データ］-［OKI ストレージデバイスマネージャ］-［OKI ストレージデバイスマネージャ］を選択します。

❷「プリンタの検索」画面で、プリンタを接続しているポートを選択し、［開始］をクリックします。

❸［閉じる］をクリックします。

❹ 下のウィンドウでプリンタを選択し、［プリンタ］メニューから［保存ジョブの管理］を選択します。

❺［認証印刷ジョブ］にチェックが付いていることを確認し、［ユーザジョブの参照］を選択し、パスワードを入力し［パスワードの適用］をクリックします。
［全てのジョブの参照］を選択し、管理者パスワード（初期値は PASSWORD）を入力し、［管理者パスワードの適用］をクリックすると、プリンタに格納されているすべての認証印刷ジョブが表示されます。

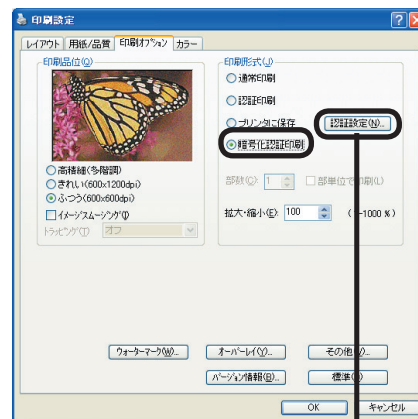
❻ リストから削除したいジョブを選択し、［削除］をクリックします。

❼ 完了画面で［OK］をクリックします。

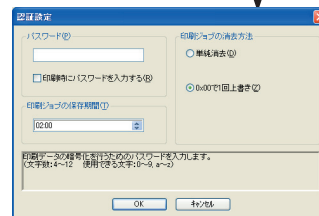
機密文書や大切な書類を印刷したい（暗号化認証印刷）

印刷ジョブを暗号化してからプリンタへ転送します。そのため、プリンタの通信過程や SD メモリーカードから印刷データを盗聴された場合でも、印刷内容の漏洩を防止することができます。またセキュリティをより強固にするため、SD メモリーカードに保存された印刷ジョブは、印刷されるか、一定期間が過ぎると自動的に削除されます。
プリンタの操作パネルでパスワードを入力してから印刷するため、印刷物の盗難を防止することもできます。

- Windows 7（64bit 版）/Windows Vista（64bit 版）/Windows Server 2008 R2 /Windows Server 2008（64bit 版）/Windows XP（x64 版）/Windows Server 2003（x64 版）プリンタドライバ、Windows XPS プリンタドライバ、Macintosh プリンタドライバ、Mac OS X プリンタドライバでは利用できません。
- Windows PCL プリンタドライバにおいて、ネットワーク共有でプリントサーバを作成し、クライアント側から暗号化認証印刷機能を使用して印刷する場合は、EMF 形式で保存できないのでポスター印刷及び、製本印刷を行う事はできません。
- プリンタに SD メモリーカード（オプション）が装着されている場合に利用できます。
- 印刷ジョブを保存する SD メモリーカードの容量が不足した場合、［ファイルシステムがいっぱいです］を表示します。
- プリンタドライバで SD メモリーカードを取り付けたことをあらかじめ設定しておく必要があります。詳しくは「1 プリンタを設置します」（セットアップ編）の「SD メモリーカード」をご覧ください。
- 暗号化認証印刷を利用する際は、［ホストの開放を優先する］を無効にしてください。詳しくは「コンピュータの開放を早くしたい（バッファ印刷）」（114 ページ）をご覧ください。

1 暗号化認証印刷を指定し、印刷します。

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［詳細設定］をクリックします。（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❸［印刷オプション］タブの［印刷形式］で［暗号化認証印刷］を選択します。

（Windows XP PS プリンタドライバの画面）

❹「認証設定」画面で「パスワード」を入力し、［OK］をクリックします。

パスワード
4 桁～ 12 桁の英数小文字で設定します。

印刷時にパスワードを入力する
印刷時にコンピュータ上に、パスワードを入力する画面がでるようになります。

印刷ジョブの保存期間
プリンタの SD メモリーカードに印刷ジョブの保存する期間を 5 分～ 23 時間 59 分の間で設定します。保存期間を過ぎた印刷ジョブは、自動的に SD メモリーカードより削除されます。

印刷ジョブの消去方法
SD メモリーカードから印刷ジョブを削除する時の方法を指定します。

単純消去
印刷ジョブをファイルシステムより削除します。この削除方法は、SD メモリーカードから印刷ジョブを復元される恐れがありますが、もっとも短時間で削除されます。

0x00 で 1 回上書き
特定データで 1 回上書きした後、印刷ジョブを削除します。単純消去に比べ安全な消去方法ですが、特殊な方法で印刷ジョブを復元される恐れがあります。

❺ 印刷します。

［印刷時にパスワードを入力する］にチェックした場合、「認証設定」画面で「パスワード」を入力し、［OK］をクリックします。

2 プリンタの「操作パネル」からパスワードを入力し、印刷します。

❶ ボタンを数回押して［認証印刷］を選択し、「設定」ボタンを押します。

❷ ボタンを数回押して［暗号ジョブ］を選択し、「設定」ボタンを押します。

❸ パスワード入力画面になりますので、パスワードを入力します。

❹［暗号ジョブ］で［印刷実行 / 削除］が表示されるので、印刷する場合は印刷実行を選択します。

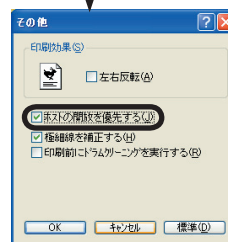
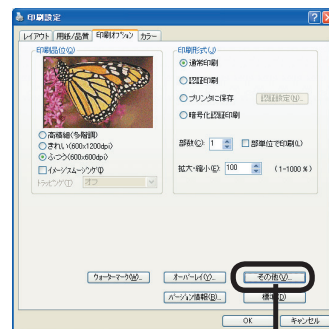
暗号化認証印刷ジョブの印刷が行われます。

- パスワードを誤って入力した場合は、「戻る」ボタンを押し、設定しなおします。
- 印刷を行わない場合は、手順❹で ボタンで削除を選択します。
  ［実行しますか？　はい / いいえ］と表示されたら［はい］が選択されていることを確認し、「設定」ボタンを押すと、ジョブを削除できます。
- 暗号化認証印刷を実行した後、印刷に使用されたファイルは、指定された消去方法で消去されます。ファイルの消去中は、［暗号化認証印刷ジョブを削除しています］のメッセージが表示されます。
- データの転送に失敗したり、データが改ざんされたことを検出した場合は、［無効な認証印刷データを受信しました／オンラインボタンを押してください］というメッセージを表示し、当該データを消去します。

コンピュータの開放を早くしたい（バッファ印刷）

印刷ジョブをプリンタの SD メモリーカードに蓄えて、大容量のジョブや複雑なジョブの処理からコンピュータを早く開放することができます。

- プリンタに SD メモリーカード（オプション）が装着されている場合に利用できます。
- 印刷ジョブを蓄える SD メモリーカードの容量が不足した場合、［ファイルシステムがいっぱいです］を表示します。
- プリンタドライバで SD メモリーカードを取り付けたことをあらかじめ設定しておく必要があります。詳しくは「1　プリンタを設置します」（セットアップ編）の「SD メモリーカード」をご覧ください。
- SD メモリーカードに「共通」パーティションが必要です。
- 保存しない場合と比較すると、印刷完了時間は遅くなります。
- Mac OS X プリンタドライバでは利用できません。
- Windows XPS プリンタドライバでは利用できません。

Windows PS/PCL プリンタドライバをお使いの方

（Windows XP PS プリンタドライバの画面）

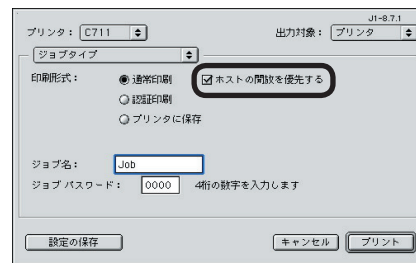
❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ ［印刷オプション］タブの［その他］をクリックします。

❺ ［ホストの開放を優先する］にチェックを付けます。

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［ジョブタイプ］パネルの［ホストの開放を優先する］にチェックを付けます。

❹ ［設定の保存］をクリックし、確認メッセージが表示されたら、［OK］をクリックします。

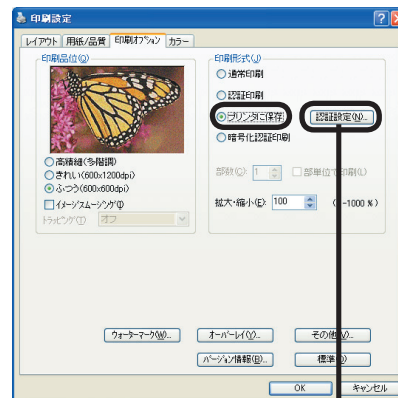
❺ 印刷します。

ジョブを保存して繰り返し印刷したい

印刷ジョブをプリンタの SD メモリーカードに保存し、プリンタの操作パネルでパスワードを入力して何度も繰り返しそのデータを印刷することができます。

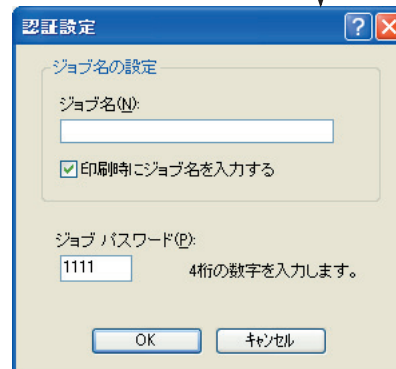
- プリンタに SD メモリーカード（オプション）が装着されている場合に利用できます。
- 印刷ジョブを保存する SD メモリーカードの容量が不足した場合、［ファイルシステムがいっぱいです］を表示します。
- プリンタドライバで SD メモリーカードを取り付けたことをあらかじめ設定しておく必要があります。詳しくは「1　プリンタを設置します」(セットアップ編)の「SD メモリーカード」をご覧ください。
- SD メモリーカードに「共通」パーティションが必要です。
- Mac OS X プリンタドライバでは利用できません。
- Windows XPS プリンタドライバでは利用できません。

1 印刷します。

Windows PS/PCL プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

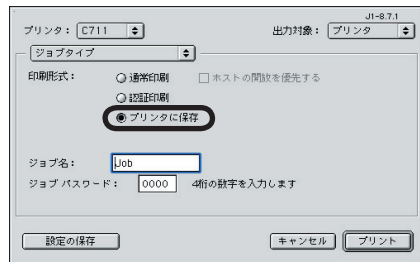
❹［印刷オプション］タブの［印刷形式］で［プリンタに保存］を選択します。

❺「認証設定」画面で「ジョブ名」、「ジョブパスワード」を入力し、［OK］をクリックします。

印刷時にジョブ名を入力する
印刷をかけると、ジョブ名を入力する画面がでるようになります。

ジョブパスワード
4 桁の数字で設定します。

❻ 印刷します。
［印刷時にジョブ名を入力する］にチェックした場合「ジョブ名入力」画面で「ジョブ名」を入力し、［OK］をクリックします。

ジョブ名
最大 16 文字までの半角英数字で設定します。

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［ジョブタイプ］パネルの［印刷形式］で［プリンタに保存］を選択し、［ジョブ名］、［ジョブパスワード］を入力します。

❹［設定の保存］をクリックし、確認メッセージが表示されたら［OK］をクリックします。

❺ 印刷します。

2 プリンタの操作パネルからパスワードを入力します。

❶ ボタンを数回押して［認証印刷］を選択し、「設定」ボタンを押します。

❷ ボタンを数回押して［保存ジョブ］を選択し、「設定」ボタンを押します。

❸ パスワード入力画面になりますので、パスワードを入力します。

❹［保存ジョブ］で［印刷実行 / 削除］が表示されるので、印刷する場合は印刷実行を選択します。

認証印刷ジョブの印刷が行われます。

メモ

- パスワードを誤って入力した場合は、「戻る」ボタンを押し、設定しなおします。
- 印刷を行わない場合は、手順❹で ボタンで削除を選択します。

  [実行しますか？　はい / いいえ] と表示されたら [はい] が選択されていることを確認し、「設定」ボタンを押すと、ジョブを削除できます。

  また、OKI ストレージデバイスマネージャを使ってもジョブを削除できます。

OKI ストレージデバイスマネージャ(Windows)でジョブを削除する方法

❶ [スタート]-[すべてのプログラム](Windows 2000 では[プログラム])-[沖データ]-[OKI ストレージデバイスマネージャ]-[OKI ストレージデバイスマネージャ] を選択します。

❷「プリンタの検索」画面で、プリンタを接続しているポートを選択し、[開始] をクリックします。

❸ [閉じる] をクリックします。

❹ 下のウィンドウでプリンタを選択し、[プリンタ] メニューから [保存ジョブの管理] を選択します。

❺ [認証印刷ジョブ] にチェックが付いていることを確認し、[ユーザジョブの参照] を選択し、パスワードを入力し [パスワードの適用] をクリックします。

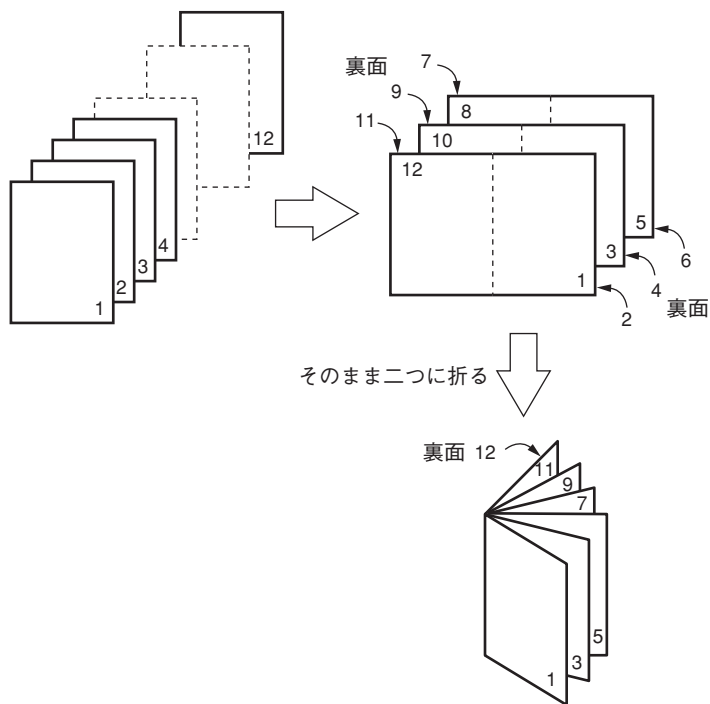
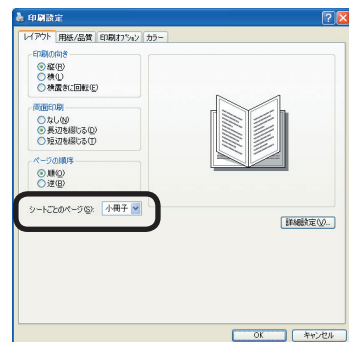
[全てのジョブの参照] を選択し、管理者パスワード（初期値は PASSWORD）を入力し、[管理者パスワードの適用] をクリックすると、プリンタに格納されているすべての認証印刷ジョブが表示されます。

❻ リストから削除したいジョブを選択し、[削除]をクリックします。

❼ 完了画面で [OK] をクリックします。

小冊子を作りたい（製本印刷）

パンフレットのような小冊子を作成できます。

- アプリケーションによっては正常に動作しない場合があります。
- Macintosh プリンタドライバ、Mac OS X プリンタドライバでは利用できません。

Windows PS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹［レイアウト］タブの［シートごとのページ］で［小冊子］を選択します。

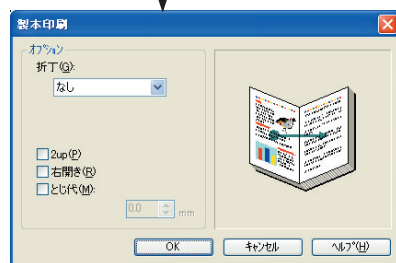
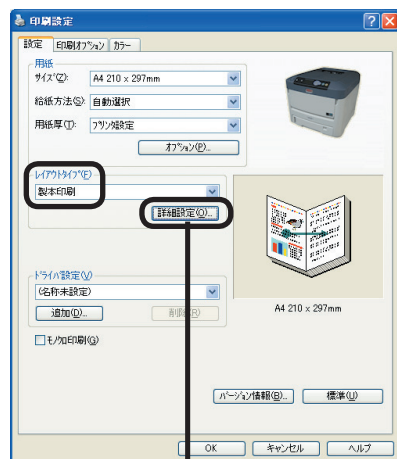
❺ Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008 をお使いの方は、必要に応じて、「境界線を引く」を設定します。

❻［詳細設定］をクリックし、［用紙サイズ］で実際に使用する用紙サイズを選択します。

- （例）A4 サイズの用紙を使用して A5 サイズの小冊子を作る場合［詳細設定］の［用紙サイズ］で［A4］を選択します。
- 右折の小冊子（1 ページ目を表にした時、右側が綴じ位置になる冊子）を作る場合、「詳細設定」の［小冊子綴じ］で［右の端］を選択します。
- ［小冊子綴じ］は、Windows XP/Windows Server 2003/Windows 2000 では利用できません。

- ［小冊子］印刷ができない場合は、［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダの［OKI C711 (PS)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］-［詳細設定］タブで［詳細な印刷機能を有効にする］にチェックを付けてください。
- ［小冊子］印刷では、ウォーターマークは正しく印刷できません。
- アプリケーション自身で PostScript データを生成する場合には、小冊子の指定は正常に動作しないことがあります。回避方法の有無はアプリケーションに依存します。お使いのアプリケーションのマニュアルをご確認ください。例えば Adobe Acrobat Professional または Adobe Reader では印刷ダイアログの詳細設定で、［画像として印刷］にチェックすることで小冊子の印刷が正常に動作するようになります。

Windows PCL/XPS プリンタドライバをお使いの方

- 以下の場合には、小冊子印刷を利用できません。
  - NetBEUI または IPP でネットワークに接続している場合
  - ネットワーク共有でプリントサーバを作成し、クライアント側から暗号化認証印刷機能を使用して印刷する場合
- PCL プリンタドライバで[製本印刷]が選択できない場合は、[プリンタと FAX]または[プリンタ]フォルダの［OKI C711(PCL)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ] - [詳細設定] - [プリントプロセッサ]で［MLLAPP3]を選択してください。

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹［設定]タブの[レイアウトタイプ]で［製本印刷］を選択します。

❺［詳細設定］をクリックし、必要に応じて［折丁]、[2up]、[右開き]、[とじ代］を設定します。

折丁
製本するページの単位です。

右開き
小冊子が右開きになるよう印刷します。

❻［設定］タブの［サイズ］で用紙サイズを選択し､［オプション］をクリックして［用紙サイズを変換する］にチェックを付けて、［変換］で該当する値を選択します。

（例）A4 サイズの用紙を使用して A5 サイズの小冊子を作る場合
［詳細設定］の［用紙サイズ］で［A4］を選択します。

4 小冊子を作りたい（製本印刷）

フォームを登録したい（フォームオーバーレイ）

プリンタに帳票、ロゴなどをフォームとして登録し、重ね合わせて印刷することができます。

- プリンタに SD メモリーカード（オプション）が装着されている場合に利用できます。
- Macintosh プリンタドライバ、Mac OS X プリンタドライバでは利用できません。
- OKI ストレージデバイスマネージャのセットアップについては、「ストレージデバイスマネージャ」（52 ページ）をご覧ください。
- Windows PS プリンタドライバではコンピュータの管理者の権限が必要です。
- Windows XPS プリンタドライバでは利用できません。
- ［Boot Menu］の［Job Limitation］が［Encrypted Job］に設定してある場合、フォームを登録することができません。［Boot Menu］の［Job Limitation］については、「操作パネルのメニュー一覧」（セットアップ編）の「Boot Menu」をご覧ください。

Windows PS プリンタドライバをお使いの方

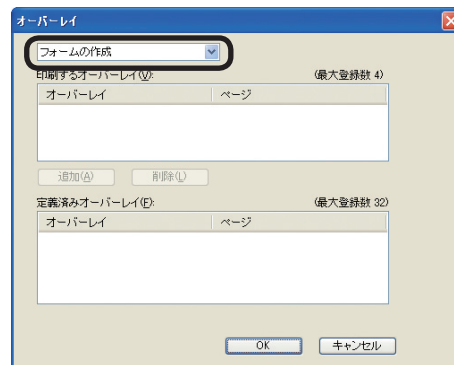
1 フォームを作成します。

❶［印刷先のポート］を［FILE:］にします。詳しくは、「印刷データをファイルに出力したい」（139 ページ）をご覧ください。

❷ アプリケーションを起動し、プリンタに登録したいフォームを作成します。

❸［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❺［印刷オプション］タブの［オーバーレイ］をクリックし、［フォームの作成］を選択します。

（Windows XP の画面）

❻ 印刷します。
保存するファイル名を入力し、保存先を選択します。

❼［印刷先のポート］を元に戻します。

2 OKI ストレージデバイスマネージャでフォームをプリンタに登録します。

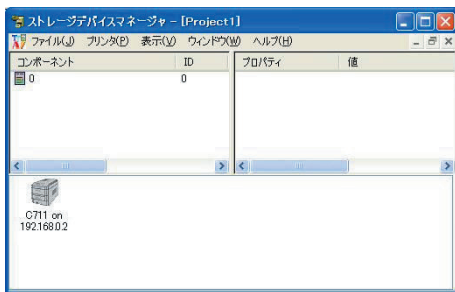
❶［スタート］-［すべてのプログラム］（Windows 2000 では［プログラム］）-［沖データ］-［OKI ストレージデバイスマネージャ］-［OKI ストレージデバイスマネージャ］を選択します。

❷「プリンタの検索」画面でプリンタを接続しているポートを選択し、［開始］をクリックします。

❸［閉じる］をクリックします。

❹［ファイル］メニューから［プロジェクトの新規作成］を選択します。

❺［ファイル］メニューの［プロジェクトへファイルの追加］を選択し、手順 1 で作成したフォームのファイルを選択します。

プロジェクトにフォームファイルが追加されます。

❻プロジェクトに追加したフォームファイルをダブルクリックし、「名前」を入力し、［OK］をクリックします。ボリューム、パス名は変更しないでください。

❼下のウインドウでプリンタを選択し、［ファイル］メニューから［プロジェクトの送信］を選択します。フォームファイルがプリンタに登録されます。

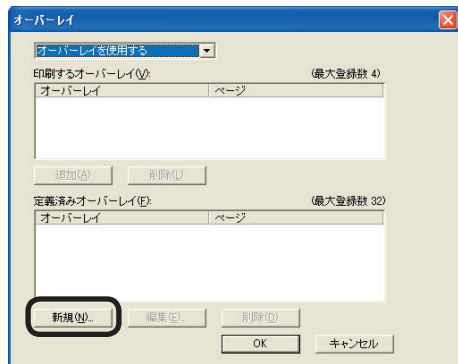
❽完了画面で［OK］をクリックします。

❾OKI ストレージデバイスマネージャを終了します。

3 プリンタドライバでオーバーレイを登録し、アプリケーションから印刷します。

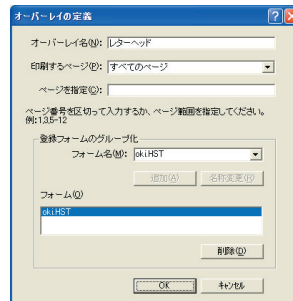
❶ Windows 7/Windows Server 2008 R2 では、[スタート] - [デバイスとプリンター] を選択します。
Windows Vista/Windows Server 2008では、[スタート]-[コントロールパネル] を選択し、[プリンタ] をクリックします。
Windows XP では、[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア] - [プリンタと FAX] を選択します。
Windows Server 2003 では、[スタート] - [プリンタと FAX] を選択します。
Windows 2000 では、[スタート] - [設定] - [プリンタ] を選択します。

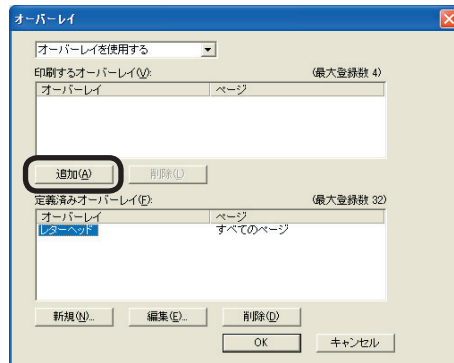
❷ [OKI C711(PS)] アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[印刷設定] を選択します。

❸ オーバーレイを使用する設定をします。
[印刷オプション] タブの [オーバーレイ] をクリックし、[オーバーレイを使用する] を選択します。

❹ [新規] をクリックします。

❺ [フォーム名] に OKI ストレージデバイスマネージャで登録したフォーム名を入力し、[追加] をクリックします。

❻ [オーバーレイ名] を入力し、[印刷するページ] でそのオーバーレイを適用するページを選択します。ページを指定して適用する場合は、「ユーザページ設定」を選択し、[ページを指定] に適用するページを入力します。

メモ　オーバーレイは、フォームのグループです。1 つのオーバーレイに 3 つのフォームを登録することができます。フォーム、オーバーレイは登録した順に重ね合わされます。

❼ [OK] をクリックします。

❽ 定義したオーバーレイの中から印刷に使用するオーバーレイを選択し、[追加] をクリックします。

❾ 印刷します。

Windows PCL プリンタドライバをお使いの方

1 フォームを作成します。

❶［印刷先のポート］を［FILE:］にします。詳しくは「印刷データをファイルに出力したい」（139 ページ）をご覧ください。

❷ アプリケーションでプリンタに登録したいフォームを作成します。

❸ 印刷します。

保存するファイル名を入力し、保存先を選択します。

❹［印刷先のポート］を元に戻します。

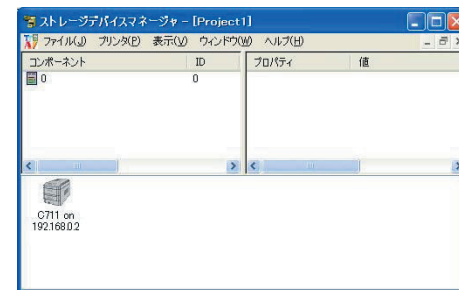
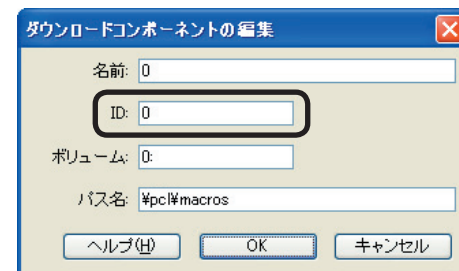
2 OKI ストレージデバイスマネージャでフォームをプリンタに登録します。

❶［スタート］-［すべてのプログラム］（Windows 2000 では［プログラム］）-［沖データ］-［OKI ストレージデバイスマネージャ］-［OKI ストレージデバイスマネージャ］を選択します。

❷「プリンタの検索」画面でプリンタを接続しているポートを選択し、［開始］をクリックします。

❸［閉じる］をクリックします。

❹［ファイル］メニューから［プロジェクトの新規作成］を選択します。

❺［ファイル］メニューの［プロジェクトへファイルの追加］を選択し、手順 1 で作成したフォームのファイルを選択します。プロジェクトにフォームファイルが追加されます。

❻ プロジェクトに追加したフォームファイルをダブルクリックし、［ID］に任意の数字を入力し、［OK］をクリックします。ボリューム、パス名は変更しないでください。

❼ 下のウインドウでプリンタを選択し、［ファイル］メニューから［プロジェクトの送信］を選択します。フォームファイルがプリンタに登録されます。

❽ 完了画面で［OK］をクリックします。

❾ OKI ストレージデバイスマネージャを終了します。

3 プリンタドライバでオーバーレイを登録し、アプリケーションから印刷します。

❶ 印刷したいファイルを開きます。

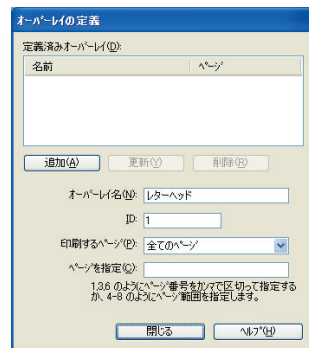
❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。

（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹［印刷オプション］タブの［オーバーレイ］をクリックします。

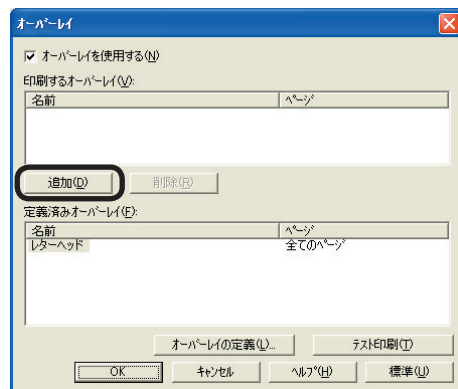
❺「オーバーレイ」画面の［オーバーレイを使用する］にチェックを付け、［オーバーレイの定義］をクリックします。

❻［オーバーレイ名］を入力し、［ID］に OKI ストレージデバイスマネージャで登録したフォームの ID を入力します。

メモ　オーバーレイはフォームのグループです。1 つのオーバーレイに 3 つの ID（フォームファイル）を登録することができます。フォーム、オーバーレイは登録した順に重ね合わされます。

❼［印刷するページ］でそのオーバーレイを適用するページを選択します。ページを指定して適用する場合は、「カスタム」を選択し、［ページを指定］に適用するページを入力します。

❽［追加］をクリックします。

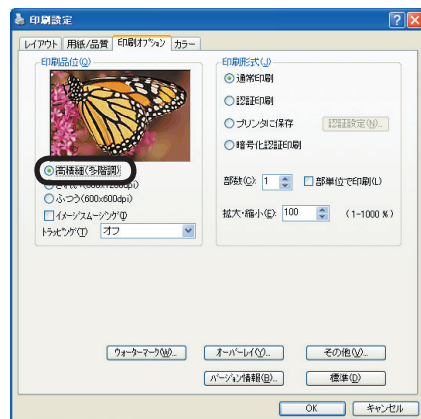
❾［閉じる］をクリックします。

⑩ 定義したオーバーレイの中から印刷に使用するオーバーレイを選択し、［追加］をクリックします。

⑪ 印刷します。

印刷品位を変更したい

初期設定では、「ふつう（600 × 600dpi）」に設定されています。お使いの環境に合わせて［印刷品位］を設定してください。

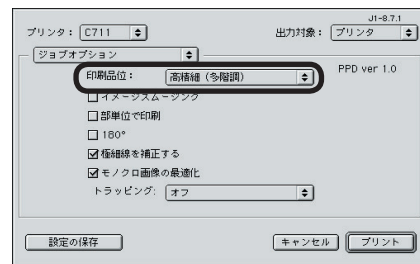
PS プリンタドライバで大きなサイズの用紙で正しく印刷されない場合は、［印刷品位］で［ふつう］を設定すると正しく印刷できる場合があります。

Windows プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

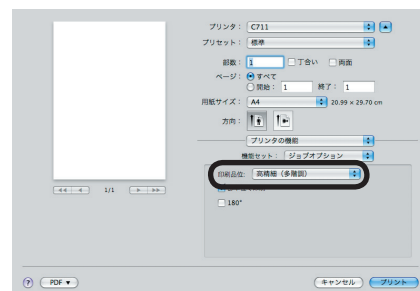
❸［詳細設定］をクリックします。（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹［印刷オプション］タブの［印刷品位］を変更します。

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［ジョブオプション］パネルの［印刷品位］を変更します。

Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［プリンタの機能］パネルの［ジョブオプション］機能セットで［印刷品位］を変更します。

Mac OS X 10.5 ～ 10.6 で、［プリント］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、［プリンタ］ポップアップメニュー横にある［▼］ボタンをクリックしてください。

写真画像を鮮明に印刷したい（フォトモード）

写真などの画像を、より鮮明に印刷することができます。

- Windows PS、XPS プリンタドライバ、Macintosh プリンタドライバ、Mac OS X プリンタドライバでは利用できません。
- ［オフィスドキュメント］にチェックを付けている場合、［フォトモード］は設定できません。

Windows PCL プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

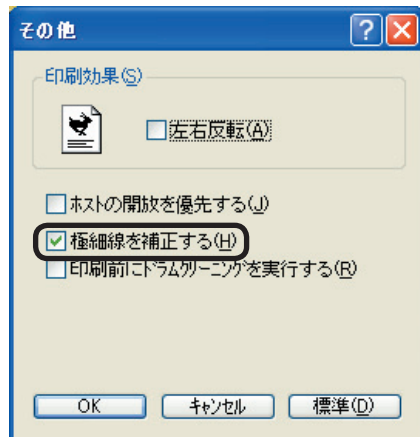
❹［印刷オプション］タブの［印刷品位］で［フォトモード］を選択します。

細線がかすれるのを防ぎたい

アプリケーションから極細線が指定されたとき、線がかすれて印刷されるのを防ぎます。この機能は標準でオンになっています。

Windows XPS プリンタドライバでは利用できません。

アプリケーションによってはバーコードなどの間隔が狭くなることがあります。その場合はこの機能をオフにしてください。

Windows PS プリンタドライバをお使いの方

（Windows XP PS プリンタドライバの画面）

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹［印刷オプション］タブの［その他］をクリックします。

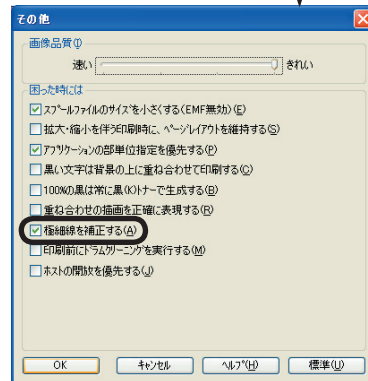
❺［極細線を補正する］にチェックを付けます。

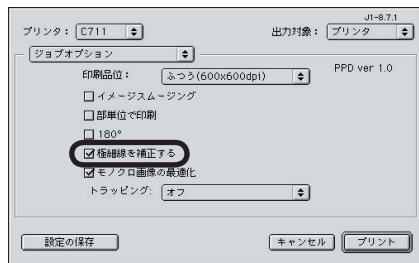
Windows PCL プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

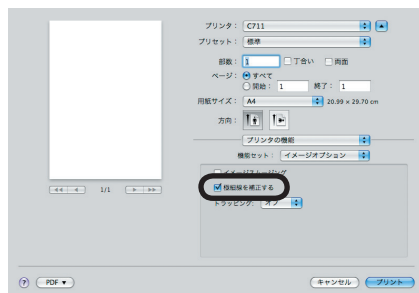
❸［詳細設定］をクリックします。（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹［印刷オプション］タブの［その他］をクリックします。

❺［極細線を補正する］にチェックを付けます。

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ [ファイル] メニューの [プリント] を選択します。

❸ [ジョブオプション] パネルの [極細線を補正する] にチェックを付けます。

Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ [ファイル] メニューの [プリント] を選択します。

❸ [プリンタの機能] パネルの [イメージオプション] 機能セットの [極細線を補正する] にチェックを付けます。

メモ　Mac OS X 10.5 ～ 10.6 で、[プリント] ダイアログに [プリンタオプション] が表示されない場合は、[プリンタ] ポップアップメニュー横にある [▼] ボタンをクリックしてください。

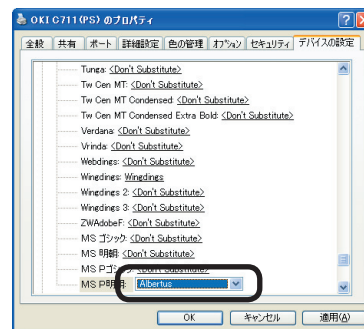
プリンタフォントに置き換えて印刷したい

TrueType フォントをプリンタ内蔵フォントに置き換えて印刷できます。

- フォントの置き換え機能は、文書の体裁は保持しますが、フォントのデザインを再現させるものではありません。フォントのデザインを正確に印刷する必要がある場合は、フォントの置き換え機能を無効にしてください。
- 独自のプリンタドライバを使用している一部のアプリケーションでは、フォントの置き換え機能が正常に動作しないことがあります。
- Windows PS プリンタドライバはコンピュータの管理者の権限が必要です。
- Mac OS X プリンタドライバでは利用できません。
- Windows XPS プリンタドライバでは利用できません。

Windows PS プリンタドライバをお使いの方

❶ Windows 7/Windows Server 2008 R2 では、［スタート］-［デバイスとプリンター］を選択します。
Windows Vista/Windows Server 2008 では、［スタート］-［コントロールパネル］を選択し、［プリンタ］をクリックします。
Windows XP では、［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］を選択します。
Windows Server 2003 では、［スタート］-［プリンタと FAX］を選択します。
Windows 2000 では、［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

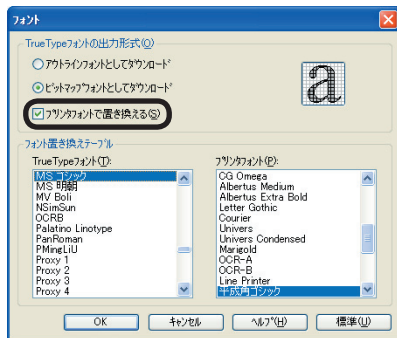
❷ ［OKI C711(PS)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸ ［デバイスの設定］タブの［フォント代替表］で、TrueType フォントをプリンタフォントに置き換え、［OK］をクリックします。

❹ アプリケーションの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。

❺ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❻ ［レイアウト］タブの［詳細設定］をクリックします。

❼ ［TrueType フォント］で［デバイスフォントと代替］を選択します。

Windows PCL プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

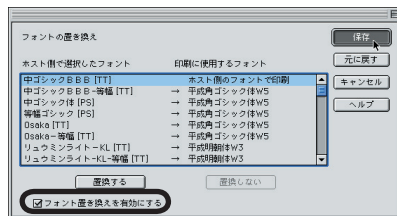
❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹［印刷オプション］タブの［フォント］をクリックします。

❺「フォント」画面の［プリンタフォントで置き換える］にチェックを付けます。

❻［フォント置き換えテーブル］で TrueType フォントをどのプリンタフォントに置き換えるかを指定します。

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶［MicrolinePS］-［MicrolinePS Utility］-［MicrolinePS Utility］をダブルクリックします。

❷ メインダイアログから［フォントの置き換え］を選択します。

❸［ホスト側で選択したフォント］ごとに、［置換する］または［置換しない］をクリックします。

❹［フォント置き換えを有効にする］にチェックを付けます。

❺［保存］をクリックします。

置き換えフォント一覧表

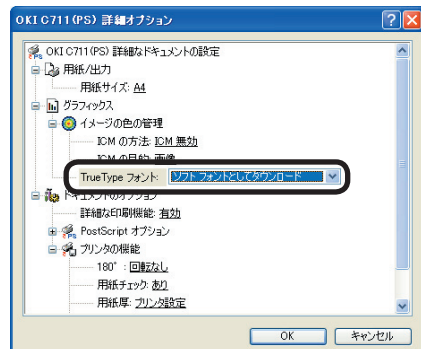
コンピュータ側で選択したフォント		フォント種別	印刷に使用するフォント
通常表示	Adobe Illustrator 等の表示		
中ゴシック BBB	ChuGothicBBB Medium	TT	平成角ゴシック体 W5
中ゴシック BBB- 等幅	ChuGothicBBB Medium Mono	TT	平成角ゴシック体 W5
中ゴシック体	GothicBBB-Medium	PS	平成角ゴシック体 W5
等幅ゴシック	—	PS	平成角ゴシック体 W5
Osaka	Osaka Regular	TT	平成角ゴシック体 W5
Osaka- 等幅	Osaka Regular-Mono	TT	平成角ゴシック体 W5
リュウミンライト -KL	Ryumin Light KL	TT	平成明朝体 W3
リュウミンライト -KL- 等幅	Ryumin Light KL Mono	TT	平成明朝体 W3
細明朝体	Ryumin Light	PS	平成明朝体 W3
等幅明朝	—	PS	平成明朝体 W3
平成角ゴシック	HeiseiKakuGothic W5	TT	平成角ゴシック体 W5
平成明朝	HeiseiMincho W3	TT	平成明朝体 W3
本明朝 -M	HonMincho-Medium	TT	平成明朝体 W3
B 太ゴ B101	FutoGoB101-Bold	PS	平成角ゴシック体 W5
B 太ミン A101	FutoMinA101-Bold	PS	平成明朝体 W3
見出ゴ MB31	MidashiGo-MB31	PS	平成角ゴシック体 W5
見出ミン MA31	MidashiMin-MA31	PS	平成明朝体 W3
丸ゴシック -M	MaruGothic-Medium	TT	—

TT：TrueType フォント
PS：PostScript フォント

コンピュータのフォントで印刷したい

TrueType フォントを画面表示のまま出力できます。

- 印刷時間が長くなることがあります。
- Mac OS X プリンタドライバでは利用できません。
- Windows XPS プリンタドライバでは利用できません。

Windows PS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹［レイアウト］タブの［詳細設定］をクリックします。

❺［TrueType フォント］で［ソフトフォントとしてダウンロード］を選択します。

Windows PCL プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹［印刷オプション］タブの［フォント］をクリックします。

❺「フォント」画面の［プリンタフォントで置き換える］のチェックを外します。

アウトラインフォントとしてダウンロード
　プリンタでフォントイメージを作成します。

ビットマップフォントとしてダウンロード
　プリンタドライバでフォントイメージを作成します。

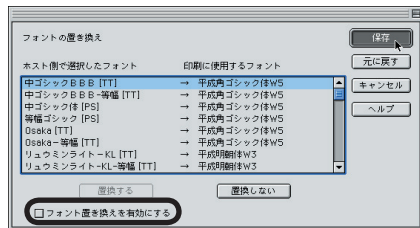
4 コンピュータのフォントで印刷したい

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶ [MicrolinePS] - [MicrolinePS Utility] - [MicrolinePS Utility]をダブルクリックします。

❷ メインダイアログから［フォントの置き換え］を選択します。

❸［フォント置き換えを有効にする］のチェックを外します。

❹［保存］をクリックします。

プリンタドライバの設定を保存して、繰り返し使用したい

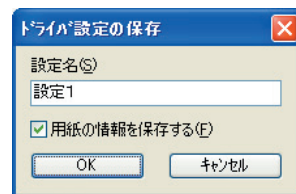
プリンタドライバで設定した内容を保存することができます。
複数箇所の設定を変更した内容を保存しておくと、次回からドライバ設定を指定するだけで自動的に複数箇所の設定が保存されていた内容に変更されます。

Windows PS プリンタドライバ、Macintosh プリンタドライバ、Mac OS X プリンタドライバでは利用できません。

Windows PCL/XPS プリンタドライバをお使いの方

❶ Windows 7/Windows Server 2008 R2 では、[スタート] - [デバイスとプリンター] を選択します。
Windows Vista/Windows Server 2008 では、[スタート] - [コントロールパネル] を選択し、[プリンタ] をクリックします。
Windows XP では、[スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [プリンタと FAX] を選択します。
Windows Server 2003 では、[スタート] - [プリンタと FAX] を選択します。
Windows 2000 では、[スタート] - [設定] - [プリンタ] を選択します。

❷ [OKI C711(PCL)] または [OKI C711(XPS)] アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[印刷設定] を選択します。

❸ レイアウトタイプ、印刷オプション、カラーなど各設定を変更します。

❹ [設定] タブの [ドライバ設定] で [追加] を選択します。

❺ [設定名] に設定の名前を入力し、[OK] をクリックします。

用紙の情報を保存する
チェックを付けると、[設定] タブの [用紙] の設定も保存します。

最大 14 個まで保存することができます。

保存した設定を呼び出して使います

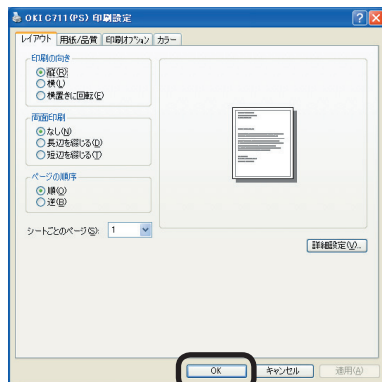
❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ [ファイル] メニューの [印刷] を選択します。

❸ [ドライバ設定] で、使用する設定を選択し、[OK] をクリックします。

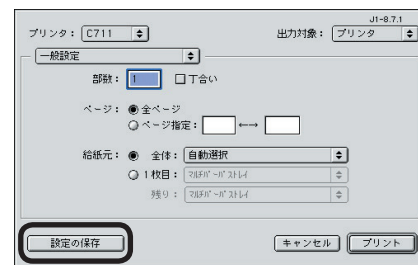
プリンタドライバの初期設定を変更したい

頻繁に変更する機能は初期設定を変更すると便利です。

Windows プリンタドライバをお使いの方

❶ Windows 7/Windows Server 2008 R2 では、[スタート] - [デバイスとプリンター] を選択します。
Windows Vista/Windows Server 2008 では、[スタート] - [コントロールパネル] を選択し、[プリンタ] をクリックします。
Windows XP では、[スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [プリンタとFAX] を選択します。
Windows Server 2003 では、[スタート] - [プリンタとFAX] を選択します。
Windows 2000 では、[スタート] - [設定] - [プリンタ] を選択します。

❷ [OKI C711(**)] (** は PS、PCL または XPS (プリンタドライバの種類)) アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[印刷設定] を選択します。

❸ 各設定を変更し、[OK] をクリックします。

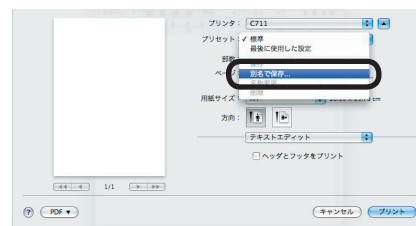
Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ [ファイル] メニューの [プリント] を選択します。

❸ 各設定を変更し、[設定の保存] をクリックします。

❹ 確認画面で [OK] をクリックします。

- [用紙設定] ダイアログの初期設定は変更できません。
- アプリケーション独自の設定項目は保存されません。

Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ [ファイル] メニューの [プリント] を選択します。

❸ 各設定を変更します。

❹ [プリセット] で [別名で保存] を選択し、「プリセットを保存」画面で適当な設定名を入力し、[OK] をクリックします。

❺ [キャンセル] をクリックします。

印刷時に [プリセット] で保存した設定名を選択してください。

トナーをセーブして試し印刷したい

トナーの消費量を節約するように印刷します。全体の色を明るくすることでトナーの消費量を節約します。同時に 100%黒の色はそのまま保存することで、きれいな黒文字の再現を両立させています。
トナーセーブをしてもなるべく画像のバランスが失われにくくするために中間調をバランスよく明るくすることで調整します。このため、トナーの節約の量は印刷画像によってことなります。

- 100%黒の色には無効です。
- 印刷モードが［モノクロ］のときは有効になりません。
- PostScript で CMYK 印刷ができるアプリケーションがありますが、CMYK で印刷指定をした場合は無効となります。また、PostScript でグレースケール（モノクロ）印刷した場合も無効となります。
- CIE カラースペースで印刷データを作成する OS やアプリケーションでは無効となります。

［トナーセーブ］と［オフィスドキュメント］の設定を有効／無効にした時の印刷の濃度の目安

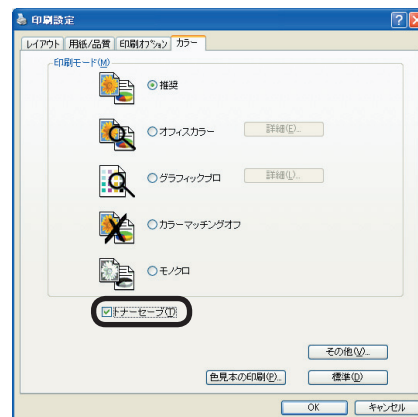
［オフィスドキュメント］はプリンタドライバの［カラー］タブ、または［カラー］パネルで設定します。

例えば､シアン100%の色を印刷した時の濃度は表のようになります。数値が小さいほど、印刷結果は明るい感じになります。

✓：有効　ー：無効

トナーセーブ	オフィスドキュメント	印刷の濃度
ー	ー	100%
ー	✓	約 95%(標準の設定)
✓	ー	約 85%
✓	✓	約 70%

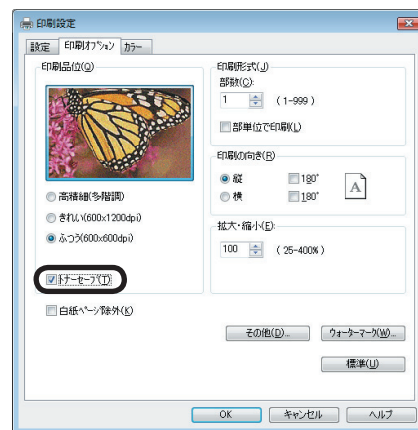
実際のトナーセーブとオフィスドキュメントの設定による印刷の濃度の変化は、印刷する画像によって異なります。

Windows PS/PCL プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。
(Windows 2000 では、この操作は必要ありません)

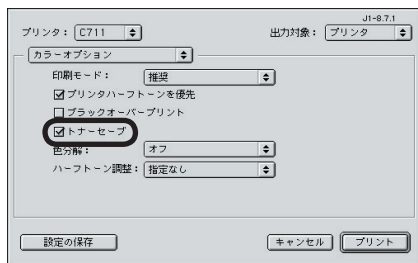
❹［カラー］タブの［トナーセーブ］をチェックします。

Windows XPS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

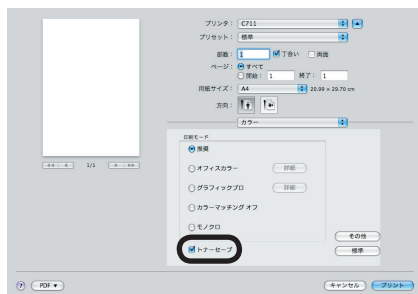
❸［詳細設定］をクリックします。
(Windows 2000 では、この操作は必要ありません。)

❹［印刷オプション］タブの［トナーセーブ］をチェックします。

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ [ファイル] メニューの [プリント] を選択します。

❸ [カラーオプション] パネルの [トナーセーブ] にチェックします。

Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ [ファイル] メニューの [プリント] を選択します。

❸ [カラー] パネルで [トナーセーブ] にチェックします。

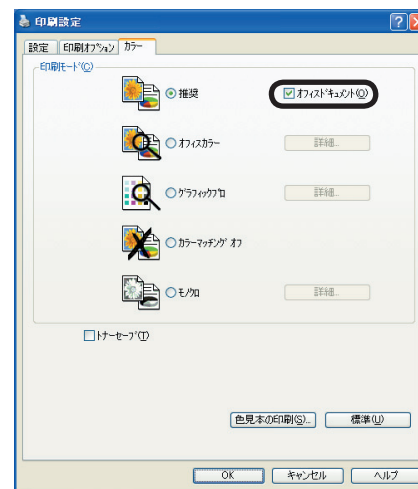
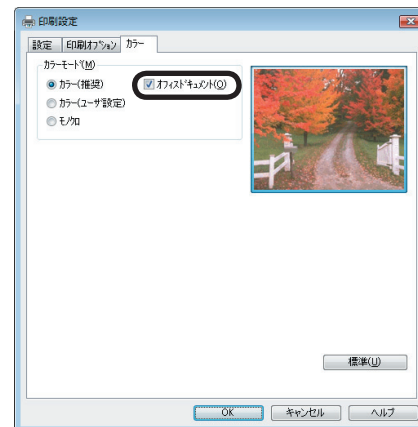
メモ

Mac OS X 10.5 ～ 10.6 で、[プリント] ダイアログに [プリンタオプション] が表示されない場合は、[プリンタ] ポップアップメニュー横にある [▼] ボタンをクリックしてください。

オフィス文書の見やすさを保ちながら、トナー消費量をセーブしたい

オフィス文書に適した濃度にトナー量を調整し、文書の見やすさを保ちながら、トナー消費量をセーブすることができます。
100% 黒の濃度はそのまま保持しますので、黒文字の読みやすさも損いません。

Windows PS プリンタドライバ、Macintosh プリンタドライバ、Mac OS X プリンタドライバでは利用できません。

Windows PCL/XPS プリンタドライバをお使いの方

(Windows PCL プリンタドライバの画面)

(Windows XPS プリンタドライバの画面)

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ [ファイル] メニューの [印刷] を選択します。

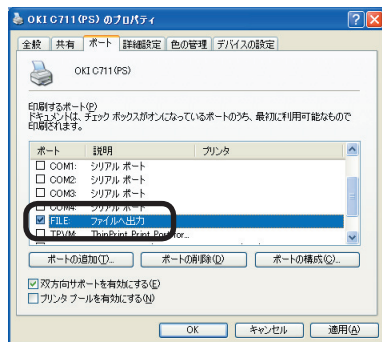
❸ [詳細設定] をクリックします。(Windows 2000 では、この操作は必要ありません。)

❹ [カラー] タブの [オフィスドキュメント] をチェックします。

印刷データをファイルに出力したい

印刷データをファイルに書き出して保存することができます。

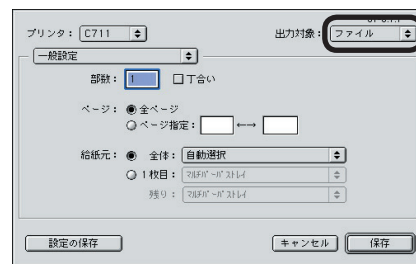
コンピュータの管理者の権限が必要です。

Windows プリンタドライバをお使いの方

❶ Windows 7/Windows Server 2008 R2 では、[スタート] - [デバイスとプリンター] を選択します。
Windows Vista/Windows Server 2008 では、[スタート] - [コントロールパネル] を選択し、[プリンタ] をクリックします。
Windows XP では、[スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [プリンタと FAX] を選択します。
Windows Server 2003 では [スタート] - [設定] - [プリンタと FAX] を選択します。
Windows 2000 では [スタート] - [設定] - [プリンタ] を選択します。

❷ [OKI C711(**)] (** は PS、PCL または XPS (プリンタドライバの種類)) アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ] を選択します。

❸ [ポート] タブの [印刷するポート] で [FILE:] を選択し、[OK] をクリックします。

❹ 印刷します。[ファイルへ出力] で [出力先ファイル名] を入力し、[OK] をクリックします。

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ [ファイル] メニューの [プリント] を選択します。

❸ [出力先] で [ファイル] を選択します。

❹ [ファイルとして保存] パネルで設定を行います。

フォーマット
　ポストスクリプトファイル形式を指定します。

PostScript レベル
　出力するプリンタに合わせて指定します。

データフォーマット
　アスキー / バイナリ形式のいずれで保存するか指定します。
　バイナリの PostScript 言語ファイルを転送する場合、通信サービスがバイナリデータ転送をフルサポートしている必要があります。

フォントの保持
　ファイルにダウンロード可能なフォントを含めるか指定します。PostScript フォントしか使っていない場合は [なし] を選択します。

❺ 印刷します。[名前] に保存するファイル名を入力し、保存先を選択し、[保存] をクリックします。

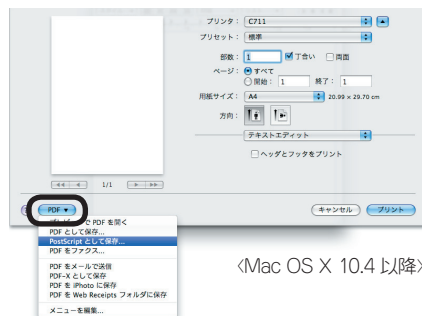
Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

〈Mac OS X 10.4 以降〉

〈Mac OS X 10.3〉

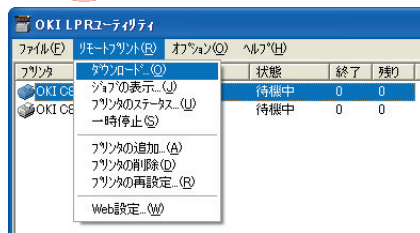
❸ [PDF] をクリックし、保存方法を選択します。（Mac OS X 10.3 では［出力オプション］パネルで[ファイルとして保存]にチェックを付け、[フォーマット] で [PostScript] を選択し、[保存] をクリックします。）

メモ Mac OS X 10.5 ～ 10.6 で、[プリント] ダイアログに [プリンタオプション] が表示されない場合は、[プリンタ] ポップアップメニュー横にある [▼] ボタンをクリックしてください。

❹ [名前]（Mac OS X 10.3 では [別名で保存]）に保存するファイル名を入力し、保存先を選択し、[保存] をクリックします。

ポストスクリプトファイルをダウンロードしたい

ファイルに出力したポストスクリプトファイルなどをプリンタにダウンロードし、印刷することができます。

OKI LPR ユーティリティ（Windows）を使う場合

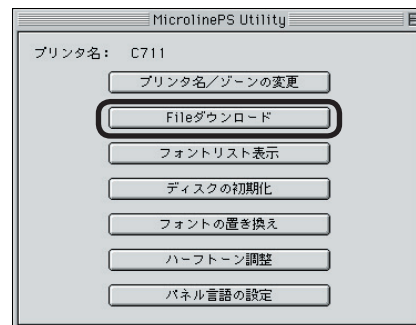
注 TCP/IP でネットワークに接続している場合に利用できます。

❶ OKI LPR ユーティリティを起動します。

❷［リモートプリント］メニューの［ダウンロード ...］を選択します。

❸ ダウンロードするファイルを選択し、［開く］をクリックします。

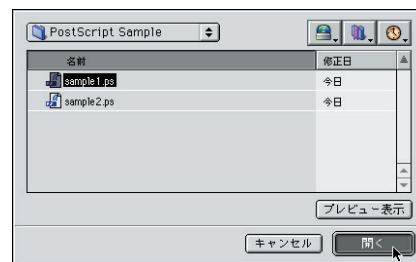
ポストスクリプトファイルのダウンロードが開始されます。ダウンロードが終了すると、印刷されます。

MicrolinePS Utility（Macintosh）を使う場合

 Mac OS X では利用できません。

❶［MicrolinePS］-［MicrolinePS Utility］-［MicrolinePS Utility］をダブルクリックします。

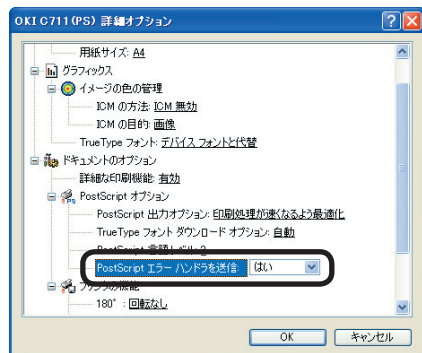
❷ メインダイアログから［File ダウンロード］を選択します。

❸ ダウンロードするファイルを選択し、［開く］をクリックします。

ポストスクリプトファイルのダウンロードが開始されます。ダウンロードが終了すると、印刷されます。

 ポストスクリプトファイルを MicrolinePS Utility のアイコンやメインダイアログにドラッグ＆ドロップすることでも、ダウンロードできます。

ポストスクリプトエラーを印刷したい

ポストスクリプトエラーが発生したときに、エラー内容を印刷することができます。

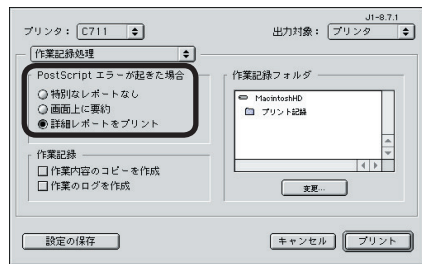
Windows PS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

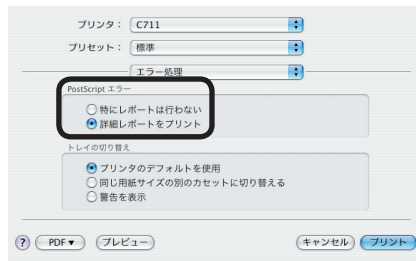
❹［レイアウト］タブの［詳細設定］をクリックします。

❺［PostScript オプション］-［PostScript エラーハンドラを送信］で［はい］を選択します。

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［作業記録処理］パネルの［PostScript エラーが起きた場合］で［詳細レポートをプリント］を選択します。

Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［エラー処理］パネルの［PostScript エラー］で［詳細レポートをプリント］を選択します。

Mac OS X 10.5 以降では、この機能は利用できません。

アプリケーション別の設定

PSプリンタドライバで印刷する場合に注意が必要なアプリケーションについて簡単に説明します。詳しくは各アプリケーションのマニュアルをご覧ください。

Adobe PageMaker 7.0J/6.5J/6.0J（Windows 版）

Adobe PageMaker7.0J/6.5J/6.0J で印刷するには、PPD ファイルのインストールが必要です。

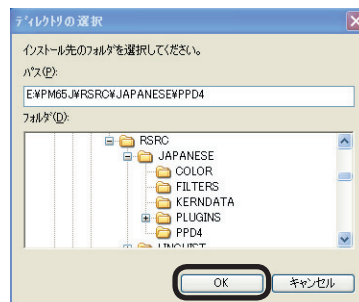
❶「ソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❷ セットアッププログラムが起動しますので、［モデルの選択］画面の右上の×ボタンをクリックして、画面を閉じます。

❸［スタート］-［ファイルを指定して実行 ...］をクリックします。

❹［名前］に以下のように入力し、［OK］をクリックします。

ここでは,CD-ROM ドライブが D: の場合を例にしています。

D:¥MISC¥PPD¥SETUP.EXE

❺「インストール先の選択」画面が表示されたら、［参照］をクリックして、インストールするフォルダを選択し、［OK］をクリックします。

PageMaker7.0J の場合 pagemaker7.0J¥rsrc¥japanese¥ppd4 PageMaker6.5J の場合 pm65j¥rsrc¥japanese¥ppd4 PageMaker6.0J の場合 pm6¥rsrc¥ppd4

❻［次へ］をクリックします。
PPD ファイルがインストールされます。

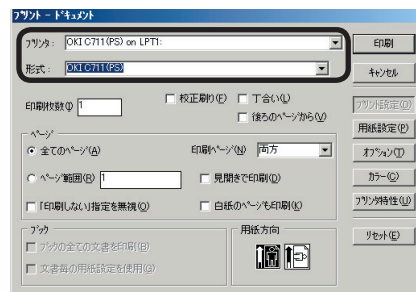
❼［完了］をクリックします。

❽［終了］をクリックします。

❾ PageMaker の［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。

❿［プリンタ］と［形式］で［OKI C711(PS)］を選択します。

［プリンタ］はプリンタドライバを、［形式］は PPD ファイルを意味しています。

⓫［印刷］をクリックします。

QuarkXPress4.1/4.0J（Windows 版、Macintosh 版）

- カラーマッチングを行うには、［補助］メニューの［Xtention マネジャー］で［Quark CMS］が ON になっている必要があります。
- ［ファイル］メニューの［印刷］-［出力］パネルで［ハーフトーン］を必ず［プリンタ］にしてください。［計算値］にすると印刷が粗くなります。
- Macintosh と USB で接続している場合は［ファイル］メニューの［印刷］-［プリンタフォント］タブでプリンタフォントを検索することができません。プリンタフォントを使うときは［プリンタフォント］タブの［ポストスクリプト印刷］の欄をクリックして使用するフォントにチェックを付けてください。

Adobe Photoshop7.0/6.0/5.5/5.0J（Windows 版、Macintosh 版）

- ［ファイル］メニューの［用紙設定］で［ハーフトーンスクリーン］をクリックし、［プリンタの初期設定値を使う］を必ず ON にしてください（Macintosh では［ファイル］メニューの［用紙設定］-［Adobe PhotoshopXX］パネルの［ハーフトーンスクリーン］）。OFF にして印刷すると印刷が粗くなることがあります。
- ハーフトーンスクリーン情報やトランスファー関数を含む EPS ファイルは、印刷が粗くなることがあります。プリンタに最適なハーフトーンで印刷するには、EPS ファイルの作成時にハーフトーンスクリーン情報やトランスファー関数を含めないようにしてください。

Adobe Illustrator10.0/9.0/8.0/7.0J（Windows 版、Macintosh 版）

- ［ファイル］メニューの［書類設定］で［プリンタの初期設定値を使う］を必ず ON にしてください。OFF にして印刷すると印刷が粗くなることがあります。

Macromedia FreeHand9.0/8.0J（Macintosh 版）

- ICC プロファイルが表示されない場合は、［システムフォルダ］の［ColorSync 特性］または［ColorSync プロファイル］にある［OKI C711 600dpi ］、［OKI C711 1200dpi］、［OKI C711 600dpi (Multi)］ファイルを［システムフォルダ］-［初期設定］-［ColorSync™ 特性］フォルダにコピーしてください。

ProtecPaper について

ProtecPaper® は、印刷物を経由した情報の漏洩を抑止するためのシステムで、ProtecPrint™ 印刷機能を内蔵したプリンタと、ProtecPrint プリンタ設定ユーティリティと、読み取りソフト ProtecCheck™ からなります。ProtecPrint プリンタ設定ユーティリティは、ProtecPrint 印刷機能を内蔵したプリンタの ProtecPrint 印刷機能を設定するソフトウェアです。

ProtecPrint印刷機能を内蔵したプリンタは、PCにログオンする際のユーザID、PC名、PC の IP アドレス、プリンタ名、印刷時刻などの出所情報を、印刷時に Val-Code(r) と呼ばれる特殊なコードを利用し地紋として書き込みます。出所情報は削除困難な地紋として紙面全面に付加されるため、印刷者に対して文書のずさんな管理や持ち出しの牽制、抑止効果があり、印刷物からの情報漏洩の抑止効果が期待できます。

ProtecCheck は、印刷物をスキャナから読み込んで出所情報を表示します。このため、漏洩した印刷物から情報漏洩元がわかり、迅速に再発防止策を講ずることが可能となります。また、複写物や用紙の一部からでも印刷元の特定が行えます。

注　ProtecPaper, ProtecPrint, ProtecCheck の詳細については、沖データホームページをご覧ください。

ProtecPrint の全機能を使用し、すべての項目を埋め込み印刷するためには、ProtecPrint Full ライセンスをご購入いただき、ProtecPrint プリンタ設定ユーティリティを使用してこの ProtecPrint Full ライセンスのライセンスキーをプリンタに登録する必要があります。

ProtecPrint Full ライセンスおよび読み取りソフト ProtecCheck は、プリンタをお求めになった販売店よりご購入いただけますのでお問い合わせください。また ProtecPrint プリンタ設定ユーティリティの入手方法についても販売店にお問い合わせください。

なお、ProtecCheck の体験版（ProtecCheck Lite）は沖データのホームページからダウンロードいただけます。

C711dn2 では、プリンタ初期状態で、機能が制限された ProtecPrint Lite が使用可能です。以下の項目が埋め込まれます。

【Protec Print Lite 埋め込み印刷項目】

1. 印刷日付
2. プリンタ機種名
3. プリンタシリアルナンバー

Protec Print Full ライセンスでは以下の項目が埋め込まれます。

1. 印刷日付
2. プリンタ機種名
3. プリンタシリアルナンバー
4. ログインユーザ
5. コンピュータ名
6. 文書名
7. 印刷端末 IP アドレス
8. 印刷端末 MAC アドレス
9. ジョブアカウントユーザ名
10. ジョブアカウントユーザ ID
11. 任意文字（追加プリンタ情報等の固定文字列）

ProtecPrint Lite をお使いいただくには

 ProtecPrint Lite は Windows PCL プリンタドライバで使用可能です。

ProtecPrint Lite は、ライセンスキーのご購入なしでお使いいただけます。
ProtecPrint Lite を使用して印刷文書に出所情報を埋め込むには、「ProtecPrint Lite を使って印刷します」（147 ページ）をご覧ください。

ProtecPrint をお使いいただくには

 ProtecPrint は Windows PCL プリンタドライバで使用可能です。

ProtecPrint の全機能をお使いいただくには、ProtecPrint Full ライセンスご購入後、次の操作が必要です。

❶ ProtecPrint プリンタ設定ユーティリティのインストール
❷ プリンタに ProtecPrint Full ライセンスキーを登録し、プリンタの ProtecPrint 機能の詳細を設定

使用方法については、ProtecPrint プリンタ設定ユーティリティと一緒にインストールされる、「ProtecPrint マニュアル（リファレンス編）」をご覧ください。

ProtecPrint Lite を使って印刷します

ProtecPrint Full ライセンスがない場合、ProtecPrint Lite をお使いいただけます。

ProtecPrint Lite は、Windows PCL プリンタドライバで使用可能です。

ドライバの印刷設定を変更します

ProtecPrint Lite を使ってアプリケーションで印刷する手順を例にしています。

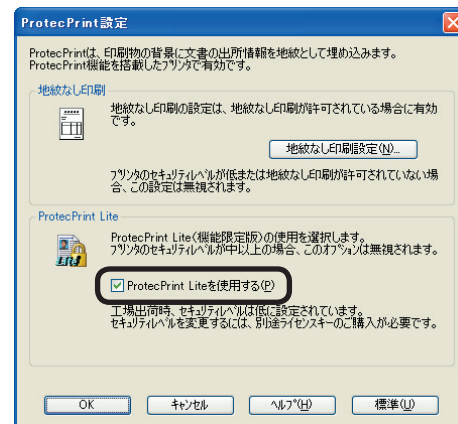
❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。

（Windows 2000 では、この操作は必要ありません）

❹［印刷オプション］タブの［ProtecPrint］をクリックします。

❺「ProtecPrint 設定」ダイアログで、［ProtecPrint Lite を使用する］にチェックを付けます。

ProtecPrint で地紋なしで印刷したい

プリンタに ProtecPrintFull ライセンスキーが登録され、プリンタの ProtecPrint が有効になると、通常の状態で地紋が印刷されます。地紋なしで印刷するには以下の設定を行ってください。

- 地紋なしで印刷する場合は、あらかじめプリンタの ProtecPrint 設定で、地紋なし印刷を有効にしておきます。
- ProtecPrint 設定を変更する操作方法および地紋なし印刷の設定方法については ProtecPrint プリンタ設定ユーティリティと共にインストールされる「ProtecPrint マニュアル（リファレンス編）」をご覧ください。

ドライバの印刷設定を変更します

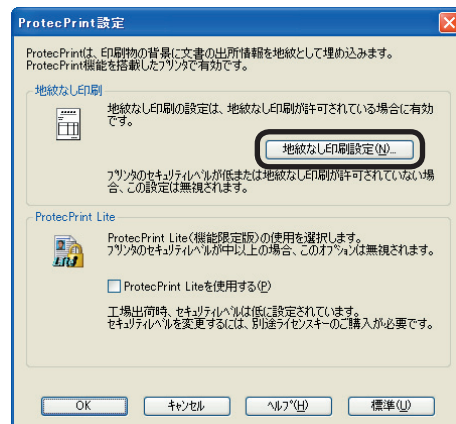
印刷する時に 地紋なし印刷を指定する手順を例に説明します。

❶ 印刷したいファイルを開きます。

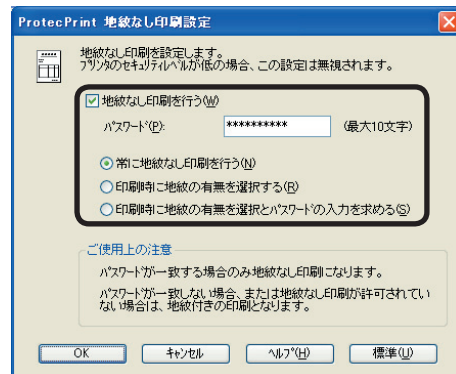
❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000 では、この操作は必要ありません）

❹［印刷オプション］タブの［ProtecPrint］をクリックします。

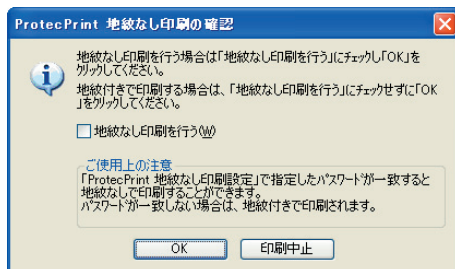
❺「ProtecPrint 設定」ダイアログで、［地紋なし印刷設定］をクリックします。

❻「ProtecPrint 地紋なし印刷設定」ダイアログで［地紋なし印刷を行う］にチェックをつけます。

❼ 地紋なし印刷を許可するパスワードを［パスワード］に入力します。

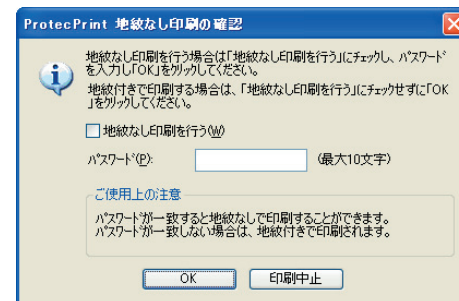
❽ 地紋なし印刷を確認する方法を選択します。

常に地紋なし印刷を行う

次に設定を変更するまでは、指定されたパスワードがプリンタに設定した 地紋なし印刷を許可する 許可パスワードと一致する場合に地紋なし印刷を行います。

印刷時に地紋の有無を確認する

印刷時に地紋なし印刷を確認するダイアログを表示します。

地紋なしで印刷を行う場合は［地紋なし印刷を行う］をチェックし、［OK］をクリックします。

印刷時に地紋の有無のパスワードの入力を求める

印刷時に地紋なし印刷を確認するダイアログを表示します。

地紋なしで印刷を行う場合は［地紋なし印刷を行う］をチェックし、地紋なし印刷を許可するパスワードを［パスワード］に入力し［OK］をクリックします。

プリンタの ProtecPrint 設定で地紋なし印刷が許可されており、さらに ProtecPrint 地紋なし印刷設定または、ProtecPrint 地紋なし印刷の確認で入力されたパスワードがプリンタに設定した 地紋なし印刷を許可する 許可パスワードと一致する場合に地紋なし印刷を行います。
プリンタの ProtecPrint 設定で地紋なし印刷が許可されていない場合や、パスワードが一致しない場合は、地紋つきの印刷になります。

ドライバの ProtecPrint 設定のアクセス制限をしたい

制限つきのユーザにはプリンタドライバの ProtecPrint の設定を変更できないようにアクセス制限できます。

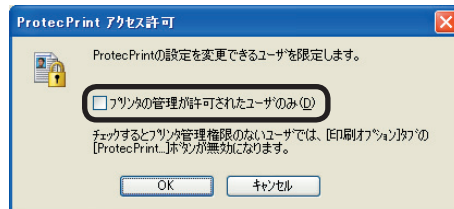
「プリンタの管理」が許可されているユーザがアクセス許可の設定を変更できます。

ProtecPrint のアクセス許可を設定します

❶ Windows 7/Windows Server 2008 R2 では、［スタート］-［デバイスとプリンター］を選択します。
Windows Vista/Windows Server 2008 では、［スタート］-［コントロールパネル］を選択し、［プリンタ］をクリックします。
Windows XP では、［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタと FAX］を選択します。
Windows Server 2003 では、［スタート］-［プリンタと FAX］を選択します。
Windows 2000 では、［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷ 設定を変更するプリンタのアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸［デバイスオプション］タブをクリックし［ProtecPrint アクセス許可］をクリックします。

❹「ProtecPrint アクセス許可」ダイアログで、［プリンタの管理が許可されたユーザのみ］にチェックをつけます。

本設定によりプリンタの管理が許可されないユーザは、［印刷オプション］タブの［ProtecPrint］ボタンが無効になります。

5 カラーについて

カラーマッチングについて

カラーマッチング

データの作成から出力までに至る作業過程において、カラーを一貫した手法に基づいて管理することが重要になります。例えばスキャナやデジタルカメラやモニタ等は黒に対して「赤」「青」「緑」の3色の光を加えた配合率をRGBカラー空間上の値としてカラーを表現します(加法混色)。一方プリンタは白(白色光)に対して、「赤」「青」「緑」の3色を反射光から取り除く、「シアン」「マゼンタ」「イエロー」と「黒」の4色のトナーの配合率をCMYKカラー空間上の値としてカラーを表現します(減法混色)。
RGBカラー空間やCMYKカラー空間は、お使いの機器に依存したカラー空間であるために、カラー空間を変換する際にそれぞれの機器の特性を考慮しないと再現された色も異なった色になってしまいます。

データの作成から出力までカラーの一貫性を維持するには、機器によるカラーの違いを考慮してカラー変換する必要があります。この処理をカラーマッチングといいます。カラーマッチングを行うプログラムをカラーマネジメントシステム(CMS)といいます。

本プリンタでは、プリンタドライバのカラーマッチングとアプリケーションのカラーマッチングを利用することができます。

カラーマッチングを使用しても、印刷色がモニタ上の色に比べくすんで見えることがあります。これはプリンタで再現できる色の範囲がモニタで再現できる色の範囲より狭いため、カラーマッチングを使用してもモニタ上の鮮やかなカラーが再現できないためです。

利用できるカラーマネージメントシステム

プリンタドライバ / カラーマッチング	Windows PS	Windows PCL	Windows XPS	MacOS 9.0〜9.2.2	Mac OS X
プリンタに内蔵のカラーマッチング(［オフィスカラー］モード)	○	○	○	○	○
プリンタに内蔵のカラーマッチング(［グラフィックプロ］モード)	○	○	−	○	○
Windows の Image Color Matching(※)(ICM)	○	−	−	−	−
ColorSync	−	−	−	○	○
アプリケーションのカラーマッチング	○	○	○	○	○

※「Image Color Matching」を利用するには、アプリケーションが対応している必要があります。

簡単にカラーマッチングする（オフィスカラー）

ワープロソフト・表計算ソフトやプレゼンテーション用ソフトなどビジネス文書をよく使用するユーザ向けに最適な方法のカラーマッチングを提供します。これらのソフトウェアで使用される RGB カラーで表現された色をお使いのプリンタ用にカラーマッチングします。
カラーマッチングにはプリンタに搭載されている専用のアクセラレータ（ASIC）を使用してカラーマッチングを行います。RGB カラースペースの印刷データをプリンタの CMYK カラースペースに変換する際に、カラーマッチング処理が適用されます。

- RGB カラースペースの印刷データに対してのみ有効です。
- CMYK カラースペースの印刷データに対しては［推奨］または［オフィスカラー］を選択してもカラーマッチングは適用されません。この場合は［グラフィックプロ］を選択してください。
- Windows で ICC プロファイルをインストールしている場合は、［レイアウト］タブで［詳細設定］をクリックし、［ICM の方法］で［ICM 無効］を選択します。

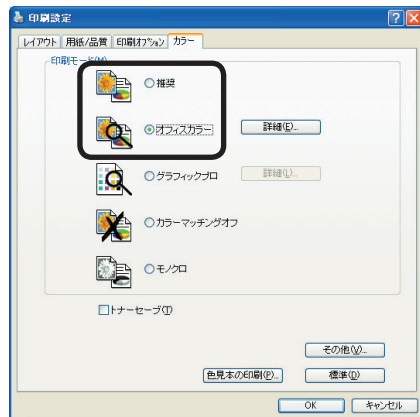
メモ

［カラー調整］
カラーマッチング処理の色の表現方法を指定します。

- モニタ（6500K）／自動
  モニタ（色温度 6500K）との相性を重視した上で、印刷するドキュメントに合わせて最適な方法で色を表現します。通常はこの設定でお使いください。
- モニタ（6500K）／コントラスト重視
  モニタ（色温度 6500K）との相性および写真などの自然画に適した階調性を重視した方法で色を表現します。
- モニタ（6500K）／鮮やかさ重視
  モニタ（色温度 6500K）との相性および図形や文字に適した鮮やかさを重視した方法で色を表現します。
- モニタ（9300K）
  モニタ（色温度 9300K）との相性および写真などの自然画に適した階調性を重視した方法で色を表現します。
- デジタルカメラ
  写真が明るくなるように色を表現します。撮影環境条件やシーンなど、場合によっては他のカラー調整項目を選択した方がよい場合があります。
- sRGB
  プリンタの色再現域内の色はそのままとし、プリンタの色再現域内に入らない色はプリンタの色再現域の外殻の色にマッチングします。特定の色をマッチングするのに適しています。

［CMYK シミュレーション］
お使いのプリンタで Japan Color、SWOP、EuroScale のようなオフセット印刷標準カラーをシミュレーションする場合に選択します。
ターゲットの印刷装置のインクを選択します。

［黒の生成］
カラーで印刷する時の黒の仕上がりを設定します。通常は自動のままご使用ください。

Windows PS/PCL プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

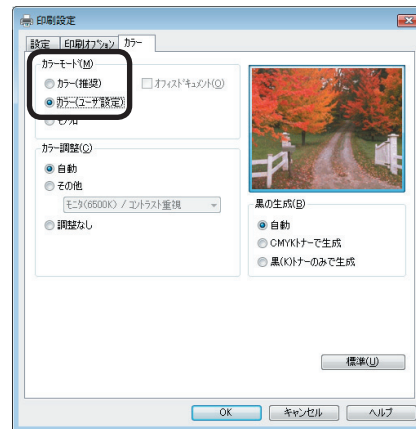
❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹［カラー］タブの［印刷モード］で［推奨］または［オフィスカラー］を選択します。

［オフィスカラー］を選択した場合、［詳細］をクリックして、各種カラーマッチング設定を変更します。

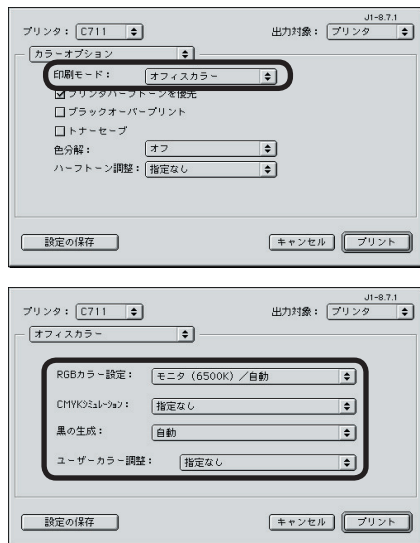
ICC プロファイルをインストールしている場合は、［レイアウト］タブで［詳細設定］をクリックし、［ICM の方法］で［ICM 無効］を選択します。

Windows XPS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

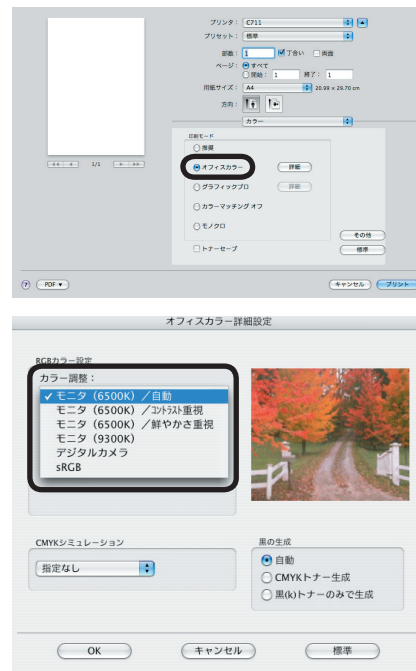
❹［カラー］タブの［カラーモード］で［カラー（推奨）］または［カラー（ユーザ設定）］を選択します。

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［カラーオプション］パネルの［印刷モード］で［オフィスカラー］または［推奨］を選択します。

［オフィスカラー］を選択した場合、必要に応じて［オフィスカラー］パネル内の［RGB カラー設定］や［CMYK シミュレーション］、［黒の生成］を変更します。

Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［カラー］パネルの［印刷モード］で［推奨］または［オフィスカラー］を選択します。

［オフィスカラー］を選択した場合、［詳細］ボタンをクリックして［オフィスカラー詳細設定］パネルを開き、必要に応じて［カラー調整］や［CMYK シミュレーション］、［黒の生成］を変更します。

Mac OS X に添付されるプリンタドライバの制限で、汎用的なアプリケーションで「推奨」または［オフィスカラー］を指定しても、無効となります。Mac OS X 上では、この機能は RGB カラースペースでの出力を明示的に指定できるアプリケーションから印刷する場合にのみ有効となります。

Mac OS X 10.5 ～ 10.6 で、［プリント］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、［プリンタ］ポップアップメニュー横にある［▼］ボタンをクリックしてください。

ICC プロファイルをプリンタにダウンロードする

このプリンタでは一般的なカラー管理によく使用される ICC プロファイルを使用したカラーマッチングワークフローを提供しています。この機能を使用するためには、本プリンタとカラーマッチングの対象となる入出力装置（モニタ、スキャナ、デジタルカメラ、他の印刷装置）の ICC プロファイルをあらかじめプリンタに登録しておく必要があります。
ICC プロファイルの登録や参照には［プロファイルアシスタント］を使用します。

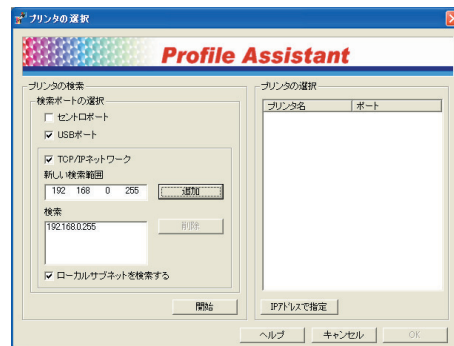
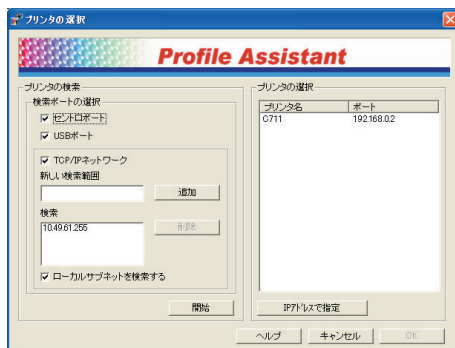
- プロファイルアシスタントのインストール方法については、沖データホームページのダウンロードページをご覧ください。
- お使いの入出力装置用のプロファイルがない場合には、その装置のメーカや販売店にご相談ください。

以下の 4 つのタイプのプロファイルが登録できます。各 4 つのタイプごとに 12 個まで登録することができます。

- RGB ソース
  モニタ、スキャナ、デジタルカメラなどの RGB 入力装置用のプロファイル
- CMYK シミュレーション
  プリンタやイメージセッタなどの CMYK 出力装置用のプロファイル
- プリンタ
  お使いのプリンタのプロファイル。プリンタプロファイルを作成編集可能な上級ユーザのみご使用ください。
- リンクプロファイル
  CMYK から CMYK に直接変換するプロファイル。リンクプロファイルを作成編集可能な上級ユーザのみご使用ください。

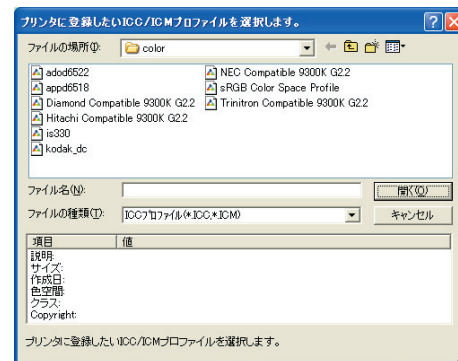
Windows をお使いの方

❶［スタート］-［すべてのプログラム］（Windows 2000 では［プログラム］）-［沖データ］-［プロファイルアシスタント］-［プロファイルアシスタント］を選択し、プロファイルアシスタントを起動します。

❷ プリンタを検索します。
ネットワーク接続している場合は［TCP/IP ネットワーク］を、USB 接続している場合は［USB］をチェックして［開始］をクリックします。

❸ プリンタリストから登録したいプリンタを選択します。ユーティリティのメイン画面が表示されます。

注 次回以降の起動では、❷、❸の手順は省略され、最後に選択したプリンタに自動的に接続します。別のプリンタを選択したい場合には、メイン画面で［プリンタの変更］をクリックして❷、❸の手順で再度プリンタを選択してください。

❹［追加］をクリックします。「プリンタに登録したいICC/ICMプロファイルを選択します」画面が表示されます。

❺ 登録したいICCプロファイルを選択し、［開く］をクリックします。

- 必要に応じて［ファイルの場所］を変更して、お使いのコンピュータ上のICCプロファイルが格納されたディレクトリに移動してください。
- ICCプロファイルをクリックすると、リストにICCプロファイルの情報（説明（デバイス情報）、サイズ、作成日、色空間など）が表示されます。登録したいICCプロファイルを特定するためにこのリストを参照してください。

❻ 表示されているヒント情報に従って登録するプロファイルのタイプを選択します。

5 ICCプロファイルをプリンタにダウンロードする

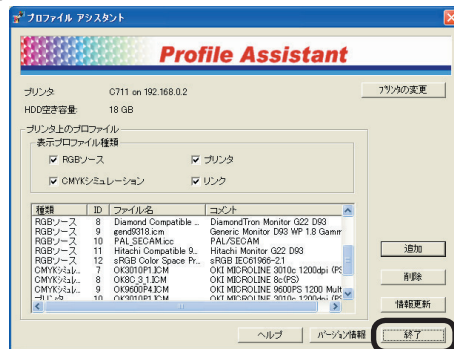
❼ 1 ～ 12 の中からプロファイルを登録したい番号を選択します。

登録されていない空き番号のボタンが白色で、既に登録されている番号のボタンが水色で表示されます。登録済み番号を指定して登録した場合には上書き登録されます。

❽ 登録するプロファイルについて、装置名などのメモ情報を［コメント］欄に記載します。

メモ　この情報はプリンタに登録されたプロファイルの一覧表示（本ユーティリティのメイン画面）やカラープロファイルリストの印刷（プリンタ操作パネル）に使用されます。登録者以外のプリンタ使用者が登録された ICC プロファイルがどの装置用なのかを認識できるようにしておくと便利です。

❾［OK］をクリックします。

❿ メイン画面に登録したプロファイル名が表示されたことを確認し、［終了］をクリックします。

メモ
- 登録したプロファイルはプリンタドライバの［印刷モード］の［グラフィックプロ］のモードでカラーマッチングに使用できます。使用方法については「ICC プロファイルを使用してカラーマッチングする（グラフィックプロ）」（162 ページ）をご覧ください。
- プリンタの操作パネルから ［▲］，［▼］ ボタン，［⏎］ 設定ボタンを使用して、［プリンタ情報印刷］-［カラープロファイルリスト／印刷実行］を行うと、プリンタに登録した ICC プロファイルの一覧表を印刷することができます。

MacOS 9/OS X をお使いの方

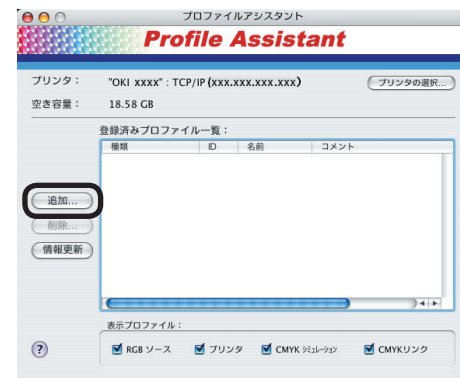
❶ プロファイルアシスタントを起動します。

❷ プリンタを検索します。
ネットワーク接続している場合は［ネットワーク］タブを、USB 接続している場合は［USB］タブをクリックします。

❸ プリンタリストから登録したいプリンタを選択し、［選択］をクリックします。

注

USB2.0 に対応していません。
USB 接続で使用する場合は、USB1.1 で接続する必要があるため USB Speed を 12Mbps に設定してください。
USB Speed の設定方法はセットアップ編「2 操作パネルとメニューについて」の「操作パネルのメニュー一覧」の「Boot Menu」をご覧ください。

❹ ユーティリティのメイン画面で［追加］をクリックします。

注

次回以降の起動では、❷、❸の手順は省略され、最後に選択したプリンタに自動的に接続します。別のプリンタを選択したい場合には、メイン画面で［プリンタの変更］をクリックして❷、❸の手順で再度プリンタを選択してください。

❺「プロファイルを選択してください」画面で登録したいICCプロファイルを選択し、[選択]をクリックします。

- 必要に応じてお使いのMacintosh上のICCプロファイルが格納されたフォルダに移動してください。
- ICCプロファイルをクリックすると、リストにICCプロファイルの情報(Description(デバイス情報)、Size(サイズ)、Date(作成日)、Color Space(色空間)など)が表示されます。登録したいICCプロファイルを特定するためにこのリストを参照してください。
- ICCプロファイルは通常以下のフォルダに格納されています。希望する装置のプロファイルが見つからない場合はその装置のメーカーにお問い合わせください。
  OS 9 : [起動ドライブ] : システムフォルダ : ColorSync プロファイル
  OS X : [起動ドライブ] : ライブラリ : ColorSync : Profiles

❻[プロファイル種類]メニューで登録するプロファイルのタイプを選択します。

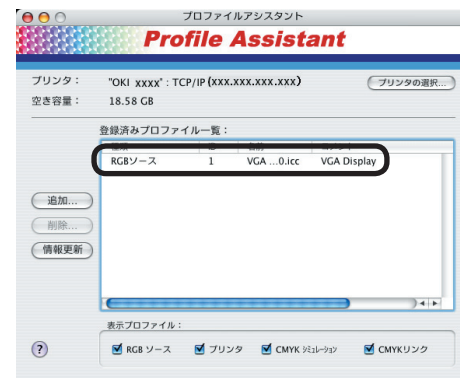
❼ 1〜12の中からプロファイルを登録したい番号を選択します。

既に登録されている番号がボールド+下線で表示されます。登録済み番号を指定して登録した場合には上書き登録されます。

❽ 登録するプロファイルについて、装置名などのメモ情報を［コメント］欄に記載します。

メモ　この情報はプリンタに登録されたプロファイルの一覧表示（本ユーティリティのメイン画面）やカラープロファイルリストの印刷（プリンタ操作パネル）に使用されます。登録者以外のプリンタ使用者が登録された ICC プロファイルがどの装置用なのかを認識できるようにしておくと便利です。

❾［追加］をクリックしてプリンタへの登録を開始します。

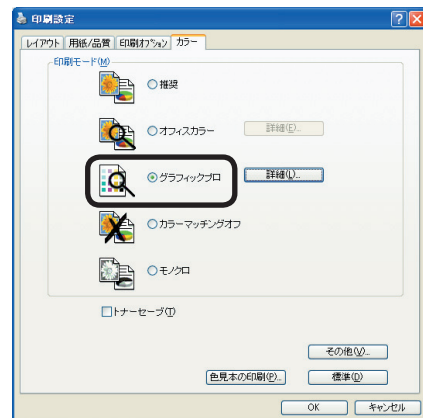
❿ 登録したプロファイル名が表示されたことを確認し、ユーティリティを終了します。

メモ

- 登録したプロファイルはプリンタドライバの［印刷モード］の［グラフィックプロ］のモードでカラーマッチングに使用できます。使用方法については「ICC プロファイルを使用してカラーマッチングする（グラフィックプロ）」（162 ページ）をご覧ください。
- プリンタの操作パネルから ， ボタン， 設定ボタンを使用して、［プリンタ情報印刷］-［カラープロファイルリスト／印刷実行］を行うと、プリンタに登録した ICC プロファイルの一覧表を印刷することができます。

ICC プロファイルを使用してカラーマッチングする（グラフィックプロ）

DTP 向けのソフトウェアをよく使用するユーザ向けに ICC プロファイルを利用したカラーマッチングワークフローを提供します。
任意の RGB 入力装置（モニタやデジタルカメラ）とプリンタ間のカラーマッチングや、任意の CMYK 出力機器のシミュレーション印刷を指定することができます。
カラーマッチングに、任意の入出力機器用の ICC プロファイルを使用する場合、あらかじめ ICC プロファイルをプリンタに登録する必要があります。ICC プロファイルの登録方法は「ICC プロファイルをプリンタにダウンロードする」（156 ページ）をご覧ください。

- CMYK リンクプロファイルは PCL プリンタドライバでは指定できません。
- Windows 上の PS プリンタドライバで ICC プロファイルをインストールしている場合は、[レイアウト] タブで［詳細設定］をクリックし、[ICM の方法］で［ICM 無効］を選択します。
- Windows XPS プリンタドライバでは利用できません。

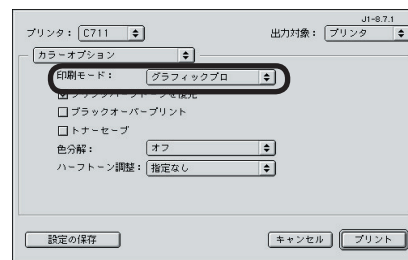
Windows プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹［カラー］タブの［印刷モード］で［グラフィックプロ］を選択します。

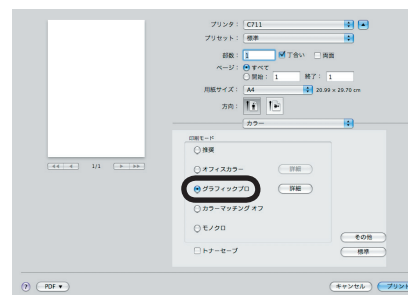
［詳細］をクリックして各種カラーマッチング設定を変更します。（163 ページ参照）

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［カラーオプション］パネルの［印刷モード］で［グラフィックプロ］を選択します。

必要に応じて、［グラフィックプロ 1］、［グラフィックプロ 2］パネル内の各種カラーマッチング設定を変更します。（163 ページ参照）

Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［カラー］パネルの［印刷モード］で［グラフィックプロ］を選択します。

［詳細］ボタンをクリックして［グラフィックプロ詳細設定］パネルを開き、必要に応じて各種カラーマッチング設定を変更します。（163 ページ参照）

Mac OS X 10.5 ～ 10.6 で、［プリント］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、［プリンタ］ポップアップメニュー横にある［▼］ボタンをクリックしてください。

「詳細」画面では以下の設定が可能です。
カラーマッチングワークフローとして［ICC プロファィルカラーマッチング］、［印刷シミュレーション］、［プロファイルの生成（測色用）］、［アプリケーションでカラーマッチング］の 4 つのケース用に最適化されたタスクを用意しています。

ICC プロファィルカラーマッチング

DTP アプリケーションで扱われるデータは、RGB や CMYK カラー空間で表現されたデータが混在することがあります。
このタスクボタンを選択すると、RGB データと CMYK データのそれぞれに対してカラーマッチングの対象となるソースデバイスのプロファイルを指定することができます。

- ［RGB プロファイル］では RGB データの入力装置（通常モニタやデジタルカメラ）のプロファイルを選択します。標準プロファイルまたは［RGB ソース 1］から［RGB ソース 12］の中から RGB ソース用に登録したプロファイルを選択します。標準では［sRGB］装置用のプロファイルが登録されています。
- ［CMYK 入力プロファイル］では通常 CMYK データの最終的な出力対象となっている印刷装置（オフセット印刷機やインクなど）のプロファイルを選択します。標準プロファイルまたは［CMYK ソース 1］から［CMYK ソース 12］の中から CMYK シミュレーション用に登録したプロファイルを選択します。標準では［JapanColor］、［SWOP］、［Euroscale］用のプロファイルが登録されています。
- ［プリンタプロファイル］ではお使いのプリンタのプロファイルを選択します。通常［自動］を選択します。これによりプリンタにレジデントで組み込まれたお使いのプリンタ用のプロファイルが選択されます。プロファイル作成用のソフトウェアなどによりプリンタプロファイルを作成、入手可能なユーザは、［プリンタ 1］から［プリンタ 12］に登録したプロファイルを選択することもできます。
- ［CMYK リンクプロファイル］では CMYK データを直接プリンタの CMYK に変換するためのリンクファイルを作成可能な上級ユーザのみ使用してください。通常はリンクファイルは使用しないでください。

印刷シミュレーション

他の出力装置（プリンタ、オフセット印刷機、イメージセッタ）の出力結果をシミュレートする場合に選択します。
RGB データ、CMYK データ共にターゲットになっている印刷装置での印刷結果をシミュレートした結果となります。
ICC プロファイルカラーマッチングとの違いは、特に RGB データに関していったん RGB プロファイルとターゲットの印刷装置間でカラーマッチングされた結果がお使いのプリンタでシミュレーションされる点となります。

プロファイルの生成（測色用）

ICC Profile を作成する場合の測色用データを印刷するために用います。このモードではカラーマッチングを施さず、かつトナー層厚制限を緩いものとしますので、正確なカラーマッチング特性を得ることが可能となります。
このモードは通常の印刷目的で使用しないでください。

アプリケーションでカラーマッチング

アプリケーションでカラーマッチングを行う場合に指定します。プリンタおよびドライバでのカラーマッチングを行いません。

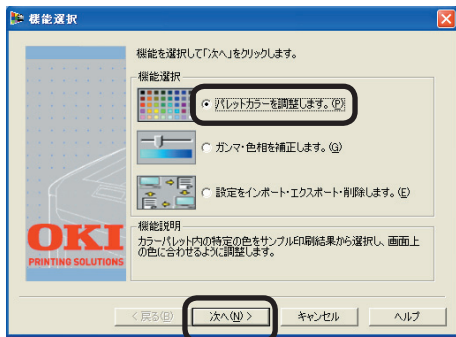
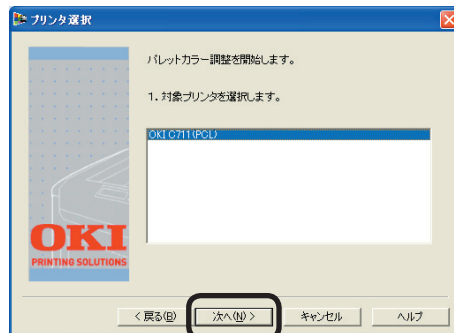
パレットカラーを変更してカラーマッチングしたい（Windows）

カラー調整ユーティリティを使用して、Microsoft Excel や Word などで選択したパレットの色を調整範囲内で指定することができます。

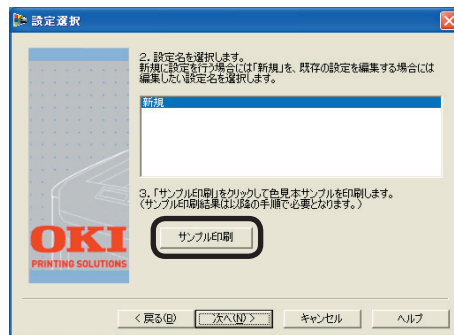
- カラー調整ユーティリティのセットアップについては、13 ページをご覧ください。
- プリンタドライバごとに設定を行ってください。
- テスト印刷は B5 サイズ以上の用紙を使用してください。
- プリンタの共有で接続されているプリンタでは使用できません。
- カラー調整ユーティリティを使用してカラーマッチングを行う場合、コンピュータの管理者の権限が必要です。
- ［Boot Menu］の［Job Limitation］が［Encrypted Job］に設定してある場合、サンプル印刷、テスト印刷機能は使用できません。［Boot Menu］の［Job Limitation］については、「操作パネルのメニュー一覧」（セットアップ編）の「Boot Menu」をご覧ください。
- Windows XPS プリンタドライバでは利用できません。

1 カラー調整ユーティリティで、カラー調整を行います。

❶［スタート］-［すべてのプログラム］（Windows 2000 では［プログラム］）-［沖データ］-［カラー調整ユーティリティ］-［カラー調整ユーティリティ］を選択します。

❷［パレットカラーを調整します］を選択し、［次へ］をクリックします。

❸「プリンタ選択」画面が表示されたら、使用するプリンタを選択し、［次へ］をクリックします。

カラー調整ユーティリティが起動します。

メモ　インストールされているプリンタドライバが表示されます。プリンタドライバごとに設定を行ってください。

❹「設定選択」画面が表示されたら、リストボックスから設定を選択して［サンプル印刷］をクリックします。

「色見本サンプル」が印刷されます。

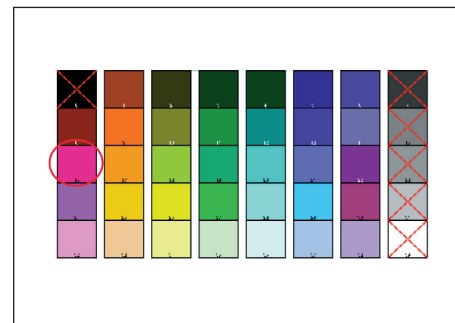
❺［次へ］をクリックします。

「パレットカラー調整」画面が表示されます。

❻［テスト印刷］をクリックします。

「調整対象色サンプル」が印刷されます。

❼「パレットカラー調整」画面のパレット（画面色）と、印刷された「調整対象色サンプル」を比較します。異なる色があった場合、調整を行います。（以下は赤丸の部分のパレットカラーを調整する場合の例です）

《調整対象色サンプル》

《「パレットカラー調整」画面》

×印がついている色は調整できません。

❽「パレットカラー調整」画面の調整対象色（画面色）をクリックします。

「調整値入力」画面が表示されます。

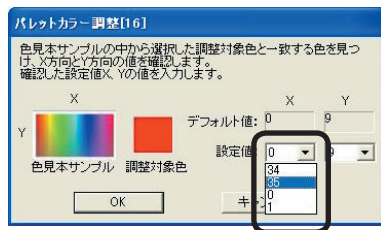
❾ X 値、Y 値のプルダウンで調整可能な範囲を確認します。

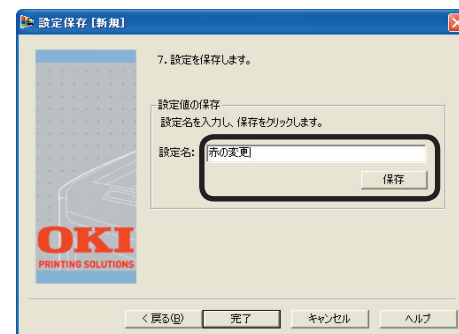
メモ 全体のバランスを考慮して、調整可能な範囲は色により異なります。

❿「パレットカラー調整」画面の調整対象色（画面色）に対して調整範囲内で最も希望する色を「色見本サンプル」の中から探し、X 方向（色相）、Y 方向（明度）の値（X 値、Y 値）を確認します。

⓫「パレットカラー調整」画面の調整対象色（画面色）をクリックします。

「調整値入力」画面が表示されます。

⓬「調整値入力」画面で、⓾で確認したＸ値とＹ値を選択し、[OK]をクリックします。

「パレットカラー調整」画面に戻ります。

⓭［テスト印刷］をクリックして「調整対象色サンプル」を印刷します。変更後の「調整対象色サンプル」の色が、設定した値の色見本サンプルの色に近づいているか確認し、他にも調整したい色がある場合は、❽～⓭を繰り返します。［次へ］をクリックします。

⓮ 設定の名前を入力し、［保存］をクリックします。

⓯［OK］をクリックします。

プリンタドライバのアップデート、再インストールを行った場合は、カラー調整ユーティリティを起動すると、作成したカラー調整名を再度読み込みます。[設定選択]にカラー調整名が表示されるのを確認し、[終了］をクリックしてください。

⓰［完了］をクリックし、カラー調整ユーティリティを終了します。

2 プリンタドライバで設定名を選択し、印刷します。

Windows PS/PCL プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹［カラー］タブの［印刷モード］で［オフィスカラー］を選択し、［詳細］をクリックします。

❺「オフィスカラー詳細設定」画面の［RGB カラー設定］で［ユーザー設定］にチェックを付け、カラー調整ユーティリティで作成した設定値を選択します。

- ［印刷モード］が［オフィスカラー］の場合にのみ有効です。
- プリンタドライバのアップデート、再インストールを行った場合は、カラー調整ユーティリティを起動すると、作成したカラー調整名を再度読み込みます。［設定選択］にカラー調整名が表示されるのを確認し、［終了］をクリックしてください。

パレットカラーを変更してカラーマッチングしたい（Macintosh）

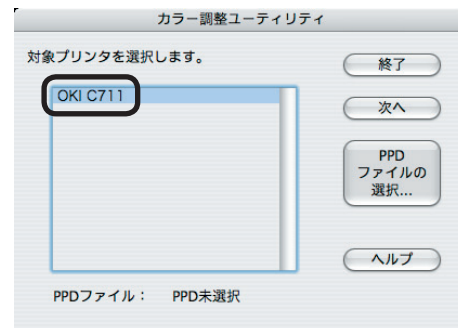
カラー調整ユーティリティを使用して、Microsoft Excel や Word などで選択したパレットの色を調整範囲内で指定することができます。

- カラー調整ユーティリティのセットアップについては、79 ページをご覧ください。
- PPD ファイルごとに設定を行ってください。
- テスト印刷は A4 サイズ以上の用紙を使用してください。
- プリンタの共有で接続されているプリンタでは使用できません。
- ［Boot Menu］の［Job Limitation］が［Encrypted Job］に設定してある場合、サンプル印刷、テスト印刷機能は使用できません。［Boot Menu］の［Job Limitation］については、「操作パネルのメニュー一覧」（セットアップ編）の「Boot Menu」をご覧ください。

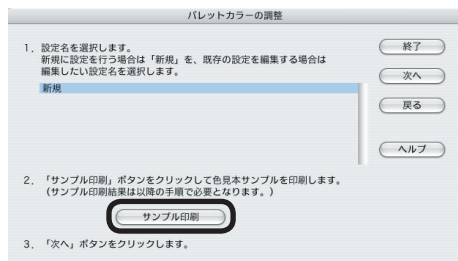
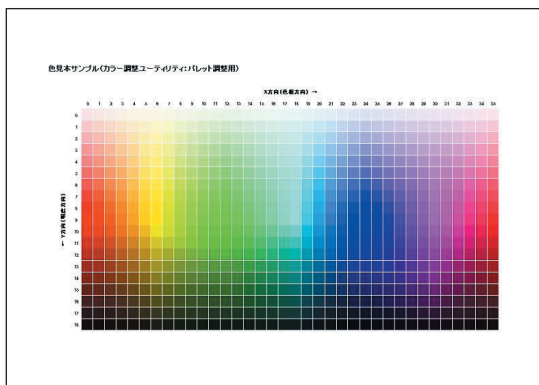
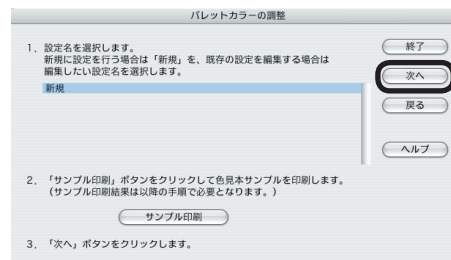
1 カラー調整ユーティリティで、カラー調整を行います。

❶［アプリケーション（MacOS 9.1 以上の場合は、Applications（MacOS 9））］-［OKIDATA］-［カラー調整ユーティリティ］-［C711］-［カラー調整ユーティリティ］をダブルクリックします。

カラー調整ユーティリティ

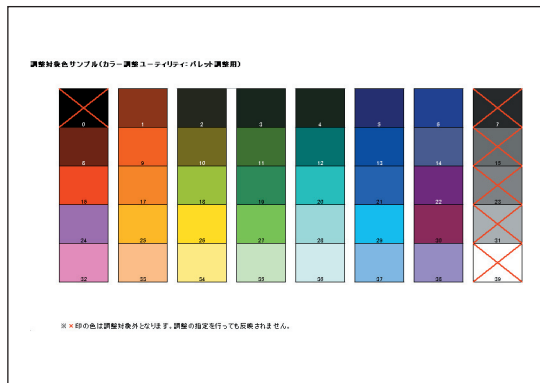
❷ 対象プリンタを選択し、［PPD ファイルの選択］をクリックして PPD ファイルを選択します。

メモ カラー調整ユーティリティの設定は、ここで選択した PPD に保存されます。

❸［パレットカラーの調整］をクリックします。

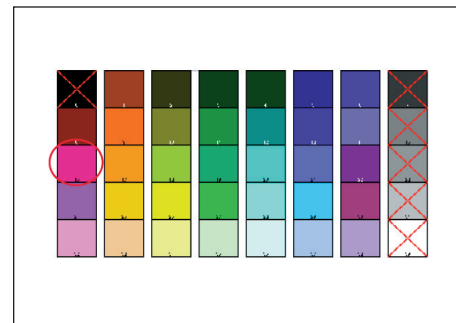
❹「パレットカラーの調整」画面が表示されたら、リストボックスから設定を選択して［サンプル印刷］をクリックします。

「色見本サンプル」が印刷されます。

❺［次へ］をクリックします。

❻［テスト印刷］をクリックします。

メモ　画面左下部に❷で選択した PPD ファイル名が表示されます。

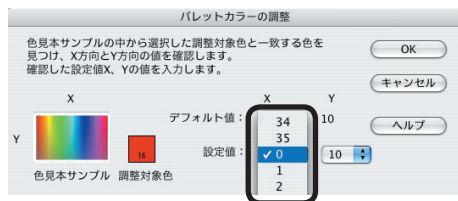
「調整対象色サンプル」が印刷されます。

注 ×印がついている色は調整できません。

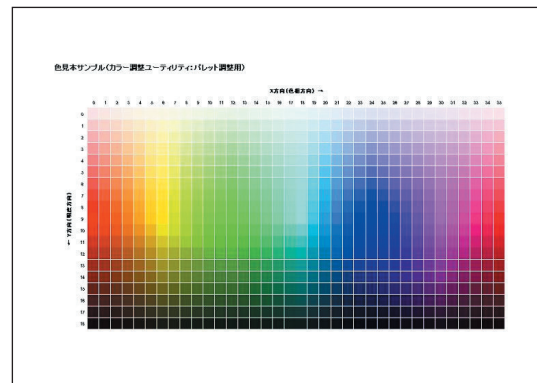
❼「パレットカラー調整」画面のパレット（画面色）と、印刷された「調整対象色サンプル」を比較します。異なる色があった場合、調整を行います。（以下は赤丸の部分のパレットカラーを調整する場合の例です）

《調整対象色サンプル》

《「パレットカラー調整」画面》

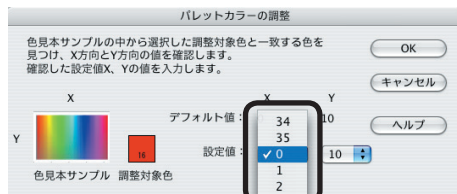
❽「パレットカラー調整」画面の調整対象色（画面色）をクリックします。

「調整値入力」画面が表示されます。

❾ X 値、Y 値のポップアップメニューで調整可能な範囲を確認します。

メモ 全体のバランスを考慮して、調整可能な範囲は色により異なります。

❿「パレットカラー調整」画面の調整対象色（画面色）に対して調整範囲内で最も希望する色を「色見本サンプル」の中から探し、X 方向（色相）、Y 方向（明度）の値（X 値、Y 値）を確認します。

⓫「パレットカラー調整」画面の調整対象色（画面色）をクリックします。

「調整値入力」画面が表示されます。

⑫「調整値入力」画面で、⑨で確認したＸ値とＹ値を選択し、[OK]をクリックします。

「パレットカラー調整」画面に戻ります。

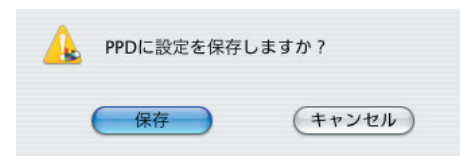
⑬［テスト印刷］をクリックして「調整対象色サンプル」を印刷します。変更後の「調整対象色サンプル」の色が、設定した値の色見本サンプルの色に近づいているか確認します。

他にも調整したい色がある場合は、❽〜⑬を繰り返します。

⑭ 設定名を入力し、［保存］をクリックします。

⑮ ❷で選択したPPDファイルに設定を保存する場合は、［保存］をクリックします。

「認証」画面が表示された場合は、管理者権限を持つユーザ名とパスワードを入力します（OS Xのみ）。

［キャンセル］をクリックすると、設定はユーティリティにもPPDファイルにも保存されません。

⑯［終了］をクリックし、カラー調整ユーティリティを終了します。

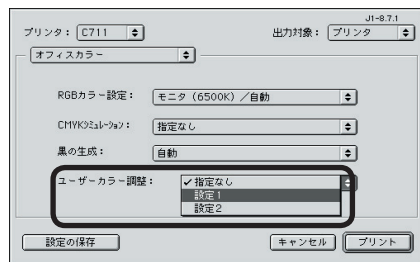
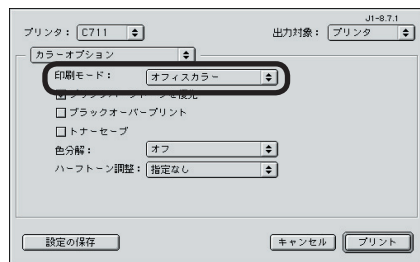
⑰ Mac OS Xの場合、［プリンタ設定ユーティリティ］に登録されているカラー調整を行ったプリンタを一旦削除し、プリンタを再登録します。

2 プリンタドライバで設定名を選択し、印刷します。

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❸ [カラーオプション] パネルの [印刷モード] で [オフィスカラー] を選択します。

❹ [オフィスカラー] パネルの [ユーザーカラー調整] で、カラー調整ユーティリティで作成したカラー調整名を選択します。

Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❸ [カラー] パネルの [印刷モード] で[オフィスカラー]を選択します。

❹ [詳細] ボタンをクリックして[オフィスカラー詳細設定]パネルを開き、[ユーザカラー調整]で、カラー調整ユーティリティで作成したカラー調整名を選択します。

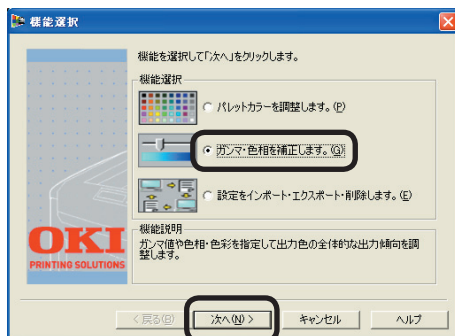
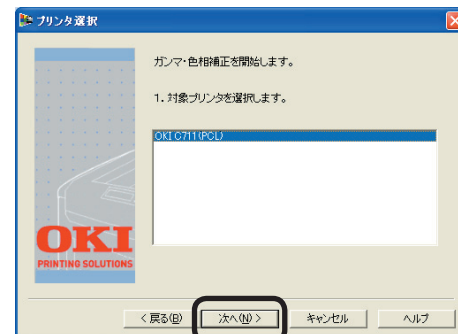
ガンマ値や色相を変更してカラーマッチングしたい（Windows）

カラー調整ユーティリティを使用して、ガンマ値や色相を調整してカラーマッチングすることができます。

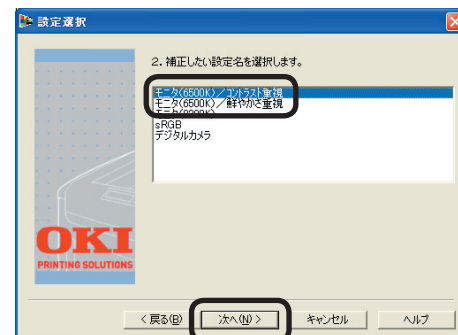
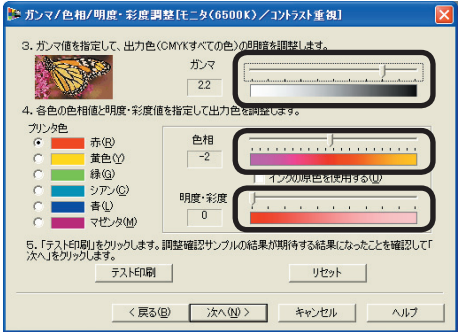
- カラー調整ユーティリティのセットアップについては、13 ページをご覧ください。
- プリンタドライバごとに設定を行ってください。
- テスト印刷は B5 サイズ以上の用紙を使用してください。
- プリンタの共有で接続されているプリンタでは使用できません。
- カラー調整ユーティリティを使用するには、コンピュータの管理者の権限が必要です。
- [Boot Menu] の [Job Limitation] が [Encrypted Job] に設定してある場合、テスト印刷機能は使用できません。[Boot Menu] の [Job Limitation] については、「操作パネルのメニュー一覧」（セットアップ編）の「Boot Menu」をご覧ください。
- Windows XPS プリンタドライバでは利用できません。

1 カラー調整ユーティリティで、ガンマ値・色相などを変更します。

❶ [スタート]-[すべてのプログラム]（Windows 2000 では[プログラム]）-[沖データ] - [カラー調整ユーティリティ] - [カラー調整ユーティリティ] を選択します。

❷ [ガンマ・色相を補正します] を選択し、[次へ] をクリックします。

❸「プリンタ選択」画面が表示されたら、調整するプリンタを選択し、[次へ] をクリックします。

カラー調整ユーティリティが起動します。

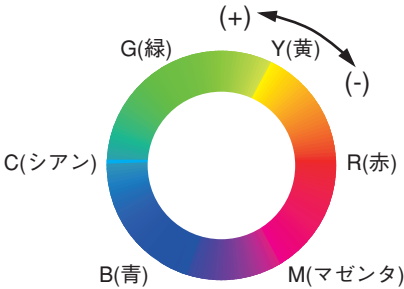
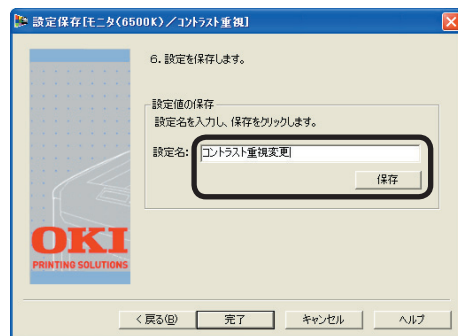
メモ インストールされているプリンタドライバが表示されます。プリンタドライバごとに設定を行ってください。

❹ リストボックスから基準となるモードを選択し、[次へ] をクリックします。

❺ ガンマ、色相、明度・彩度の各スライドバーの値を変更して調整します。

メモ
- ガンマ用スライドバーで全体の明暗を、色相 / 明度用スライドバーで出力色を調整できます。
- ［ガンマ］を左方向に調整するほど明るくなります。
- プリンタ色ボタンで調整対象色が切り替えられます。
- ［色相］は色相環の順方向（+）または逆方向（−）に各色を調整します。例えば､Y（黄）のスライドバーを（+）方向に動かすと G（緑）に近づき、（−）方向に動かすと R（赤）に近づきます。

メモ ［インクの原色を使用する］は、トナーの原色 100%の色が使用されるように調整します。ここをチェックした場合、その色に関しては［色相］スライドバーは固定され､次のようなトナー配合で印刷されるように調整します。

プリンタ色	結　果
シアン (C)	シアントナー 100%
マゼンタ (M)	マゼンタトナー 100%
イエロー (Y)	イエロートナー 100%
赤 (R)	マゼンタトナー 100% ＋ イエロートナー 100%
緑 (G)	シアントナー 100% ＋ イエロートナー 100%
青 (B)	シアントナー 100% ＋ マゼンタトナー 100%

❻［テスト印刷］をクリックします。

「調整確認サンプル」が印刷されます。

❼ 調整結果を確認し、希望する調整結果が得られない場合は、手順❺、❻を繰り返します。

❽［次へ］をクリックします。

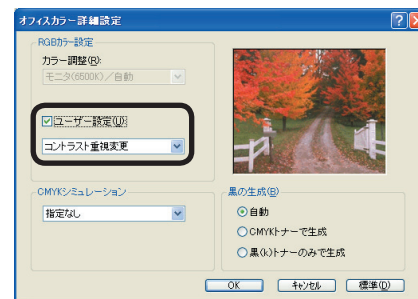
❾ 設定の名前を入力し、［保存］をクリックします。

❿［OK］をクリックします。

プリンタドライバのアップデート、再インストールを行った場合は、カラー調整ユーティリティを起動すると、作成したカラー調整名を再度読み込みます。［設定選択］にカラー調整名が表示されるのを確認し、［完了］をクリックしてください。

⓫［完了］をクリックし、カラー調整ユーティリティを終了します。

2 プリンタドライバで設定名を選択し、印刷します。

Windows PS/PCL プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹［カラー］タブの［印刷モード］で［オフィスカラー］を選択し、［詳細］をクリックします。

❺「オフィスカラー詳細設定」画面の［RGB カラー設定］で［ユーザー設定］にチェックを付け、カラー調整ユーティリティで作成した設定値を選択します。

- ［印刷モード］が［オフィスカラー］の場合にのみ有効です。
- プリンタドライバのアップデート、再インストールを行った場合は、カラー調整ユーティリティを起動すると、作成したカラー調整名を再度読み込みます。［設定選択］にカラー調整名が表示されるのを確認し、［終了］をクリックしてください。

ガンマ値や色相を変更してカラーマッチングしたい（Macintosh）

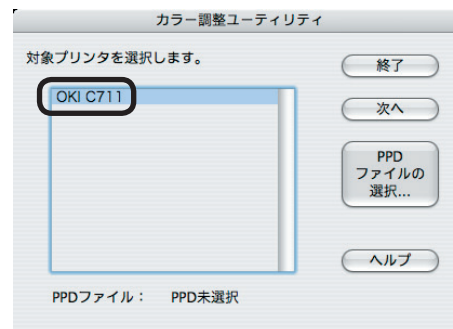
カラー調整ユーティリティを使用して、ガンマ値や色相を調整してカラーマッチングすることができます。

- カラー調整ユーティリティのセットアップについては、79 ページをご覧ください。
- PPD ファイルごとに設定を行ってください。
- テスト印刷は A4 サイズ以上の用紙を使用してください。
- プリンタの共有で接続されているプリンタでは使用できません。
- ［Boot Menu］の［Job Limitation］が［Encrypted Job］に設定してある場合、テスト印刷機能は使用できません。［Boot Menu］の［Job Limitation］については、「操作パネルのメニュー一覧」（セットアップ編）の「Boot Menu」をご覧ください。

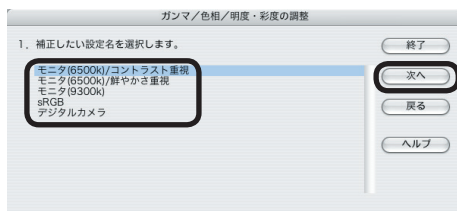
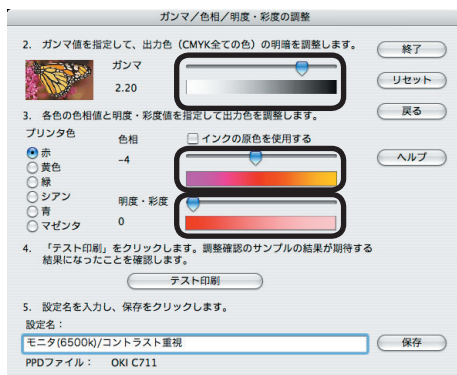
1 カラー調整ユーティリティで、ガンマ値・色相などを変更します。

❶［アプリケーション（MacOS 9.1 以上の場合は、Applications（MacOS 9））］-［OKIDATA］-［カラー調整ユーティリティ］-［C711］-［カラー調整ユーティリティ］をダブルクリックします。

カラー調整ユーティリティ

❷ 対象プリンタを選択し、［PPD ファイルの選択］をクリックして PPD ファイルを選択します。

メモ カラー調整ユーティリティの設定は、ここで選択した PPD に保存されます。

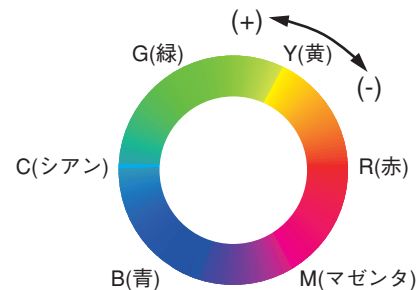
❸［ガンマ / 色相 / 明度・彩度の調整］をクリックします。

❹「ガンマ / 色相 / 明度・彩度の調整」画面が表示されたら、リストボックスから基準となるモードを選択し、［次へ］をクリックします。

❺ ガンマ、色相、明度・彩度の各スライドバーの値を変更して調整します。

- 画面左下部に❷で選択した PPD ファイル名が表示されます。
- ガンマ用スライドバーで全体の明暗を、色相 / 明度用スライドバーで出力色を調整できます。
- ［ガンマ］を左方向に調整するほど明るくなります。
- プリンタ色ボタンで調整対象色が切り替えられます。
- ［色相］は色相環の順方向（＋）または逆方向（－）に各色を調整します。例えば、Y（黄）のスライドバーを（＋）方向に動かすと G（緑）に近づき、（－）方向に動かすと R（赤）に近づきます。

- ［インクの原色を使用する］は、トナーの原色 100%の色が使用されるように調整します。ここをチェックした場合、その色に関しては［色相］スライドバーは固定され、次のようなトナー配合で印刷されるように調整します。

プリンタ色	結　果
シアン (C)	シアントナー 100%
マゼンタ (M)	マゼンタトナー 100%
イエロー (Y)	イエロートナー 100%
赤 (R)	マゼンタトナー 100% ＋ イエロートナー 100%
緑 (G)	シアントナー 100% ＋ イエロートナー 100%
青 (B)	シアントナー 100% ＋ マゼンタトナー 100%

❻［テスト印刷］をクリックします。

「調整確認サンプル」が印刷されます。

❼ 調整結果を確認します。

希望する調整結果が得られない場合は、手順❺、❻を繰り返します。

❽ 設定名を入力し、［保存］をクリックします。

❾ ❷で選択したPPDファイルに設定を保存する場合は、［保存］をクリックします。

「認証」画面が表示された場合は、管理者権限を持つユーザ名とパスワードを入力します（OS X のみ）。

［キャンセル］をクリックすると、設定はユーティリティにもPPDファイルにも保存されません。

❿ カラー調整ユーティリティを終了します。

⓫ Mac OS X の場合、［プリンタ設定ユーティリティ］に登録されているカラー調整を行ったプリンタを一旦削除し、プリンタを再登録します。

2 プリンタドライバで設定名を選択し、印刷します。

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［カラーオプション］パネルの［印刷モード］で［オフィスカラー］を選択します。

❹［オフィスカラー］パネルの［ユーザーカラー調整］で、カラー調整ユーティリティで作成したカラー調整名を選択します。

Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

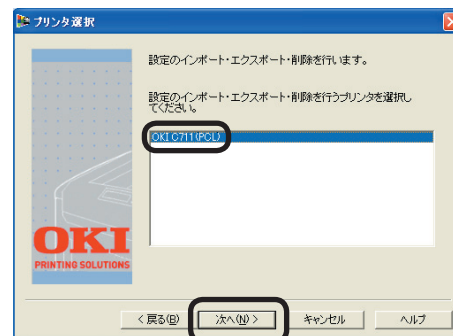
❸［カラー］パネルの［印刷モード］で［オフィスカラー］を選択します。

❹［詳細］ボタンをクリックして［オフィスカラー詳細設定］パネルを開き、［ユーザカラー調整］で、カラー調整ユーティリティで作成したカラー調整名を選択します。

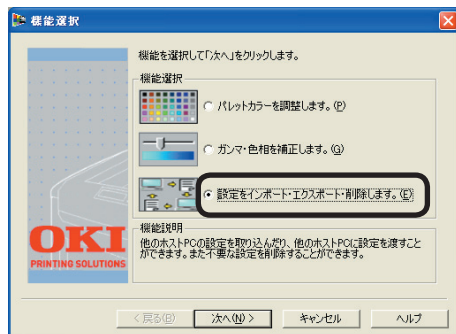
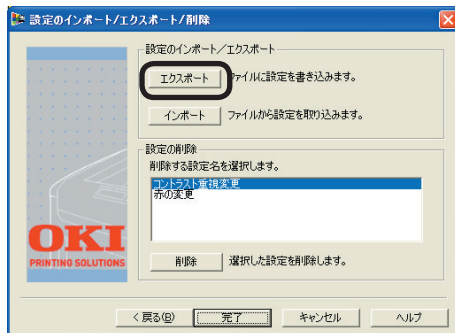
カラー調整の設定をファイルに保存したい（Windows）

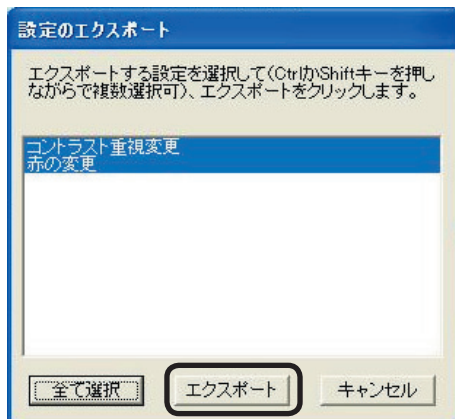
カラー調整ユーティリティで設定した内容をファイルに保存できます。

- カラー調整ユーティリティのセットアップについては、13 ページをご覧ください。
- プリンタドライバごとに設定を行ってください。
- テスト印刷は B5 サイズ以上の用紙を使用してください。
- プリンタの共有で接続されているプリンタでは使用できません。
- カラー調整ユーティリティを使用するには、コンピュータの管理者の権限が必要です。
- Windows XPS プリンタドライバでは利用できません。

1 カラー調整ユーティリティを起動します。

❶ [スタート]-[すべてのプログラム] (Windows 2000 では[プログラム])-[沖データ] - [カラー調整ユーティリティ] - [カラー調整ユーティリティ] を選択します。

❷ [設定をインポート・エクスポート・削除します] を選択し、[次へ] をクリックします。

❸ 設定を保存したいプリンタを選択し、[次へ] をクリックします。

2 設定を保存します。

❶［エクスポート］をクリックします。

❷「設定のエクスポート」画面で設定リストからエクスポートしたい設定を選択し、［エクスポート］をクリックします。

メモ Ctrl キーまたは Shift キーを押しながら選択すると、複数の設定を選択できます。

❸ 保存場所を選択し、設定用のフォルダ名を入力して［保存］をクリックします。

❹［OK］をクリックします。

❺［完了］をクリックし、カラー調整ユーティリティを終了します。

カラー調整の設定をファイルに保存したい（Macintosh）

カラー調整ユーティリティで設定した内容をファイルに保存できます。

- カラー調整ユーティリティのセットアップについては、79 ページをご覧ください。
- PPD ファイルごとに設定を行ってください。
- テスト印刷は A4 サイズ以上の用紙を使用してください。
- プリンタの共有で接続されているプリンタでは使用できません。

1 カラー調整ユーティリティを起動します。

❶［アプリケーション（MacOS 9.1 以上の場合は、Applications（MacOS 9））］-［OKIDATA］-［カラー調整ユーティリティ］-［C711］-［カラー調整ユーティリティ］をダブルクリックします。

カラー調整ユーティリティ

❷ 対象プリンタを選択し、［PPD ファイルの選択］をクリックして PPD ファイルを選択します。

メモ カラー調整ユーティリティの設定は､ここで選択した PPD に保存されます。

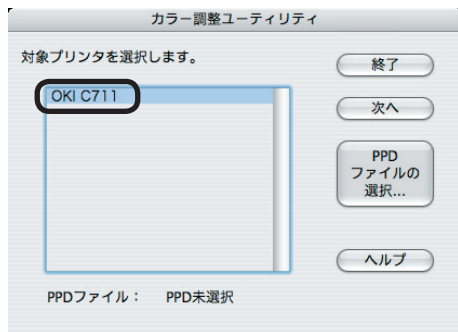
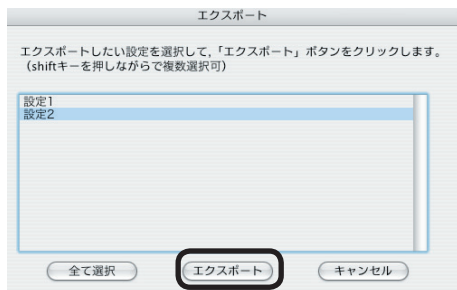
❸［設定のインポート / エクスポート / 削除］をクリックします。

2 設定を保存します。

❶［エクスポート］をクリックします。

メモ 画面左下部に手順 1 の❷で選択した PPD ファイル名が表示されます。

5

カラー調整の設定をファイルに保存したい（Macintosh）

❷「エクスポート」画面で設定リストからエクスポートしたい設定を選択し、[エクスポート] をクリックします。

メモ Shift キーを押しながら選択すると、複数の設定を選択できます。

❸ 保存場所を選択し、設定用のフォルダ名を入力して［保存］をクリックします。

❹ カラー調整ユーティリティを終了します。

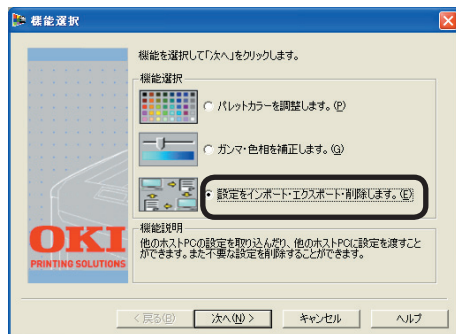
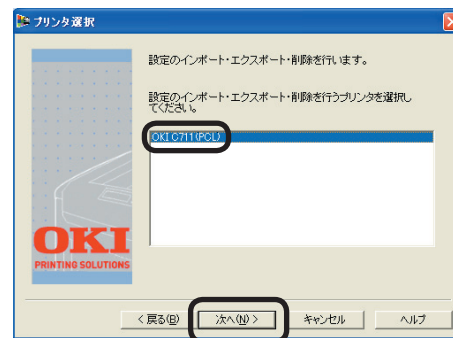
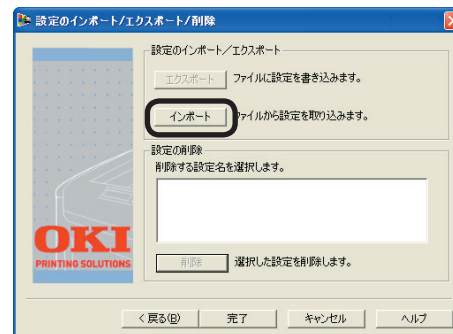
カラー調整の設定をファイルから読み込みたい（Windows）

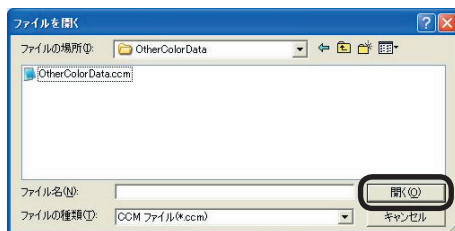
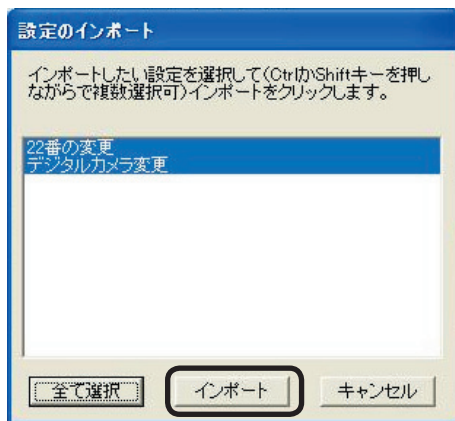
カラー調整の設定をファイルから読み込むことができます。

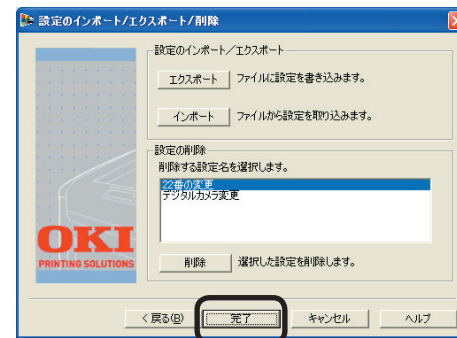
- カラー調整ユーティリティのセットアップについては、13 ページをご覧ください。
- プリンタドライバごとに設定を行ってください。
- テスト印刷は B5 サイズ以上の用紙を使用してください。
- プリンタの共有で接続されているプリンタでは使用できません。
- カラー調整ユーティリティを使用するには、コンピュータの管理者の権限が必要です。
- Windows XPS プリンタドライバでは利用できません。

1 カラー調整ユーティリティを起動します。

❶ [スタート]-[すべてのプログラム]（Windows 2000 では[プログラム]）-[沖データ]-[カラー調整ユーティリティ]-[カラー調整ユーティリティ]を選択します。

❷ [設定をインポート・エクスポート・削除します]を選択し、[次へ]をクリックします。

❸ 設定を読み込みたいプリンタを選択し、[次へ]をクリックします。

2 設定を読み込みます。

❶ [インポート]をクリックします。

❷ 読み込みたい設定が保存されているフォルダ内の“.CCM”ファイルを選択し、[開く］をクリックします。

❸「設定のインポート」画面の設定リストからインポートしたい設定を選択し、[インポート］をクリックします。

メモ Ctrl キーまたは Shift キーを押しながら選択すると、複数の設定を選択できます。

❹ 設定が読み込めたことを確認し、[完了］をクリックします。

カラー調整の設定をファイルから読み込みたい（Macintosh）

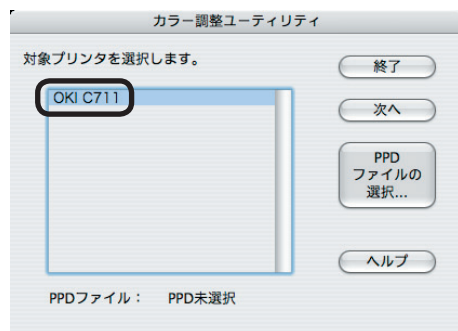
カラー調整の設定をファイルから読み込むことができます。

- カラー調整ユーティリティのセットアップについては、79 ページをご覧ください。
- PPD ファイルごとに設定を行ってください。
- テスト印刷は A4 サイズ以上の用紙を使用してください。
- プリンタの共有で接続されているプリンタでは使用できません。

1 カラー調整ユーティリティを起動します。

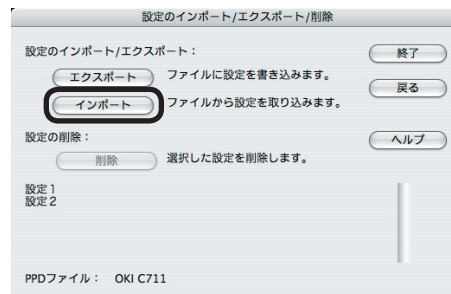
❶［アプリケーション（MacOS 9.1 以上の場合は、Applications（MacOS 9））］-［OKIDATA］-［カラー調整ユーティリティ］-［C711］-［カラー調整ユーティリティ］をダブルクリックします。

カラー調整ユーティリティ

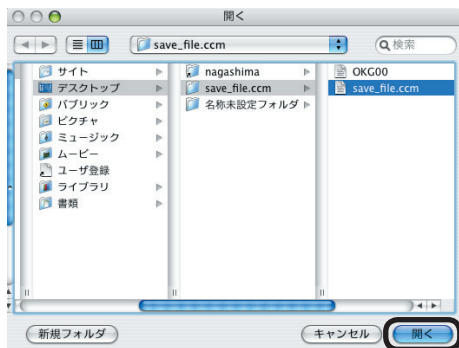
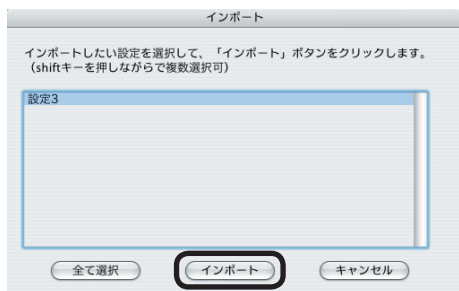
❷ 対象プリンタを選択します。

❸［PPD ファイルの選択］をクリックして PPD ファイルを選択します。

メモ カラー調整ユーティリティの設定は、ここで選択した PPD に保存されます。

❹［設定のインポート / エクスポート / 削除］をクリックします。

2 設定を読み込みます。

❶［インポート］をクリックします。

メモ 画面左下部に手順 1 の❸で選択した PPD ファイル名が表示されます。

❷ 読み込みたい設定が保存されているフォルダ内の “.ccm” ファイルを選択し、[開く] をクリックします。

❸「インポート」画面の設定リストからインポートしたい設定を選択し、[インポート] をクリックします。

メモ Shift キーを押しながら選択すると、複数の設定を選択できます。

❹ ❸で選択した PPD ファイルに設定を保存する場合は、[保存] をクリックします。

「認証」画面が表示された場合は、管理者権限を持つユーザ名とパスワードを入力します（OS X のみ）。

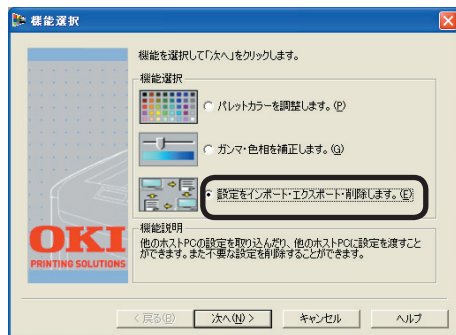
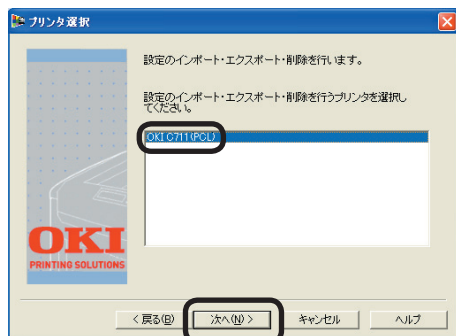
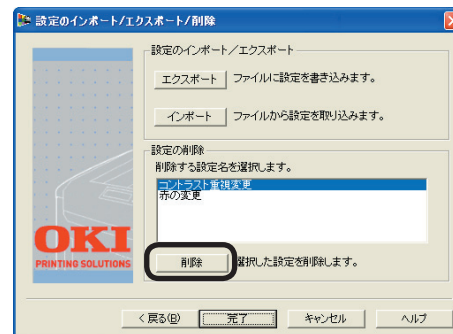
[キャンセル] をクリックすると、設定はユーティリティにも PPD ファイルにも保存されません。

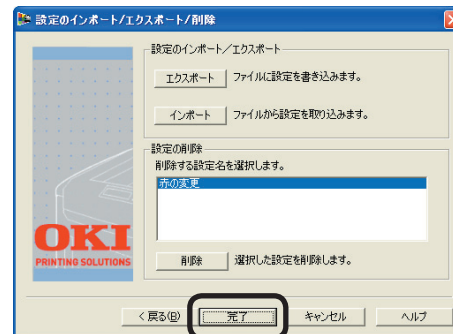
❺「パレットカラーの調整」および「ガンマ / 色相 / 明度・彩度の調整」画面で設定が読み込めたことを確認し、カラー調整ユーティリティを終了します。

カラー調整の設定を削除したい（Windows）

不要になったカラー調整を削除できます。

❶ [スタート]-[すべてのプログラム]（Windows 2000 では[プログラム]）-[沖データ] - [カラー調整ユーティリティ] - [カラー調整ユーティリティ] を選択します。

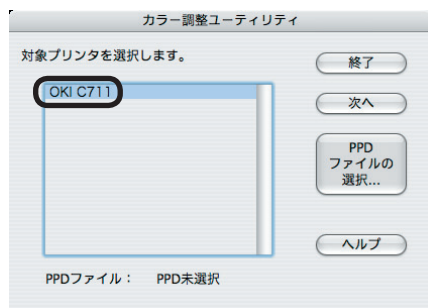
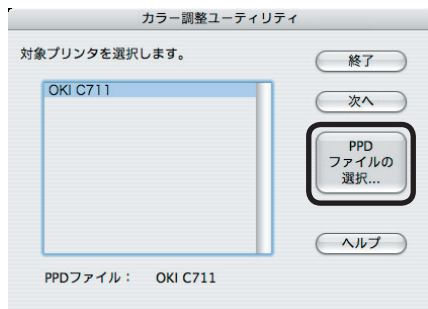
❷ [設定をインポート・エクスポート・削除します] を選択し、[次へ] をクリックします。

❸ 設定を保存したいプリンタを選択し、[次へ] をクリックします。

❹ 削除したい設定をリストから選択し、[削除] をクリックします。

❺ [はい] をクリックし、設定を削除します。

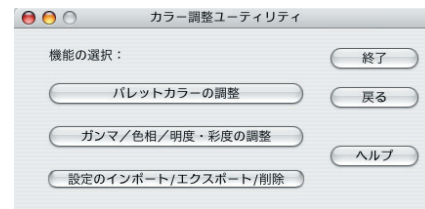
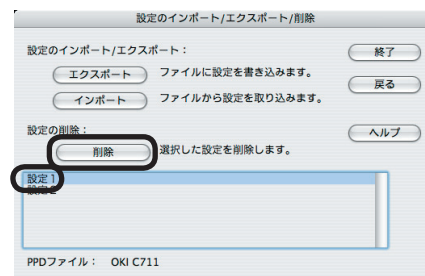
❻ 設定が削除されたことを確認し、[完了] をクリックします。

カラー調整の設定を削除したい（Macintosh）

不要になったカラー調整を削除できます。

❶［アプリケーション（MacOS 9.1 以上の場合は、Applications（MacOS 9)）］-［OKIDATA］-［カラー調整ユーティリティ］-［C711］-［カラー調整ユーティリティ］をダブルクリックします。

カラー調整ユーティリティ

❷ 対象プリンタを選択します。

❸［PPD ファイルの選択］をクリックして PPD ファイルを選択します。

メモ　カラー調整ユーティリティの設定は、ここで選択した PPD に保存されます。

❹［設定のインポート / エクスポート / 削除］をクリックします。

❺ 削除したい設定をリストから選択し、［削除］をクリックします。

メモ　画面左下部に手順１の❸で選択した PPD ファイル名が表示されます。

❻ ❸で選択した PPD ファイルに設定を保存する場合は、［保存］をクリックします。

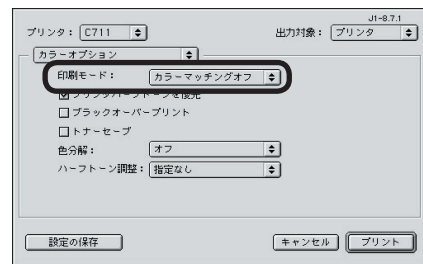
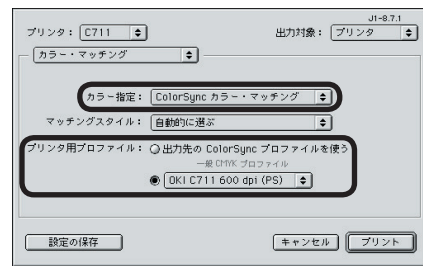
「認証」画面が表示された場合は、管理者権限を持つユーザ名とパスワードを入力します（OS X のみ)。

［キャンセル］をクリックすると、設定はユーティリティにも PPD ファイルにも保存されません。

❼「パレットカラーの調整」および「ガンマ / 色相 / 明度・彩度の調整」画面で設定が削除されたことを確認し、カラー調整ユーティリティを終了します。

Macintosh の ColorSync を使いたい

- アプリケーションが ColorSync に対応している必要があります。
- モニタのキャリブレーション、ICC プロファイル設定が完了していることを確認してください。

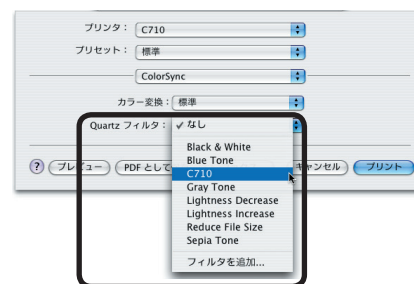
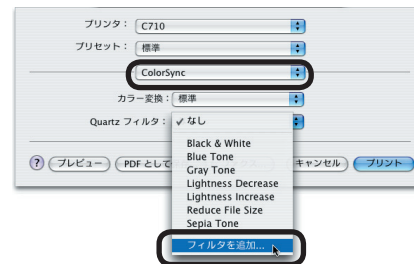
Macintosh プリンタドライバ

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ [ファイル] メニューの [プリント] を選択します。

❸ [カラー・マッチング] パネルの [カラー指定] で [Color Sync カラー・マッチング] を選択します。

[プリンタ用プロファイル] で [OKI C711 600 Multi (PS)]、[OKI C711 1200dpi (PS)] または [OKI C711 600dpi (PS)] を選択します。

❹ [カラーオプション] パネルの [印刷モード] で [カラーマッチングオフ] を選択します。

Mac OS X プリンタドライバ

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ [ファイル] メニューの [プリント] を選択します。

❸ [ColorSync] パネルの [Quartz フィルタ] で [フィルタを追加] を選択し、新規にフィルタを作成します。

❹ [ColorSync] パネルの [Quartz フィルタ] で作成した設定を選択します。

黒の部分の仕上りを変更したい

カラーで印刷するときの黒の部分の仕上りを変えられます。印刷モードが［オフィスカラー］または［グラフィックプロ］の場合に利用できます。

メモ 黒の生成

- 自動
  印刷するドキュメントに合わせて最適な方法で黒を生成します。印刷モードが[オフィスカラー]の場合のみ選択できます。
- CMYK トナーで生成
  シアン、マゼンタ、イエロー、黒のトナーで黒を合成します。茶色に近い黒になります。写真に適しています。
- 黒(K)トナーのみで生成
  黒トナーのみで黒を印刷します。図形、文字に適しています。写真を印刷すると暗い部分が黒っぽくなることがあります。

テキストとグラフィックスに純ブラックを使用

テキストやグラフィックスに RGB 色空間で定義されたブラック(R=0、G=0、B=0) または CMYK 色空間で定義されたブラック(C=0、M=0、Y=0、K=100%) が指定されている場合に、黒 (K) トナーのみで印刷するかどうかを指定します。

- オン
  黒指定のテキストやグラフィックスを黒 (K) トナーのみで印刷します。
- オフ
  黒指定のテキストやグラフィックスはカラーマッチングに指定しているプロファイルに依存して黒 (K) トナーのみまたは CMYK で合成された黒になります。

Windows PS/PCL プリンタドライバをお使いの方

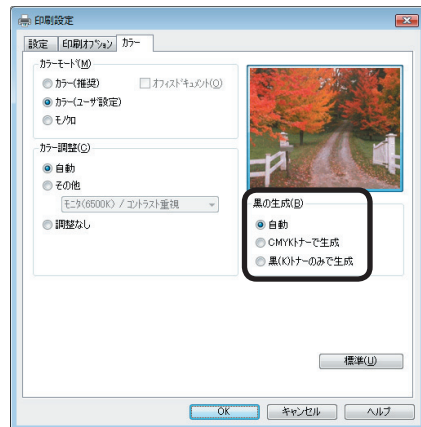
❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ ［カラー］タブの［印刷モード］で［オフィスカラー］または［グラフィックプロ］を選択し、［詳細］をクリックします。

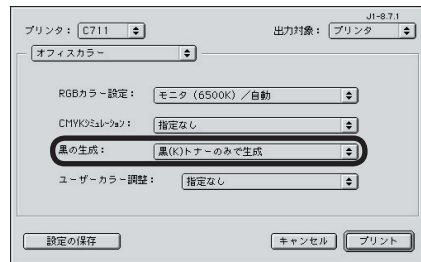
❺ ［黒の生成］から適当な項目を選択します。［グラフィックプロ］モードではさらに［テキストとグラフィックスに純ブラックを使用］に対しても適当な項目を選択します。

Windows XPS プリンタドライバをお使いの方

❶ アプリケーションを起動します。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。

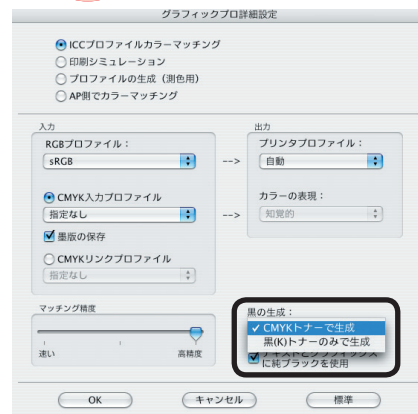
❹［カラー］タブの［カラー（ユーザ設定）］を選択し、［黒の生成］から適当な項目を選択します。

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［カラーオプション］パネルの［印刷モード］で［オフィスカラー］または［グラフィックプロ］を選択します。

❹［黒の生成］から適当な項目を選択します。
［グラフィックプロ］モードではさらに［テキストとグラフィックスに純ブラックを使用］に対しても適当な項目を選択します。

Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

アプリケーションによっては利用できないことがあります。

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［カラー］パネルの［印刷モード］で［グラフィックプロ］を選択します。

❹［詳細］ボタンをクリックして［グラフィックプロ詳細設定］パネルを開き、［黒の生成］および［テキストとグラフィックスに純ブラックを使用］で適当な項目を選択します。

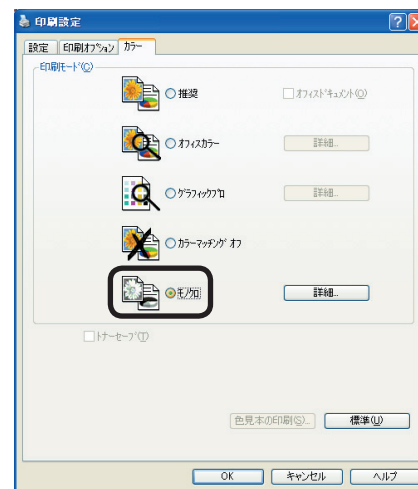
メモ

Mac OS X 10.5 ～ 10.6 で、［プリント］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、［プリンタ］ポップアップメニュー横にある［▼］ボタンをクリックしてください。

モノクロ（白黒）で印刷したい

印刷データに手を加えることなく、カラーデータをグレースケール（階調のある白黒）で印刷します。

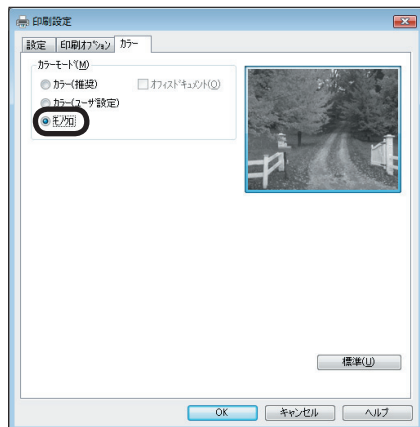
「モノクロ印刷」を指定して印刷した後にカラー印刷を行なうとき、定着器の温度調整により待ち時間が発生することがあります。

Windows PS/PCL プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

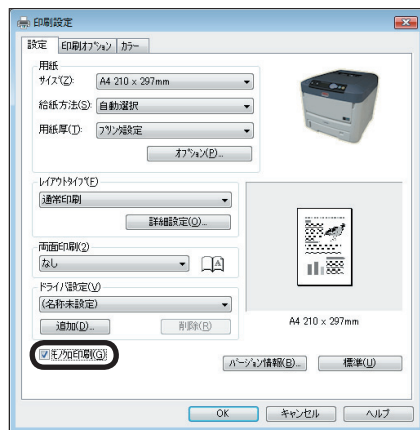
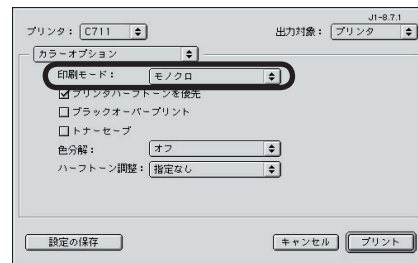
❸［詳細設定］をクリックします。（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹［カラー］タブの［印刷モード］で［モノクロ］を選択します。
または、PCL プリンタドライバでは、［設定］タブの［モノクロ印刷］にチェックを付けます。

Windows XPS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

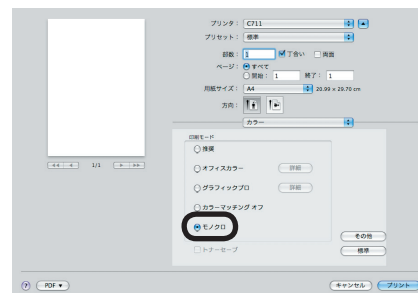
❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹［カラー］タブの［カラーモード］で［モノクロ］を選択します。または、［設定］タブの［モノクロ印刷］にチェックを付けます。

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［カラーオプション］パネルの［印刷モード］で［モノクロ］を選択します。

Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

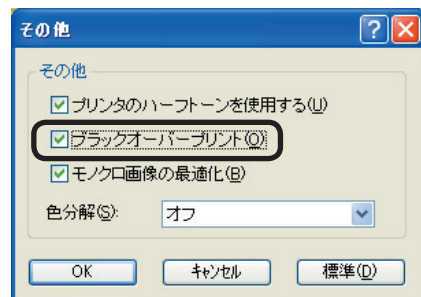
❸［カラー］パネルの［印刷モード］で［モノクロ］を選択します。

Mac OS X 10.5 ～ 10.6 で、［プリント］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、［プリンタ］ポップアップメニュー横にある［▼］ボタンをクリックしてください。

文字と背景の間の白すじをなくしたい（ブラックオーバープリント）

黒 100% の文字を色の付いた背景上に描画する場合に、文字と背景部分を重ねあわせて印刷（オーバープリント）することができます。文字と背景の境界に白すじなどの隙間ができた場合に設定してください。

- アプリケーションによっては利用できない場合があります。
- 文字が黒 100% でない場合や、文字がアウトライン抽出等によりグラフィックス化されている場合やイメージとなっている場合には利用できません。
  例えば、Windows で Microsoft Office アプリケーションを使用する場合、True Type フォントを使用して大きな文字を印刷すると、アプリケーション側で文字をグラフィックイメージに置き換えるため、ブラックオーバープリントが効かないことがあります。この場合はプリンタ内蔵フォントを指定してください。
- 背景の色が濃い場合（トナー層厚として 240% を超える場合）にはトナーがきちんと定着しないことがあります。例えばシアン 50%、マゼンタ 50%、イエロー 50% の背景色の上に黒 100% の文字を描画すると、トナー層厚は 50+50+50+100=250% となり、240% を超えることになります。

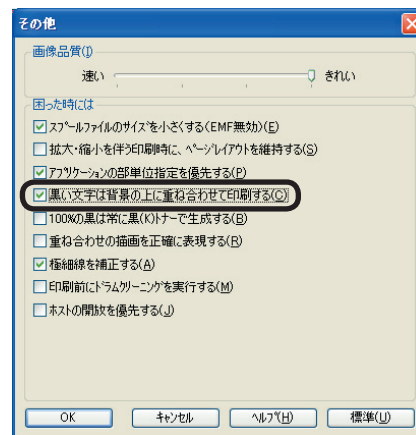
Windows PS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹［カラー］タブの［その他］をクリックします。

❺［ブラックオーバープリント］にチェックを付けます。

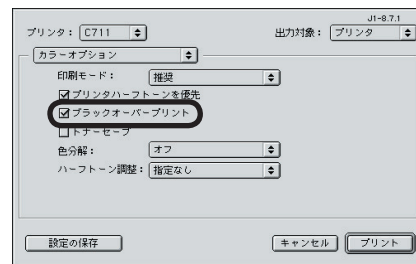
Windows PCL/XPS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹［印刷オプション］タブの［その他］をクリックします。

❺［黒い文字は背景の上に重ね合わせて印刷する］にチェックを付けます。

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［カラーオプション］パネルの［ブラックオーバープリント］にチェックを付けます。

Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

アプリケーションによっては利用できないことがあります。

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

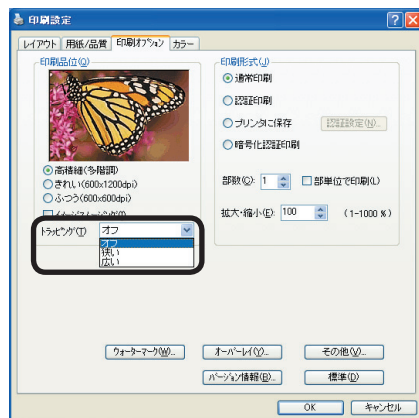
❸ [カラー] パネルの [その他] ボタンをクリックして [その他] パネルを開き、[ブラックオーバープリント] にチェックを付けます。

メモ Mac OS X 10.5 ～ 10.6 で、[プリント] ダイアログに [プリンタオプション] が表示されない場合は、[プリンタ] ポップアップメニュー横にある [▼] ボタンをクリックしてください。

版ズレの校正を行いたい（トラッピング）

トラッピングによる版ズレ校正を行うかどうかを指定します。
版ズレによって２つの重なり合うオブジェクト間に白すじや色のすじができる場合に使用します。

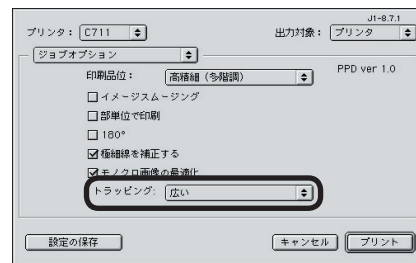
- 「印刷品位：高精細（多階調）」が指定されている場合にのみ有効です。前景オブジェクトが黒 100% のテキストの場合に白すじが発生する場合には、「ブラックオーバープリント」チェックボックスをチェックして印刷ください。
- Windows XPS プリンタドライバでは利用できません。

Window PS/PCL プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

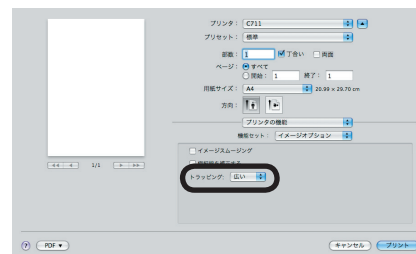
❹［印刷オプション］タブの［トラッピング］を変更します。

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［ジョブオプション］パネルの［トラッピング］を変更します。

Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

アプリケーションによっては利用できないことがあります。

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

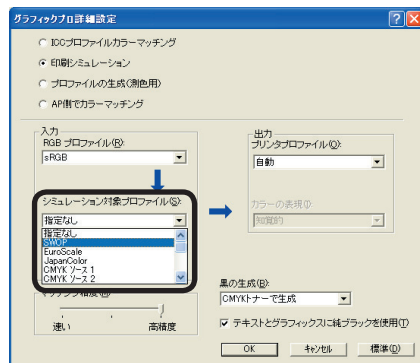
❸［プリンタの機能］パネルの［ジョブオプション］機能セットの［トラッピング］を変更します。

Mac OS X 10.5 ～ 10.6 で、［プリント］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、［プリンタ］ポップアップメニュー横にある［▼］ボタンをクリックしてください。

印刷用インクでの印刷結果をシミュレートしたい

CMYK カラーデータを調整してオフセット印刷等で使用されるインクの特性をプリンタでシミュレートします。

- Windows PCL/XPS プリンタドライバでは利用できません。
- Mac OS X プリンタドライバでは、アプリケーションによっては利用できないことがあります。
- [印刷モード] が [オフィスカラー]、または [グラフィックプロ] のとき有効になります。

Windows PS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

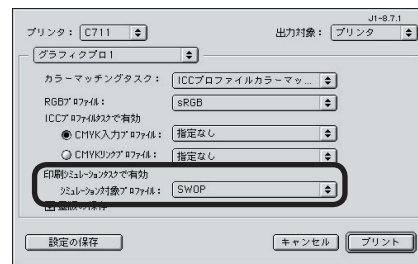
❷ [ファイル] メニューの [印刷] を選択します。

❸ [詳細設定] をクリックします。(Windows 2000 では、この操作は必要ありません。)

❹ [カラー] タブの [印刷モード] で [グラフィックプロ] を選択し、[詳細] をクリックします。

❺ [印刷シミュレーション] を選択し、[シミュレーション対象プロファイル] でシミュレートしたいインク特性を選択します。

ビジネス文書などの場合、❹、❺の手順で[カラー]タブの[オフィスカラー] を選択して [詳細] をクリックし、[CMYK シミュレーション] でシミュレートしたいインク特性を選択することもできます。

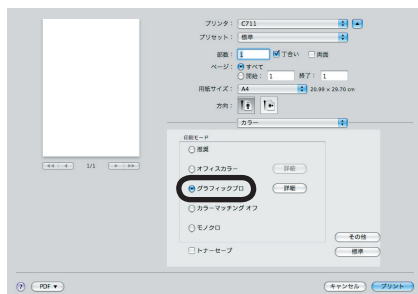
Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ [ファイル] メニューの [プリント] を選択します。

❸ [カラーオプション] パネルの [印刷モード] で [グラフィックプロ] を選択します。

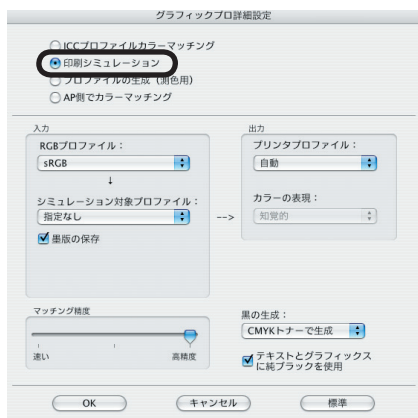
❹ [グラフィクスプロ 1] パネルの [カラーマッチングタスク] で [印刷シミュレーション] を選択し、[シミュレーション対象プロファイル] でシミュレートしたいインク特性を選択します。

ビジネス文書などの場合、❹の手順で[カラーオプション]パネルの[印刷モード]で[オフィスカラー]を選択し、[オフィスカラー]パネルの、[CMYK シミュレーション]でシミュレートしたいインク特性を選択することもできます。

Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

アプリケーションによっては利用できないことがあります。

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［カラー］パネルの［印刷モード］で［グラフィックプロ］を選択します。

❹［詳細］ボタンをクリックして［グラフィックプロ詳細設定］パネルを開き、［印刷シミュレーション］を選択します。

❺［シミュレーション対象プロファイル］でシミュレートしたいインク特性を選択します。

- ビジネス文書などの場合、❸、❹、❺の手順で［カラー］パネルの［印刷モード］で［オフィスカラー］を選択し、［詳細］ボタンをクリックして［オフィスカラー詳細設定］パネルを開き、［CMYK シミュレーション］でシミュレートしたいインク特性を選択することもできます。
- Mac OS X 10.5～10.6で、［プリント］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、［プリンタ］ポップアップメニュー横にある［▼］ボタンをクリックしてください。

Mac OS X に添付されるプリンタドライバの制限で、汎用的なアプリケーションで［オフィスカラー］を指定しても無効となります。Mac OS X 上では、この機能は RGB カラースペースでの出力を明示的に指定できるアプリケーションから印刷する場合にのみ有効となります。

色見本印刷して希望色の RGB 値を決めたい（Windows）

色見本印刷ユーティリティはプリンタで RGB 色の見本を印刷するためのユーティリティです。印刷された色見本を見ることにより、希望する色を印刷するにはアプリケーションでどのような RGB 値の指定を行えばよいかを確認することができます。

- Macintosh では利用できません。
- 色見本印刷ユーティリティのセットアップについては、13 ページをご覧ください。

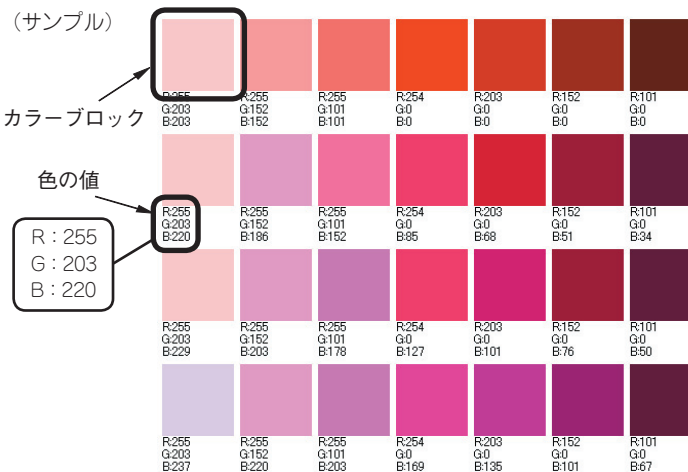
1 色見本を印刷します。

❶［スタート］-［すべてのプログラム］（Windows 2000 では［プログラム］）-［沖データ］-［色見本印刷ユーティリティ］-［色見本印刷ユーティリティ］を選択します。

❷［印刷］ボタンをクリックします。

❸ プリンタを選択します。

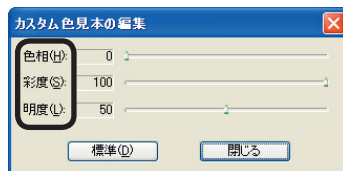
❹［OK］または［印刷］をクリックします。

色見本が 3 ページ印刷されます。

メモ　カラーブロックの下に表示される RGB 値は、カラーブロックの R（赤）、G（緑）、B（青）の色の成分量（0 ～ 255）を表しています。

❺ 印刷された色見本から、印刷したい色を選択し、印刷されている RGB 値をメモします。

5

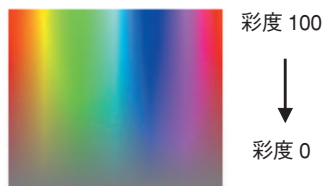
色見本印刷して希望色の RGB 値を決めたい（Windows）

メモ 色見本に印刷したい色がない場合は、以下の手順で色見本のカスタマイズを行います。

❶［切り替え］ボタンをクリックし、カスタム色見本に切り替えます。

❷［詳細］ボタンをクリックし、［カスタム色見本の編集］ダイアログを表示します。

❸希望の色がモニタ画面で表示されるまで、３つのバーを調整し、［閉じる］をクリックします。

色相：色相を変更します。0は赤を示し、値を増加すると緑方向へひと回りします。

彩度：鮮やかさを変更します。彩度が高ければより鮮やかに、低ければ濁った色(グレー)となります。

明度：濃さを変更します。明度が最大(100%)の場合には白、最も暗くなる(0%)と黒となります。

❹［印刷］ボタンをクリックします。

❺プリンタを選択します。

❻［OK］または［印刷］をクリックします。

プリンタから１ページ印刷されます。

❼色見本に希望する色が見つからない場合は、手順❶から繰り返します。

2 アプリケーションから希望する色を印刷します。

❶アプリケーションを起動します。

❷アプリケーション上で、テキストやグラフィックを選択し、印刷したい色の色見本の RGB 値を変更します。

注 アプリケーション上での色の指定方法は、各アプリケーションのマニュアルをご覧ください。

❸印刷します。

注 アプリケーションから希望する色を印刷する際、色見本を印刷したときに使用した設定値と同じプリンタドライバ設定値を使用してください。

写真の印刷濃度を調整したい（ハーフトーン調整）

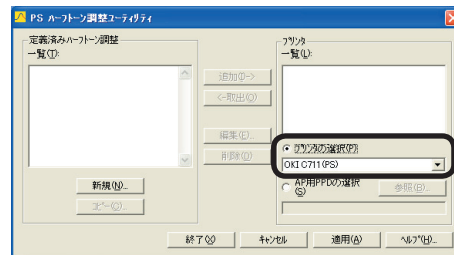
プリンタの CMYK 各色のハーフトーン濃度を調整することができます。
写真などの画像が濃すぎる場合に調整してください。

- Windows PCL/XPS プリンタドライバでは利用できません。
- PS ハーフトーン調整ユーティリティのセットアップについては、Windows の場合は 13 ページ、Mac OS X の場合は 61 ページをご覧ください。
- Windows では［ハーフトーン調整名］を登録後、プリンタドライバの［カラー］タブに［ハーフトーン調整］メニューまたはその内容が表示されない場合があります。この場合はコンピュータを再起動してください。
- ハーフトーン調整を使用すると、印刷が遅くなる場合があります。速度を優先したい場合は、［ハーフトーン調整］で［指定なし］を選択してください。
- Adobe PageMaker7.0J/6.5J の場合は、［プリント］ダイアログの［形式］で［プリンタ名］を選択してから［プリンタ特性］をクリックし、［ハーフトーン調整］で「ハーフトーン調整名」を指定してください。
- 「ハーフトーン調整名」を登録する以前から起動されていたアプリケーションは、印刷前に再起動する必要があります。
- アプリケーションによっては、ドットゲインの補正やハーフトーン調整を印刷時に指定したり、または EPS ファイルにその設定を含める機能を持つものがあります。アプリケーション側のこのような機能を利用する場合は、［ハーフトーン調整］で［指定なし］を選択してください。
- PS ハーフトーン調整ユーティリティの「プリンタの選択」リストには機種名が表示されます。［プリンタと FAX］（Windows 2000 では［プリンタ］）フォルダに複数の同一機種プリンタが存在する場合は、登録した「ハーフトーン調整名」はすべての同一機種プリンタに有効となります。

Windows PS プリンタドライバをお使いの方

1 ハーフトーン調整名を登録します。

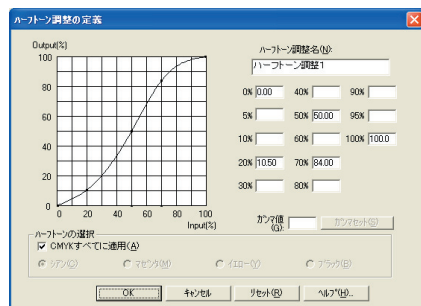
❶［スタート］-［すべてのプログラム］（Windows 2000 では［プログラム］）-［沖データ］-［PS ハーフトーン調整ユーティリティ］-［PS ハーフトーン調整ユーティリティ］を選択します。

❷［プリンタの選択］からプリンタを選択します。

アプリケーション（Adobe PageMaker 等）によっては印刷時に独自に用意された PPD ファイルを使用するものがあります。この場合は［AP 用 PPD の選択］を選択し、［参照］をクリックしてアプリケーションの使用する PPD ファイルを選択します。

❸［新規］をクリックします。

❹ 次のいずれかの方法でハーフトーンを調整し、「ハーフトーン調整名」に名前を入力してから［OK］をクリックします。

各色ごとに調整するときは、［CMYK すべてに適用］のチェックを外し、調整する色にチェックを付けます。

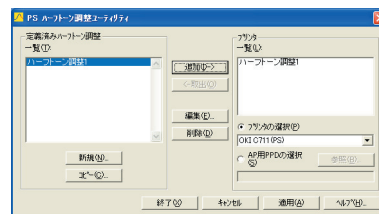
- グラフ線を直接操作する。
  線をドラッグしたり、線上でクリックします。制御点を移動させて調整を行います。
- ガンマ値を入力する。
  ガンマ値を入力し、［ガンマセット］をクリックします。自動的に 13 の点で滑らかなカーブを生成し中間調を調整します。値は 0.01 から 99.99 まで指定できます。1.0 より大きな値では中間調が薄くなり、小さい値では濃くなります。
- 各濃度テキストボックスに値を入力する。

〈調整の目安〉

以下を参考にしてください。
赤を濃くする場合　シアンの値を上げます。
青を濃くする場合　イエローの値を上げます。
緑を濃くする場合　マゼンタの値を上げます。
赤を薄くする場合　シアンの値を下げます。
青を薄くする場合　イエローの値を下げます。
緑を薄くする場合　マゼンタの値を下げます。

❺［追加→］をクリックします。

ハーフトーン調整名が［プリンタ］の［一覧］に表示されます。

❻［適用］をクリックします。

1 つの PPD ファイルに最大 6 つまで「ハーフトーン調整名」を登録できます。

❼ PPD への登録完了画面で［OK］をクリックします。

❽［終了］をクリックし、PS ハーフトーン調整ユーティリティを終了します。

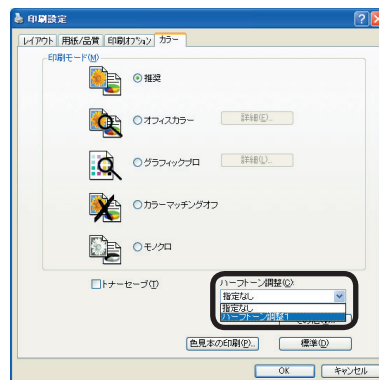
2 プリンタドライバでハーフトーン調整名を選択し、印刷します。

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。

（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹［カラー］タブの［ハーフトーン調整］で、手順 1 の❹で作成した「ハーフトーン調整名」を選択し、印刷します。

Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

❶ ［アプリケーション］-［OKIDATA］-［Halftone］-［PS ハーフトーン調整ユーティリティ］をダブルクリックします。

PSハーフトーン調整ユーティリティ

❷ ［新規ハーフトーン調整の定義］をクリックします。

❸ 次のいずれかの方法でハーフトーンを調整し、「ハーフトーン調整名」に名前を入力し、［保存］をクリックします。

各色ごとに調整するときは、［CMYK すべてに適用］のチェックを外し、調整する色にチェックを付けます。

- グラフ線を直接操作する。
  線をドラッグしたり、線上でクリックします。制御点を移動させて調整を行います。
- ガンマ値を入力する。
  ガンマ値を入力し、［ガンマセット］をクリックします。自動的に 13 の点で滑らかなカーブを生成し中間調を調整します。値は 0.01 から 99.99 まで指定できます。1.0 より大きな値では中間調が薄くなり、小さい値では濃くなります。
- 各濃度テキストボックスに値を入力する。

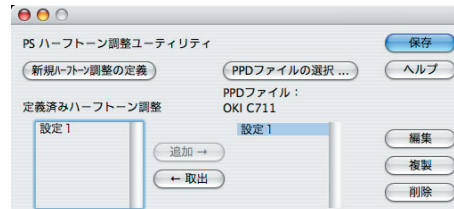
❹ ハーフトーン調整を登録する PPD ファイルが選択されているか確認します。

別の PPD ファイルが選択されている場合は［PPD ファイルの選択 ...］をクリックし、目的の PPD ファイルを選択します。

❺ ［追加→］をクリックします。

新しいハーフトーン調整名が右の登録一覧に表示されます。

❻ ［保存］をクリックします。「認証」画面が表示された場合は、管理者権限をもつユーザ名とパスワードを入力します。

登録一覧に表示しているハーフトーン調整名を、選択されている PPD ファイルに登録します。

❼ PS ハーフトーン調整ユーティリティを終了します。

❽ ［プリンタ設定ユーティリティ］に登録されているハーフトーン調整を行ったプリンタを一旦削除し、プリンタを再登録します。

❾ 印刷したいファイルを開きます。

❿ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

⓫ ［プリンタの機能］パネルの［ジョブオプション］機能セットの［ハーフトーン調整］で、手順❸で作成した「ハーフトーン調整名」を選択し、印刷します。

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶ [MicrolinePS] - [MicrolinePS Utility] - [MicrolinePS Utility] をダブルクリックします。

❷ メインダイアログから [ハーフトーン調整] を選択します。

❸ [新規ハーフトーン調整の定義] をクリックします。

❹ 次のいずれかの方法でハーフトーンを調整し、「ハーフトーン調整名」に名前を入力し、[保存] をクリックします。

各色ごとに調整するときは、[CMYK すべてに適用] のチェックを外し、調整する色にチェックを付けます。

- グラフ線を直接操作する。
  線をドラッグしたり、線上でクリックします。制御点を移動させて調整を行います。
- ガンマ値を入力する。
  ガンマ値を入力し、[ガンマセット] をクリックします。自動的に 13 の点で滑らかなカーブを生成し中間調を調整します。値は 0.01 から 99.99 まで指定できます。1.0 より大きな値では中間調が薄くなり、小さい値では濃くなります。
- 各濃度テキストボックスに値を入力する。

❺ ハーフトーン調整を登録する PPD ファイルが選択されているか確認します。

別の PPD ファイルが選択されている場合は [PPD ファイルの選択 ...] をクリックし、目的の PPD ファイルを選択します。

❻ [追加→] をクリックします。

新しいハーフトーン調整名が右の登録一覧に表示されます。

❼ [保存] をクリックします。

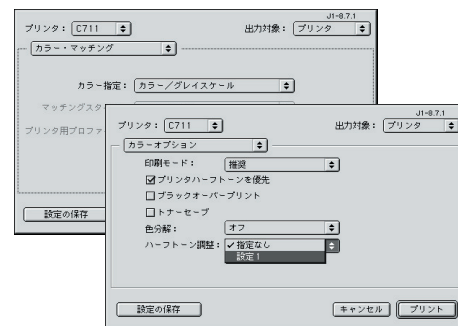
登録一覧に表示しているハーフトーン調整名を、選択されている PPD ファイルに登録します。

❽ MicrolinePS Utility を終了します。

❾ 印刷したいファイルを開きます。

❿ [ファイル] メニューの [プリント] を選択します。

⓫ [カラー・マッチング] パネルの [カラー指定] で「カラー / グレースケール」を選択します。

⓬ [カラーオプション] パネルの [ハーフトーン調整] で、手順❹で作成した「ハーフトーン調整名」を選択し、印刷します。

分版印刷をしたい

アプリケーションが分版印刷の機能を持っていなくても、シアン、マゼンタ、イエロー、黒の4色に色分解印刷を行うことができます。

・ Windows PCL/XPS プリンタドライバでは利用できません。
・ Adobe Illustrator を使用する場合は、アプリケーションの分版印刷機能を使用してください。プリンタドライバの設定はカラーマッチングオフにしてください。

色分解の機能は版下作成用です。指定された各原色の版を黒トナーで印刷します。それぞれの原色インクで印刷する機能ではありません。

Windows PS プリンタドライバをお使いの方

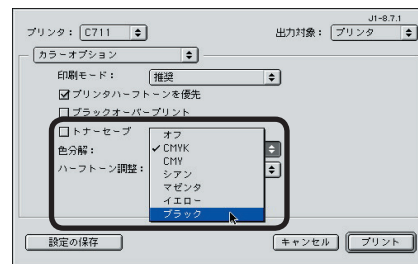
❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

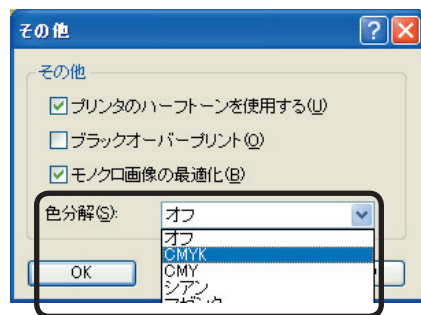
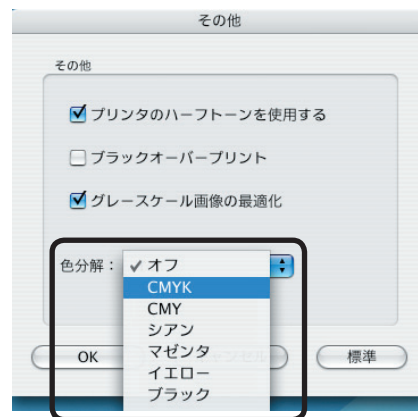
❸［詳細設定］をクリックします。（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹［カラー］タブの［その他］ボタンをクリックします。

❺［色分解］で分版印刷したい色を選択します。

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［カラーオプション］パネルの［色分解］で分版印刷したい色を選択します。

Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［カラー］パネルの［その他］ボタンをクリックして［その他］パネルを開き、［色分解］で分版印刷したい色を選択します。

特定の色味を強くしたい、または弱くしたい

プリンタの色味を好みに合わせて調整する場合は、プリンタの操作パネルで調整を行ってください。
調整は、各色の淡い（Highlight）・濃い（Dark）・中間（Mid-tone）の 3 か所の部分を濃くしたり、薄くしたりすることで指定します。

ここでは、シアンの色の淡い部分を少し濃くする手順について説明します。シアンの他の部分や、他の色を調整したい場合は、それぞれの色について調整を行ってください。

プリントジョブアカウンティング（オプション）で[ローカルプリント]が[印刷不可]、または[カラー印刷不可]に設定されている場合は印刷できません。

1 カラー調整パターンを印刷します。

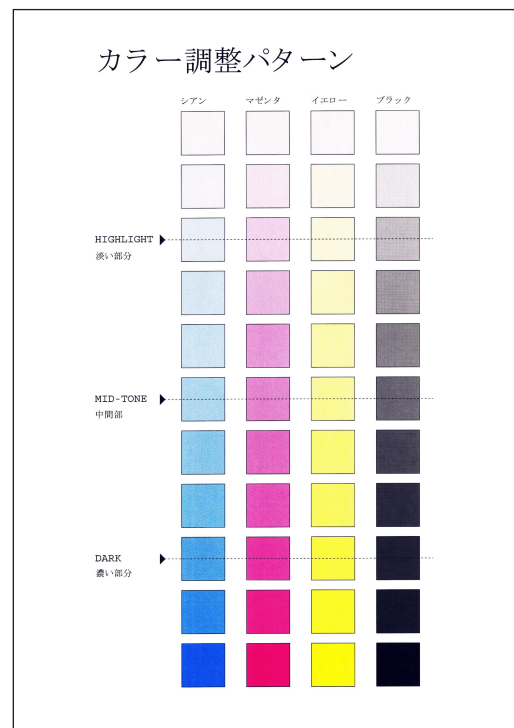
❶ ボタンを数回押して［プリンタ調整］を選択し、設定ボタンを押します。

❷ ボタンを数回押して［調整パターン印刷 / 実行］を表示します。

❸ 設定ボタンを押します。

カラー調整パターン印刷が開始されます。

カラー調整パターンには四角が縦 11 行、横 4 列で配置されていて、縦 11 行は色の調子を表しており、[HIGHLIGHT 淡い部分]、[MID-TONE 中間部]、[DARK 濃い部分] とそれぞれの文字右側に破線が印刷されています。
横 4 列は左からシアン、マゼンタ、イエロー、ブラックを表しており、[シアン]、[マゼンタ]、[イエロー]、[ブラック] と印刷されています。

目次へ 戻る 前へ 次へ 索引へ 検索する

2 シアンの色を調整します。

淡い部分の調整は、淡い部分（Highlight）の設定値を変更します。

❶ [Highlight ／ XX]（XX は現在設定されている値）と表示されていることを確認します。表示されている場合は、❺に進みます。そうでない場合は、❷～❹を実行します。

❷ ボタンを数回押して［プリンタ調整］を選択し、設定ボタンを押します。

❸ ボタンを数回押して［シアン調整］を選択し、設定ボタンを押します。

❹ ボタンまたは ボタンを数回押して［Highlight］を選択し、設定ボタンを押します。

❺ ボタンを数回押して、設定されている値より大きい値を選択し、設定ボタンを押します。

メモ 数字を増やすと濃い方向に、減らすと薄い方向に調整されます。

❻ 設定ボタンを押し、値の左側に［✱］を付けます。

❼ 「オンライン」ボタンを押し、[印刷できます］にします。

3 アプリケーションから印刷します。

好みの調子にならない場合は手順 1, 2 を繰り返してください。

6 プリンタメニューの使い方について

省電力モード（パワーセーブ）に入るまでの時間を変更したい

省電力モードに入るまでの時間を設定できます。
省電力モードに入るまでの時間を長くすると、印刷開始までの時間を短くできる場合があります。
設定した時間データを受信しないと省電力モードになります。

＊は初期値です。

「1 分」
「2 分」
「3 分」
「4 分」
「5 分」
「10 分」
「15 分」
＊「30 分」
「60 分」
「120 分」
「180 分」

ここでは操作パネルで時間を変更する手順を説明します。

❶ ボタンを数回押して［メニュー］を選択し、設定ボタンを押します。

❷ ボタンを数回押して［システム設定］を選択し、設定ボタンを押します。

❸ ［パワーセーブ移行時間］が選択されているので、設定ボタンを押します。

❹ ボタンまたは ボタンを数回押して、設定したい時間を選択し、設定ボタンを押します。

❺ オンラインボタンを押し、［印刷できます］を表示します。

メモ ［Boot Menu］の［Power Save］を［Disable］にすると省電力モードに入らなくなりますが、定着器を印刷可能温度に保つために電力を消費します。プリンタを使用しないときには電源を OFF にしてください。

スリープモードに入るまでの時間を変更したい

スリープモードに入るまでの時間を設定できます。
省電力モード（パワーセーブ）に入ってから、設定した時間データを受信しないとスリープモードになります。

＊は初期値です。

「1 分」
「2 分」
「3 分」
「4 分」
「5 分」
＊「10 分」
「15 分」
「30 分」
「60 分」
「120 分」
「180 分」

ここでは操作パネルで時間を変更する手順を説明します。

❶ ボタンを数回押して［メニュー］を選択し、 設定ボタンを押します。

❷ ボタンを数回押して［システム設定］を選択し、 設定ボタンを押します。

❸ ボタンを押して［スリープ移行時間］を選択し、 設定ボタンを押します。

❹ ボタンまたは ボタンを数回押して、設定したい時間を選択し、 設定ボタンを押します。

❺ オンラインボタンを押し、［印刷できます］を表示します。

メモ ［Boot Menu］の［Sleep］を［Disable］にするとスリープモードに入らなくなります。

スリープモードの解除方法

スリープモードを解除するには、 節電 / 復帰ボタンを押すか、ネットワークから印刷データをプリンタに送信します。

スリープモード時の制限事項

プリンタがスリープモードに移行すると、プリンタドライバ、ユーティリティの機能が以下のように制限されます。
プリンタがスリープモードに移行している場合は、操作パネルの 節電 / 復帰ボタンを押し、「印刷できます」が表示されることを確認してください。
「印刷できます」と表示していれば、以下の制限事項は発生しません。

OS	ソフトウェア名	スリープモード時の制限事項	節電 / 復帰ボタンを押す以外の対処方法
Win	プリンタドライバ	パラレルインタフェースで接続している場合は、印刷できません。	USB/ ネットワークでプリンタに接続します。
	Network Extention	プリンタに接続できません。	–
	NIC Setup Utility	プリンタの検索や設定ができません。	–
	プリントジョブアカウンティング	パラレルインタフェースで接続している場合は、プリンタの追加や設定、ログの取得ができません。	USB/ ネットワークでプリンタに接続します。
	Print Super Vision	消耗品の監視、印刷枚数の監視などができません。	–
	ストレージデバイスマネージャ	パラレルインタフェースで接続している場合は、プリンタの検索や設定ができません。	USB/ ネットワークでプリンタに接続します。
	カラー調整ユーティリティ	パラレルインタフェースで接続している場合は、テスト印刷ができません。	USB/ ネットワークでプリンタに接続します。
	Web Driver Installer	• ドライバインストール時、プリンタのオプション情報を自動で取得できません。 • プリンタを WDI サーバに手動で登録できません。	–
	パネル言語セットアップ	パラレルインタフェースで接続している場合は、設定できません。	USB/ ネットワークでプリンタに接続します。
	Profile Assinstant	パラレルインタフェースで接続している場合は、プリンタの検索や設定ができません。	USB/ ネットワークでプリンタに接続します。
	PDF Print Direct	パラレルインタフェースで接続している場合は、印刷できません。	USB/ ネットワークでプリンタに接続します。
	ドライバインストーラ	• ネットワークで接続している場合は、ドライバインストール時、プリンタのオプション情報を自動で取得できません。 • パラレルインタフェースで接続している場合は、プリンタがスリープモードから復帰するまで、ドライバのインストールが完了しません。	–
Mac	プリンタドライバ	AppleTalk で接続している場合は、印刷できません。	TCP/IP でプリンタに接続します。
	NIC Setup Utility	プリンタの検索や設定ができません。	–
	MicrolinePS ユーティリティ	AppleTalk で接続している場合は、プリンタに接続できません。	–

スリープモードのネットワーク機能制限事項

スリープモードでは、ネットワークの機能に以下のような制限があります。

スリープモードに移行しない

1) IPSec が有効になっている
2) NetBEUI が有効になっている
3) NetWare が有効になっている
4) EtherTalk が有効になっている
5) TCP のコネクションが確立している

例：telnet, ftp でコネクションを確立している場合など
パワーセーブ状態でスリープ移行時間経過後、コネクションが切断されるとスリープモードに入ります。

※ スリープモードを有効に使用したい場合には、IPSec/NetBEUI/NetWare/EtherTalk を無効にしてください。

印刷できない

スリープモード中は、以下のプロトコルを使用した印刷はできません。

1) NetBEUI
2) NBT
3) NetWare
4) EtherTalk ※ 1
5) Bonjour ※ 1

※1 Mac OS X をご使用の場合、「IP プリント」で接続すると、スリープ中の印刷が可能になります。

検索・設定できない

スリープモード中は、以下の機能 / プロトコルを使用した検索 / 設定はできません。

1) PnP-X
2) UPnP
3) Bonjour
4) LLTD
5) FLDP
6) ODNSP
7) JCP
8) MIB ※ 2

※2 スリープモード中にサポートする一部の MIB による参照 (Get コマンド) は可能です。

クライアント機能を持つプロトコルが動作しない

1) E メールアラート※ 3
2) SNMP トラップ
3) WINS ※ 4
4) SNTP ※ 5

※3 スリープモード中の経過時間は、E メールアラートの定期的な通知時間の間隔には含まれません。
※4 スリープモード中の経過時間は、WINS の更新時間の間隔に含まれません。
スリープモード中は WINS の定期更新を行わないため、WINS サーバに登録された名前が削除されることがあります。
※5 スリープモード中の経過時間は、NTP サーバに対する更新時間の間隔に含まれません。

スリープモードを無効にして使用するプロトコル

以下のプロトコルを使用する場合は、スリープモードを無効にしてください。

1）IPv6
2）NetBEUI
3）NetWare
4）EtherTalk

印刷をキャンセルしたい

プリンタで処理中のデータをキャンセルすることができます。

1 プリンタの操作パネルで印刷をキャンセルします。

❶ 「キャンセル」ボタンを短押下します。

プリンタは印刷ジョブの最後まで受け取ってキャンセルします。

- プリンタで印刷準備が整ったページはそのまま印刷されます。
- ［データを削除しています］が長く続く場合はコンピュータで印刷ジョブを削除してください。

プリンタの動作モードを変更したい

プリンタの動作モードを変更することができます。

*「自動」	自動で動作モードを切り替えます。
「PostScript」	PostScript モードに固定します。
「PCL」	PCL モードに固定します。
「XPS」	XPS モードに固定します。

＊は初期値です。

ここでは操作パネルで動作モードを変更する手順を説明します。

❶ ボタンを数回押して［管理者用メニュー］を選択し、設定ボタンを押します。

❷［パスワード入力］画面になるので、パスワードを入力します。パスワードの初期値は「aaaaaa」です。

❸ ボタンを数回押して［印刷設定］を選択し、設定ボタンを押します。

❹［動作モード］が選択されているので、設定ボタンを押します。

❺ ボタンまたは ボタンを数回押して、設定したい値を選択し、設定ボタンを押します。

❻ オンラインボタンを押し、［印刷できます］を表示します。

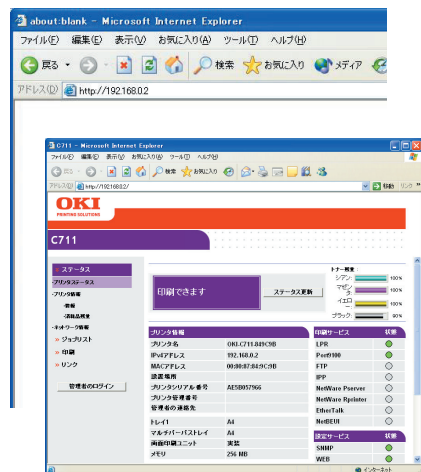
コンピュータからプリンタの状態を確認したい

ネットワーク上のコンピュータからプリンタの状態を確認できます。

Windows の場合、PrintSuperVision でも行うことができます。詳しくは「1 Windows ソフトウェア」(11 ページ)をご覧ください。

Web ブラウザを使う場合

TCP/IP でネットワークに接続している場合に利用できます。

「プリンタステータス」画面で確認する

❶ Web ブラウザを起動し、[アドレス] にプリンタの IP アドレスを入力し、Enter キーを押します。

「プリンタステータス」画面が表示されます。

「ステータスウインドウ」で確認する

「ステータスウィンドウ」でも、プリンタの状態を確認することができます。詳しくは「ステータスウインドウを使います」(Windows をお使いの方は 50 ページ、Macintosh をお使いの方は 71 ページ)をご覧ください。

OKI LPR ユーティリティ(Windows)を使う場合

TCP/IP でネットワークに接続している場合に利用できます。

❶ OKI LPR ユーティリティを起動します。

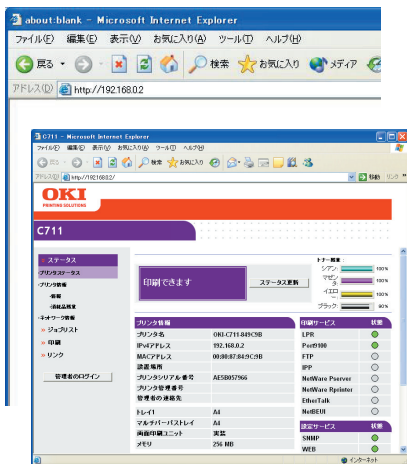
❷ 対象のプリンタを選択します。[リモートプリント] メニューの [プリンタのステータス ...] または [ジョブの表示 ...] を選択します。

プリンタの表示パネルの内容が表示されます。

コンピュータからプリンタの設定を変更したい

プリンタの設定の一部を変更することができます。

Web ブラウザを使う場合

注 TCP/IP でネットワークに接続している場合に利用できます。

❶ Web ブラウザを起動し、[アドレス] にプリンタの IP アドレスを入力し、Enter キーを押します。

「プリンタステータス」画面が表示されます。

❷ [管理者のログイン] をクリックし、[ユーザ名] に「root」、[パスワード] に現在のパスワードを入力し、[OK] をクリックします。

メモ パスワードの初期値は「操作パネルの管理者用メニューのパスワード」と同じ「aaaaaa」です。

❸ 左のフレームから設定を変更したい項目をクリックします。

❹ 必要な変更をした後、[OK] をクリックします。

プリンタ内蔵フォントを確認したい

プリンタに内蔵しているフォントを確認できます。

操作パネルを使う場合

プリンタに標準で内蔵しているフォント名を印刷します。

- A4 用紙以外で印刷を行うとすべての内容が印刷されないことがあります。
- プリントジョブアカウンティング(オプション)で[ローカルプリント]が[印刷不可]または[カラー印刷不可]に設定されている場合には印刷できません。

❶ トレイに A4 用紙をセットします。

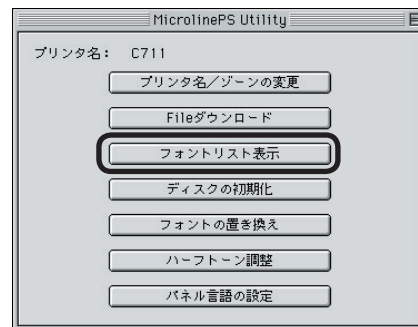
❷ ボタンを数回押して［プリンタ情報印刷］を選択し、設定ボタンを押します。

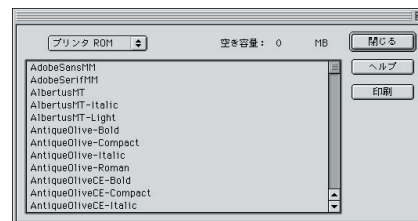
❸ ボタンを数回押して［PS フォントリスト／印刷実行］を選択し、設定ボタンを押します。

フォント名が印刷されます。

MicrolinePS Utility（Macintosh）を使う場合

プリンタに内蔵しているすべてのポストスクリプトフォント名を確認することができます。

Mac OS X では利用できません。

❶［MicrolinePS］-［MicrolinePS Utility］-［MicrolinePS Utility］をダブルクリックします。

❷ メインダイアログから［フォントリスト表示］を選択します。

❸［プリンタ　ROM］を選択するとプリンタに標準で内蔵しているフォントが表示されます。

SD メモリーカード（オプション）を初期化したい

SD メモリーカードを初期の状態に戻すことができます。
SD メモリーカードは 3 つのパーティションに分割されています。SD メモリーカードを初期化（イニシャライズ）すると、パーティションも分割し直します。特定のパーティションのみをフォーマットすることもできます。

SD メモリーカードのパーティションには［PS］、［PCL］、［共通］があります。

［PS］
PostScript モードのフォームを格納するエリアです。
［PCL］
PCL モードのフォームを格納するエリアです。
［共通］
「暗号化認証印刷」、「認証印刷」、「プリンタに保存」でジョブを登録したり、エラーログを格納するエリアです。

SD メモリーカードを初期化すると、以下の内容が消去されます。初期化しても良いか十分検討してください。

- 「暗号化認証印刷」、「認証印刷」、「プリンタに保存」で登録したジョブ
- 登録したフォーム
- エラーログ

プリントジョブアカウンティング（オプション）にプリンタがすでに追加されている場合は、SD メモリーカードの初期化をする前に、プリントジョブアカウンティングに関する情報をプリンタの SD メモリーカードからいったん削除する必要があります。このため、ログの取得を終了し、プリントジョブアカウンティングからプリンタを削除してください。プリンタの削除方法は、「プリントジョブアカウンティング　ユーザーズマニュアル」をご覧ください。

操作パネルを使う場合

［管理者用メニュー］の［SD カード設定］は工場出荷時の設定では表示されません。［Boot Menu］で［Storage Setup］-［Enable Initialization］を［Yes］に変更する必要があります。詳しくは「操作パネルのメニュー一覧」の「Boot Menu」（セットアップ編）をご覧ください。

初期化する

❶ プリンタの電源を切ります。

❷ プリンタの操作パネルの「設定」ボタンを押しながら電源を入れます。

注 「設定」ボタンは押したままにしてください。

❸ 操作パネルに［Boot Menu］と表示されたら、「設定」ボタンを離します。

❹ ［Enter Password］と表示されるので、ボタンまたはボタンを数回押してパスワードの 1 桁目を表示し、「設定」ボタンを押します。
同様の手順で 6 ～ 12 桁のパスワードを入力します。

メモ パスワードの初期値は「aaaaaa」です。

❺ 「設定」ボタンを押し、ボタンを数回押すと［Storage Setup］が表示されます。

❻ 「設定」ボタンを押し、ボタンを数回押すと［Enable Initialization］が表示されるので、［Yes］を選択します。
プリンタは自動的に再起動します。

❼ ［印刷できます］の画面になったら、ボタンを数回押して［管理者用メニュー］を選択し、「設定」ボタンを押します。

❽ パスワード入力画面になるので、ボタンまたはボタンで 1 桁目を表示し、「設定」ボタンを押します。同様の手順で 6 ～ 12 桁のパスワードを入力します。

メモ パスワードの初期値は「aaaaaa」です。

❾ ボタンを数回押して［SD カード設定］を選択し、「設定」ボタンを押します。

❿ ボタンを数回押して［初期化］を選択し、「設定」ボタンを押します。

⓫［実行しますか？　はい / いいえ］と表示されるので、ボタンを数回押して［はい］を選択し、「設定」ボタンを押します。

⓬［すぐに実行しますか？　はい / いいえ］と表示されるので、ボタンを数回押して［はい］を選択し、「設定」ボタンを押します。

SD メモリーカードの初期化を開始します。プリンタは自動的に再起動します。
操作パネルに［印刷できます］と表示されたら、初期化は完了です。

特定のパーティションのフォーマット

❶ プリンタの電源を切ります。

❷ プリンタの操作パネルの「設定」ボタンを押しながら電源を入れます。

注 「設定」ボタンは押したままにしてください。

❸ 操作パネルに［Boot Menu］と表示されたら、「設定」ボタンを離します。

❹［Enter Password］と表示されるので、ボタンまたはボタンを数回押してパスワードの 1 桁目を表示し、「設定」ボタンを押します。
同様の手順で 6 〜 12 桁のパスワードを入力します。

メモ パスワードの初期値は「aaaaaa」です。

❺「設定」ボタンを押し、ボタンを数回押すと［Storage Setup］が表示されます。

❻「設定」ボタンを押し、ボタンを数回押すと［Enable Initialization］が表示されるので、［Yes］を選択します。
プリンタは自動的に再起動します。

❼［印刷できます］の画面になったら、ボタンを数回押して［管理者用メニュー］を選択し、「設定」ボタンを押します。

❽ パスワード入力画面になるので、ボタンまたはボタンで 1 桁目を表示し、「設定」ボタンを押します。同様の手順で 6 〜 12 桁のパスワードを入力します。

メモ パスワードの初期値は「aaaaaa」です。

❾ ボタンを数回押して［SD カード設定］を選択し、「設定」ボタンを押します。

❿ ボタンを数回押して［フォーマット］と表示されるので、フォーマットしたいパーティションを選択し、「設定」ボタンを押します。

⓫ ［実行しますか？　はい / いいえ］と表示されるので、 ボタンを数回押して［はい］を選択し、 「設定」ボタンを押します。

⓬ ［すぐに実行しますか？　はい / いいえ］と表示されるので、 ボタンを数回押して［はい］を選択し、 「設定」ボタンを押します。

パーティションのフォーマットを開始します。プリンタは自動的に再起動します。操作パネルに［印刷できます］と表示されたら、初期化は完了です。

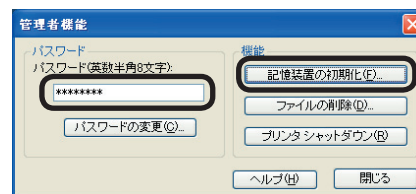
OKI ストレージデバイスマネージャ（Windows）を使う場合

❶ ［スタート］-［すべてのプログラム］（Windows 2000 では［プログラム］）-［沖データ］-［OKI ストレージデバイスマネージャ］-［OKI ストレージデバイスマネージャ］を選択します。

❷「プリンタの検索」画面でプリンタを接続しているポートを選択し、［開始］をクリックします。

❸ ［閉じる］をクリックします。

❹ 下のウィンドウでプリンタを選択し、［プリンタ］メニューから［管理者機能］を選択します。

❺ ［現在のパスワード］に管理者パスワードを入力します。パスワードの初期値は「PASSWORD」です。

❻ ［記憶装置の初期化］をクリックします。

❼ 初期化する場合は［HDD/SD 全体の初期化］をクリックします。

特定のパーティションをフォーマットする場合はリストからフォーマットしたいパーティションを選択し、［パーティションの初期化］をクリックします。

パーティションの使用目的を変更する場合はリストからフォーマットしたいパーティションを選択し、［パーティションの使用用途］でパーティション種類を選択して［パーティションの初期化］をクリックします。

❽ 初期化確認画面で［はい］をクリックします。

❾ シャットダウン確認画面で［はい］をクリックします。

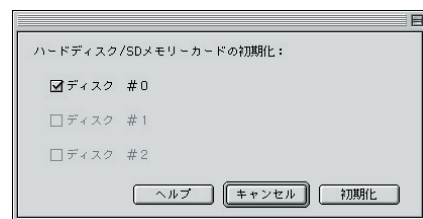
❿ 完了画面で［OK］をクリックします。

⓫ プリンタの電源を OFF/ON します。

電源の切り方は「電源を切ります」（セットアップ編）をご覧ください。

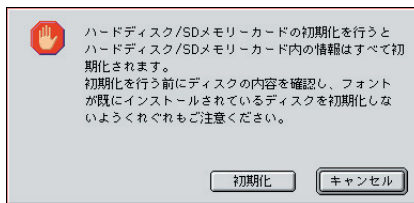
MicrolinePS Utility（Macintosh）を使う場合

PS パーティションのフォーマットを行います。PCL、共通のパーティションはそのままです。

- Mac OS X では利用できません。
- ［Boot Menu］の［Job Limitation］が［Encrypted Job］に設定してある場合、本機能は使用できません。［Boot Menu］の［Job Limitation］については、「操作パネルのメニュー一覧」の「Boot Menu」（セットアップ編）をご覧ください。

❶ ［MicrolinePS］-［MicrolinePS Utility］-［MicrolinePS Utility］をダブルクリックします。

❷ メインダイアログから［ディスクの初期化］を選択します。

❸ 初期化するハードディスク/SDメモリーカードのディスク番号にチェックを付け、［初期化］をクリックします。

ディスク番号はパーティション番号ではありません。PS パーティションがディスク# 0 となります。
PS パーティションが複数ある場合は、パーティション番号が小さい方からディスク# 0、ディスク# 1、ディスク# 2 となります。

❹ 初期化してもよいか再度確認し、［初期化］をクリックします。

❺ 再起動確認画面で［OK］をクリックします。

❻ プリンタの電源を OFF/ON します。

電源の切り方は「電源を切ります」（セットアップ編）をご覧ください。

プリンタの操作パネルで IP アドレスを設定したい

プリンタの操作パネルから、プリンタの IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを設定できます。

IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの入力を間違えると、ネットワークがダウンするなど、重大な障害が発生します。ネットワーク管理者と相談の上、IP アドレスを設定してください。

プリンタの IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスは、「AdminManager」で設定することもできます。「AdminManager」での設定方法は、「AdminManager」（17 ページ）をご覧ください。

❶ ボタンを数回押して［管理者用メニュー］を選択し、設定ボタンを押します。

❷［パスワード入力］画面になるので、パスワードを入力します。

パスワードの初期値は「aaaaaa」です。

❸ ボタンまたは ボタンを押して［ネットワーク設定］を選択し、設定ボタンを押します。

❹［TCP/IP］が［無効］に設定されている場合は、［有効］に設定します。

❺ ボタンを数回押して［IPv4 アドレス］を選択し、設定ボタンを押します。

❻ ボタンまたは ボタンを押して、IP アドレスの 1 桁目を設定します。

❼ 設定ボタンを押します。

❽ ❻～❼を繰り返して、全ての桁を設定します。

❾ 4 桁目を設定すると、値の左側に * がつきます。

❿ 戻るボタンを押します。

⓫［IPv4 アドレス］と同様に、［サブネットマスク］、［ゲートウェイアドレス］を設定します。

⓬ オンラインボタンを押し、［印刷できます］を表示します。

SD メモリーカード（オプション）やフラッシュメモリの空き容量を確認したい（Windows）

SD メモリーカードやフラッシュメモリの各パーティションの空き容量を確認することができます。

「OKI ストレージデバイスマネージャ」のセットアップについては、52 ページをご覧ください。

❶［スタート］-［すべてのプログラム］（Windows 2000 では［プログラム］）-［沖データ］-［OKI ストレージデバイスマネージャ］-［OKI ストレージデバイスマネージャ］を選択します。

❷「プリンタの検索」画面でプリンタを接続しているポートを選択し、［開始］をクリックします。

❸［終了］をクリックします。

❹［閉じる］をクリックします。

❺ 下のウィンドウでプリンタを選択し、［プリンタ］メニューから［リソースを表示する］を選択します。

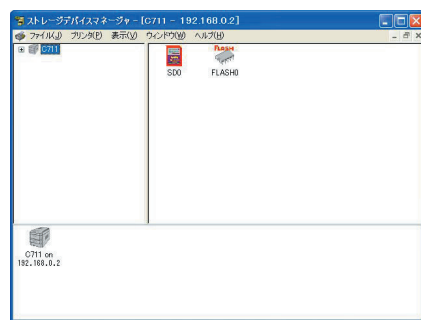
❻ SD メモリーカードの場合は［SD0］を、フラッシュメモリの場合は［FLASH0］を選択します。

SD メモリーカードが搭載されていない場合は、［SD0］は表示されません。

名前	サイズ	空き領域	ロケーション	用途
ボリューム 0:	3234168832	3234115584	SD0	PCL
ボリューム 1:	8085442560	8067960832	SD0	COMMON
ボリューム %dis...	4851261440	4851122176	SD0	PS

❼［表示］メニューから［詳細］を選択します。

❽ 用途欄にパーティションの種別が表示され、空き容量欄にパーティションごとの空き容量が Byte 単位で表示されます。

フラッシュメモリの場合は、［PS］と［MIX］が別々に表示されますが、同じパーティションを示します。

SD メモリーカード（オプション）やフラッシュメモリの空き容量を確保したい

SD メモリーカードやフラッシュメモリの空き容量を確保するにはいくつかの方法があります。

SD メモリーカードの場合

SD メモリーカードの不要なジョブを削除する

「暗号化認証印刷」、「認証印刷」または「プリンタに保存」指定をした印刷ジョブが、SD メモリーカードの「共通」パーティションに残ったままになっていると、SD メモリーカードの容量を圧迫します。これらのジョブを削除することによって、空き容量を確保することができます。「パスワードを入力してから印刷したい（認証印刷）」（109 ページ）、「ジョブを保存して繰り返し印刷したい」（115 ページ）をご覧ください。

「共通」パーティションの空き容量が確保されます。「PS」および「PCL」パーティションの空き容量は変わりません。

SD メモリーカードのパーティションサイズを変更する

使用していないパーティションのサイズを小さくすることにより、目的のパーティションの空き容量を確保することができます。

パーティションのサイズを変更すると、以下の内容も消去されます。消去されてもよいか十分検討してください。

・「暗号化認証印刷」、「認証印刷」、「プリンタに保存」で登録したジョブ
・登録したフォーム
・エラーログ

プリントジョブアカウンティング（オプション）にプリンタがすでに追加されている場合は、パーティションのサイズを変更する前に、プリントジョブアカウンティングに関する情報をプリンタの SD メモリーカードから一旦削除する必要があります。このために、ログの取得を終了し、プリントジョブアカウンティングからプリンタを削除してください。プリンタの削除方法は、「プリントジョブアカウンティング　ユーザーズマニュアル」をご覧ください。

操作パネルを使う場合

注 ［管理者用メニュー］の［SD カード設定］は工場出荷時の設定では表示されません。［Boot Menu］で［Storage Setup］-［Enable Initialization］を［Yes］に変更する必要があります。詳しくは「操作パネルのメニュー一覧」の「Boot Menu」（セットアップ編）をご覧ください。

❶ プリンタの電源を切ります。

❷ プリンタの操作パネルの「設定」ボタンを押しながら電源を入れます。

注 「設定」ボタンは押したままにしてください。

❸ 操作パネルに［Boot Menu］と表示されたら、「設定」ボタンを離します。

❹ ［Enter Password］と表示されるので、ボタンまたはボタンを数回押してパスワードの 1 桁目を表示し、「設定」ボタンを押します。同様の手順で 6 ～ 12 桁のパスワードを入力します。

メモ パスワードの初期値は「aaaaaa」です。

❺ 「設定」ボタンを押し、ボタンを数回押すと［Storage Setup］が表示されます。

❻ 「設定」ボタンを押し、ボタンを数回押すと［Enable Initialization］が表示されるので、［Yes］を選択します。
プリンタは自動的に再起動します。

❼ ［印刷できます］の画面になったら、ボタンを数回押して［管理者用メニュー］を選択し、「設定」ボタンを押します。

❽ パスワード入力画面になるので、ボタンまたはボタンで 1 桁目を表示し、「設定」ボタンを押します。同様の手順で 6 ～ 12 桁のパスワードを入力します。

メモ パスワードの初期値は「aaaaaa」です。

❾ ボタンを数回押して［SD カード設定］を選択し、「設定」ボタンを押します。

❿ ボタンを数回押して［パーティション変更］と表示され、PCL パーティションサイズが選択されていますので、変更する場合はボタンまたはボタンを数回押して設定したいサイズを表示し、「設定」ボタンを押します。

メモ PCL パーティションサイズを変更すると、共通パーティションサイズも変わります。共通パーティションサイズ、PS パーティションサイズの変更も同様です。

⓫ ［実行しますか？　はい / いいえ］と表示されるので、ボタンを数回押して［はい］を選択し、「設定」ボタンを押します。

⓬ ［すぐに実行しますか？　はい / いいえ］と表示されるので、ボタンを数回押して［はい］を選択し、「設定」ボタンを押します。

プリンタは自動的に再起動します。
操作パネルに［印刷できます］と表示されたら、初期化は完了です。

OKI ストレージデバイスマネージャ（Windows）を使う場合

メモ 「OKI ストレージデバイスマネージャ」のセットアップについては、52 ページをご覧ください。

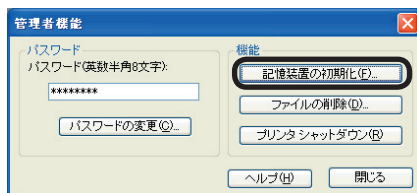
❶［スタート］-［すべてのプログラム］（Windows 2000 では［プログラム］）-［沖データ］-［OKI ストレージデバイスマネージャ］-［OKI ストレージデバイスマネージャ］を選択します。

❷「プリンタの検索」画面でプリンタを接続しているポートを選択し、［開始］をクリックします。

❸［閉じる］をクリックします。

❹ 下のウィンドウでプリンタを選択します。［プリンタ］メニューから［管理者機能］を選択します。

❺［現在のパスワード］に管理者パスワードを入力します。パスワードの初期値は「PASSWORD」です。

❻［記憶装置の初期化］をクリックします。

❼ リストから SD メモリーカードパーティションを選択し、［HDD/SD のパーティションサイズ変更］でサイズを変更し、［HDD/SD 全体の初期化］をクリックします。

❽ 初期化確認画面で［OK］をクリックします。

❾ シャットダウン確認画面で［はい］をクリックします。

❿ 完了画面で［OK］をクリックします。

⓫ プリンタの電源を OFF/ON します。

メモ 電源の切り方は「電源を切ります」（セットアップ編）をご覧ください。

SD メモリーカード（オプション）の初期化をします

SD メモリーカードを初期の状態に戻すことができます。

SD メモリーカードの初期化を行う場合は、「SD メモリーカード（オプション）を初期化したい」（221 ページ）をご覧ください。

フラッシュメモリの場合

フラッシュメモリの初期化をします

フラッシュメモリを初期の状態に戻すことができます。

フラッシュメモリを初期化すると、以下の内容も消去されます。消去されてもよいか十分検討してください。

・登録したフォーム

操作パネルを使う場合

［管理者用メニュー］の［フラッシュメモリ設定］は工場出荷時の設定では表示されません。［Boot Menu］で［Storage Setup］-［Enable Initialization］を［Yes］に変更する必要があります。詳しくは「操作パネルのメニュー一覧」の「Boot Menu」（セットアップ編）をご覧ください。

❶ プリンタの電源を切ります。

❷ プリンタの操作パネルの「設定」ボタンを押しながら電源を入れます。

注 「設定」ボタンは押したままにしてください。

❸ 操作パネルに［Boot Menu］と表示されたら、「設定」ボタンを離します。

❹ ［Enter Password］と表示されるので、ボタンまたはボタンを数回押してパスワードの1桁目を表示し、「設定」ボタンを押します。同様の手順で6～12桁のパスワードを入力します。

メモ パスワードの初期値は「aaaaaa」です。

❺ 「設定」ボタンを押し、ボタンを数回押すと［Storage Setup］が表示されます。

❻ 「設定」ボタンを押し、ボタンを数回押すと［Enable Initialization］が表示されるので、［Yes］を選択します。

プリンタは自動的に再起動します。

❼ ［印刷できます］の画面になったら、ボタンを数回押して［管理者用メニュー］を選択し、「設定」ボタンを押します。

❽ パスワード入力画面になるので、ボタンまたはボタンで1桁目を表示し、「設定」ボタンを押します。同様の手順で6～12桁のパスワードを入力します。

メモ パスワードの初期値は「aaaaaa」です。

❾ ボタンを数回押して［フラッシュメモリ設定］を選択し、「設定」ボタンを押します。

❿ ボタンを数回押して［初期化］を選択し、「設定」ボタンを押します。

⓫［実行しますか？　はい／いいえ］と表示されるので、ボタンを数回押して［はい］を選択し、「設定」ボタンを押します。

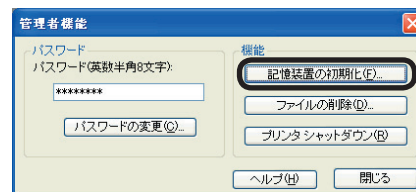
⓬［すぐに実行しますか？　はい／いいえ］と表示されるので、ボタンを数回押して［はい］を選択し、「設定」ボタンを押します。

フラッシュメモリの初期化を開始します。プリンタは自動的に再起動します。
操作パネルに［印刷できます］と表示されたら、初期化は完了です。

OKI ストレージデバイスマネージャ（Windows）を使う場合

- 「OKI ストレージデバイスマネージャ」のセットアップについては、52 ページをご覧ください。
- セキュリティキットが取り付けられている場合、フラッシュメモリの初期化を行うことはできません。

❶［スタート］-［すべてのプログラム］（Windows 2000 では［プログラム］）-［沖データ］-［OKI ストレージデバイスマネージャ］-［OKI ストレージデバイスマネージャ］を選択します。

❷「プリンタの検索」画面でプリンタを接続しているポートを選択し、［開始］をクリックします。

❸［閉じる］をクリックします。

❹ 下のウィンドウでプリンタを選択します。［プリンタ］メニューから［管理者機能］を選択します。

❺［現在のパスワード］に管理者パスワードを入力します。パスワードの初期値は「PASSWORD」です。

❻［記憶装置の初期化］をクリックします。

❼ リストから Flash パーティションを選択し、［フラッシュ全体の初期化］をクリックします。

❽ 初期化確認画面で［はい］をクリックします。

❾ シャットダウン確認画面で［OK］をクリックします。

❿ 完了画面で［OK］をクリックします。

⓫ プリンタの電源を OFF/ON します。

電源の切り方は「電源を切ります」（セットアップ編）をご覧ください。

操作パネルの表示言語を変更したい（Windows）

プリンタの操作パネルに表示される言語を日本語または英語に切り替えることができます。工場出荷時の設定では、日本語になっています。

動作環境

Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008/Windows XP/Windows Server 2003/Windows 2000 日本語版が動作しているコンピュータ

以下の説明は、Windows 7 Ultimate を例にしています。

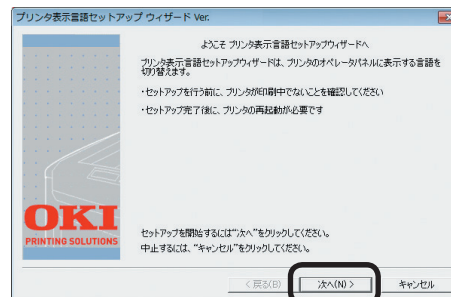
本プログラムは、プリンタドライバを使用します。あらかじめプリンタドライバをインストールしてください。詳しくは、ユーザーズマニュアル（セットアップ編）をご覧ください。

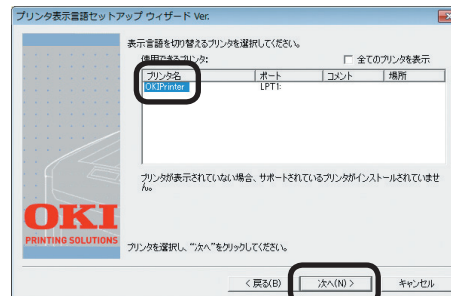
起動します

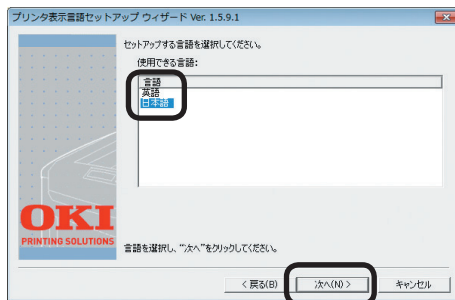
❶ プリンタの電源を ON にします。

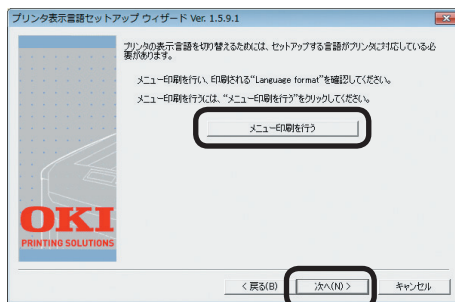
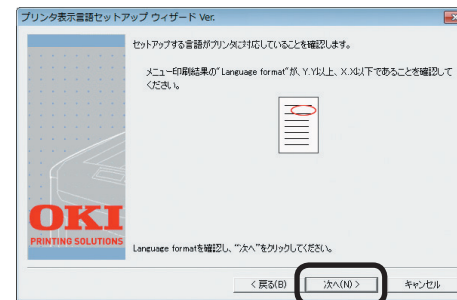
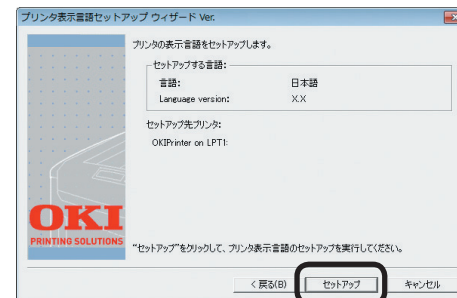
❷ Windows が起動していることを確認し、プリンタ添付の「ソフトウェア CD-ROM」をセットします。セットアッププログラムが起動します。

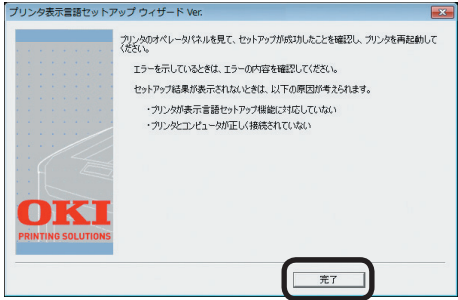
❸［その他のソフトウェア］-［プリンタ表示言語セットアップ］をクリックします。

❹ プリンタ表示言語セットアップが起動します。［次へ］をクリックします。

メモ　タイトルバーの「プリンタ表示言語セットアップ ウィザード Ver.」の後に本ツールのバージョンが表示されます。

❺ 言語を切り替えるプリンタを選択し、［次へ］をクリックします。

メモ　［使用できるプリンタ］リストには本ツールがサポートされているプリンタが表示されます。

❻ セットアップする言語を選択し、[次へ] をクリックします。

❼ [メニュー印刷を行う] をクリックし、設定内容印刷を実行します。[次へ] をクリックします。

メモ 印刷された設定内容はこの後の画面で使用します。

❽ 設定内容印刷結果の “Language format” が、画面に表示されている数字の範囲内であることを確認し、[次へ] をクリックします。

❾ セットアップする内容を確認し、[セットアップ] をクリックします。

メモ 画面の [Language version:] の右の "X.X" は、本ツールに含まれる言語ファイルの Language version が表示されます。

⑩［完了］をクリックします。

⑪プリンタの操作パネルを見てダウンロードが成功したことを確認し、プリンタを再起動してください。

英語表示イメージ	日本語表示イメージ
Power Off/On Message Data Received OK	プリンタを再起動してください メッセージデータの書き込みが完了しました

操作パネルの表示言語を変更したい（Macintosh）

プリンタの操作パネルに表示される言語を日本語または英語に切り替えることができます。工場出荷時の設定では、日本語になっています。

設定します

❶ プリンタの操作パネルで設定内容を出力します。

❷ 設定内容に印刷されている「Language format」の数字を確認します。

❸ TCP/IP 接続する場合、設定内容に印刷されているプリンタの IP アドレスを確認します。

Mac OS X の場合

動作環境

Mac OS X 10.3.9 ～ 10.6（日本語版）

❶「ソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❷ [Utility] - [パネルダウンロード] - [パネル言語セットアップ] をダブルクリックします。

パネル言語セットアップ

❸ 接続方法を選択するためのダイアログが表示されます。[USB] もしくは [TCP/IP] を選択してください。TCP/IP 接続を選択した場合は、設定内容で確認したプリンタの IP アドレスを入力します。

❹ [OK] ボタンをクリックすると、メインダイアログが表示されます。

❺ ダイアログの右上に表示されている「Language version」の数字 (x.y) が設定内容に印刷されている「Language format」の数字と等しいか大きいことを確認します。

1 桁目の数字 (x) が異なる場合は使用できません。

ダイアログ右上の Language version は、本ツールが書き込む言語ファイルのバージョンです。
ツールの言語ファイルバージョンはマニュアルに記載のバージョンとは異なる場合があります。

設定内容　C711

CU version:D0.60 [I01.23 U00.13 S3.5.1w B00.41 L00.41 532MHz 14241C00 000C0001 F50 J0]
PU version:00.00.08 [PI03.10 L000.00.07 DUC2.01.02 T2C1.00.05 T3C1.00.05] ET:000100000304031C2D1E10000000000F
PCL Program version:05.04 [04.30 X04.01 P F] IM version:0011
PS Program version:3017, PSE8
両面印刷:installed トレイ1:A4 トレイ2:A4 トレイ3:A4
JP1 P0E0 DPR:1.5 62 MC:CP
C:0 M:0 Y:0 K:0 KYMC-1110
Network version:00.13 Web Remote:00.13
ENGINE:3212 K:1537 C:1754 T:0:3:2:4, I:0:0:0:0, B:0, F:0

Language format:1.00
Language:JAPANESE

❻［言語の選択］ポップアップメニューから、使用したい言語を選択します。

❼［ダウンロード］ボタンをクリックします。言語を設定するためのファイルがプリンタに送信されます。送信が終了すると、終了した旨を知らせるための画面が表示されます。

❽プリンタを再起動します。

MacOS 9 の場合

❶［MicrolinePS］-［MicrolinePS Utility］-［MicrolinePS Utility］をダブルクリックします。

❷メインダイアログから［パネル言語の設定］を選択します。

❸設定内容印刷結果の“Language format”が、画面に表示されている数字の範囲内であることを確認します。

ツールの言語ファイルバージョンはマニュアルに記載するバージョンとは異なる場合があります。

設定内容 C711

CU version:D0.60 [I01.23 U00.13 S3.5.1w B00.41 L00.41 532MHz 14241C00 000C0001 F50 J0]
PU version:00.00.08 [PI03.10 L000.00.07 DUC2.01.02 T2C1.00.05 T3C1.00.05] ET:000100000304031C2D1E10000000000F
PCL Program version:05.04 [04.30 X04.01 P F] IM version:0011
PS Program version:3017, PSE8
両面印刷:installed トレイ1:A4 トレイ2:A4 トレイ3:A4
JP1 POE0 DPR:1.5 62 MC:CP
C:0 M:0 Y:0 K:0 KYMC-1110
Network version:00.13 Web Remote:00.13
ENGINE:3212 K:1537 C:1754 T:0:3:2:4, I:0:0:0:0, B:0, F:0

Language format:1.00
Language:JAPANESE

❹［言語の選択］ポップアップメニューから、使用したい言語を選択します。

❺［ダウンロード］ボタンをクリックします。言語を設定するためのファイルがプリンタに送信されます。送信が終了すると、終了した旨を知らせるための画面が表示されます。

❻プリンタを再起動します。

7 ネットワーク機能について

ネットワーク設定項目の一覧

プリンタのネットワーク機能で設定できる項目を説明します。
現在設定されている値は、設定内容印刷のネットワークの設定情報（Network Information）で確認できます。
設定値を変更するには、TELNET, Web ブラウザ , AdminManager, Setup Utility を使用します。

TCP/IP

網かけ部は初期値です。

項　目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
TCP/IP	－	TCP/IP プロトコルを使用する	TCP/IP プロトコルを使用する	ENABLE DISABLE	TCP/IP プロトコルの使用／非使用を設定します。
IP Address Set	IP アドレス設定	DHCP/ BOOTP を使用する	DHCP/ BOOTP を使用する	AUTO（自動） MANUAL(手動)	DHCP/BOOTP サーバへ IP アドレス取得を要求するか、しないかを設定します。
IP Address	IP アドレス	IP アドレス	IP アドレス	192.168.100.100	IP アドレスを設定します。
Subnet Mask	サブネットマスク	サブネットマスク	サブネットマスク	255.255.255.0	サブネットマスクを設定します。
Default Gateway	ゲートウェイアドレス	デフォルト ゲートウェイ	デフォルト ゲートウェイ	0.0.0.0	ゲートウェイ（デフォルトルータ）アドレスを設定します。0.0.0.0 はルータなしを意味します。
DNS Server (Pri.)	DNS サーバアドレス（プライマリ）	プライマリサーバ	－	0.0.0.0	プライマリ DNS サーバの IP アドレスを設定します。SMTP(E-Mail) プロトコルを使用するときに設定してください。「SMTP Server Name」を IP アドレスで設定する場合は、設定する必要はありません。
DNS Server (Sec.)	DNS サーバアドレス（セカンダリ）	セカンダリサーバ	－	0.0.0.0	セカンダリ DNS サーバの IP アドレスを設定します。SMTP(E-Mail) プロトコルを使用するときに設定してください。「SMTP Server Name」を IP アドレスで設定する場合は、設定する必要はありません。
Dynamic DNS	ダイナミック DNS	DDNS を使用する	－	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	IP アドレスなどが、変更されたときに、それらの情報を DNS サーバに登録し直すか、しないかを設定します。
Domain Name	ドメイン名	ドメイン名	－	なし	プリンタが属するドメイン名を設定します。
WINS Server (Pri.)	WINS サーバ（プライマリ）	プライマリサーバ	－	0.0.0.0	Windows 環境で、ネームサーバ（コンピュータ名から IP アドレスに変換するためのサーバ）を使用している場合に、ネームサーバの IP アドレスまたはネームサーバ名を設定します。

網かけ部は初期値です。

項　目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
WINS Server (Sec.)	WINS サーバ（セカンダリ）	セカンダリサーバ	―	0.0.0.0	Windows 環境で、ネームサーバ（コンピュータ名から IP アドレスに変換するためのサーバ）を使用している場合に、ネームサーバの IP アドレスまたはネームサーバ名を設定します。
Scope ID	スコープ ID	スコープ ID	―	なし	WINS の ScopeID を設定します。1 〜 223 文字の英数字です。
Windows	Windows	Network PnP を使用する	―	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	Windows の自動検出機能の使用／非使用を設定します。
Macintosh	Macintosh	Bonjour を使用する	―	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	Macintosh の自動検出機能の使用／非使用を設定します。
Printer Name	プリンタ名	プリンタ名	―	「OKI」+「-」+「製品名」+「-」+「MAC アドレス下 6 桁」	自動検出機能で、プリンタ名をコンピュータにどのように表示させるかを設定します。
Password	パスワード設定	admin パスワード	admin パスワード	MAC アドレス下 6 桁	管理者パスワードを変更します。15 文字以内の英数字です。大文字、小文字は区別されます。忘れてしまうと設定を変更でき なくなります。
IP Version	IPv6	IPv6 を使用する	IPv6 を使用する	ENABLE（有効） DISABLE（無効） （TELNET では「IPv4 Only」「IPv4+v6」「IPv6 Only」となります）	IPv6 の機能の使用／非使用を設定します。
WSD Print	WSD Print	―	―	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	WSD Print の使用／非使用を設定します。
LLTD	LLTD	―	―	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	LLTD の使用／非使用を設定します。

SNMP

網かけ部は初期値です。

項　目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
Contact to Admin	管理者の連絡先	SysContact	SysContact	なし	システム管理者の連絡先を入力します。半角で 255 文字以内です。
Printer Name	プリンタ名	SysName	SysName	「OKI」+「-」+「製品名」+「-」+「MAC アドレス下 6 桁」	プリンタの名前を入力します。半角で 31 文字以内です。
Printer Location	設置場所	SysLocation	SysLocation	なし	プリンタの設置場所を入力します。半角で 255 文字以内です。
Printer Asset Number	プリンタ管理番号	―	―	なし	お客様がプリンタを管理するための数値を入力することができます。半角で 8 文字以内です。
SNMP Version	使用する SNMP 設定	―	―	SNMPv1 SNMPv3 SNMPv3+SNMPv1	使用する SNMP バージョンを設定します。
User Name	ユーザ名	ユーザ名	―	root	SNMPv3 におけるユーザ名を設定します。1 〜 32 文字の英数字です。
Auth Pass-phrase	認証設定パスフレーズ	パスフレーズ	―	なし	SNMPv3 パケット認証に使用する認証キーを生成するためのパスワードを設定します。 8 〜 32 文字の英数字です。
Auth Key	―	認証キー（HEX コード）	―	なし	SNMPv3 パケット認証に使用される認証キーを HEX コードで設定します。選択されたアルゴリズムによって入力文字数が変動します。 MD5:16オクテット(HEXコード32文字) SHA:20オクテット(HEXコード40文字)
Auth Algorithm	認証設定アルゴリズム	アルゴリズム	―	MD5 SHA	SNMPv3 パケット認証で使用するアルゴリズムを設定します。
Privacy Pass-phrase	暗号化設定パスフレーズ	パスフレーズ	―	なし	SNMPv3 パケット暗号化に使用するプライバシーキーを生成するためのパスワードを設定します。 英数字 8 〜 32 文字です。
Privacy Key	―	プライバシーキー（HEX コード）	―	なし	SNMPv3 パケット暗号化に使用されるパスワードを HEX コードで設定します。 DES：16 オクテット（HEX コード 32 文字）
Privacy Algorithm	暗号化設定アルゴリズム	アルゴリズム	―	DES	SNMPv3 パケット暗号化で使用するアルゴリズムを設定します。 設定値は “DES” 固定です。

目次へ 戻る 前へ 次へ 索引へ 検索する

網かけ部は初期値です。

項　目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
Read Commu-nity	SNMP Read コミュニティの設定	SNMP Read Commu-nity	–	public	SNMPv1 で使用する、Read Com-munity を設定します。15 文字以内の英数字です。
Write Commu-nity	SNMP Write コミュニティの設定	SNMP Write Commu-nity	–	public	SNMPv1 で使用する、Write Com-munity を設定します。15 文字以内の英数字です。

NetWare

網かけ部は初期値です。

項　目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
NetWare	NetWare	NetWare プロトコルを使用する	NetWare プロトコルを使用する	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	NetWare の使用／非使用を設定します。
TCP or IPX	通信プロトコル	プロトコル	–	IPX TCP/IP	NetWare を動作させるプロトコルを IPX か TCP/IP に設定します。
Frame Type	フレームタイプ	フレームタイプ	フレームタイプ	AUTO（自動） ETHER- Ⅱ（ETHERNET- Ⅱ） 802.2（IEEE802.2） 803.3（IEEE802.3） SNAP（SNAP）	NetWare 上でプリンタが接続するフレームタイプを設定します。この値は通常変更する必要はありません。
Printer-Name	プリンタ名	NetWare プリンタ名	NetWare プリンタ名	「OKI」+「-」+「製品名」+「-」+「イーサネットアドレス英数字下 6 桁」+「-」+「PR」	リモートプリンタを動作させるときの設定項目でプリンタ名を設定します。ファイルサーバの設定内容と合わせる必要があります。
–	印刷モード	動作モード	動作モード	RPRINTER（リモートプリンタ） PSERVER（プリントサーバ）	動作モードをプリンタサーバモードかリモートプリンタモードにするか設定します。
NetWare Mode	–	–	–	NDS NDS+BIN RPINTER	NetWare の優先動作モードを設定します。

プリントサーバ

網かけ部は初期値です。

項目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
NDS Tree	ツリー	NDS ツリー名	NDS ツリー名	なし	NDS のツリー名を設定します。プリントサーバを登録したファイルサーバが属するツリー名を指定してください。31 文字以内の英数字です。
NDS Context	コンテキスト	NDS コンテキスト	NDS コンテキスト	なし	NDS のコンテキスト名を設定します。プリントサーバの属するコンテキスト名を指定してください。77 文字以内の英数字です。
Print Server Name	プリントサーバ名	プリントサーバ名	プリントサーバ名	「OKI」+「-」+「製品名」+「-」+「イーサネットアドレス英数字下 6 桁」+「-」+「PR」	プリントサーバ名を設定します。ファイルサーバに設定したプリントサーバ名と同じに設定してください。31 文字以内の英数字です。
Password	ファイルサーバのログインパスワード	ログインパスワード	ログインパスワード	なし	ファイルサーバにログインするためのパスワードを設定します。31 文字以内の英数字です。 ファイルサーバにプリンタ用のパスワードを設定した場合にはこの項目が必要です。
Job Polling Time (Sec.)	ジョブポーリング間隔	ジョブポーリング間隔	ジョブポーリング間隔	2 秒 4 秒 255 秒	キューにジョブを見つけに行く時間間隔を設定します。 短くするとすぐに印刷が開始されますがネットワーク回線が混みます。
–	バインダリモード	バインダリ設定	バインダリモード	チェックあり チェックなし	バインダリモードの使用／非使用を設定します。NetWare のバージョンが、6.0/5.0/4.1 のバインダリネットワーク、または 3.12 へ接続するときには「ENABLE」、6.0/5.0/4.1 の NDS で使用するときには「DISABLE」を設定します。
File Server Name #1-8	ファイルサーバ名	接続するファイルサーバ #1-8	接続するファイルサーバ #1-8 プリントサーバ名	なし	ファイルサーバの名前を設定します。最大 8 台のファイルサーバを指定できます。47 文字以内の英数字です。

リモートサーバ

網かけ部は初期値です。

項目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
Print Server Name #1-8	プリントサーバ名	接続するプリントサーバ #1-8	接続するプリントサーバ #1-9	なし	接続するプリントサーバ名を設定します。最大 8 台のプリントサーバを指定できます。47 文字以内の英数字です。
Job Timeout (Sec.)	ジョブタイムアウト	ジョブタイムアウト	ジョブタイムアウト	4 秒 10 秒 255 秒	最後の印刷ジョブパケットを受け取ってからポートを解放するまでの時間を設定します。 通常は初期設定使用します。この値が小さすぎると印刷が崩れ易くなり、大きすぎると他のプロトコルから印刷がなかなか始まらなくなります。

EtherTalk

網かけ部は初期値です。

項目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
EtherTalk	EtherTalk	EtherTalk プロトコルを使用する	EtherTalk プロトコルを使用する	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	EtherTalk の使用／非使用を設定します。
Printer Name	EtherTalk プリンタ名	プリンタ名	プリンタ名	製品名	EtherTalk のプリンタ名を指定します。31 文字以内の英数字です。接続するネットワークで唯一の名称で無い場合には自動的に番号が名称の末尾に追加されます。
Zone Name	EtherTalk ゾーン名	ゾーン名	ゾーン名	*	EtherTalk ゾーン名を指定します。32 文字以内の英数字です。

NBT/NetBEUI

網かけ部は初期値です。

項　目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
NetBEUI	NetBEUI	NetBEUI プロトコルを使用する	NetBEUI プロトコルを使用する	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	NetBEUI の使用／非使用を設定します。
NetBIOS over TCP	NetBIOS over TCP	NetBIOS over TCP を使用する	ー	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	NetBIOSoverTCP の使用／非使用を設定します。
Short Printer Name	ショートプリンタ名	ショートプリンタ名	ショートプリンタ名	「製品名」+「イーサネットアドレス英数字下 6 桁」	コンピュータ名を設定します。この名前で NetBIOSoverTCP/NetBEUI 上で識別されます。Windows であればネットワークコンピュータの中の PrintServer グループに表示されます。15 文字以内の英数字です。
Work group Name	ワークグループ名	ワークグループ名	ワークグループ名	PrintServer	ワークグループ名を設定できます。この名称で Windows のネットワークコンピュータ中に表示されます。15 文字以内の英数字です。
Comment	コメント	コメント	コメント	Ethernet Board OkiLAN 8450e	コメントを設定します。Windows のネットワークコンピュータで表示形式を詳細に設定したときにこのコメントが表示されます。48 文字以内の英数字です。
Master Browser Setting	マスタブラウザ	マスタブラウザを使用する	ー	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	マスタブラウザ機能の使用／非使用を設定します。

printer trap

網かけ部は初期値です。

項　目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
Prn-Trap Commu-nity	プリンタ Trap コミュニティ名設定	プリンタ Trap コミュニティ名	ー	public	プリンタ Trap のコミュニティ名を設定します。31 文字以内の英数字です。
TCP #1-5 Trap Enable	Trap 送信許可 #1-5	TCP #1-5 Printer Trap を有効にする	ー	ENABLE DISABLE	TCP #1-5 でプリンタ Trap を使用するかどうか設定します。
TCP #1-5 Printer Reboot Trap	プリンタ再起動 #1-5	TCP #1-5 プリンタリブート	ー	ENABLE DISABLE	プリンタが再起動したときに SNMP メッセージを送信するかを選択します。
TCP #1-5 Receive Illegal Trap	不正 Trap 受信 #1-5	TCP #1-5 受信異常	ー	ENABLE DISABLE	「プリンタ Trap コミュニティ名設定」で指定した以外のコミュニティ名でプリンタにアクセスしたときに Trap を使用するかどうか設定します。
TCP #1-5 Online Trap	オンライン #1-5	TCP #1-5 オンライン	ー	ENABLE DISABLE	プリンタが ON-LINE になるたびに SNMP メッセージを送信するかを設定します。
TCP #1-5 Offline Trap	オフライン #1-5	TCP #1-5 オフライン	ー	ENABLE DISABLE	プリンタが OFF-LINE になるたびに SNMP メッセージを送信するかを設定します。
TCP #1-5 Paper Out Trap	用紙なし #1-5	TCP #1-5 用紙なし	ー	ENABLE DISABLE	プリンタが用紙切れ状態になったときに SNMP メッセージを送信するかを選択します。
TCP #1-5 Paper Jam Trap	用紙ジャム #1-5	TCP #1-5 用紙ジャム	ー	ENABLE DISABLE	プリンタに用紙がつまったときに SNMP メッセージを送信するかを選択します。
TCP #1-5 Cover Open Trap	カバーオープン #1-5	TCP #1-5 カバーオープン	ー	ENABLE DISABLE	プリンタのカバーが開かれるたびに SNMP メッセージを送信するかを選択します。
TCP #1-5 Printer Error Trap	プリンタエラー #1-5	TCP #1-5 プリンタエラー	ー	ENABLE DISABLE	プリンタにエラーが発生したときに SNMP メッセージを送信するかを選択します。
TCP #1-5 Trap Address	アドレス #1-5	TCP#1-5	ー	0.0.0.0	TCP/IP の場合の Trap 送信先アドレスを設定します。設定値は 10 進数「***.***.***.***」形式で入力します。IP アドレスが 0.0.0.0 の場合は、Trap を送信しません。アドレスは 5 か所まで指定できます。

網かけ部は初期値です。

項　目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
IPX Trap Enable	IPX Trap 送信許可	IPX Printer Trap を有効にする	―	ENABLE DISABLE	IPX でプリンタ Trap を使用するかどうか設定します。
IPX Online Trap	IPX オンライン	IPX オンライン	―	ENABLE DISABLE	プリンタが ON-LINE になるたびに SNMP メッセージを送信するかを設定します。
IPX Offline Trap	IPX オフライン	IPX オフライン	―	ENABLE DISABLE	プリンタが OFF-LINE になるたびに SNMP メッセージを送信するかを設定します。
IPX Paper Out Trap	IPX 用紙なし	IPX 用紙なし	―	ENABLE DISABLE	プリンタが用紙切れ状態になったときに SNMP メッセージを送信するかを選択します。
IPX Paper Jam Trap	IPX 用紙ジャム	IPX 用紙ジャム	―	ENABLE DISABLE	プリンタに用紙がつまったときに SNMP メッセージを送信するかを選択します。
IPX Cover OpenTrap	IPX カバーオープン	IPX カバーオープン	―	ENABLE DISABLE	プリンタのカバーが開かれるたびに SNMP メッセージを送信するかを選択します。
IPX Printer ErrorTrap	IPX プリンタエラー	IPX プリンタエラー	―	ENABLE DISABLE	プリンタにエラーが発生したときに SNMP メッセージを送信するかを選択します。
IPX Trap Net/ Address	IPX	IPX	―	00000000: 000000000000	IPX の場合の Trap 送信先アドレスを設定します。設定値は、ネットワークアドレス (8 桁)+ ノードアドレス (12 桁) で入力します。「00000000:000000000000」の場合はトラップを発行しません。アドレスは 1 か所のみ指定できます。

Email 受信

網かけ部は初期値です。

項　目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
POP or SMTP	使用するプロトコル	POP 受信プロトコルを使用する /SMTP 受信プロトコルを使用する	―	POP SMTP DISABLE(無効)	Email 受信機能の使用 / 非使用を指定します。使用する場合、そのプロトコル (POP/SMTP) を指定します。
POP3 Server	POP サーバ名	POP3 サーバ名	―	なし	POP サーバ名を指定します。ドメイン名または IP アドレスを指定してください。
POP port number	POP ポート番号	POP3 ポート番号	―	110	POP サーバにアクセスするためのポート番号を設定します。
POP3 Server User ID	POP ユーザ ID	POP3 ユーザ ID	―	なし	POP サーバにアクセスするためのユーザ ID を指定します。
POP3 Server Password	POP パスワード	POP3 パスワード	―	なし	POP サーバにアクセスするためのパスワードを指定します。
Use APOP	APOP サポート	APOP を使用する	―	NO（無効） YES（有効）	APOP の使用 / 非使用を指定します。
Mail Polling Time(min)	POP 受信間隔	ポーリング間隔	―	OFF 1 5 10 30 60	受信メールを POP サーバに取得しに行く間隔を指定します。
Domain filter	ドメインフィルタ	ドメインフィルタを使用する	―	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	ドメインフィルタ機能の使用 / 非使用を指定します。
Filter Policy	以下に設定したドメインからの Email を	フィルタポリシー	―	DENY(拒否) ACCEPT（許可）	指定したドメインからの E メールに対する許可 / 拒否を指定します。
Domain 1-5	ドメイン 1-5	ドメインフィルタ 1-5	―	なし	ドメインフィルタ機能の対象となるドメイン名を指定します。

SMTP（Email 送信）

網かけ部は初期値です。

項目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
SMTP Send	SMTP 送信	SMTP 送信を使用する	―	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	SMTP(Email) 送信プロトコルを使用するかどうか設定します。
SMTP Server Name	SMTP サーバ名	SMTP サーバ名	―	なし	SMTP サーバ名を設定します。ドメイン名または IP アドレスを指定してください。ドメイン名を指定する場合は、DNS(Pri)(sec) の設定が必要です。
SMTP Port Number	SMTP ポート番号	SMTP ポート番号	―	25	SMTP のポート番号を設定します。通常は初期設定でご使用ください。
Printer Email Ad-dress	プリンタ Email アドレス	送信元アドレス	―	なし	プリンタの E メールアドレスを設定します。
Reply-To Address	返信先 Email アドレス	返信先アドレス	―	なし	返信用のアドレスを設定します。通常はネットワーク管理者のメールアドレスを指定してください。
Email Ad-dress1-5	Email アドレス 1-5	送信先アドレス 1-5	―	なし	送信先のアドレスを設定します。アドレスは 5 ヶ所まで指定できます。
Notify Mode 1-5	障害通知方法	モード設定	―	EVENT（障害発生時の通知） PERIOD（定期的な通知）	障害を通知する方法を設定します。
Email Alert Interval(Hours) 1-5	メール通知間隔	定期通知間隔	―	1 ～ 24	通知間隔を設定します。定期的な通知を選択した場合のみ有効です。
Consum-able Warning Event 1-5	消耗品警告	消耗品の注意	―	DISABLE(無効) Immediate(即時) ～ 48 H 45 M ENABLE(有効)	プリンタの消耗品 (トナーカートリッジ、イメージドラムなど) に関する警告を通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Consum-able Warning Period 1-5	消耗品警告	消耗品の注意	―	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	プリンタの消耗品 (トナーカートリッジ、イメージドラムなど) に関する警告を通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。

網かけ部は初期値です。

項目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
Consum-able Error Event 1-5	消耗品エラー	消耗品のエラー	―	DISABLE(無効) Immediate(即時) ～ 48 H 45 M ENABLE(有効)	プリンタの消耗品 (トナーカートリッジ、イメージドラムなど) に関するエラーを通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Consum-able Error Period 1-5	消耗品エラー	消耗品のエラー	―	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	プリンタの消耗品 (トナーカートリッジ、イメージドラムなど) に関するエラーを通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Mainte-nance Warning Event 1-5	メンテナンスユニット警告	メンテナンスの注意	―	DISABLE(無効) Immediate(即時) ～ 2 H 0 M ～ 48 H 45 M ENABLE(有効)	メンテナンスユニット (定着器ユニット、ベルトユニットなど) に関する警告を通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Mainte-nance Warning Period 1-5	メンテナンスユニット警告	メンテナンスの注意	―	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	メンテナンスユニット (定着器ユニット、ベルトユニットなど) に関する警告を通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Mainte-nance Er-ror Event 1-5	メンテナンスユニットエラー	メンテナンスのエラー	―	DISABLE(無効) Immediate(即時) ～ 48 H 45 M ENABLE(有効)	メンテナンスユニット (定着器ユニット、ベルトユニットなど) に関するエラーを通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Mainte-nance Er-ror Period 1-5	メンテナンスユニットエラー	メンテナンスのエラー	―	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	メンテナンスユニット (定着器ユニット、ベルトユニットなど) に関するエラーを通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Paper Supply Warning Event 1-5	用紙の補充　警告	用紙の補充の注意	―	DISABLE(無効) Immediate(即時) ～ 0 H 15 M ～ 48 H 45 M ENABLE(有効)	用紙に関する警告を通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。

網かけ部は初期値です。

項　目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
Paper Supply Warning Period 1-5	用紙の補充　警告	用紙の補充の注意	−	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	用紙に関する警告を通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Paper Supply Error Event 1-5	用紙の補充　エラー	用紙の補充のエラー	−	DISABLE(無効) Immediate(即時) 〜 48 H 45 M ENABLE(有効)	用紙に関するエラーを通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Paper Supply Error Period 1-5	用紙の補充　エラー	用紙の補充のエラー	−	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	用紙に関するエラーを通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Printing Paper Warning Event 1-5	印刷中の用紙　警告	印刷中の用紙の注意	−	DISABLE(無効) Immediate(即時) 〜 48 H 45 M ENABLE(有効)	用紙の搬送に関する警告を通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Printing Paper Warning Period 1-5	印刷中の用紙　警告	印刷中の用紙の注意	−	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	用紙の搬送に関する警告を通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Printing Paper Error Event 1-5	印刷中の用紙　エラー	印刷中の用紙のエラー	−	DISABLE(無効) Immediate(即時) 〜 2 H 0 M 〜 48 H 45 M ENABLE(有効)	用紙の搬送に関するエラーを通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Printing Paper Error Period 1-5	印刷中の用紙　エラー	印刷中の用紙のエラー	−	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	用紙の搬送に関するエラーを通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Storage Device Event 1-5	ストレージデバイス	ストレージデバイス	−	DISABLE(無効) Immediate(即時) 〜 48 H 45 M ENABLE(有効)	ストレージデバイスに関するエラーを通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Storage Device Period 1-5	ストレージデバイス	ストレージデバイス	−	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	ストレージデバイスに関するエラーを通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。

網かけ部は初期値です。

項　目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
Print Result Warning Event 1-5	印刷の結果　警告	印刷の結果の注意	−	DISABLE(無効) Immediate(即時) 〜 48 H 45 M ENABLE(有効)	印刷結果に影響する障害に関する警告を通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Print Result Warning Period 1-5	印刷の結果　警告	印刷の結果の注意	−	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	印刷結果に影響する障害に関する警告を通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Print Result Error Event 1-5	印刷の結果　エラー	印刷の結果のエラー	−	DISABLE(無効) Immediate(即時) 〜 2 H 0 M 〜 48 H 45 M ENABLE(有効)	印刷結果に影響するエラーを通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Print Result Error Period 1-5	印刷の結果　エラー	印刷の結果のエラー	−	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	印刷結果に影響するエラーを通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Interface Warning Event 1-5	インターフェースの異常警告	I/F の注意	−	DISABLE(無効) Immediate(即時) 〜 48 H 45 M ENABLE(有効)	インターフェース(ネットワーク etc.)に関する警告を通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Interface Warning Period 1-5	インターフェースの異常警告	I/F の注意	−	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	インターフェース(ネットワーク etc.)に関する警告を通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Interface Error Event 1-5	インターフェースの異常エラー	I/F のエラー	−	DISABLE Immediate(即時) 〜 2 H 0 M 〜 48 H 45 M ENABLE	インタフェース(ネットワーク etc.)に関するエラーを通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Interface Error Period 1-5	インターフェースの異常エラー	I/F のエラー	−	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	インタフェース(ネットワーク etc.)に関するエラーを通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。

網かけ部は初期値です。

項目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
Security Warning Event 1-5	セキュリティ	セキュリティの注意	–	DISABLE(無効) Immediate(即時) 〜 2 H 0 M 〜 48 H 45 M ENABLE(有効)	セキュリティ機能の中で発生した警告を通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Security Warning Period 1-5	セキュリティ	セキュリティの注意	–	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	セキュリティ機能の中で発生した警告を通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Other Error Event 1-5	その他	その他のエラー	–	DISABLE(無効) Immediate(即時) 〜 2 H 0 M 〜 48 H 45 M ENABLE(有効)	その他の重大なエラーを通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Other Error Period 1-5	その他	その他のエラー	–	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	その他の重大なエラーを通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Attached Info Printer Model	付加情報設定 プリンタモデル	付加情報設定 プリンタモデル	–	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	送信メールに記載するプリンタ情報に、プリンタモデル名を含めるかどうかを設定します。
Attached Info Network Model	付加情報設定 ネットワークインタフェース	付加情報設定 ネットワークインタフェース	–	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	送信メールに記載するプリンタ情報に、ネットワークインタフェース名を含めるかどうかを設定します。
Attached Info Printer Serial Number	付加情報設定 プリンタシリアルナンバー	付加情報設定 シリアル番号	–	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	送信メールに記載するプリンタ情報に、プリンタのシリアルナンバを含めるかどうかを設定します。

網かけ部は初期値です。

項目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
Attached Info Printer Asset Number	付加情報設定 プリンタ管理番号	付加情報設定 Asset 番号	–	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	送信メールに記載するプリンタ情報に、プリンタの管理番号を含めるかどうかを設定します。
Attached Info Printer Name	付加情報設定 プリンタ名	付加情報設定 システム名	–	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	送信メールに記載するプリンタ情報に、SystemName を含めるかどうかを設定します。
Attached Info Printer Location	付加情報設定 設置場所	付加情報設定 プリンタロケーション	–	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	送信メールに記載するプリンタ情報に、SystemLocation を含めるかどうかを設定します。
Attached Info IP Address	付加情報設定 IP アドレス	付加情報設定 IP アドレス	–	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	送信メールに記載するプリンタ情報に、IP アドレスを含めるかどうかを設定します。
Attached Info MAC Address	付加情報設定 MAC アドレス	付加情報設定 Ethernet アドレス	–	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	送信メールに記載するプリンタ情報に、MAC アドレスを含めるかどうかを設定します。
Attached Info Short Printer Name	付加情報設定 ショートプリンタ名	付加情報設定 ショートプリンタ名	–	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	送信メールに記載するプリンタ情報に、プリンタのコンピュータ名を含めるかどうかを設定します。
Attached Info Printer URL	付加情報設定 プリンタ URL	付加情報設定 プリンタ URL	–	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	送信メールに記載するプリンタ情報に、プリンタの URL を含めるかどうかを設定します。
Comment Line 1-4	コメント	コメント 1-4	–	なし	送信メールの文末に付加するコメントを設定します。4 行設定できます。1 行は 63 文字まで入力でき、それを越える場合は自動的に改行します。
SMTP Auth	SMTP 認証設定	SMTP 認証設定	–	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	SMTP 認証をするかどうかを設定します。
User ID	ユーザ ID	ユーザ ID	–	なし	SMTP認証のユーザIDを設定します。
User Password	パスワード	パスワード	–	なし	SMTP 認証のパスワードを設定します。

7

ネットワーク設定項目の一覧

Maintenance

網かけ部は初期値です。

項目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
LAN Scale Setting	LAN の規模の設定	LAN Scale	－	NORMAL（普通） SMALL（小規模）	Normal(普通)：通常この設定を使用してください。スパニングツリー機能を持つハブに接続した場合でも効率よく動作します。ただし、コンピュータが 2, 3 台の小さな LAN に接続するとプリンタが起動する時間が長くなるデメリットがあります。 SMALL(小規模)：コンピュータが 2, 3 台の小さな LAN から大型の LAN まで対応しますが、スパニングツリー機能を持つハブに接続した場合に効率よく動作できない場合があります。
HEX Dump Mode	HEX ダンプモード	－	－	NO YES	このモードに設定すると、受信した印刷データをすべて 16 進数で表示します。プリンタを再起動すると本モードを抜けます。
HUB Link Setting	HUB との接続の設定	－	－	AUTO NEGOTIATION 100BASE-TX FULL 100BASE-TX HALF 10BASE-T FULL 10BASE-T HALF	ハブとの通信速度と通信方法を設定することができます。通常は、AUTO NEGOTIATION を設定します。

Security

網かけ部は初期値です。

項目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
FTP	FTP	FTP Service を使用する	－	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	プリンタに対して FTP でのアクセスの使用 / 非使用を設定します。
Telnet	Telnet	Telnet Service を使用する	－	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	プリンタに対して TELNET でのアクセスの使用 / 非使用を設定します。
Web (Default Port 80)	Web（ポート番号：80）	Web Service を使用する	－	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	プリンタに対して WEB ブラウザでのアクセスの使用 / 非使用を設定します。
Web (IPP)	Web	－	－	1 ～ 80 ～ 65535	プリンタの Web ページにアクセスするためのポート番号を設定します。
IPP (Default Port 631)	IPP（ポート番号：631）	IPP Service を使用する	－	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	IPP プロトコルの使用 / 非使用を設定します。
SNMP	SNMP	SNMP Service を使用する	－	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	プリンタに対して SNMP でのアクセスの使用 / 非使用を設定します。通常は ENABLE（使用する）でお使いください。
SMTP (E-mail)	－	SMTP 送信を使用する	－	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	SMTP 送信の使用 / 非使用を設定します。
SMTP	SMTP	SMTP ポート番号	－	1 ～ 25 ～ 65535	SMTP プロトコルのポート番号を設定します。
POP (E-mail)	POP	POP3 プロトコルを使用する	－	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	POP3 プロトコルの使用 / 非使用を設定します。
POP	POP	POP3 ポート番号	－	1 ～ 110 ～ 65535	POP3 プロトコルのポート番号を設定します。

網かけ部は初期値です。

項　目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
SNTP	SNTP	SNTP を使用する	―	ENABLE (有効) DISABLE (無効)	SNTP プロトコルの使用 / 非使用を設定します。
Local Ports	Local Ports	―	―	ENABLE (有効) DISABLE (無効)	独自プロトコルの使用 / 非使用を設定します。
TCP/IP	―	TCP/IP プロトコルを使用する	―	ENABLE (有効) DISABLE (無効)	TCP/IP プロトコルの使用 / 非使用を設定します。
NetBEUI	NetBEUI	NetBEUI プロトコルを使用する	―	ENABLE (有効) DISABLE (無効)	NetBEUI プロトコルの使用 / 非使用を設定します。
NetBIOS over TCP	NetBIOS over TCP	NetBIOS over TCP を使用する	―	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	NetBIOS over TCP プロトコルの使用／非使用を設定します。
NetWare	NetWare	NetWare プロトコルを使用する	―	ENABLE (有効) DISABLE (無効)	NetWare プロトコルの使用 / 非使用を設定します。
EtherTalk	EtherTalk	EtherTalk プロトコルを使用する	―	ENABLE (有効) DISABLE (無効)	EhterTalk プロトコルの使用 / 非使用を設定します。
Password	パスワード設定	admin パスワード	―	MAC アドレス下 6 桁	管理者パスワードを変更します。15 文字以内の英数字です。大文字、小文字は区別されます。忘れてしまうと設定を変更できなくなります。
―	―	設定データの暗号化通信を使用する	―	ENABLE (有効) DISABLE (無効)	ツール (AdminManager) とプリンタ間の設定データ通信を暗号化します。設定すると、バージョンが古いツールから、プリンタの設定が行えなくなります。

IP Filtering

網かけ部は初期値です。

項　目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
IP Filtering	IP フィルタリング	IP フィルタを使用する	―	ENABLE (有効) DISABLE (無効)	IP アドレス毎のアクセスを制限する機能の 使用／非使用を設定します。ただし、この機能は IP アドレスについて充分な知識を必要とします。通常は必ず DISABLE(使用しない) になるように設定しておいてください。ENABLE(使用する) に設定し、以下の設定をしないと TCP/IP によるアクセスが一切できなくなってしまいます。
Start Address #1-10	開始アドレス #1-10	開始アドレス #1-10	―	0.0.0.0	プリンタへアクセスを許可する IP アドレスを指定します。単一の IP アドレスを指定することもできますが、範囲で指定することもできます。アドレスの範囲（「開始アドレス」と「終了アドレス」）を設定してください。0.0.0.0 を入力すると無効になります。
End Address #1-10	終了アドレス #1-10	終了アドレス #1-10	―	0.0.0.0	
IP Address Range #1-10 Printing	印刷 #1-10	印刷を許可する #1-10	―	ENABLE DISABLE	IP Address Range #1-10 で設定した IP アドレスからの印刷を許可します。
IP Address Range #1-10 Configu-ration	設定 #1-10	設定を許可する #1-10	―	ENABLE DISABLE	IP Address Range #1-10　で設定した IP アドレスからの設定変更を許可します。
Admin IP Address	設定される管理者の IP アドレス	管理者の IP アドレス	―	0.0.0.0	管理者の IP アドレスを指定します。このアドレスだけは、必ずプリンタにアクセスできます。ただし、管理者がプロキシ経由でプリンタにアクセスするように設定している場合には、プロキシのアドレスが設定されてしまいます。プロキシのアドレスが設定されるとプロキシ経由でアクセスする人は全て許可となります。管理者はプリンタに対してプロキシを経由しないでアクセスすることが理想です。

MAC Address Filtering

網かけ部は初期値です。

項目				設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
MAC Address Filtering	MAC アドレスフィルタリング	―	―	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	MAC アドレス毎のアクセスを制御する機能の使用 / 非使用を設定します。ただし、この機能は MAC アドレスについて十分な知識を必要とします。通常は必ず DISABLE(使用しない)になるように設定しておいてください。ENABLE(使用する)に設定し、以下の設定をしないとネットワークによるアクセスが一切できなくなってしまいます。
MAC Address Access	MAC アドレスからの通信	―	―	ACCEPT(許可) DENY(拒否)	MAC Address Access #1-50 で設定した MAC アドレスからのアクセスを許可するか拒否するかを設定します。
MAC Address #1-50	フィルタする MAC アドレス #1-50	―	―	00:00:00:00:00:00	プリンタへアクセスを許可 (拒否) する MAC アドレスを指定します。00:00:00:00:00:00 を入力すると無効になります。
Admin MAC Address	設定される管理者の MAC アドレス	―	―	00:00:00:00:00:00	管理者の MAC アドレスを指定します。 このアドレスだけは、必ずプリンタにアクセスできます。ただし、管理者がプロキシ経由でプリンタにアクセスするように設定している場合には、プロキシのアドレスが設定されてしまいます。プロキシのアドレスが設定されているとプロキシ経由でアクセスする人は全て許可となります。 管理者はプリンタに対してプロキシを経由しないでアクセスすることが理想です。

SSL/TLS

網かけ部は初期値です。

項目				設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
Cipher (SSL/TLS)	SSL/TLS	SSL/TLS を使用する	―	ON(オン) OFF(オフ)	SSL/TLS の使用 / 非使用を設定します。
Ciper Strength	暗号化強度	暗号化強度	―	Weak(弱) Standard(標準) Strong(強)	暗号化の強度を設定します。
―	使用する証明書の作成	証明書作成	―	自身で署名した証明書を使用する(自己署名証明書) 認証局が発行した証明書を使用する(認証局証明書)	自己署名証明書を作成します。また、認証局へ送付する CSR の作成と認証局が発行する証明書のインストールをします。
―	Common Name	Common Name	―	(プリンタ自身の IP アドレス)	自己署名証明書作成時には装置の IP アドレス(固定)となります。
―	Organization	Organization	―	なし	組織名:所属する組織の正式名称を指定します。入力可能文字数は 64 文字。
―	Organizational Unit	Organizational Unit	―	なし	組織単位:属する部門や課、その他組織内のサブグループを指定します。入力可能文字数は 64 文字。
―	Locality	Locality	―	なし	都市名:組織がある都市名や地名を指定します。入力可能文字数は 128 文字。
―	State/ Province	State/ Province	―	なし	州 / 県:組織がある州や県を指定します。入力可能文字数は 128 文字。
―	Country/ Region	Country/ Region	―	なし	国コード:2 文字の ISO 国 / 地域コードを入力します。(JP(日本),US(アメリカ合衆国) 等) 入力可能文字数は 2 文字
―	鍵タイプ	鍵交換の方法	―	RSA	暗号通信に使用する鍵の方式を設定します。
―	鍵サイズ	鍵のサイズ	―	2048 bit 1024 bit 512 bit	暗号通信に使用する鍵のサイズを設定します。

SNTP

網かけ部は初期値です。

項 目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
SNTP	SNTP	SNTP を使用する	−	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	SNTP プロトコルの使用 / 非使用を設定します。
NTP Server (Pri.)	NTP サーバ（プライマリ）	NTP サーバ名 1	−	なし	時間取得をする NTP サーバー（プライマリ）の IP アドレスを設定します。
NTP Server (Sec.)	NTP サーバ（セカンダリ）	NTP サーバ名 2	−	なし	時間取得をする NTP サーバー（セカンダリ）の IP アドレスを設定します。
Adjust Interval	調整間隔	時間補正間隔	−	1 hour（時間） 12 hours（時間） 24 hours（時間）	NTP Server 1 または、NTP Server 2 に時間取得に行くインターバルを設定します。
Local Time Zone	タイムゾーン	ローカル時間設定	−	00:00	GMT との時間差を設定します。
Daylight Saving	夏時間	夏時間設定	−	ON（オン） OFF（オフ）	サマータイムの設定をします。

Job List

網かけ部は初期値です。

項 目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
−	ジョブキュー表示項目設定	−	−	ドキュメント名 ジョブ状態 ジョブ種類 コンピュータ名 ユーザ名 印刷済み面数 送信時間 送信ポート	現在プリンタの印刷待ちになっているジョブ（印刷データ）の一覧に表示する項目を選択します。 選択しない場合には、初期値の項目で一覧が表示されます。

Web 印刷

網かけ部は初期値です。

項 目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
−	給紙トレイ	−	−	トレイ 1 MP トレイ トレイ 2 トレイ 3	印刷に使用する給紙トレイを選択します。 ＊：トレイ 2 〜 3 は、オプションのトレイユニット装着時に表示されます。
−	印刷部数	−	−	1 〜 999	1 度に印刷する部数を入力します。 1 〜 999 の範囲で設定できます。
−	部単位印刷	−	−	チェックあり チェックなし	複数の文書を印刷する場合、文書を部単位で印刷します。
−	用紙サイズに合わせる	−	−	チェックあり チェックなし	印刷の際に、印刷する PDF ファイルの用紙サイズと、トレイの用紙サイズが異なる場合、印刷する PDF ファイルの用紙サイズをトレイの用紙サイズに合わせて編集するかどうかを選択します。
−	両面印刷	−	−	なし 長辺を綴じる 短辺を綴じる	両面印刷を行う際の、綴じ方を選択します。
−	印刷ページ指定	−	−	チェックあり チェックなし	開始ページ、終了ページを指定することで、印刷するページを指定します。
−	PDF パスワード	−	−	チェックあり チェックなし	暗号化された PDF ファイルを印刷する場合に、チェックを付けてパスワードを指定します。

IEEE802.1X

網かけ部は初期値です。

項目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
802.1X	IEEE 802.1X	IEEE 802.1X を有効にする	ー	ENABLE(有効) DISEBLE(無効)	IEEE802.1X 機能の使用 / 非使用を設定します。
EAP Type	EAP タイプ	EAP タイプ	ー	EAP-TLS PEAP	EAP 方式を選択します。
EAP User	EAP ユーザ	EAP ユーザ	ー	なし	EAP で使用するユーザ名を指定します。EAP-TLS/PEAP 選択時に有効です。64 文字以内の英数字です。
EAP Password	EAP パスワード	EAP パスワード	ー	なし	EAP User に対応したパスワードを指定します。PEAP 選択時のみ有効です。64 文字以内の英数字です。
Use SSL Certificate	SSL/TLS の証明書を EAP 認証に使用する	SSL/TLS の証明書を使用する	ー	ENABLE(有効) DISEBLE(無効)	SSL/TLS 用の証明書を IEEE802.1X 認証に使用するかどうかを選択します。SSL/TLS 用証明書がインストールされていない場合は "ENABLE(有効)" は選択できません。EAP-TLS 選択時のみ有効です。
Authenticate Server	サーバを認証する	サーバを認証する	ー	ENABLE(有効) DISEBLE(無効)	RADIUS サーバから送られてきた証明書を、CA 証明書を使って認証するか否かを選択します。
EAP retry	ー	ー	ー	1 ～ 3 ～ 9	IEEE802.1X 認証動作のリトライ回数を設定します。1 回 -9 回までの範囲で設定できます。通常は変更せずにお使いください。
EAP timeout	ー	ー	ー	10 ～ 60	IEEE802.1X 認証中にサーバレスポンスを待つためのタイムアウト値を設定します。10 秒 -60 秒の範囲で設定できます。通常は変更せずにお使いください。

IPSec

網かけ部は初期値です。

項目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
IPSec	IPSec	ー	ー	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	IPSec の使用／非使用を設定します。
ー	IP アドレス 1 ～ 50	ー	ー	0.0.0.0	IPSec で通信を許可するホストを設定します。 * IPv4 アドレスは、“.” で区切られた半角の数字を使用してください。 * IPv6 グローバルアドレスは、“:” で区切られた半角の英数字を使用してください。 * IPv6 リンクローカルアドレスはサポートしていません。
ー	IKE 暗号化アルゴリズム	ー	ー	3DES-CBC DES-CBC	IKE の暗号化方式を設定します。
ー	IKE ハッシュアルゴリズム	ー	ー	SHA-1 MD5	IKE のハッシュ方式を設定します。
ー	Diffie-Hellman グループ	ー	ー	Group1 Group2	Phase1 Proposal で使用される Diffe-Helman グループを設定します。
ー	ライフタイム	ー	ー	600 86400 28800	ISAKMP SA のライフタイムを設定します。 通常は初期設定でご使用ください。
ー	事前共有キー	ー	ー	なし	事前共有キーを設定します。
ー	Key PFS	ー	ー	KEYPFS NOPFS	Key PFS (Perfect Forward Secrecy) の使用／非使用を設定します。
ー	Key PFS 有効時の Diffie-Hellman グループ	ー	ー	Group2 Group1 None	Key PFS を使用する場合に、使用される Diffe-Helman グループを設定します。
ー	ESP	ー	ー	有効 無効	ESP (Encapsulating Security Payload) の使用／非使用を設定します。
ー	ESP 暗号化アルゴリズム	ー	ー	3DES-CBC DES-CBC	ESP で使用する暗号化アルゴリズムを設定します。

網かけ部は初期値です。

項　目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
ー	ESP 認証アルゴリズム	ー	ー	SHA-1 MD5 OFF	ESP で使用する認証アルゴリズムを設定します。
ー	AH	ー	ー	有効 無効	AH (Authentication Header) の使用／非使用を設定します。
ー	AH 認証アルゴリズム	ー	ー	SHA-1 MD5	AH で使用する認証アルゴリズムを設定します。
ー	ライフタイム	ー	ー	600 3600 86400	IPSec SA のライフタイムを設定します。 通常は初期設定でご使用ください。

ネットワーク機能を初期化します

初期化すると全てのネットワーク設定項目が初期値になります。

❶ 電源スイッチのオン（ | ）を押します。

❷ 操作パネルに［印刷できます］と表示していることを確認します。

❸ ボタンを数回押し、［管理者用メニュー］を選択し、 設定ボタンを押します。

❹ パスワード入力画面になるので、 ボタンまたは ボタンで 1 桁目の英小文字または数字を選択し、 設定ボタンを押します。次の桁に移るので、同様の手順で入力します。

最後に 設定ボタンを押します。

メモ パスワードの初期値は「aaaaaa」です。

❺ ボタンまたは ボタンを押して［ネットワーク設定］を選択し、 設定ボタンを押します。

❻ ボタンを数回押して［工場出荷時設定］を選択し、 設定ボタンを押します。

❼［実行］と表示されます。

❽ 設定ボタンを押します。

❾［しばらくお待ちください。ネットワーク初期化中です］と表示されます。

プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。
［印刷できます］と表示されたら完了です。

ネットワークの設定情報（Network Information）を印刷します

❶ 電源スイッチのオン（｜）を押します。

❷ トレイに A4 用紙をセットします。

❸ 操作パネルに［印刷できます］と表示していることを確認します。

❹ ボタンを数回押し、［プリンタ情報印刷］を選択し、設定ボタンを押します。

❺ ボタンを押して［ネットワーク］を選択し、設定ボタンを押します。

［印刷実行］が表示されます。

❻ 設定ボタンを押します。

ネットワークの設定情報（Network Information ２枚）の印刷が開始されます。

（例）

Network Information

Printer Information

Printer Name　OKI-C711-849C9B
Printer Serial Number
Printer Asset Number

General Information

Network Model　OkiLAN 8450e
Firmware Version　08.A1　File Version (WE/WJ/DF/LD/LO)　B3.01 / B3.01 / B3.01 / B3.01 / B3.01
Web Remote　W8.A1　DLM Version (PNL/WEB/NIF/NSP)　B3.01 / B3.01 / B3.01 / B3.01
MAC Address　00:80:87:84:9C:9B
HUB Link Setting　AUTO NEGOTIATION
HUB Link Status
Network Status　Unicast Packets Received　Unsendable Packets
Packets Transmitted　Bad Packets Received
Total Packets Received
IEEE802.1X Status　Disable

Protocol ON/OFF
TCP/IP　ENABLE　NetWare　ENABLE
NetBEUI　ENABLE　EtherTalk　ENABLE

TCP/IP Configuration

IP Address Set　MANUAL
IP Address　192.168.0.2
Subnet Mask　255.255.255.0
Default Gateway　192.168.0.1
WINS Server (Primary)　0.0.0.0
WINS Server (Secondary)　0.0.0.0
WINS Registration Status　The WINS server is not found.
DNS Server (Primary)　0.0.0.0
DNS Server (Secondary)　0.0.0.0
Dynamic DNS　DISABLE
DDNS Host Name　C711-849C9B
DDNS Domain Name
DDNS Registration Status

Auto Discovery
Windows　DISABLE
Macintosh　ENABLE
Printer Name(Printer is identified by this name.)　OKI-C711-849C9B
WindowsRally
WSD Print　ENABLE　LLTD　ENABLE
Number of subscriber　0

NetWare Configuration

NetWare Mode　Queue Server Mode(Print Server + Bindery/NDS + IPX)
Frame Type　AUTO
Network No.　00000000

P-Server Mode
Print Server Name　OKI-C711-849C9B-PS
Job Polling Rate　4 Sec

Bindery Mode　ENABLE
NDS Mode
Tree Name
Context Name

R-Printer Mode
Printer Name　OKI-C711-849C9B-PR
Job Timeout　10 Sec

EtherTalk Configuration

EtherTalk Printer Name　C711
Type Name　LaserWriter
Zone Name
Address
Node

IP Filtering　DISABLE
MAC Address Filtering　DISABLE
Cipher(SSL/TLS)　DISABLE
Cipher Strength　STANDARD
Certificate Information
Certificate Type
The term of validity
Email Domain Filtering　DISABLE

Maintenance

LAN Scale Setting　NORMAL

IP アドレスの設定

IP アドレスとは…

TCP/IP プロトコルを使用してネットワーク接続する場合、コンピュータとプリンタに IP アドレスを設定する必要があります。IP アドレスはネットワーク上に接続されたコンピュータやプリンタの住所のようなものです。正しく設定しないと必要な情報を届ける住所がわからず、通信ができなくなります。

- Macintosh をネットワーク接続する場合は、EtherTalk プロトコルを使用するため、IP アドレスを設定する必要はありません。
- Macintosh 環境で Web ブラウザ（63 ページ）や Setup Utility（72 ページ）を使用する場合には、IP アドレスを設定してください。

（例）

コンピュータ

IP アドレス	: 192. 168. 0. 3

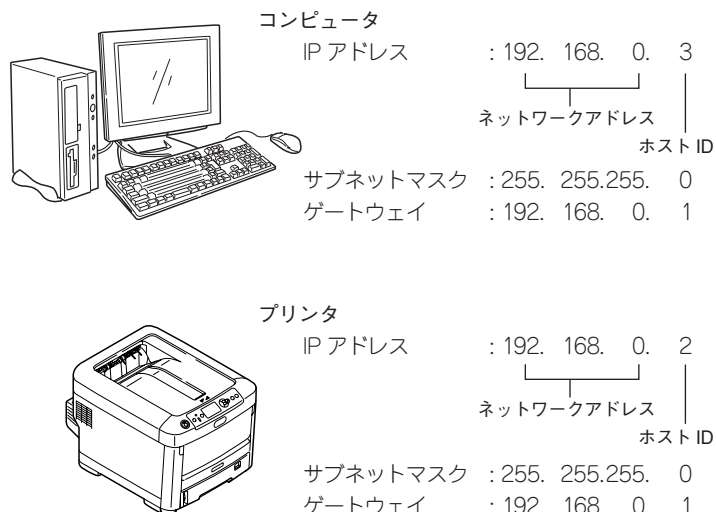
ネットワークアドレス　ホスト ID

サブネットマスク	: 255. 255.255. 0
ゲートウェイ	: 192. 168. 0. 1

プリンタ

IP アドレス	: 192. 168. 0. 2

ネットワークアドレス　ホスト ID

サブネットマスク	: 255. 255.255. 0
ゲートウェイ	: 192. 168. 0. 1

IP アドレスはどんな値でも使えるわけではなく、決まりがあります。3 桁の数字が 4 つに区切られた形で設定します。
例でいうと「192.168.0」までをネットワークアドレスといい、残りの「3」や「2」をホスト ID といいます。標準的なネットワークの場合、コンピュータとプリンタのネットワークアドレスが同じでないと通信できません。ホスト ID は、どの機器とも重複しないような値で、1 ～ 254 の間で設定します。
また、IP アドレス以外に、サブネットマスク、ゲートウェイの設定も必要です。基本的にサブネットマスクは「255.255.255.0」を設定します。ゲートウェイは、接続しているルータの IP アドレスを指定します。通常、コンピュータとプリンタに設定するサブネットマスクとゲートウェイは同じ値にします。

コンピュータの IP アドレス

お手元のコンピュータに設定されている IP アドレスを確認しましょう。

コンピュータの IP アドレスは、接続しているネットワーク環境によって異なります。インターネットをご利用の場合、接続しているプロバイダやルータメーカから指定された値に設定されています。何の値が設定されているかや DHCP などのサーバがあるかどうかは、プロバイダやルータメーカに確認してください。社内などでネットワーク管理者がいる場合は、管理者に確認してください。

多くの場合、コンピュータは初期設定で「IP アドレスを自動取得する」設定になっています。一般の家庭用ルータ（ADSL ルータや ISDN ルータ）には DHCP サーバが標準で搭載されている場合が多く、お手元のコンピュータに何も設定しなくても、ルータに接続し、コンピュータの電源を入れただけで、サーバより自動的に IP アドレスを取得します。

お手元のコンピュータの取得している IP アドレスがわからない場合は、下記手順で確認してください。手順はシステム環境のバージョンにより異なりますので、詳細は各システム環境のマニュアルをご覧ください。

Windows の場合

❶ Windows を起動します。

❷ コマンドプロンプト（MS-DOS プロンプト）を選択します。

〈Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008/Windows XP/Windows Server 2003 の場合〉

［スタート］-［すべてのプログラム］-［アクセサリ］-［コマンドプロンプト］を選択します。

〈Windows 2000 の場合〉

［スタート］-［プログラム］-［アクセサリ］-［コマンドプロンプト］を選択します。

❸ キーボードから［ipconfig］と入力し、［Enter］キーを押します。

現在設定されている IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイが表示されます。

（Windows XP の場合）

Macintosh の場合

❶ Macintosh を起動します。

❷〈Macintosh の場合〉

［アップルメニュー］-［コントロールパネル］-［TCP/IP］を選択します。

〈Mac OS X の場合〉

［アップルメニュー］-［システム環境設定］-［インターネットとネットワーク］-［ネットワーク］-［表示］で［内蔵 Ethernet］を選択し、［TCP/IP］タブを選択します。

表示されない場合は、［すべて表示］をクリックしてください。

プリンタの IP アドレスを確認します

現在、プリンタにどんな IP アドレスが設定されているか確認しましょう。

プリンタに設定されている IP アドレスは、ネットワークの設定情報（Network Information）に表示されています。ネットワークの設定情報（Network Information）を印刷し、IP アドレスを確認してください。ネットワークの設定情報（Network Information）の詳細は 256 ページをご覧ください。

Network Information

Printer Information

Printer Name OKI-C711-849C9B
Printer Serial Number
Printer Asset Number

General Information

Network Model OkiLAN 8450e
Firmware Version 08.A1 — File Version (WE/WJ/DF/LD/LO) B3.01 / B3.01 / B3.01 / B3.01 / B3.01
Web Remote W8.A1 — DLM Version (PNL/WEB/NIF/NSP) B3.01 / B3.01 / B3.01 / B3.01
MAC Address 00:80:87:84:9C:9B
HUB Link Setting AUTO NEGOTIATION
HUB Link Status LINK FAIL
Network Status Unicast Packets Received — Unsendable Packets
Packets Transmitted — Bad Packets Received
Total Packets Received
IEEE802.1X Status Disable

Protocol ON/OFF
TCP/IP ENABLE — NetWare ENABLE
NetBEUI ENABLE — EtherTalk ENABLE

TCP/IP Configuration

IP Address Set MANUAL
IP Address 192.168.0.2
Subnet Mask 255.255.255.0
Default Gateway 192.168.0.1
WINS Server (Primary) 0.0.0.0
WINS Server (Secondary) 0.0.0.0
WINS Registration Status The WINS server is not found.
DNS Server (Primary) 0.0.0.0
DNS Server (Secondary) 0.0.0.0
Dynamic DNS DISABLE
DDNS Host Name C711-849C9B
DDNS Domain Name
DDNS Registration Status

Auto Discovery
Windows DISABLE
Macintosh ENABLE
Printer Name(Printer is identified by this name.) OKI-C711-849C9B
WindowsRally
WSD Print ENABLE — LLTD ENABLE
Number of subscriber 0

NetWare Configuration

NetWare Mode Queue Server Mode(Print Server + Bindery/NDS + IPX)
Frame Type AUTO
Network No. 00000000

P-Server Mode
Print Server Name OKI-C711-849C9B-PS
Job Polling Rate 4 Sec

Bindery Mode ENABLE
NDS Mode
Tree Name
Context Name

R-Printer Mode
Printer Name OKI-C711-849C9B-PR
Job Timeout 10 Sec

EtherTalk Configuration

EtherTalk Printer Name C711
Type Name LaserWriter
Zone Name
Address
Node

プリンタの IP アドレスを設定します

ネットワークの環境に応じて、プリンタに IP アドレスを設定しましょう。

(1) 初期設定のまま使用します。

- ネットワーク上に DHCP/BOOTP サーバなどがある場合

  プリンタは初期設定で「IP ADDRESS SET」が「AUTO」に設定されています。ネットワーク上に DHCP/BOOTP サーバなどがある場合は、ネットワークに接続し、プリンタの電源を入れただけで、サーバより自動的に IP アドレスを取得します。

  現在のコンピュータとプリンタの設定が下記のようになっていれば、そのままお使いになれます。プリンタの IP アドレスを設定したり変更をする必要はありません。

  - IP アドレスのネットワークアドレスが、コンピュータとプリンタで同じ値になっていること。
  - IP アドレスのホスト ID が、コンピュータとプリンタで違う値になっていること。
  - サブネットマスクとゲートウェイが、コンピュータとプリンタで同じ値になっていること。

- ネットワーク上に DHCP/BOOTP サーバなどがなく、接続しているコンピュータがすべて Windows XP の場合

  プリンタは初期設定で「IP ADDRESS SET」が「AUTO」に設定されています。「Auto」に設定されている場合、「サーバを使用しないアドレス解決」機能を使うことができます。そのため、ネットワーク上に DHCP/BOOTP サーバなどがなくても、Windows XP と通信して自動的に IP アドレスを設定します。

  現在のコンピュータとプリンタの設定が下記のようになっていれば、そのままお使いになれます。プリンタの IP アドレスを設定したり変更をする必要はありません。

  - IP アドレスのネットワークアドレスが、コンピュータとプリンタで同じ値になっていること。
  - IP アドレスのホスト ID が、コンピュータとプリンタで違う値になっていること。
  - サブネットマスクとゲートウェイが、コンピュータとプリンタで同じ値になっていること。

目次へ 戻る 前へ 次へ 索引へ 検索する

- **ネットワーク上に DHCP/BOOTP サーバなどがなく、接続しているコンピュータがすべて Macintosh で、Web ブラウザや Setup Utility を使用しない場合**
  Macintosh をネットワーク接続する場合は、EtherTalk プロトコルを使用するため、IP アドレスを設定する必要はありません。

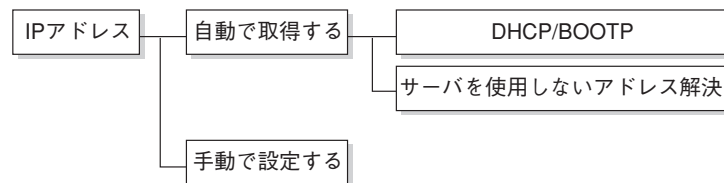
(2) IP アドレスを手動で設定します。

- **ネットワーク上に DHCP/BOOTP サーバなどがなく、接続しているコンピュータのシステム環境が異なっている、または社内ネットワーク管理者により決められた IP アドレスを指定されたなど、(1) に当てはまらない場合**
  プリンタに決められた IP アドレスを手動で設定してください。IP アドレスは、プリンタの操作パネルや AdminManager（Windows）、Setup Utility（Macintosh）、TELNET などで設定できます。

  設定の詳細は、「AdminManager」（17 ページ）、「Setup Utility」（72 ページ）、「TELNET」（51 ページ）、「プリンタの操作パネルで IP アドレスを設定したい」（225 ページ）をご覧ください。

IP アドレス設定のしくみ（参考）

IP アドレスを設定する機能は次のような構成になっています。

7

IP アドレスの設定

DHCP/BOOTP を使います

DHCP サーバまたは BOOTP サーバから IP アドレスを取得できます。

・ セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。
・ IP アドレスの入力を間違えると、ネットワークがダウンするなどの重大な障害が発生する恐れがあります。ネットワーク管理者と十分相談の上、設定してください。

DHCP サーバの設定

DHCP とは、TCP/IP ネットワーク上の各ホストに動的に IP アドレスを割り当てるためのプロトコルです。IP アドレスの他にサブネットマスクを設定することもできます。

プリンタには、固定の IP アドレスが割り当てられるように DHCP サーバを設定してください。ランダムに IP アドレスを割り当てると、ネットワーク経由で印刷ができない場合があります。固定の IP アドレスを割り当てる方法については、各 DHCP サーバのマニュアルをご覧ください。

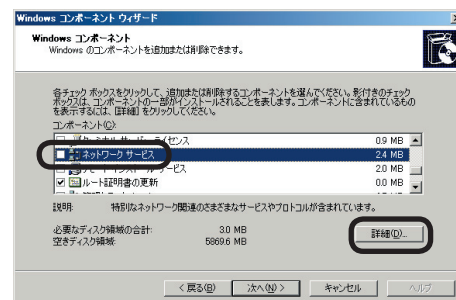
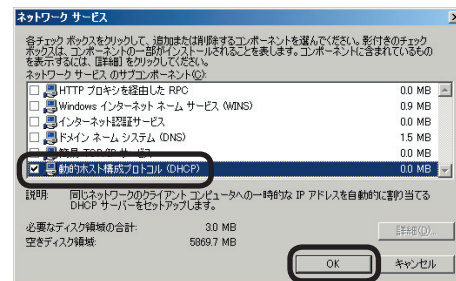
動作確認環境

Windows 2003 Server 日本語版 DHCP サーバ
Windows 2000 Server 日本語版 DHCP サーバ
Windows 2000 Advanced Server 日本語版 DHCP サーバ
Sun OS 4.1.3+WIDE 版 DHCP バージョン 1.3.6

以下の説明は、Windows Server 2003 Standard Edition 日本語版を例にしています。

❶ [スタート] - [コントロールパネル] - [プログラムの追加と削除] を選択します。

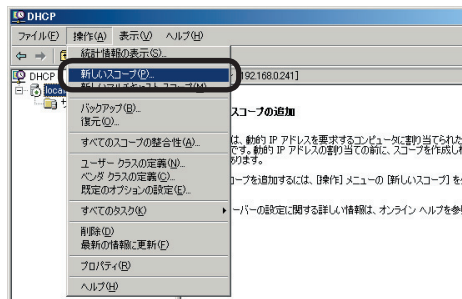
❷ [Windows コンポーネントの追加と削除] を選択します。

❸ [Windows コンポーネント ウィザード] が開いたら、[コンポーネント] から [ネットワークサービス] を選択して、[詳細] をクリックします。

❹ [動的ホスト構成プロトコル (DHCP)] を選択し、[OK] をクリックします。

❺ [次へ] をクリックして、[コンポーネントの構成] が終了したら [完了] をクリックします。

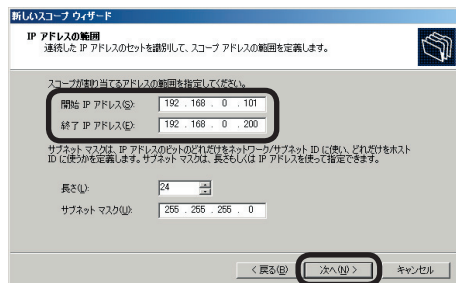
7
DHCP/BOOTP を使います

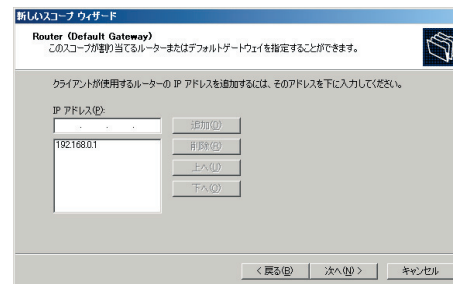
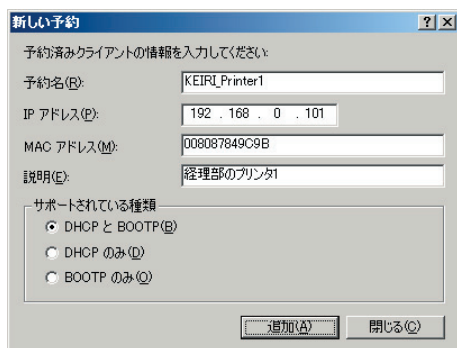
❻［プログラムの追加と削除］を終了します。

❼［スタート］-［管理ツール］-［DHCP］を選択します。

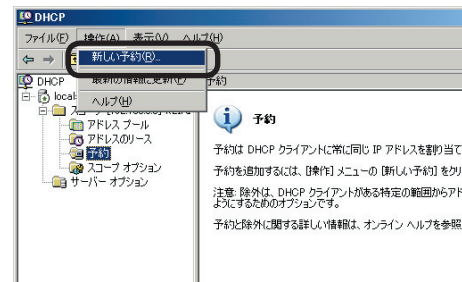
❽ 設定を行うサーバを選択した状態で、［操作］-［新しいスコープ］を実行します。

❾［新しいスコープウィザード］が開始されたら［次へ］をクリックします。

❿［スコープ名］の設定画面で、［名前］の項目に任意のスコープ名を入力し、［次へ］をクリックします。

⓫［IP アドレスの範囲］の設定画面で、DHCP サーバに管理させる IP アドレスの範囲を入力し、［DHCP オプションの構成］が表示されるまで［次へ］をクリックします。

⓬［DHCP オプションの構成］で、引き続きオプションの構成を行うかを選択します。ここでは、引き続きゲートウェイアドレスの設定を行うので、［今すぐオプションを構成する］を選択して［次へ］をクリックします。

⓭［IP アドレス］の項目にゲートウェイの IP アドレスを入力して［追加］をクリックした後、［スコープのアクティブ化］が表示されるまで［次へ］をクリックします。

⓮［今すぐアクティブにする］を選択し、［次へ］をクリックします。

⓯［完了］をクリックして、新しいスコープの追加を終了します。

⓰ DHCP の管理画面から、追加したスコープの［予約］を選択し、［操作］-［新しい予約］を実行します。

⑰［新しい予約］の各項目を入力して［追加］をクリックした後、［閉じる］をクリックします。

・予約名　　　：任意の名前を入力します。
・IP アドレス　：プリンタに割り当てる IP アドレスを入力します。
・MAC アドレス：プリンタの MAC アドレスを入力します。

⑱DHCP の管理画面を閉じて、設定を終了します。

BOOTP サーバの設定

BOOTP とは、TCP/IP ネットワーク上の各ホストに、BOOTP サーバに登録した IP アドレスを割り付けるプロトコルです。

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

ワークステーション　：Red Hat Linux の BOOTP サーバ（bootp-2.4.3-7.i386rpm）
IP アドレス　　　　：192.168.0.2
MAC Address　　　：00:80:87:84:9C:9B
ホスト名　　　　　：C711dn2

注 MAC Address は、ネットワークの設定情報（Network Information）に表示されています。（256 ページ参照）

❶ /etc/hosts ファイルにプリンタの IP アドレスとホスト名を登録します。

```
192.168.0.2    C711dn2
```

❷ /etc/bootptab ファイルに次の設定を追加します。

C711dn2:\	/etc/hosts ファイルに登録したホスト名
ht=1:\	ハードウェアタイプを 1 にします。
ha=008087849C9B:\	MAC Address
ip=192.168.0.2:\	IP アドレス
sm=255.255.255.0:\	サブネットマスク
gw=192.168.0.1:\	ゲートウェイ
vm=rfc1048:\	rfc1048 モードの指定

❸ BOOTP サーバを起動します。

```
# /usr/sbin/bootpd -s
```

❹ プリンタの電源を ON にします。

プリンタの設定

以下の説明は、AdminManager と Windows 7 Ultimate を例にしています。

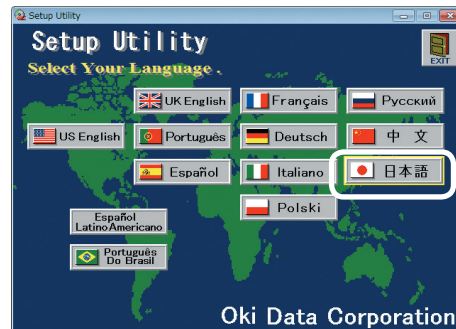
プリンタの初期設定では、「DHCP/BOOTP protocol」が「ENABLE」に設定されています。プリンタを初期設定でお使いの場合は、設定の必要はありません。

❶ プリンタの電源を ON にします。

❷ Windows が起動していることを確認し、プリンタ添付の「ソフトウェア CD-ROM」をセットします。

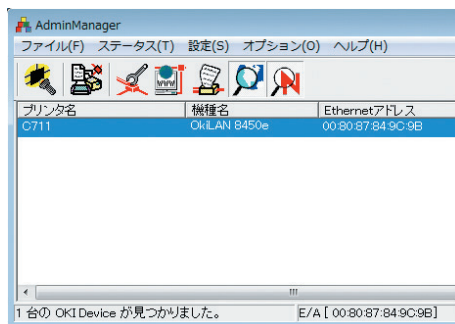
セットアッププログラムが起動します。

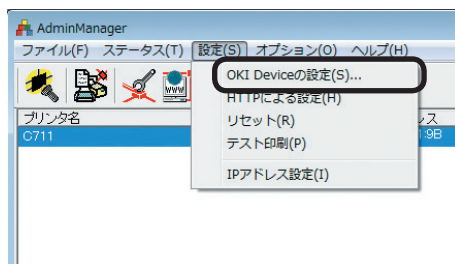
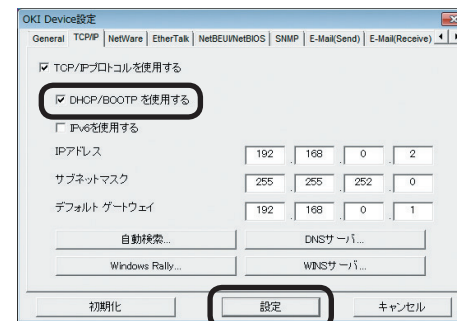
❸ ［その他のソフトウェア］-［NIC セットアップユーティリティ］をクリックします。

❹ ［日本語］をクリックします。

❺ ［OKI Device Standard Setup］をクリックします。

❻ ［インストールせずに、直接 CD-ROM から起動する］を選択し、［次へ］をクリックします。

AdminManager が起動します。

❼ 一覧よりイーサネットアドレスを参照して、設定を行うプリンタを選択します。機種名には、OkiLAN 8450e と表示されます。

メモ MAC アドレスは、ネットワークの設定情報（Network Information）に MAC Address として、表示されています。（256 ページ参照）

❽［設定］メニューの［OKI Device の設定］を選びます。

❾［TCP/IP］タブの［DHCP/BOOTP を使用する］をチェックし、［設定］をクリックします。

❿ 設定に間違いがなければ、［OK］をクリックします。

設定値がプリンタに送信されます。

⓫ 設定値を有効にするため、［はい］をクリックします。

注 再起動後プリンタは新しい設定値で動作します。

通信を暗号化します（SSL/TLS）

Web ページからの設定及び IPP 印刷時にコンピュータ（クライアント）- プリンタ間の通信を暗号化できます。
（HTTP による通信の暗号化）

設定方法

1 暗号化設定ツールとしては以下のものがあります。

1）Web ページ
2）AdminManager
3）TELNET（暗号化強度（弱 / 標準 / 強）、SSL/TLS（暗号化）の ON/OFF（有効・無効）のみ変更可能）

2 設定の流れ

Web を使用してプリンタで証明書を作成する手順を示します。
作成できる証明書の種類は以下の 2 種類があります。
自己署名証明書
認証局証明書（CSR の作成）

プリンタの IP アドレスが証明書作成時から変更されてしまうと、その証明書は無効になってしまいます。証明書作成後はプリンタの IP アドレスを変更しないでください。

証明書作成手順

❶ Web ブラウザを起動します。

❷［アドレス］に URL「http:// プリンタの IP アドレス」を入力し、Enter キーを押します。

プリンタステータス画面が表示されます。

❸［管理者のログイン］をクリックします。

❹［ユーザー名］に「root」または「admin」、［パスワード］に現在のパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

注 パスワードの初期値は「操作パネルの管理者用メニューのパスワード」と同じ「aaaaaa」です。

❺［セキュリティ］タブをクリックします。

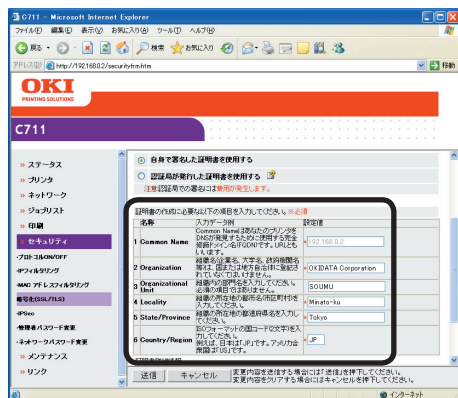
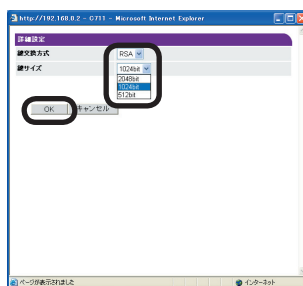
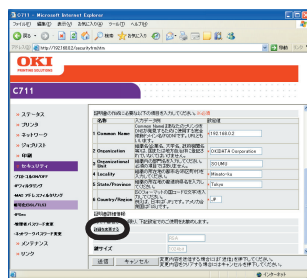
❻［暗号化（SSL/TLS）］をクリックします。

❼ SSL/TLS 設定を有効にします。

暗号化強度を変更したいときは？（通常は［標準］のままご使用ください。）

☞「暗号化強度の変更」をクリックします。

❽ CommonName、Organization、等の項目を入力します。

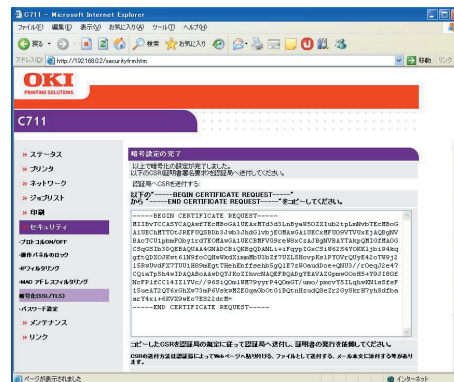
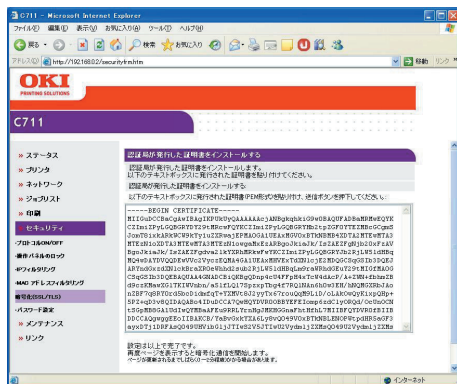
「認証局が発行した証明書を使用する」を選択した場合、入力内容等証明書発行手続きの詳細は、認証局の手順に従ってください。

鍵交換方式、鍵サイズを変更したいときは？
（初期値は RSA、1024bit です。通常はそのまま変更せずにご使用ください。）
☞「詳細を変更する」をクリックします。

❾［送信］をクリックします。

❿ 入力内容が表示されます。
内容を確認し、［OK］をクリックしてください。証明書を作成します。

以上で自己署名証明書の作成は完了です。

認証局証明書の場合、続いて以下の手順が必要です。

⓫ CSR を取り出し認証局へ送付します。（認証局証明書の場合）

テキストボックス内の「----- BEGIN CERTIFICATE REQUEST -----」から「----- END CERTIFICATE REQUEST -----」をコピーしてください。CSR の送付方法は、認証局によって Web ページへ貼り付ける、ファイルとして送付する、メール本文に添付する等があります。

⓬ 認証局から発行された証明書を（Web を使用して）インストールします。（認証局証明書の場合）

手順❶〜❼に従い、暗号化（SSL/TLS）設定画面を表示します。

発行された証明書の「----- BEGIN CERTIFICATE -----」から「----- END CERTIFICATE -----」までをテキストボックスへ貼り付け、「送信」をクリックします。

これで認証局証明書の作成は完了です。

使用方法

Web ページからの設定

❶ Web ブラウザを起動し、アドレスに「https:// プリンタの IP アドレス」と入力し、接続します。

印刷（IPP 印刷）

環境

使用可能な OS　Windows 7, Windows Vista, Windows Server 2008, Windows XP, Windows Server 2003, Windows 2000

❶ コンピュータの電源を ON にし Windows を起動します。

工場出荷時の設定では、IPP は無効になっています。
IPP で印刷を行うためには、「Web ブラウザ」（41 ページ）を起動し、ネットワークタブの［IPP］（47 ページ）の設定を行ってください。

❷ プリンタを追加します。

〈Windows 7/Windows Server 2008 R2 の場合〉

［スタート］-［デバイスとプリンター］を選択します。

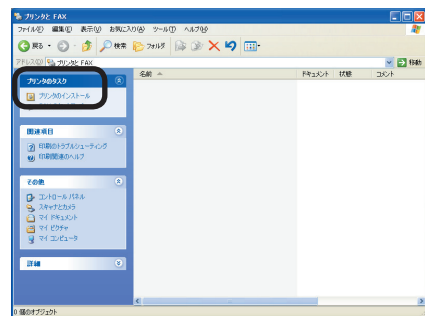
〈Windows Vista/Windows Server 2008 の場合〉

［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタ］をクリックします。
［プリンタのインストール］をクリックします。

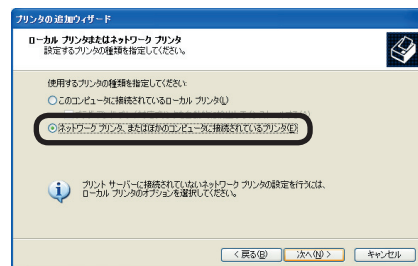
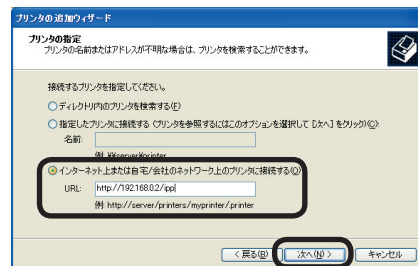
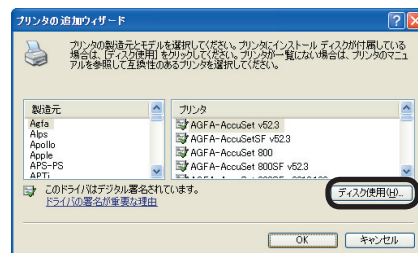
〈Windows XP の場合〉

［スタート］-［コントロールパネル］を選択し、［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。
［コントロールパネルを選んで実行します］の［プリンタと FAX］をクリックします。
［プリンタのタスク］-［プリンタのインストール］をクリックします。

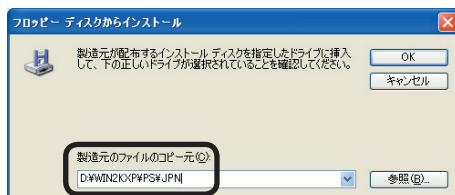
〈Windows Server 2003 の場合〉

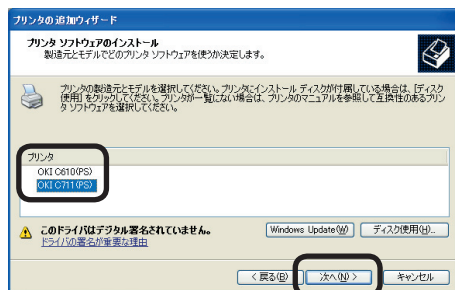
［スタート］-［プリンタと FAX］をクリックします。
［プリンタの追加］をダブルクリックします。

❸「プリンタの追加ウィザード」画面で、［次へ］をクリックします。

❹［ネットワークプリンタまたは他のコンピュータに接続されているプリンタ］を選択し、［次へ］をクリックします。

［プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする］のチェックは外してください。

❺［インターネット上または自宅 / 会社のネットワーク上のプリンタに接続する］を選択し、URL の設定を https:// プリンタの IP アドレス /ipp または https:// プリンタの IP アドレス /ipp/lp と入力し、［次へ］をクリックします。

❻［ディスク使用］をクリックします。

❼「ソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❽［製造元のファイルのコピー元］に次のように入力し、［OK］をクリックします。

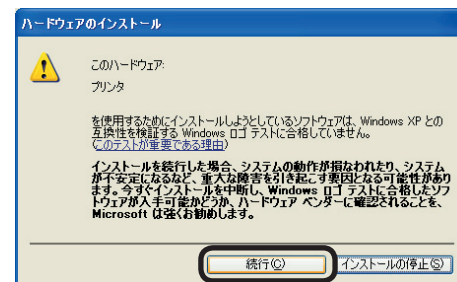
ここでは CD-ROM ドライブが D: の場合を例にしています。
PS ドライバをインストールする場合
D:¥Drivers¥JPN¥PS
PCL ドライバをインストールする場合
D:¥Drivers¥JPN¥PCL
XPS ドライバをインストールする場合
D¥Drivers¥JPN¥XPS

メモ ポストスクリプトに対応しているアプリケーション（Adobe Illustrator など）から印刷する場合は PS を選択します。
その他のアプリケーションから印刷する場合は、どちらでも選択できます。

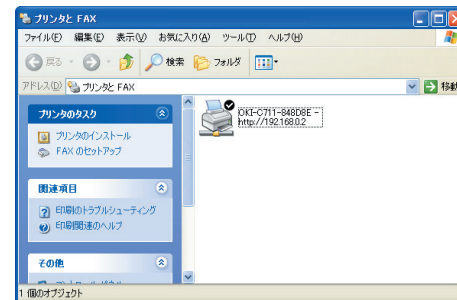
❾プリンタ名を選択し、［次へ］をクリックします。

❿プリンタ名を確認し、通常使うプリンタで［はい］を選択し、［次へ］をクリックします。

メモ 「プリンタ共有」画面が表示されたら、［このプリンタを共有しない］を選択し、［次へ］をクリックします。

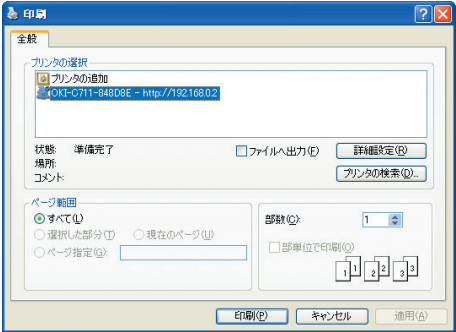
⓫［テストページを印刷しますか？］で［いいえ］を選択し、［次へ］をクリックします。

⓬［完了］をクリックします。

⓭「ハードウェアのインストール」画面が表示されたら、［続行］をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

⓮プリンタアイコンを選択し、右クリックでプロパティを開きます。［テストページの印刷］をクリックします。

プリンタ テスト ページが印刷されたら、セットアップは完了です。

印刷したいファイルを開きます。

⓯ [ファイル] - [印刷] を選択し、作成した IPP プリンタを指定して印刷を行います。

通信を暗号化します（IPSec）

ネットワークレイヤレベルで、コンピュータ - 装置間通信の暗号化と改ざん防止が可能になります。

本プリンタでサポートしている IKE プロトコルは「IKEv1」です。
本プリンタがサポートしている通信モードは「トランスポートモード」です。「トンネルモード」では動作しません。
IPSec を有効にしている場合、ネットワークの通信状況によっては装置の応答が遅くなる場合があります。
IPSec を有効にしている場合は、複数 PC からのネットワーク印刷などの多重動作は実行しないことをお勧めします。

設定方法

設定の流れ

装置の設定をしてからコンピュータの設定を行います。

装置の設定

Web を使用して IPSec を有効にする手順を示します。

❶ Web ブラウザを起動します。

❷［アドレス］に URL「http:// プリンタの IP アドレス」を入力し、Enter キーを押します。

プリンタステータス画面が表示されます。

❸［管理者のログイン］をクリックします。

❹［ユーザー名］に「root」または「admin」、［パスワード］に現在のパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

パスワードの初期値は「操作パネルの管理者用メニューのパスワード」と同じ「aaaaaa」です。

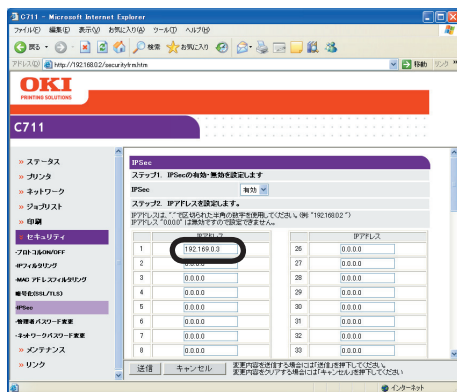
❺［セキュリティ］タブをクリックします。

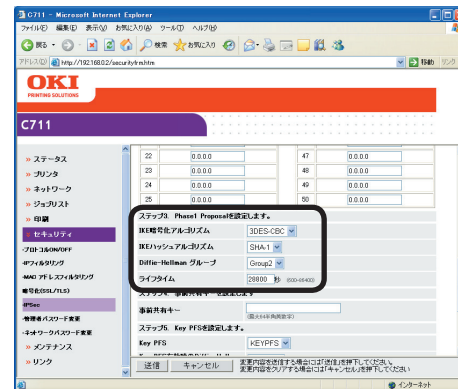
❻［IPSec］タブをクリックします。

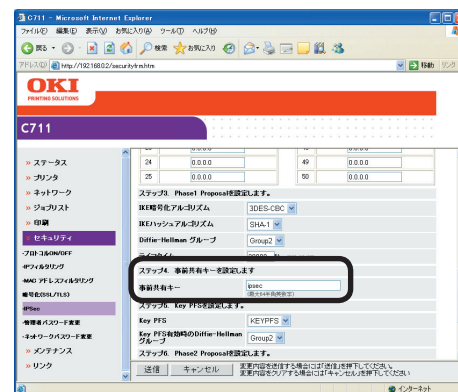
❼「ステップ 1」で、［IPSec］を有効にします。

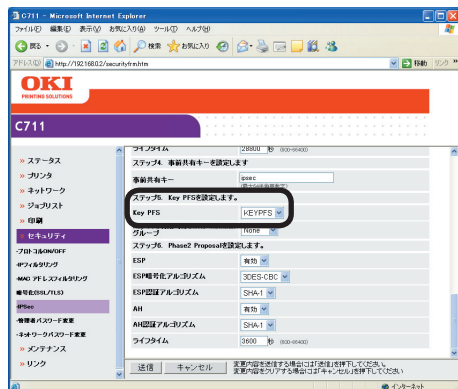
- IPSec を［有効］にすると、「ステップ 2」で設定した IP アドレス以外のコンピュータからのアクセスが一切できなくなります。
- 設定したパラメータがコンピュータと一致しない等の理由により IPSec の設定に失敗した場合、Web ページを開くことができなくなります。その場合、本機の操作パネルからネットワーク設定項目の［IPSec］を無効にするか、またはネットワークの初期化を実行して IPSec を無効にします。

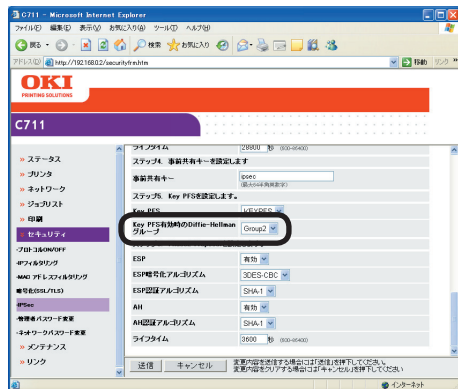
❽「ステップ 2」で、ホストの IP アドレスを入力します。

- IP アドレスを使用して、印刷 / 設定を許可するホストを指定してください。
- IPv4 アドレスは、“.” で区切られた半角の数字を使用してください。
- IPv6 グローバルアドレスは、“:” で区切られた半角の英数字を使用してください。
- IPv6 リンクローカルアドレスはサポートしていません。
- IP アドレス 0.0.0.0 を入力すると、無効になります。

❾「ステップ 3」で、Phase1 Proposal の各パラメータを設定します。

- ［IKE 暗号化アルゴリズム］に、3DES-CBC, DES-CBC から選択して設定します。
- ［IKE ハッシュアルゴリズム］に、SHA-1, MD5 から選択して設定します。
- ［Diffie-Hellman グループ］に、Group2, Group1 から選択して設定します。
- ［ライフタイム］に、600（秒）- 86400（秒）の範囲から入力して設定します。

❿「ステップ 4」で、事前共有キーを設定します。

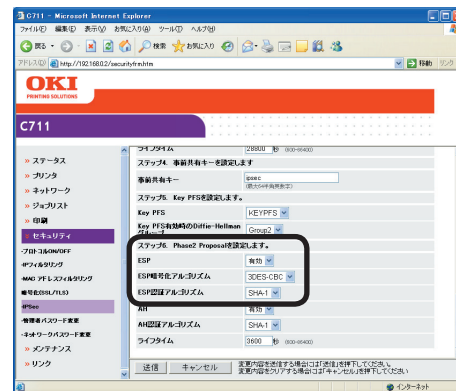
［事前共有キー］に、1 文字以上最大 64 文字、半角英数字で入力して設定します。ここでは、文字列に「ipsec」と入力されている場合を例にしています。

⓫「ステップ 5」で、Key PFS を設定します。

- ［Key PFS］に、KEYPFS, NOPFS から選択して設定します。

［Key PFS］を選択した場合、以下の項目を設定します。

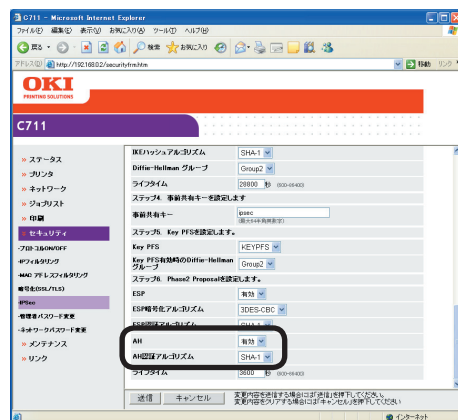
- ［Key PFS 有効時の、Diffie-Hellman グループ］に、Group2, Group1 から選択して設定します。

⓬「ステップ 6」で、Phase2 Proposal を設定します。

- ［ESP］に、有効 , 無効から選択して設定します。

［ESP］に、有効を設定した場合、以下の項目を設定します。

- ［ESP 暗号化アルゴリズム］に、3DES-CBC, DES-CBC から選択して設定します。
- ［ESP 認証アルゴリズム］に、SHA-1, MD5, OFF から選択して設定します。OFF を選択した場合、ESP 認証アルゴリズムは適用されません。

- ［AH］に、有効 , 無効から選択して設定します。

[AH] に、有効を設定した場合、以下の項目を設定します。

- [AH 認証アルゴリズム] に、SHA-1, MD5 から選択して設定します。

- [ライフタイム] に、600(秒) - 86400(秒) の範囲から入力して設定します。

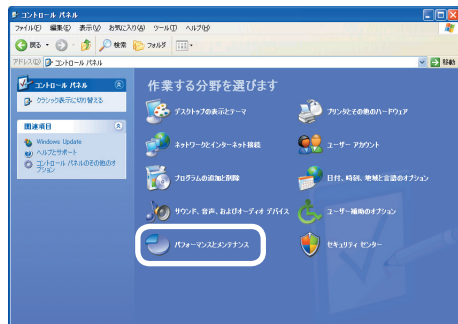
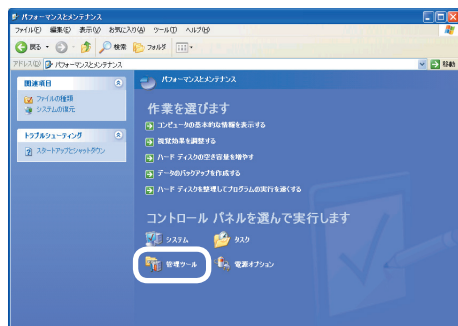
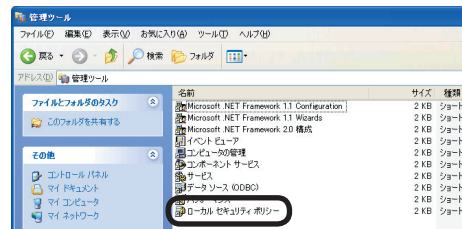
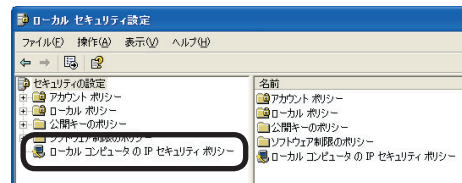
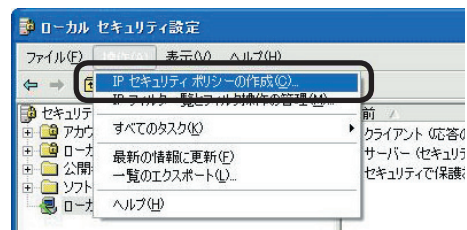
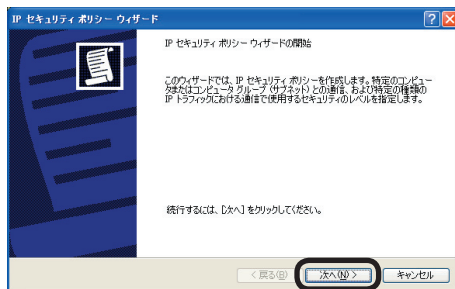
 [ESP], [AH] のどちらか、または両方を有効に設定してください。

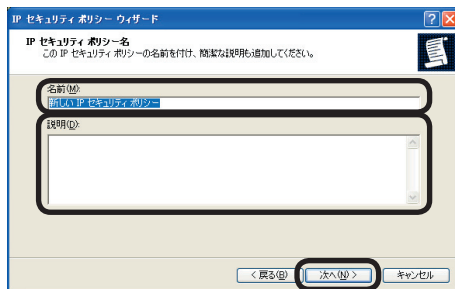
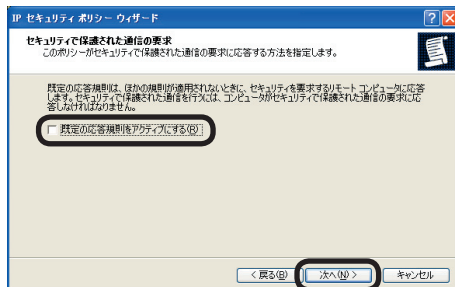
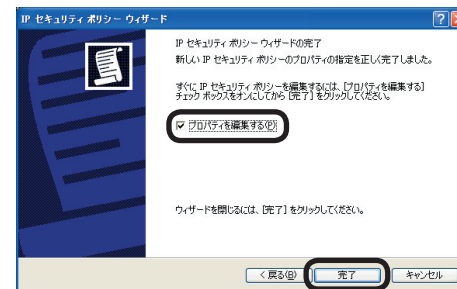
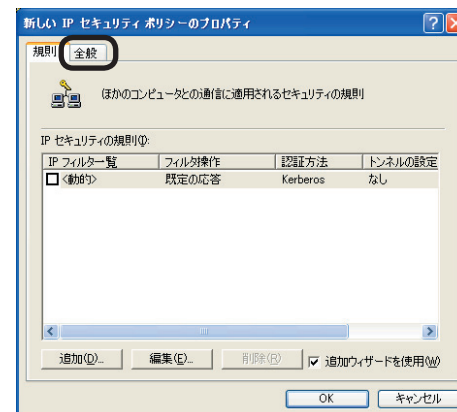
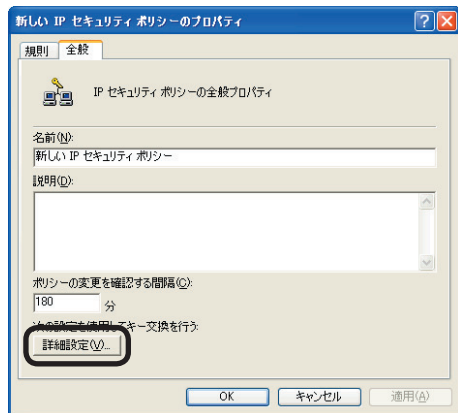
⓭ [送信] をクリックします。

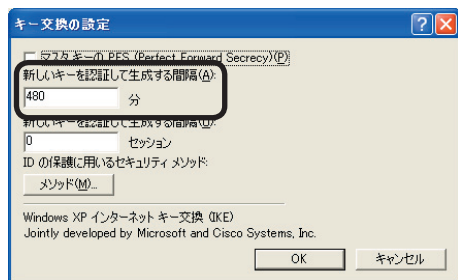
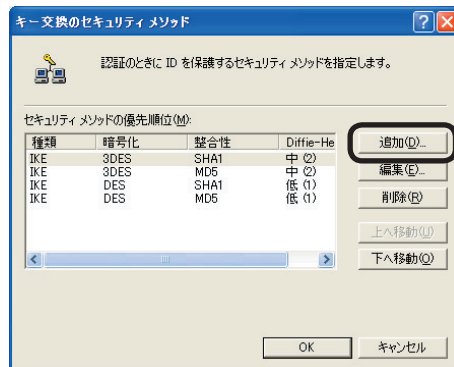
⓮ プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

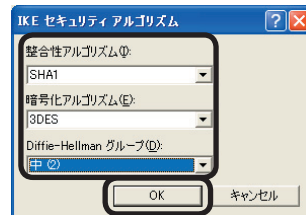
コンピュータの設定

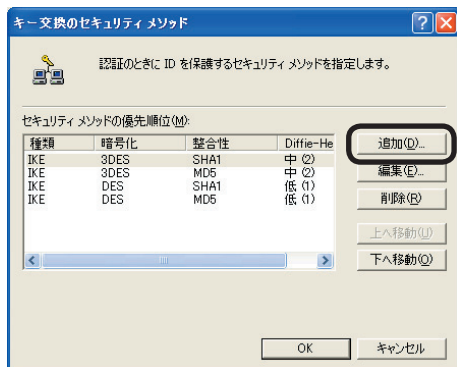
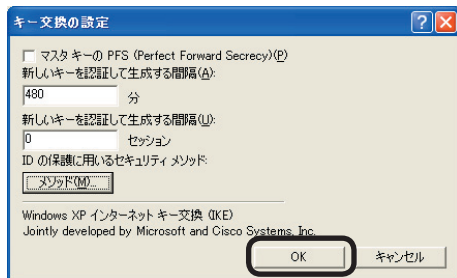
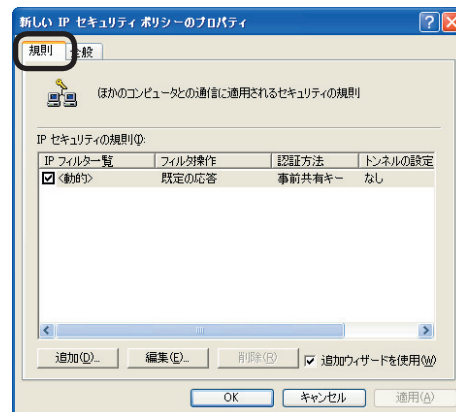
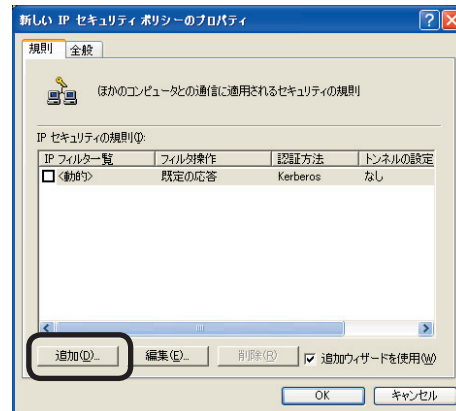
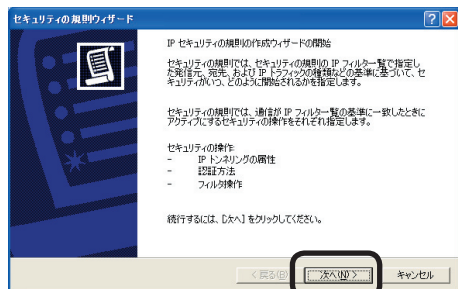
以下の説明は Windows XP Professional SP1 日本語版を例にしています。

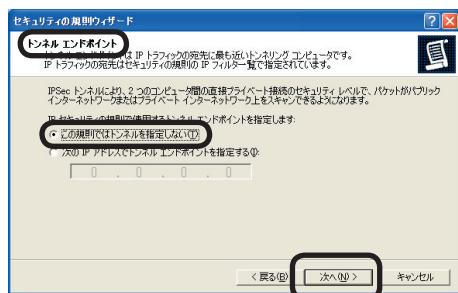
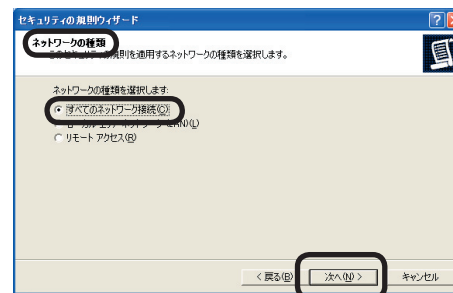
❶［コントロールパネル］の、［パフォーマンスとメンテナンス］をクリックします。

❷［管理ツール］をクリックします。

❸［ローカルセキュリティ ポリシー］をダブルクリックします。

❹［ローカルコンピュータの IP セキュリティポリシー］をクリックします。

❺［操作］メニューから、［IP セキュリティポリシーの作成］を選択します。

❻［次へ］をクリックします。

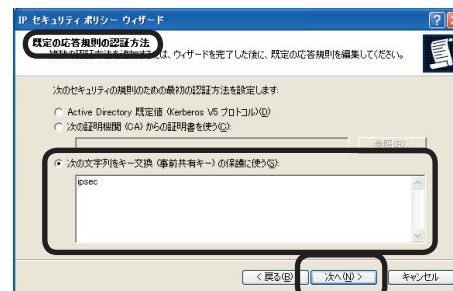
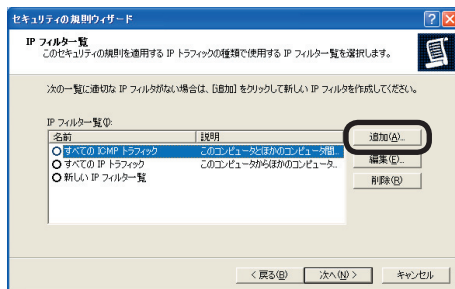
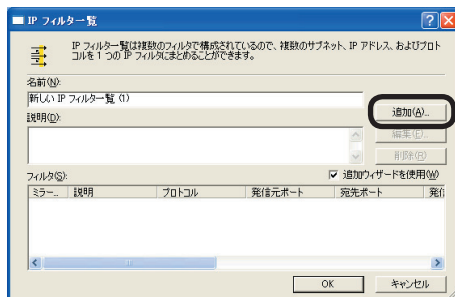
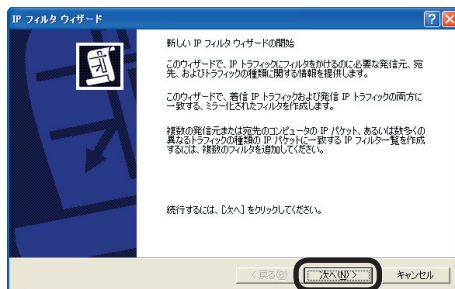
❼［名前］にこれから作成する IP セキュリティポリシーの名前を、［説明］にこれから作成する IP セキュリティポリシーの説明を入力して、［次へ］をクリックします。

❽［規定の応答規則をアクティブにする］のチェックを外し、［次へ］をクリックします。

❾［プロパティを編集する］にチェックし、［完了］をクリックします。

❿［全般］タブをクリックします。

⓫［詳細設定］をクリックします。

⓬［新しいキーを認証して生成する間隔］（分単位）に、「装置の設定」❾（275 ページ）の Phase1 Proposal のライフタイムと同じ時間を、分単位で入力します。

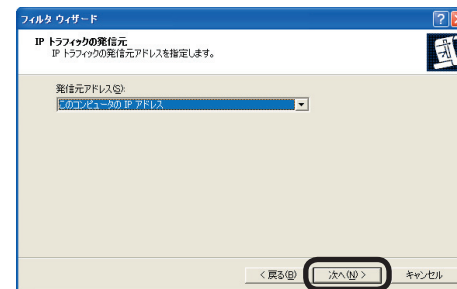
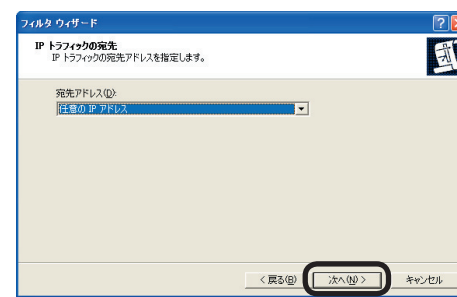
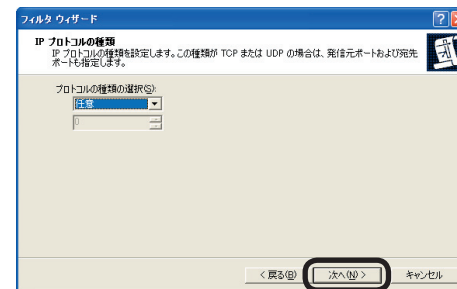
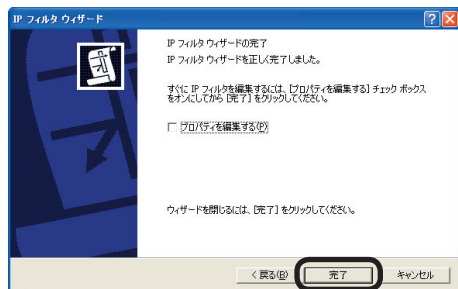
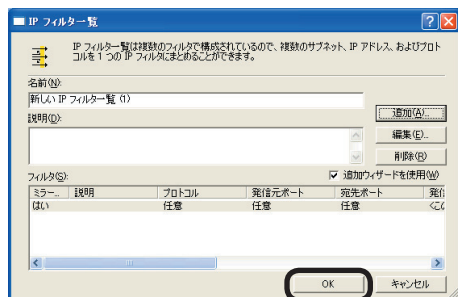
Phase1 Proposal の［ライフタイム］では秒単位の入力ですが、ここでは分単位の入力になります。

⓭［メソッド］をクリックします。

⓮［追加］をクリックします。

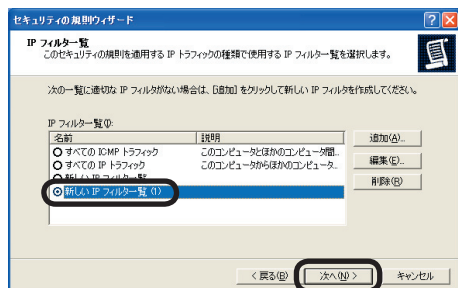
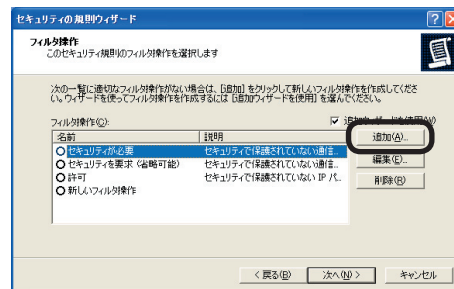
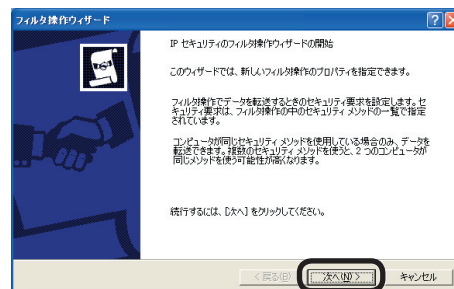
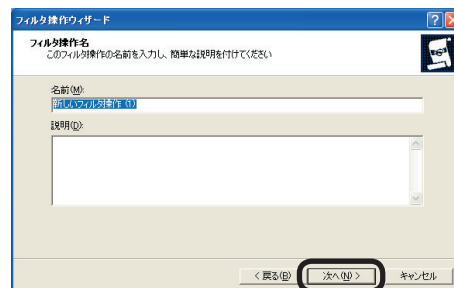
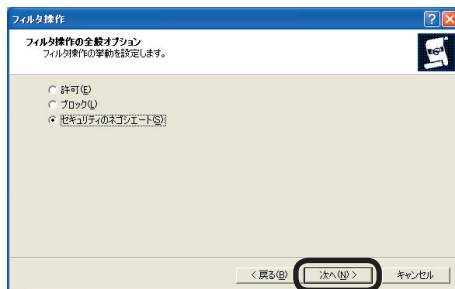
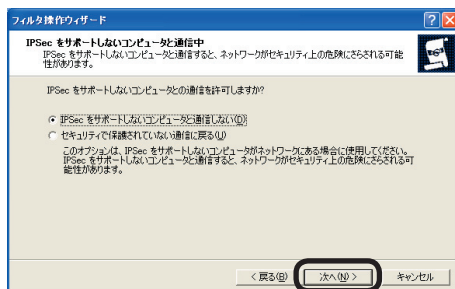
⓯［セキュリティメソッドの優先順位］に、Phase1 Proposal で設定した内容を追加し、［OK］をクリックします。

⑯［キー交換のセキュリティメソッド］画面で、［OK］をクリックします。

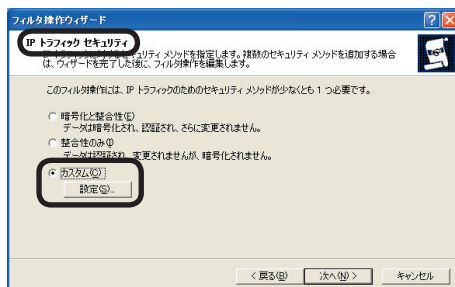
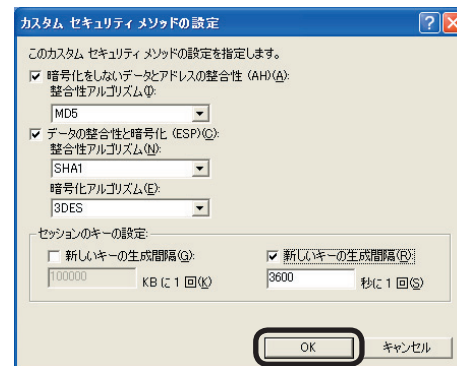
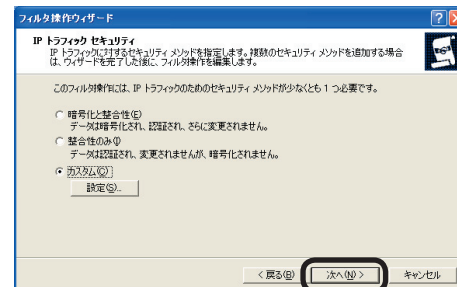
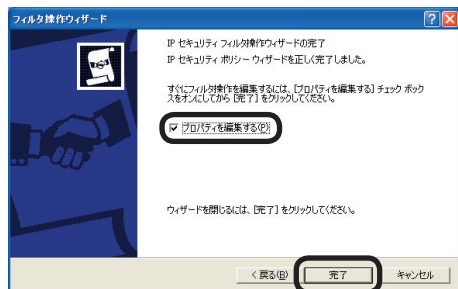
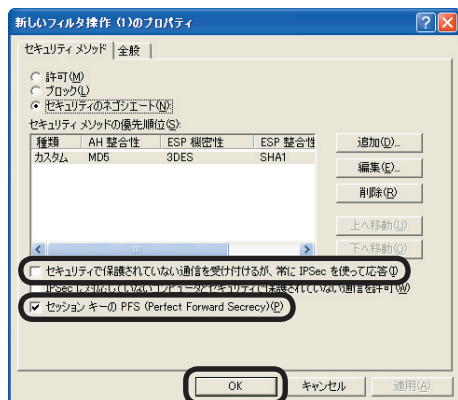
メモ 追加した以外のセキュリティメソッドは、削除しても構いません。

⑰［キー交換の設定］画面で、［OK］をクリックします。

⑱［新しい IP セキュリティポリシーのプロパティ］画面で、［規則］タブをクリックします。

⑲［追加］をクリックします。

⑳［次へ］をクリックします。

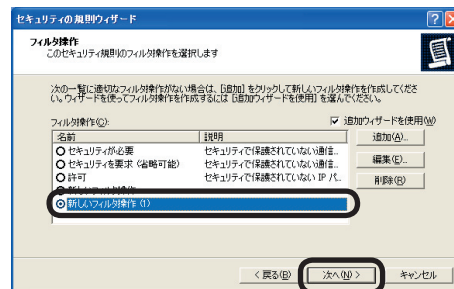
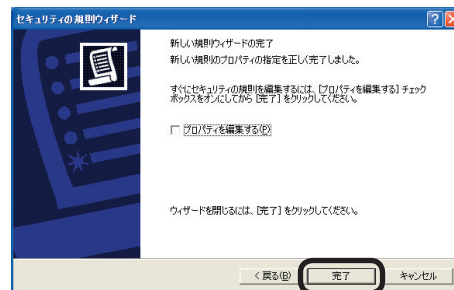
㉑［トンネルエンドポイント］画面で［この規制ではトンネルを指定しない］が選択されていることを確認し、［次へ］をクリックします。

㉒［ネットワークの種類］画面で［すべてのネットワーク接続］が選択されていることを確認し、［次へ］をクリックします。

㉓［既定の応答規制の認証方法］画面で、［次の文字列をキー交換（事前共有キー）の保護に使う］を選択して、文字列を入力し、［次へ］をクリックします。

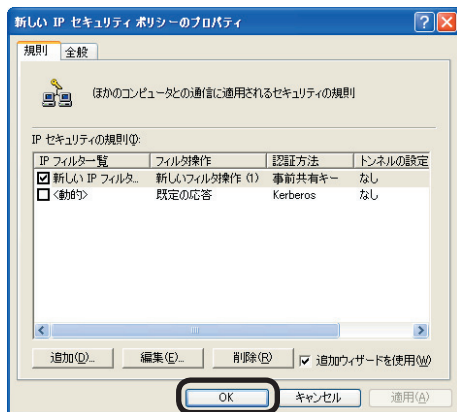
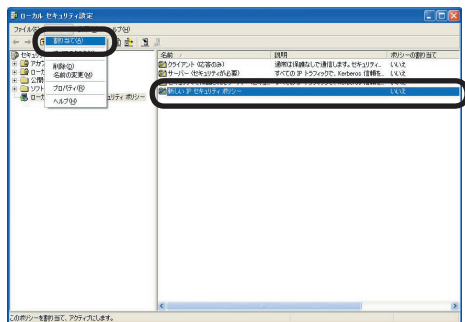
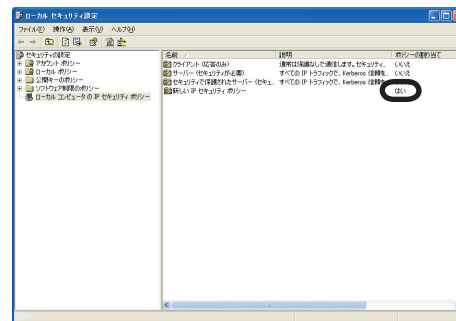
ここでは文字列に［ipsec］と入力されている場合を例にしています。

㉔［追加］をクリックします。

㉕［追加］をクリックします。

㉖［次へ］をクリックします。

㉗［次へ］をクリックします。

㉘［次へ］をクリックします。

㉙［次へ］をクリックします。

㉚［完了］をクリックします。

㉛［OK］をクリックします。

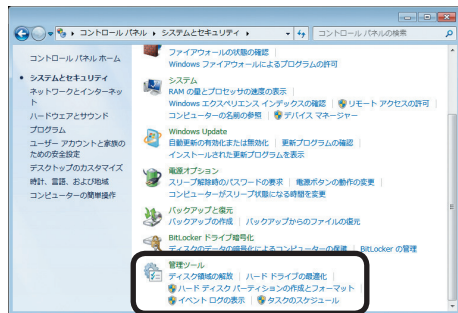
㉜作成した IP フィルタを選択し、［次へ］をクリックします。

㉝［追加］をクリックします。

㉞［次へ］をクリックします。

㉟［次へ］をクリックします。

㊱［次へ］をクリックします。

㊲［次へ］をクリックします。

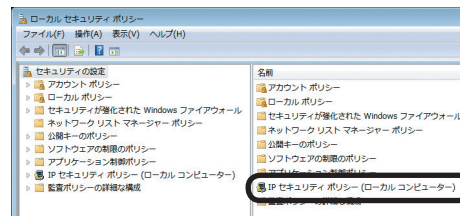
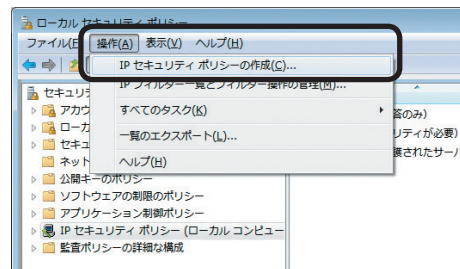
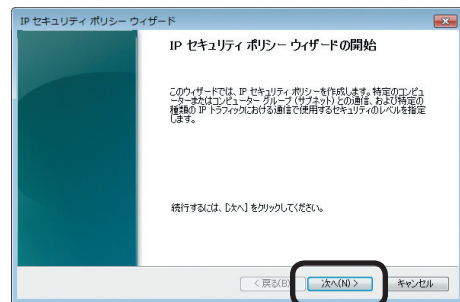
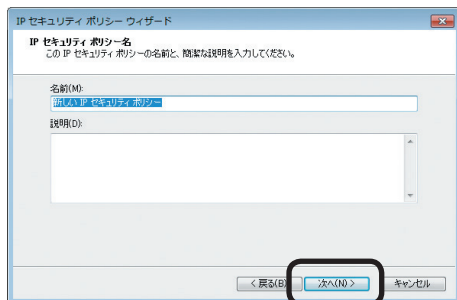
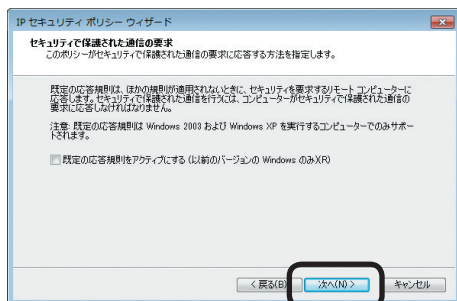
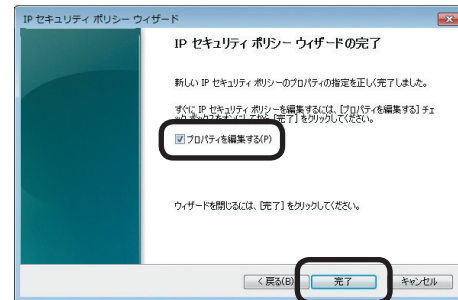
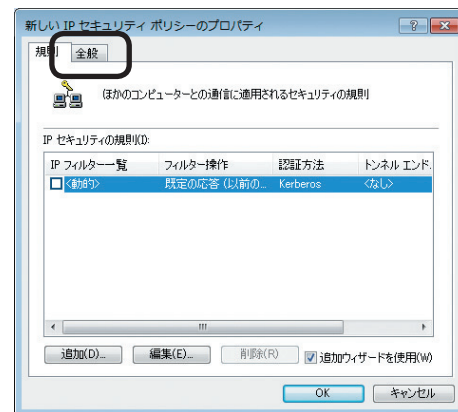
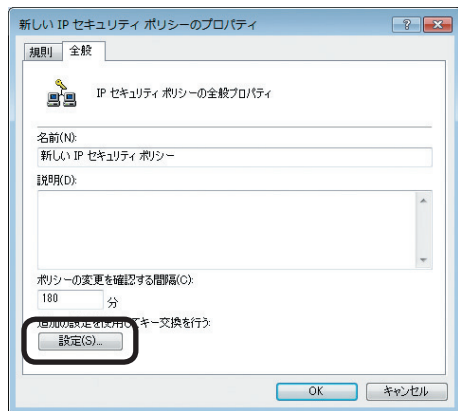
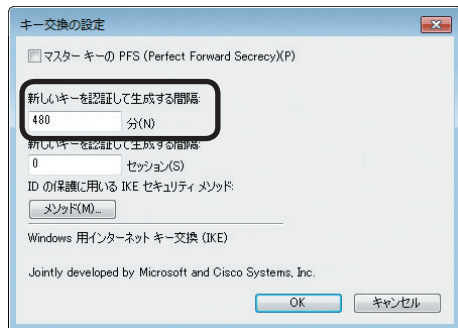
㊳［IP　トラフィック　セキュリティ］画面で［カスタム］を選択し、［設定］をクリックします。

㊴「装置の設定」⑫（276 ページ）Phase2 Proposal で設定した内容に合わせ、［OK］をクリックします。

㊵［次へ］をクリックします。

㊶［プロパティを編集する］にチェックを入れ、［完了］をクリックします。

㊷ Key PFS を有効する場合は、［セッションキーの PFS(Perfect Forward Secrecy)］にチェックを入れ、［OK］をクリックします。

注 IPv6 グローバルアドレスを使用した IPSec 通信を行う場合は、［セキュリティで保護されていない通信を受け付けるが、常に IPSec を使って応答］にチェックを入れる必要があります。

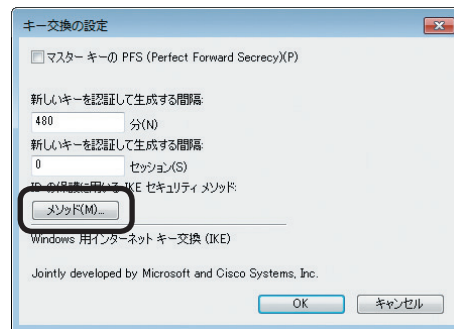
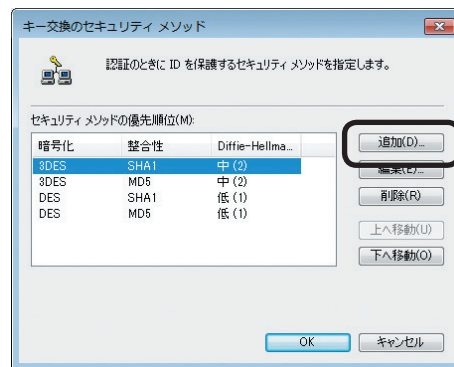
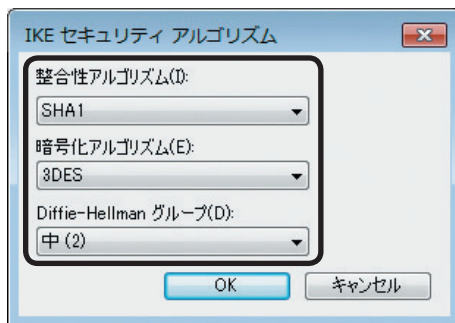
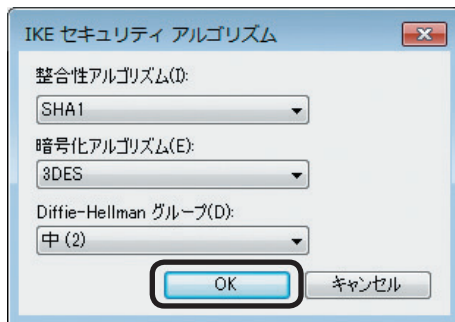
㊸ 作成したフィルタ操作を選択し、［次へ］をクリックします。

㊹［完了］をクリックします。

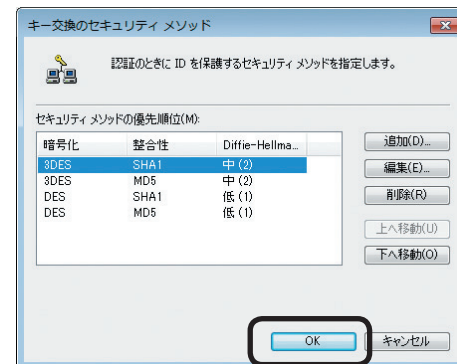
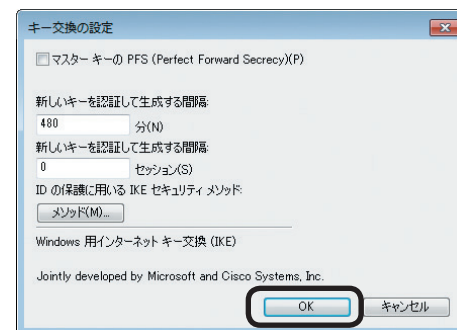
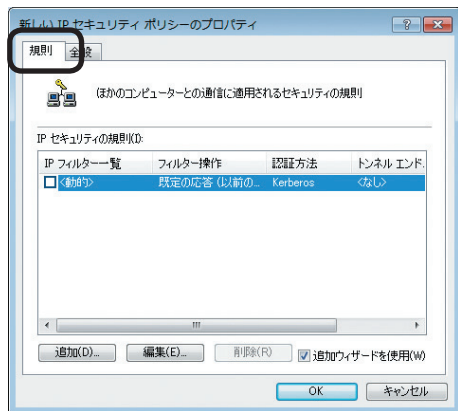
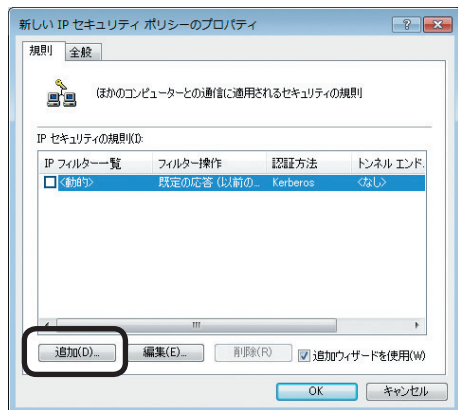
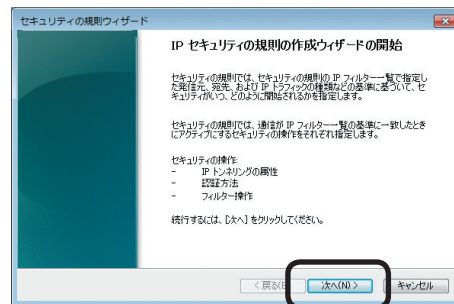
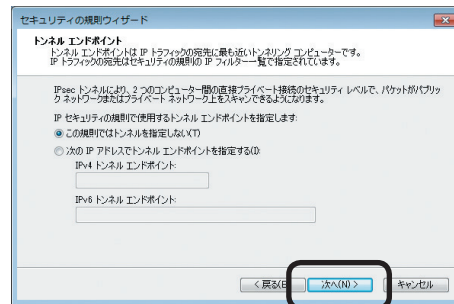
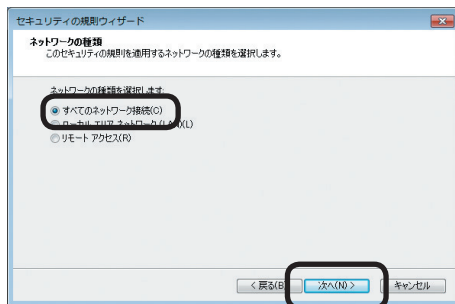
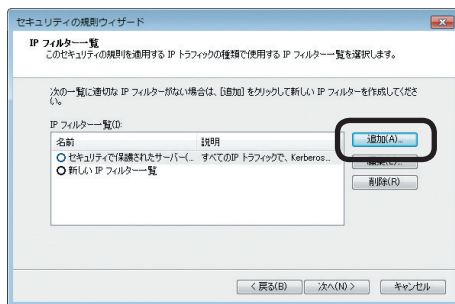
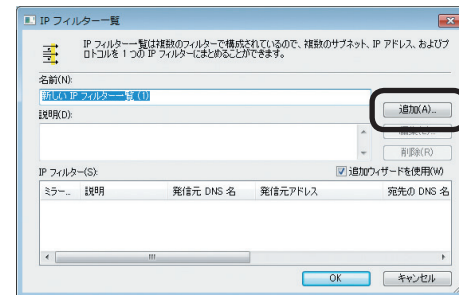
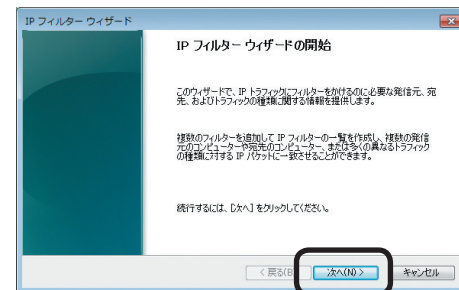
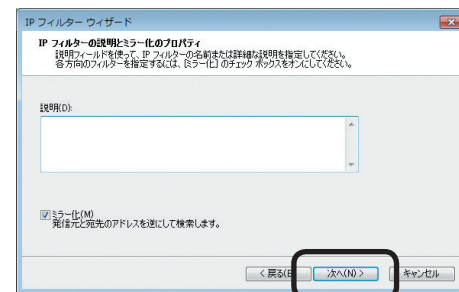
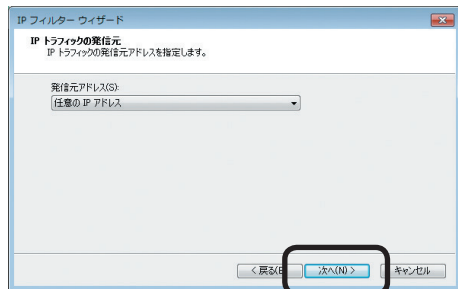
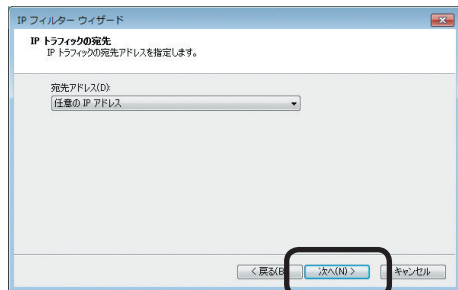
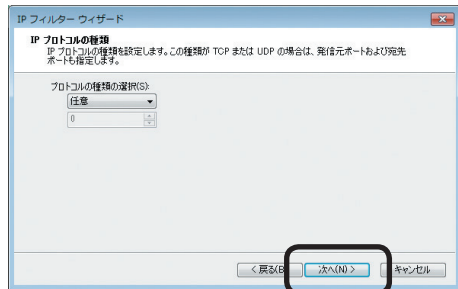
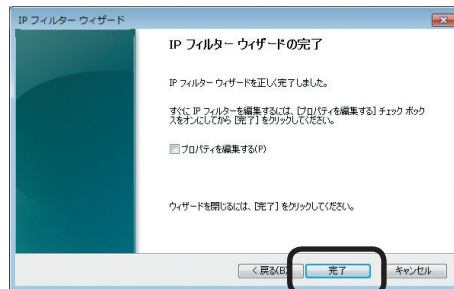
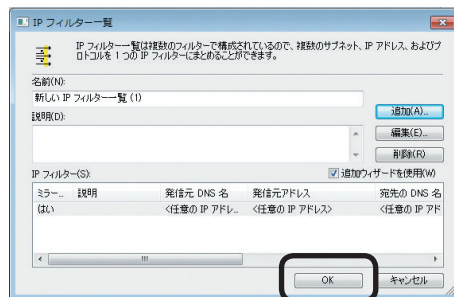
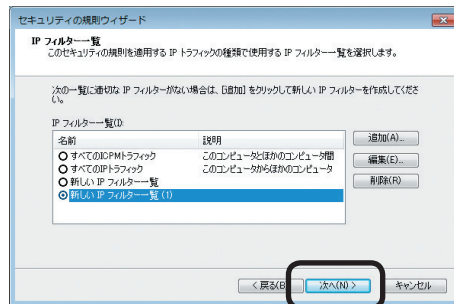
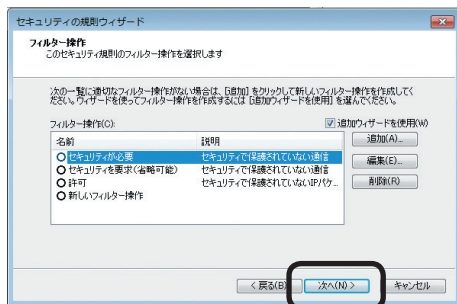
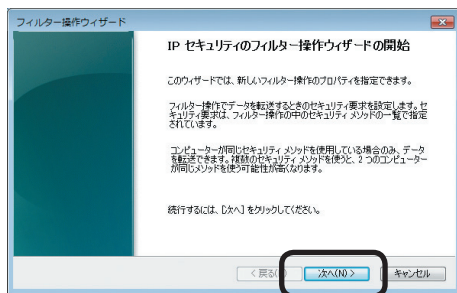
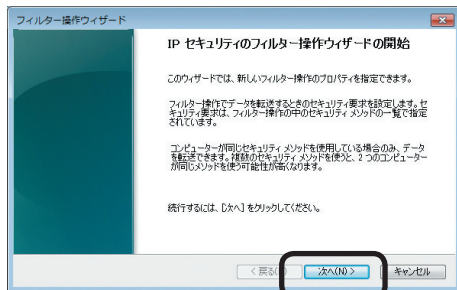
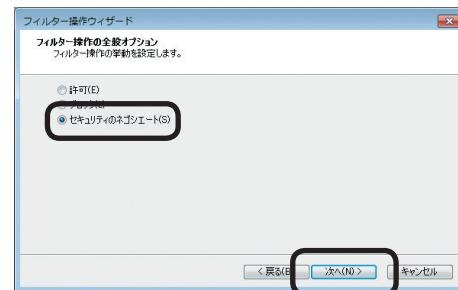
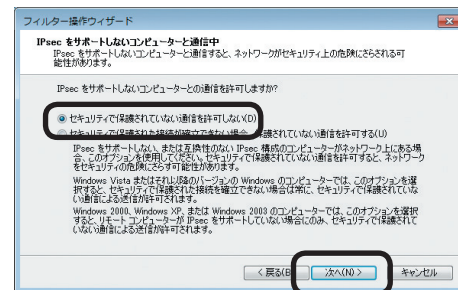
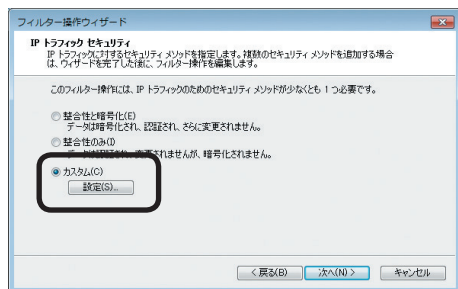
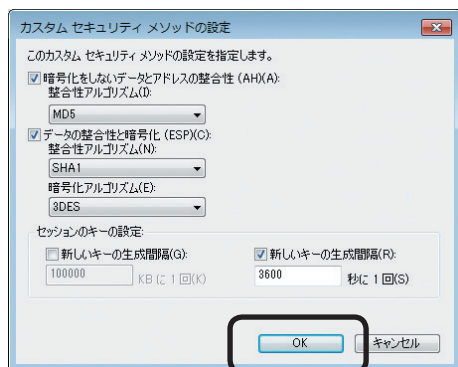
㊺［新しい IP セキュリティポリシーのプロパティ］画面で、[OK］をクリックします。

㊻ 作成した新しい IP セキュリティポリシーを選択し、［操作］メニューから、［割り当て］を選択します。

㊼ 作成した新しい IP セキュリティポリシーの［ポリシーの割り当て］が「はい」になっていることを確認します。

㊽ 画面左上の ☒ をクリックし、画面を閉じます。

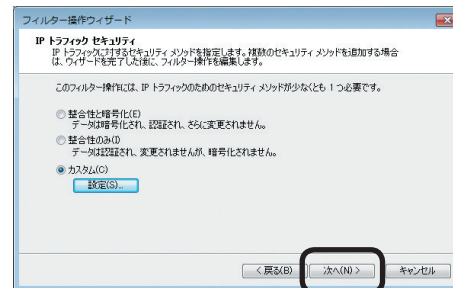
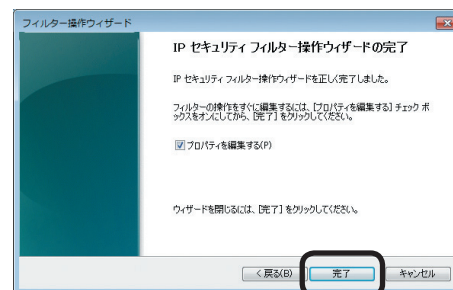
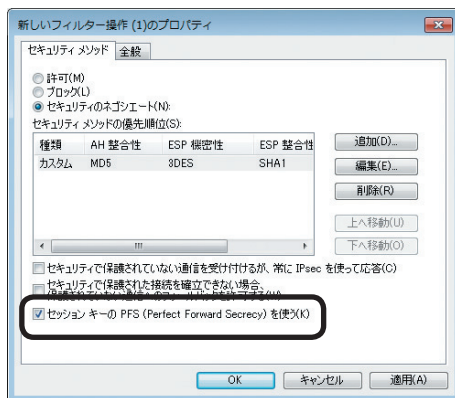
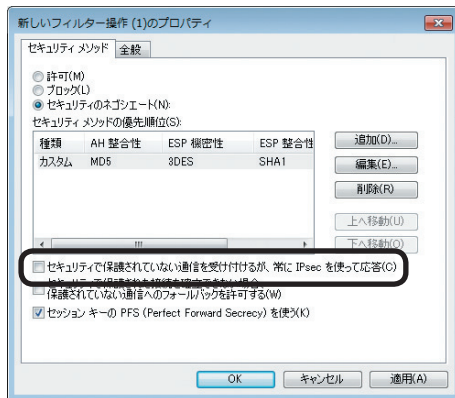
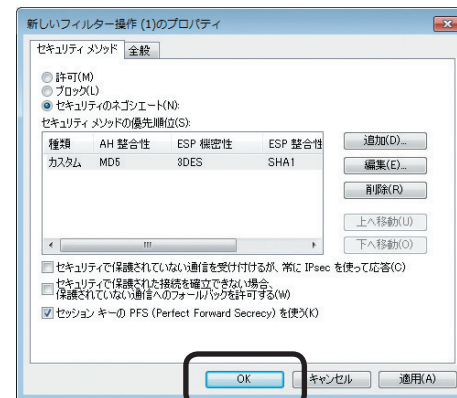
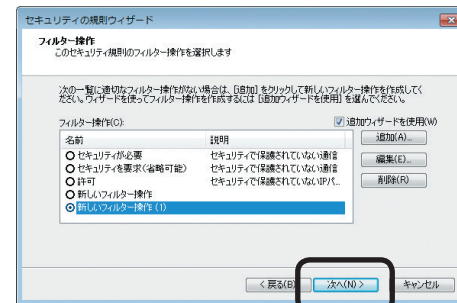
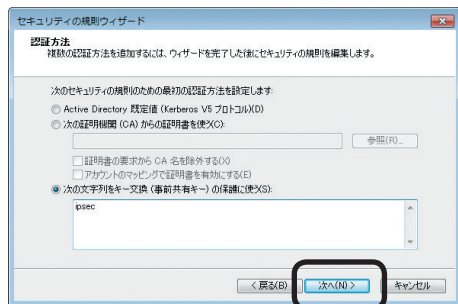
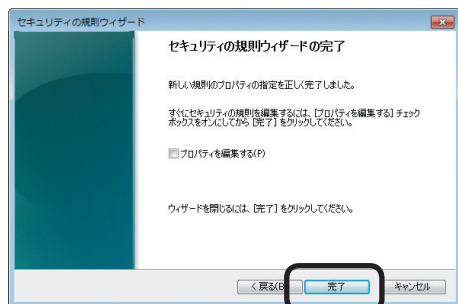
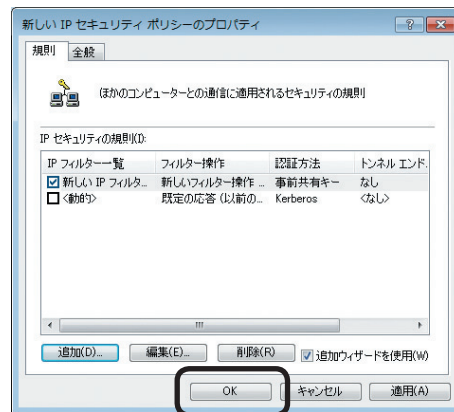
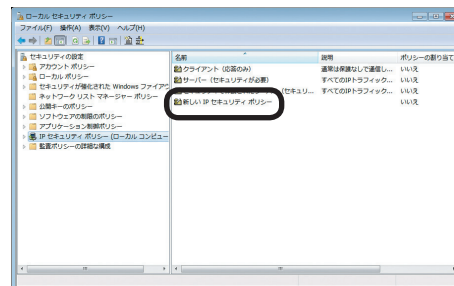
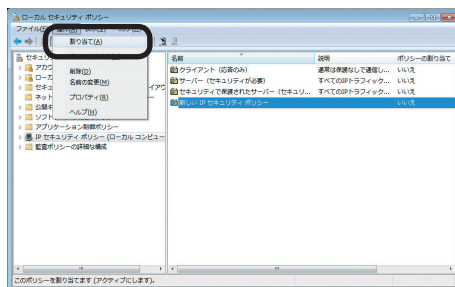
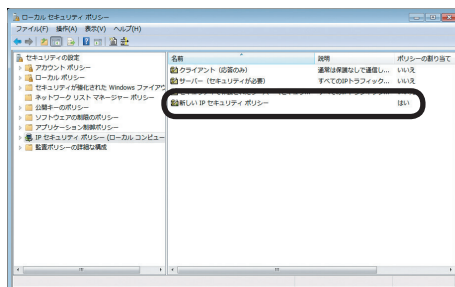
以下の説明は Windows 7 Ultimate を例にしています。

❶［スタート］をクリックし、［コントロールパネル］-［システムとセキュリティー］-［管理ツール］を選択します。

❷［ローカルセキュリティーポリシー］をダブルクリックします。

❸［ローカルセキュリティーポリシー］ウィンドウで、［IP セキュリティーポリシー（ローカルコンピューター）］をクリックします。

❹［操作］メニューから［IP セキュリティーポリシーの作成］を選択します。

❺［IP セキュリティーポリシーウィザード］で、［次へ］をクリックします。

❻［名前］と［説明］を入力し、［次へ］をクリックします。

❼［既定の応答規則をアクティブにする（以前のバージョンの Windows のみ）］のチェックを外し、［次へ］をクリックします。

❽［プロパティを編集する］にチェックをつけ、［完了］をクリックします。

❾ IP セキュリティーポリシープロパティウィンドウで、［全般］タブを選択します。

⑩［設定］をクリックします。

⑪［キー交換の設定］ウィンドウで、［新しいキーを認証して生成する間隔］に値（分）を入力します。

注 「装置の設定」において「Phase1 Proposal」の設定で指定した［ライフタイム］と同じ値を指定します。［ライフタイム］は秒単位で指定しますが、この手順では分単位で値を入力してください。

⑫［メソッド］をクリックします。

⑬［キー交換のセキュリティー メソッド］ウィンドウで、［追加］をクリックします。

⓮［整合性アルゴリズム］、［暗号化アルゴリズム］、および［Diffie-Hellman グループ］を指定します。

注 「装置の設定」において「Phase1 Proposal」の設定時に［IKE 暗号化アルゴリズム］、［IKE ハッシュアルゴリズム］、および［Diffie-Hellman グループ］で指定した値と同じ値を選択してください。

⓯［OK］をクリックします。

⓰［キー交換のセキュリティーメソッド］ウィンドウで、［OK］をクリックします。

⓱［キー交換の設定］ウィンドウで、［OK］をクリックします。

⑱ IP セキュリティーポリシープロパティウィンドウで、[規則] タブを選択します。

⑲ [追加] をクリックします。

⑳ [セキュリティーの規則ウィザード] で、[次へ] をクリックします。

㉑ [トンネル エンドポイント] 画面で、[この規則ではトンネルを指定しない] を選択し、[次へ] をクリックします。

㉒［ネットワークの種類］画面で、［すべてのネットワーク接続］を選択し、［次へ］をクリックします。

㉓［IP フィルター一覧］画面で、［追加］をクリックします。

㉔［IP フィルター一覧］ウィンドウで、［追加］をクリックします。

㉕［IP フィルターウィザード］で、［次へ］をクリックします。

㉖［IP フィルターの説明とミラー化のプロパティ］画面で、［次へ］をクリックします。

㉗［IP トラフィックの発信元］画面で、［次へ］をクリックします。

㉘［IP トラフィックの宛先］画面で、［次へ］をクリックします。

㉙［IP プロトコルの種類］画面で、［次へ］をクリックします。

㉚［完了］をクリックします。

㉛［IP フィルター一覧］ウィンドウで、［OK］をクリックします。

㉜［セキュリティーの規則ウィザード］で、新しい IP フィルタをリストから選択し、［次へ］をクリックします。

㉝［フィルター操作］画面で、［追加］をクリックします。

㉞［フィルター操作ウィザード］で、［次へ］をクリックします。

㉟［フィルター操作名］画面で、［名前］と［説明］を入力し、［次へ］をクリックします。

㊱［フィルター操作の全般オプション］画面で、［セキュリティーのネゴシエート］を選択し、［次へ］をクリックします。

㊲［IPsec をサポートしないコンピューターと通信中］画面で、［セキュリティーで保護されていない通信を許可しない］を選択し、［次へ］をクリックします。

㊳［IP トラフィックセキュリティー］画面で、［カスタム］を選択し、［設定］をクリックします。

㊴［カスタムセキュリティーメソッドの設定］ウィンドウで設定をして、［OK］をクリックします。

注 「装置の設定」の「Phase2 Proposal」で行った設定と同じ内容になるように、AH または ESP の設定を行ってください。

㊵［IP トラフィック セキュリティー］画面で、［次へ］をクリックします。

㊶［プロパティを編集する］にチェックをつけ、［完了］をクリックします。

㊷ キー PFS を有効にしたい場合は、フィルタ操作プロパティウィンドウで、［セッション キーの PFS (Perfect Forward Secrecy) を使う］にチェックをつけます。

㊸ IPSec 通信を IPv6 グローバルアドレスで行う場合は、［セキュリティーで保護されていない通信を受け付けるが、常に IPsec を使って応答］にチェックをつけます。

㊹［OK］をクリックします。

㊺ 新しいフィルタ操作を選択し、［次へ］をクリックします。

㊻［認証方法］画面で、認証方法を選択し、［次へ］をクリックします。

㊼［完了］をクリックします。

㊽ IP セキュリティーポリシープロパティウィンドウで、［OK］をクリックします。

㊾［ローカル セキュリティー ポリシー］ウィンドウで、新しい IP セキュリティーポリシーを選択します。

㊿［操作］メニューから［割り当て］を選択します。

51 新しい IP セキュリティーポリシーの［ポリシーの割り当て］が［はい］と表示されていることを確認します。

52［ローカル セキュリティー ポリシー］ウィンドウで、☒ をクリックします。

IP アドレスでのアクセス制限機能（IP フィルタ）を使います

プリンタへのアクセスを IP アドレスを用いて管理できます。
AdminManager（Windows）、Web ブラウザ、TELNET で設定ができます。

- プリンタの初期設定では、「IP フィルタ」が「無効」に設定されています。
- IP アドレスの入力を間違えると、IP プロトコルを用いてプリンタへアクセスできなくなります。十分注意して設定してください。

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

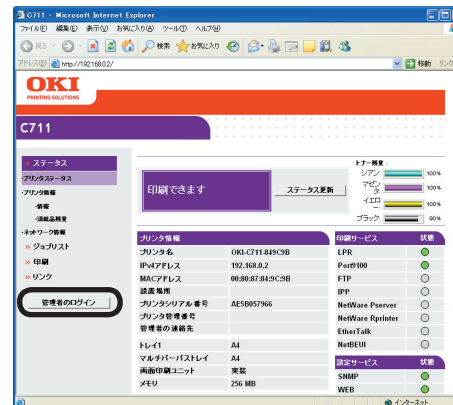
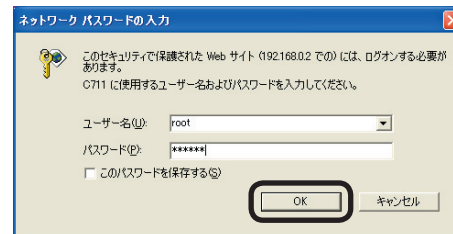
プリンタ	: C711dn2
プリンタの IP アドレス	: 192.168.0.2
Web ブラウザ	: Microsoft Internet Explorer Ver.6.0

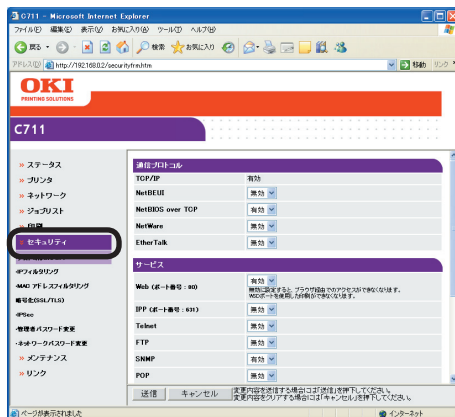
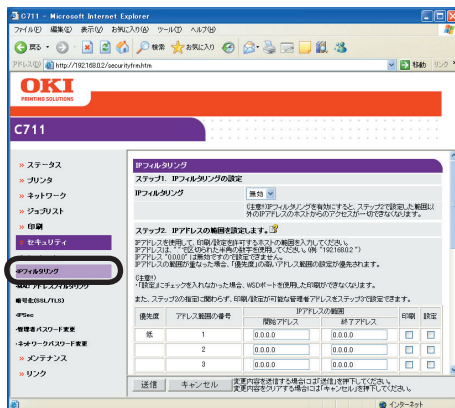
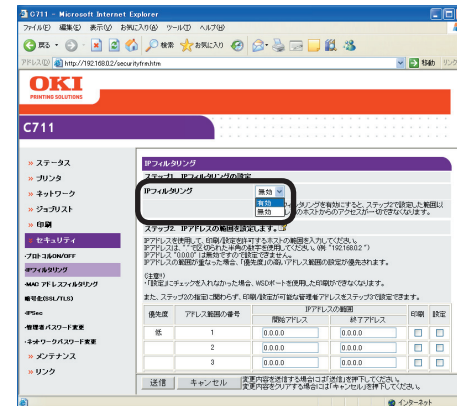
起動と設定方法

❶ Web ブラウザを起動します。

❷ [アドレス] に URL「http:// プリンタの IP アドレス」を入力し、Enter キーを押します。

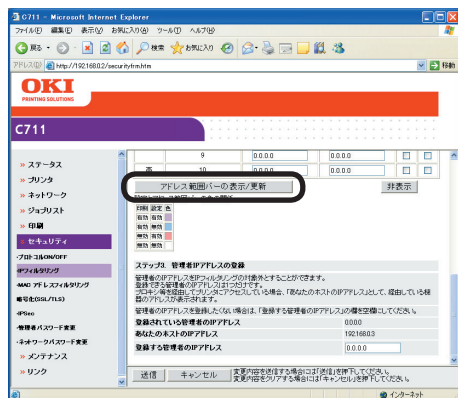
プリンタステータス画面が表示されます。

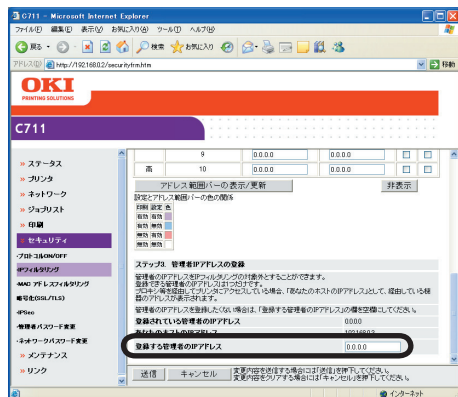
❸ [管理者のログイン] をクリックします。

❹ [ユーザ名] に「root」、[パスワード] に現在のパスワードを入力し、[OK] をクリックします。

メモ パスワードの初期値は「操作パネルの管理者用メニューのパスワード」と同じ「aaaaaa」です。

❺［セキュリティ］をクリックします。

❻［IP フィルタリング］をクリックします。

❼「ステップ 1」で、「IP フィルタリングの設定」を［有効］にします。

注 IP フィルタリングを［有効］にすると、「ステップ 2」で設定した範囲以外の IP アドレスのホストからのアクセスが一切できなくなります。

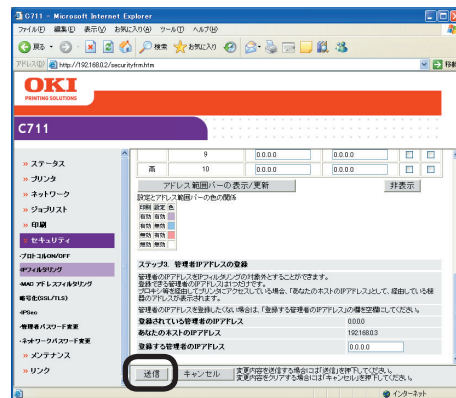
❽「ステップ 2」で、IP アドレスの範囲を設定します。

- IP アドレスを使用して、印刷 / 設定を許可するホストの範囲を入力してください。
- IP アドレスは、“.” で区切られた半角の数字を使用してください。
- IP アドレス 0.0.0.0 を入力すると、無効になります。
- IP アドレスの範囲が重なった場合、「優先度」の高いアドレス範囲の設定が優先されます。
- ステップ 2 の指定に関わらず、印刷 / 設定が可能な管理者アドレスをステップ 3 で設定できます。

❾［アドレス範囲バーの表示 / 更新］ボタンをクリックします 。

IP アドレスの範囲を 、修正したい場合は 、該当する IP アドレスを入力し直し、再度 、［アドレス範囲バーの表示 / 更新］をクリックしてください 。

❿「ステップ 3」で、［登録する管理者の IP アドレス］の値を設定します。

［登録する管理者の IP アドレス］に管理者の IP アドレスを入力することにより 、万一「ステップ 2」で誤った設定を行ってしまった場合でも 、管理者は［登録する管理者の IP アドレス］で設定した IP アドレスのホストから再設定することができます 。

- プロキシ等を経由してプリンタにアクセスしている場合、「あなたのホスト IP アドレス」として、経由している機器のアドレスが表示されます。したがって、あなたのホストのアドレスと表示されている「あなたのホストの IP アドレス」が異なる場合があります。
- 「管理者 IP アドレス」として何も登録しない場合は、ステップ 2 の設定によっては、プリンタにまったくアクセスできなくなることがあります。
- 管理者の IP アドレスを登録したくない場合は、［登録する管理者の IP アドレス］の欄を空欄にしてください。

⓫［送信］をクリックします 。

⓬ プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

MAC アドレスでのアクセス制限機能を使います

プリンタへのアクセスを MAC アドレスを用いて管理できます。
AdminManager、Web ブラウザで設定ができます。

MAC アドレスの入力を間違えると、ネットワークを用いてプリンタへアクセスできなくなります。十分注意して設定してください。

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

プリンタ : C711dn2
プリンタの IP アドレス : 192.168.0.2
Web ブラウザ : Microsoft Internet Explorer Ver.6.0

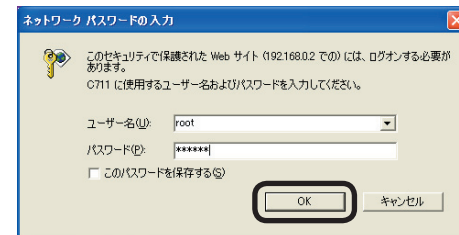
起動と設定方法

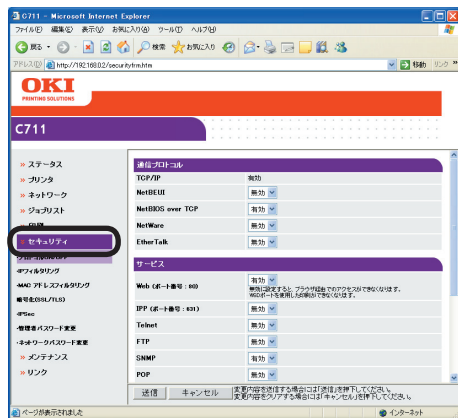
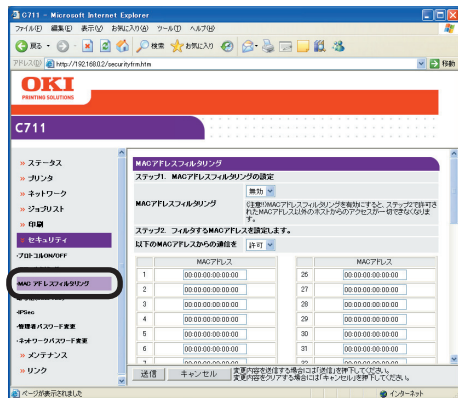
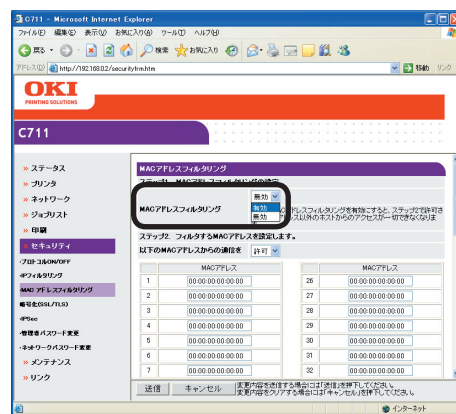
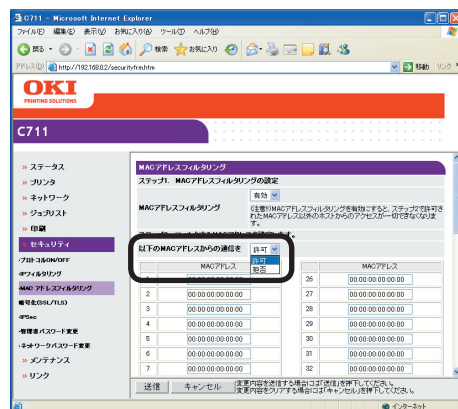
❶ Web ブラウザを起動します。

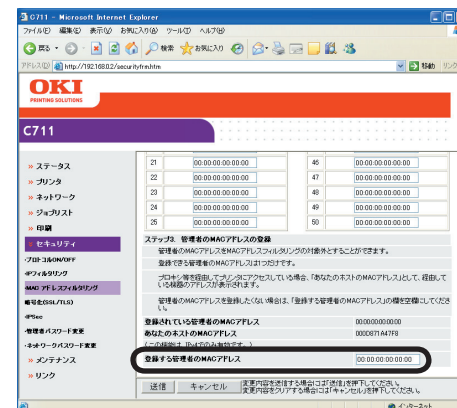
❷ [アドレス] に [http:// プリンタの IP アドレス] を入力し、Enter キーを押します。

プリンタステータス画面が表示されます。

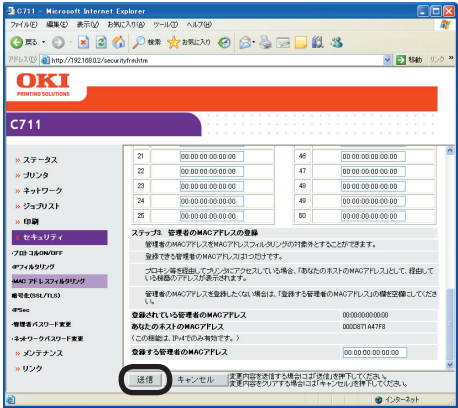
❸ [管理者のログイン] をクリックします。

❹ [ユーザ名] に [root]、[パスワード] に現在のパスワードを入力し [OK] をクリックします。

メモ パスワードの初期値は「操作パネルの管理者用メニューのパスワード」と同じ「aaaaaa」です。

❼［セキュリティ］をクリックします。

❽［MAC アドレスフィルタリング］をクリックします。

❾［ステップ 1］で［MAC アドレスフィルタリングの設定］を［有効］にします。

⑩「ステップ 2」で特定の MAC アドレスからの通信を［許可 (拒否)］するかどうかを選択します。

・MAC アドレスを使用して通信を許可 (拒否) するホストの MAC アドレスを入力してください。
・MAC アドレスは、“:” で区切られた半角の数字を使用してください。
・ステップ 2 の指定に関わらず、通信が可能な管理者アドレスをステップ 3 で設定できます。

⑪「ステップ 3」で、［登録する管理者の MAC アドレス］の値を設定します。

［登録する管理者の MAC アドレス］に管理者の MAC アドレスを入力することにより、万一「ステップ 2」で誤った設定を行ってしまった場合でも、管理者は［登録する管理者の MAC アドレス］で設定した MAC アドレスのホストから再設定することができます。

・プロキシ等を経由してプリンタにアクセスしている場合、「あなたのホストの MAC アドレス」として、経由している機器のアドレスが表示されます。したがって、あなたのホストのアドレスと表示されている「あなたのホストの MAC アドレス」が異なる場合があります。
・「管理者 MAC アドレス」として何も登録しない場合は、ステップ 2 の設定によっては、プリンタにまったくアクセスできなくなることがあります。
・管理者の MAC アドレスを登録したくない場合は、［登録する管理者の MAC アドレス］の欄を 00:00:00:00:00:00 にしてください。

⓬［送信］をクリックします。

⓭プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

メール送信機能（SMTP）を使います

メール送信機能（SMTP）を実装しています。プリンタにエラーが発生した場合、メールを送信することができます。定期的にエラーが発生しているかどうかを送信する設定と、エラーが発生した時点でメールを送信する設定とを選択することができます。
Web ブラウザ、TELNET で設定ができます。
以下の説明は、下記の環境を例にしています。

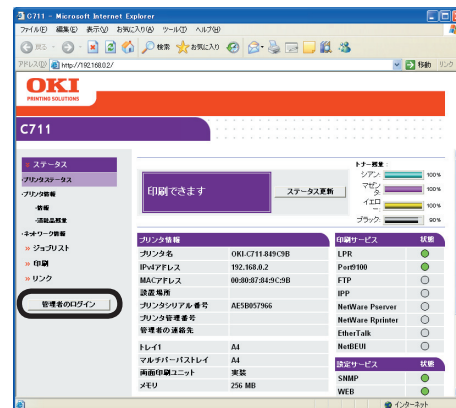
プリンタ	：C711dn2
プリンタの IP アドレス	：192.168.0.2
Web ブラウザ	：Microsoft Internet Explorer Ver.6.0

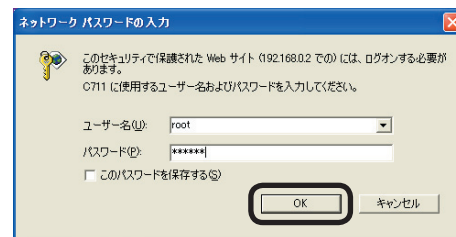
電子メール送信の設定をします

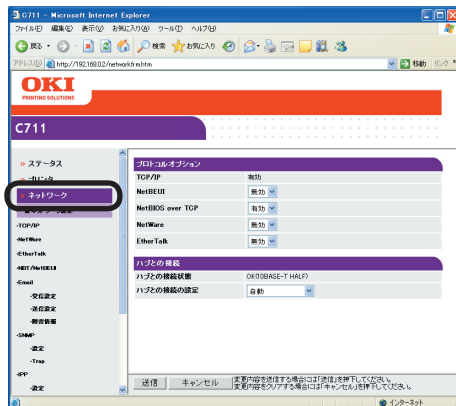
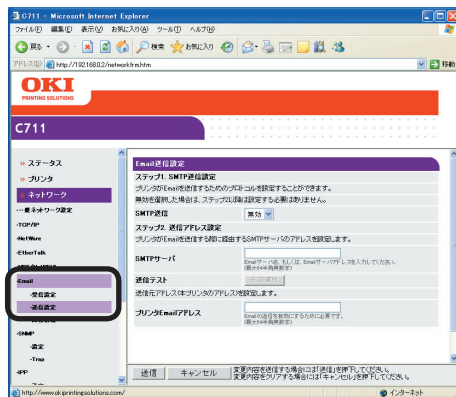
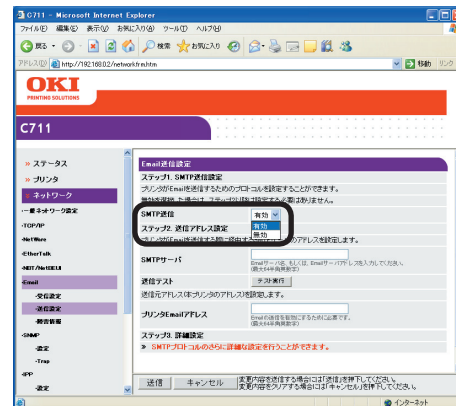
❶ Web ブラウザを起動します。

❷［アドレス］に URL「http:// プリンタの IP アドレス」を入力し、Enter キーを押します。

ここでは、プリンタの IP アドレスが 192.168.0.2 の場合を例にしています。

プリンタステータス画面が表示されます。

❸［管理者のログイン］をクリックします。

❹［ユーザー名］に「root」、［パスワード］に「現在のパスワード」を入力し、［OK］をクリックします。

メモ　パスワードの初期値は「操作パネルの管理者用メニューのパスワード」と同じ「aaaaaa」です。

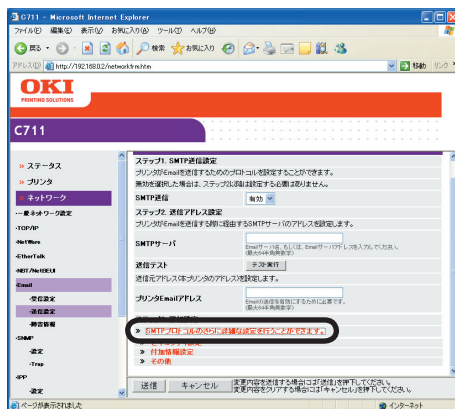
❺［ネットワーク］をクリックします。

❻［Email］-［送信設定］をクリックします。

❼「ステップ 1」で、「SMTP 送信設定」を［有効］にします。

❽「ステップ 2」で、送信に必要なアドレスを設定します。

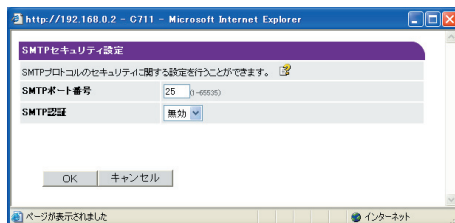
①「SMTP サーバ」に、メールサーバのドメイン名または IP アドレスを設定します。

②「プリンタ Email アドレス」に、プリンタに与えられたメールアドレスを設定します。

③「返信先 Email アドレス」に、プリンタから送信されたメールに対する返信用メールアドレスを設定します。通常、プリンタの管理者のメールアドレスを設定してください。

- 「SMTP サーバ」をドメイン名で設定する場合は、「TCP/IP」設定において、DNS サーバの設定が必要です。
- メールサーバにはプリンタからのメール送信を許可する設定が必要です。メールサーバの設定についてはネットワーク管理者にご相談ください。

❾ 以後、さらに詳しい設定をしたい場合は、「ステップ 3」で［SMTP プロトコルのさらに詳細な設定を行うことができます。］をクリックします。

それ以外の場合は㉑へ進みます。

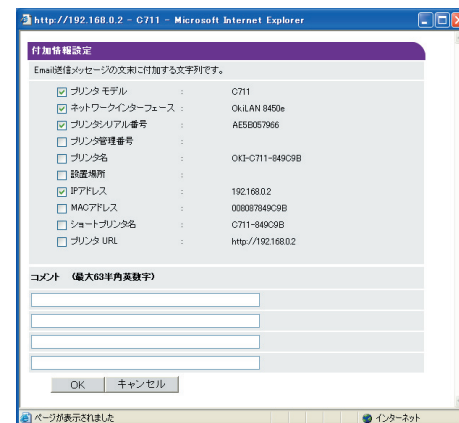
❿［セキュリティ設定］をクリックします。

⓫「SMTP 認証」を［有効］にします 。

⓬「ユーザ ID」を入力します。

⓭「パスワード」を入力します。

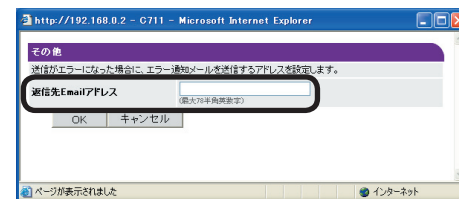
注 「ユーザ ID」と「パスワード」を間違えると、メール送信機能が正常に働きません。注意してください。

⓮［OK］をクリックします。

⓯［付加情報設定］をクリックします。

⓰ Email 送信メッセージの文末に追加したい情報を選択または入力します。

⓱［OK］をクリックします。

⓲［その他］をクリックします。

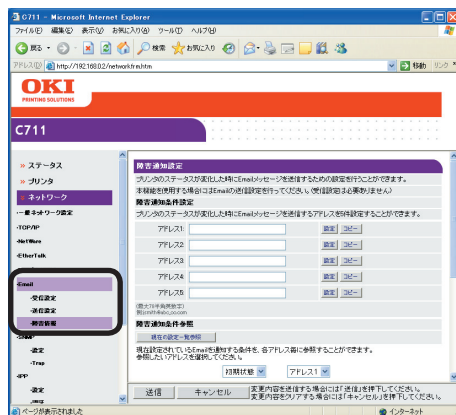
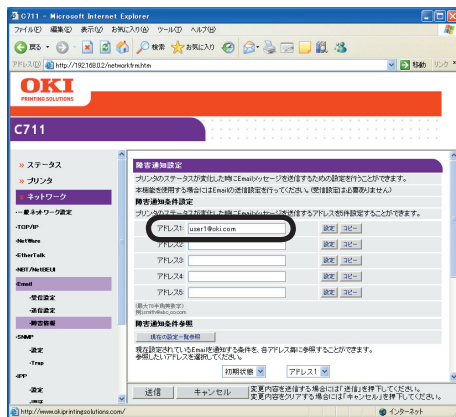
⓳「返信先 Email アドレス」に、プリンタから送信されたメールに対する返信用メールアドレスを設定します。通常、プリンタの管理者のメールアドレスを設定してください。

⓴［OK］をクリックします。

㉑［送信］をクリックします。

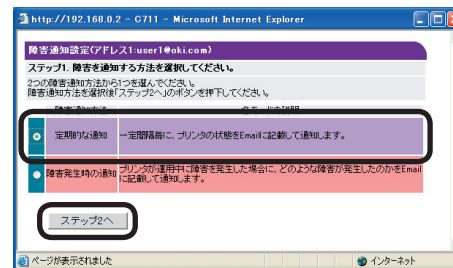
㉒ プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

メモ 認証方式はメールサーバのサポートしている認証方式の中から自動的に選択されます。

発生した障害を定期的に通知します

❶［Email］-［障害情報］をクリックします。

❷ 障害通知先のメールアドレスを入力します。

❸ 設定したメールアドレスの［設定］ボタンをクリックします。

メモ　［コピー］ボタンをクリックすると、障害通知条件の設定を他の宛先にコピーすることができます。複数の宛先に同じような障害通知条件を設定する場合に便利です。

❹［定期的な通知］にチェックを付け、「ステップ２へ」をクリックします。

❺［障害通知間隔設定］でメールを送信する間隔を設定します。

メモ　期間内に通知対象のエラーが発生しなかった場合は、メールの送信は行われません。

❻［障害通知条件設定］で通知対象のエラー種別にチェックを付けます。

❼［OK］をクリックします。

❽ 障害通知条件の設定内容を確認します。

① 一覧表示したい場合

a.［現在の設定一覧参照］ボタンをクリックします。

b. 設定内容を確認し、ウィンドウを閉じます。

② 2 つの宛先の設定条件を比較したい場合

a. リストボックスでそれぞれ比較したい宛先を選択します。

b. 表示された設定内容を確認します。

メモ　設定条件比較表内をクリックすることにより、通知条件設定を変更することができます。

❾［送信］をクリックします。

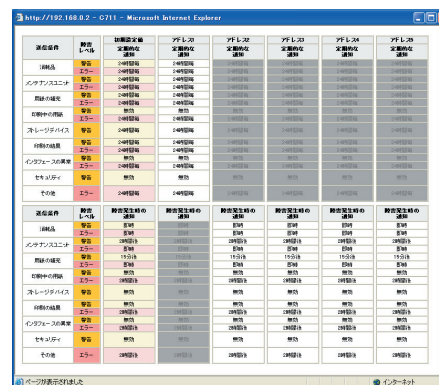
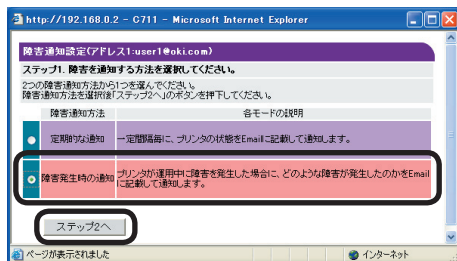
❿プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

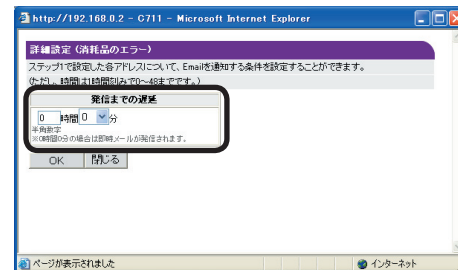
障害が発生したことを通知します

❶［Email］-［障害情報］をクリックします。

❷障害通知先のメールアドレスを入力します。

❸設定したメールアドレスの［設定］ボタンをクリックします。

［コピー］ボタンをクリックすると、障害通知条件の設定を他の宛先にコピーすることができます。複数の宛先に同じような障害通知条件を設定する場合に便利です。

❹［障害発生時の通知］にチェックを付け、「ステップ２へ」をクリックします。

❺［障害通知条件設定］で通知対象のエラー種別にチェックを付けます。

❻エラーが発生してからメールを送信するまでの遅延時間を設定します。

メモ
- 遅延時間を設定することにより、長時間発生し続けているエラーだけを通知することができます。
- 遅延時間を「0 時間 0 分」に設定すると、エラーが発生すると即時にメールが送信されます。

❼［OK］をクリックします。

❽障害通知条件の設定内容を確認します。

①一覧表示したい場合

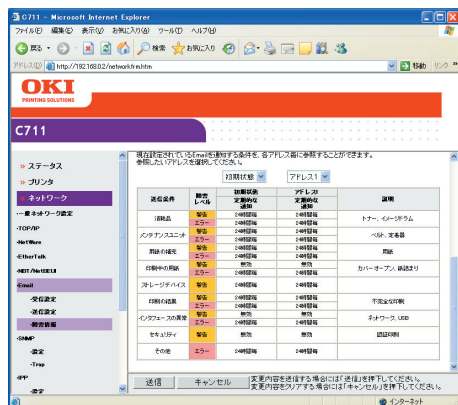
a.［現在の設定一覧参照］ボタンをクリックします。

b. 設定内容を確認し、ウィンドウを閉じます。

②２つの宛先の設定条件を比較したい場合

a. リストボックスでそれぞれ比較したい宛先を選択します。

b. 表示された設定内容を確認します。

メモ 設定条件比較表内をクリックすることにより、通知条件設定を変更することができます。

❾［送信］をクリックします。

❿プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

SNMP を使います

SNMP エージェントを実装しています。市販されている SNMP マネージャでプリンタの設定値の参照・変更をすることができます。
SNMP マネージャで参照・変更可能な設定項目は MIB と呼ばれ、C711dn2 は MIB-II および沖データプライベート MIB に対応しています。沖データプライベート MIB については、プリンタ添付の「ソフトウェア CD-ROM」の［MISC］-［Mib］フォルダの中の「 Readme-j.txt 」を参考にしてください。

SNMPv3 を使います

SNMPv3 対応エージェントを実装しています。
SNMPv3 対応 SNMP マネージャを使うと、SNMP によるプリンタの管理を暗号化し安全に行うことができます。

AdminManager(Windows)、Web ブラウザ、Telnet で設定できます。

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

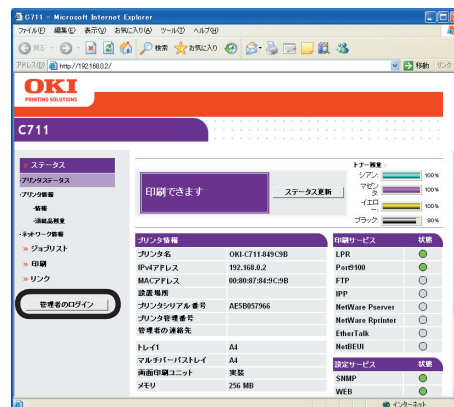
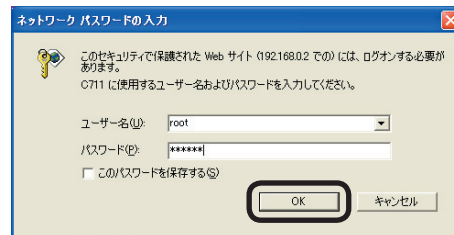
プリンタ	：C711dn2
プリンタの IPv4 アドレス	：192.168.0.2
Web ブラウザ	：Microsoft Internet Explorer Ver.6.0

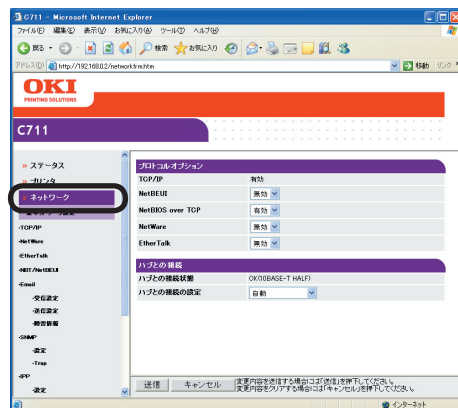
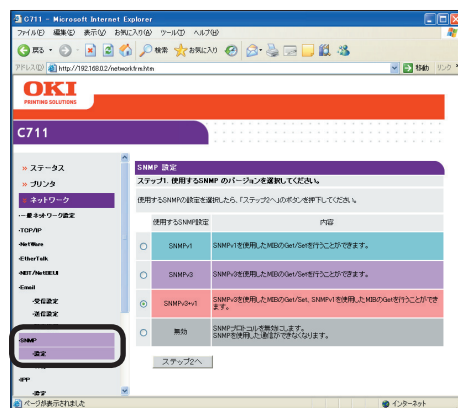
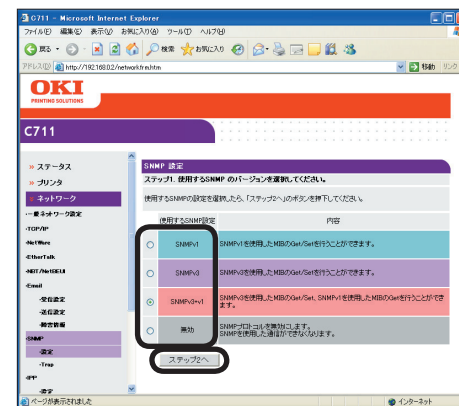
SNMPv3 の設定をします

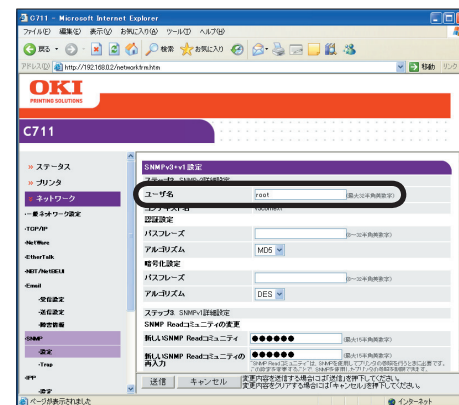
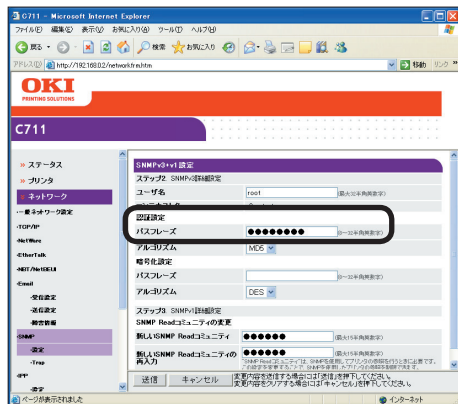
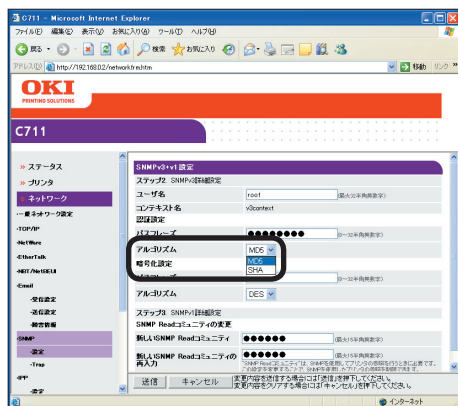
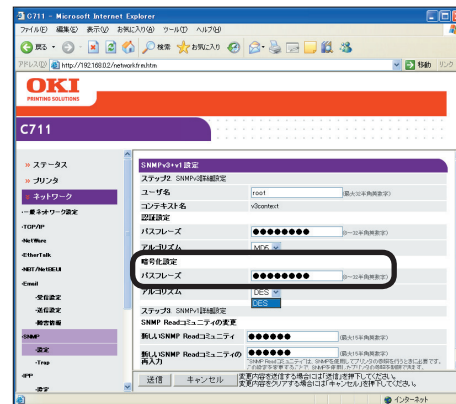
❶ Web ブラウザを起動します。

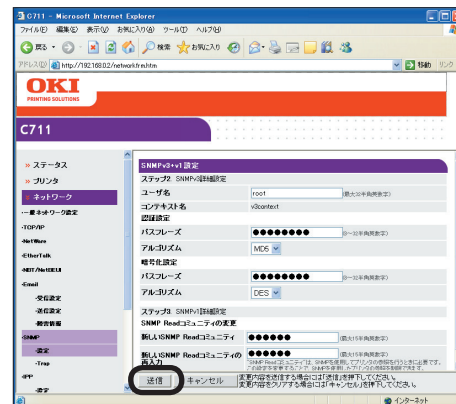
❷ [アドレス] に [http:// プリンタの IP アドレス] を入力し ,Enter キーを押します。

プリンタステータス画面が表示されます。

❸ [管理者のログイン] をクリックします。

❹ [ユーザ名] に [root]、[パスワード] に [現在のパスワード] を入力し [OK] をクリックします。

メモ　パスワードの初期値は「操作パネルの管理者用メニューのパスワード」と同じ「aaaaaa」です。

❺［ネットワーク］タブをクリックします。

❻［SNMP］-［設定］をクリックします。

❼「ステップ 1」で使用する SNMP のバージョンにチェックを付け、「ステップ 2 へ」をクリックします。

メモ ［SNMPv3］を選択した場合は、SNMPv1 での参照・設定はできなくなります。［SNMPv3+v1］を選択した場合は、SNMPv1 と SNMPv3 の両方で参照はできますが、設定は SNMPv3 でしかできません。

❽「ステップ 2」で［ユーザ名］に SNMPv3 ユーザ名を入力します。

❾「認証設定」で［パスフレーズ］に認証用パスフレーズを入力します。

❿［アルゴリズム］を選択します。

⓫「暗号化設定」で［パスフレーズ］に暗号化用パスフレーズを入力します。

メモ 暗号化アルゴリズムは［DES］のみ選択できます。

⓬「送信」をクリックします。

⓭プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

メモ お使いの SNMP マネージャのコンテキスト名には「v3context」を設定してください。

IPv6 を使います

IPv6 機能を実装しています。
IPv6 アドレスは自動的に取得されます。IPv6 アドレスの手動設定はできません。
IPv6 では以下のプロトコルに対応しています。

印刷：LPD、Port9100、IPP、FTP
設定：HTTP、Telnet、SNMPv1/v3

SMTP 送信、IP フィルタリング、WINS 登録、SNMP Trap などは IPv4 にのみ対応しています。

本製品との正常動作を確認済みのアプリケーションは下表の通りです。

Windows XP で IPv6 を使用するには別途 IPv6 のインストールが必要です。

プロトコル	アプリケーション	使用条件
LPD	Windows 7 Windows Vista Windows XP コマンドプロンプトの LPR	(1) hosts ファイルの編集、または DNS サーバを経由することで、ホスト名での指定も可能です。 (2) ただし、Telnet から IPv6 のみを有効にするよう設定した場合、DNS サーバを用いたホスト名指定はできなくなります。 (3) また、リンクローカルアドレス（先頭が“fe80”で始まるアドレス）を指定して接続する場合には、ホスト名での指定はできません。
Port9100	Windows 7 Windows Vista Redhat Linux 9.0 LPRng	(1) hosts ファイルの編集、または DNS サーバを経由することで、ホスト名での指定も可能です。 (2) ただし、Telnet から IPv6 のみを有効にするよう設定した場合、DNS サーバを用いたホスト名指定はできなくなります。 (3) また、リンクローカルアドレス（先頭が“fe80”で始まるアドレス）を指定して接続する場合には、ホスト名での指定はできません。
FTP	Windows 7 Windows Vista Windows XP コマンドプロンプトの FTP	(1) hosts ファイルの編集、または DNS サーバを経由することで、ホスト名での指定も可能です。 (2) ただし、Telnet から IPv6 のみを有効にするよう設定した場合、DNS サーバを用いたホスト名指定はできなくなります。 (3) また、リンクローカルアドレス（先頭が“fe80”で始まるアドレス）を指定して接続する場合には、ホスト名での指定はできません。
	Mac OS X ターミナルからの FTP	(1) hosts ファイルの編集、または DNS サーバを経由することで、ホスト名での指定も可能です。 (2) ただし、Telnet から IPv6 のみを有効にするよう設定した場合、DNS サーバを用いたホスト名指定はできなくなります。 (3) また、リンクローカルアドレス (先頭が “fe80” で始まるアドレス) を指定して接続することはできません。

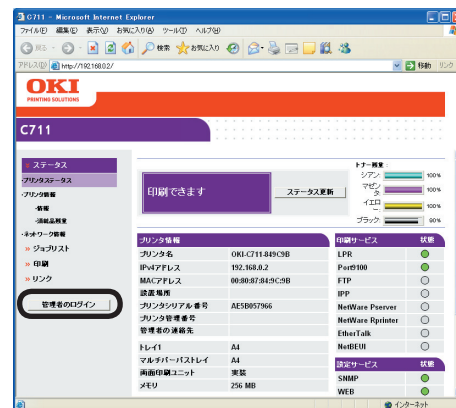
プロトコル	アプリケーション	使用条件
HTTP	Windows Vista Internet Explolder 7.0 Windows XP Internet Explolder 6.0	(1) hosts ファイルの編集、または DNS サーバを経由したホスト名での指定のみで接続が可能です。 (2) ただし、Telnet から IPv6 のみを有効にするよう設定した場合、DNS サーバを用いたホスト名指定はできなくなります。 (3) またリンクローカルアドレス (先頭が “fe80” で始まるアドレス) を指定して接続することはできません。
	Windows Vista Windows XP Mozilla Firefox(Ver.2.0) Windows Vista Windows XP Mozilla(Ver.1.7.8)	(1) IPv6 アドレスを “[]” で囲んで入力する必要があります。 (2) hosts ファイルの編集、または DNS サーバを経由することで、ホスト名での指定も可能です。 (3) ただし、Telnet から IPv6 のみを有効にするよう設定した場合、DNS サーバを用いたホスト名指定はできなくなります。 (4) また、リンクローカルアドレス（先頭が“fe80”で始まるアドレス）を指定して接続する場合には、ホスト名での指定はできません。
	Mac OS X Safari (1.2.3-v125.9)	(1) hosts ファイルの編集、または DNS サーバを経由したホスト名での指定のみで接続が可能です。 (2) ただし、Telnet から IPv6 のみを有効にするよう設定した場合、DNS サーバを用いたホスト名指定はできなくなります。 (3) また、リンクローカルアドレス (先頭が “fe80” で始まるアドレス) を指定して接続することはできません。
	Mac OS X Safari (2.0-v412.2)	(1) IPv6 アドレスを “[]” で囲んで入力する必要があります。 (2) hosts ファイルの編集、または DNS サーバを経由することで、ホスト名での指定も可能です。 (3) ただし、Telnet から IPv6 のみを有効にするよう設定した場合、DNS サーバを用いたホスト名指定はできなくなります。 (4) また、リンクローカルアドレス (先頭が “fe80” で始まるアドレス) を指定して接続することはできません。
Telnet	Windows 7 Windows Vista Windows XP コマンドプロンプトの Telnet	(1) hosts ファイルの編集、または DNS サーバを経由することで、ホスト名での指定も可能です。 (2) ただし、Telnet から IPv6 のみを有効にするよう設定した場合、DNS サーバを用いたホスト名指定はできなくなります。 (3) また、リンクローカルアドレス（先頭が“fe80”で始まるアドレス）を指定して接続する場合には、ホスト名での指定はできません。
	Mac OS X ターミナルからの Telnet	(1) hosts ファイルの編集、または DNS サーバを経由することで、ホスト名での指定も可能です。 (2) ただし、Telnet から IPv6 のみを有効にするよう設定した場合、DNS サーバを用いたホスト名指定はできなくなります。 (3) また、リンクローカルアドレス（先頭が“fe80”で始まるアドレス）を指定して接続する場合には、ホスト名での指定はできません。

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

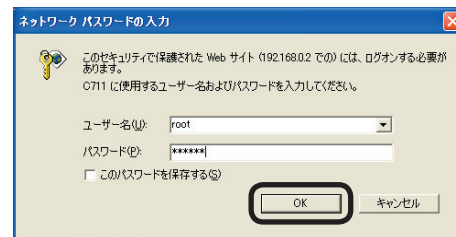
プリンタ	: C711dn2
プリンタの IPv4 アドレス	: 192.168.0.2
Web ブラウザ	: Microsoft Internet Explorer Ver.6.0

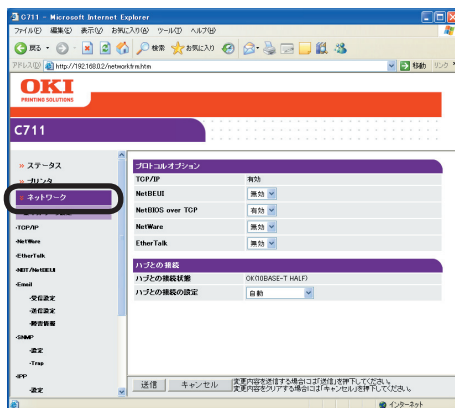
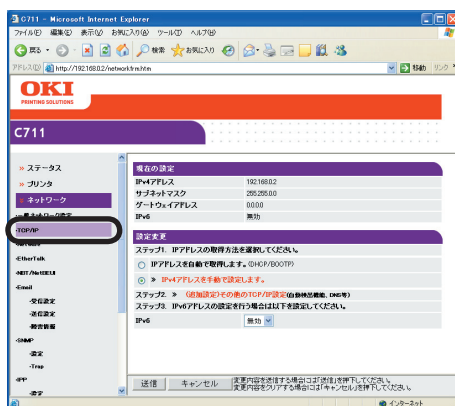
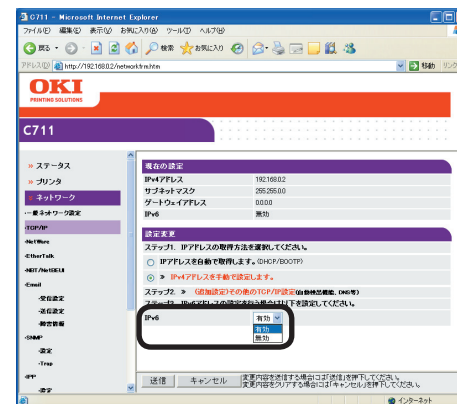
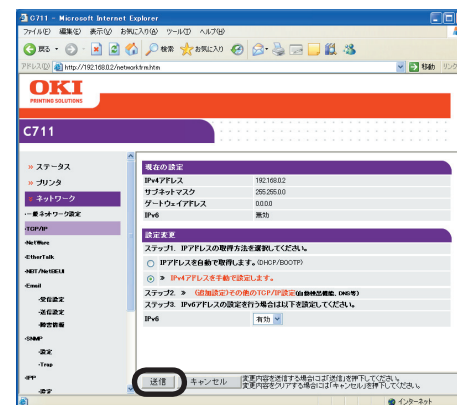
IPv6 の設定をします

❶ Web ブラウザを起動します。

❷ [アドレス]に[http:// プリンタの IPv4 アドレス]を入力し、Enter キーを押します。

プリンタステータス画面が表示されます。

❸ [管理者のログイン] をクリックします。

❹ [ユーザ名] に [root]、[パスワード] に [現在のパスワード] を入力し [OK] をクリックします。

メモ パスワードの初期値は「操作パネルの管理者用メニューのパスワード」と同じ「aaaaaa」です。

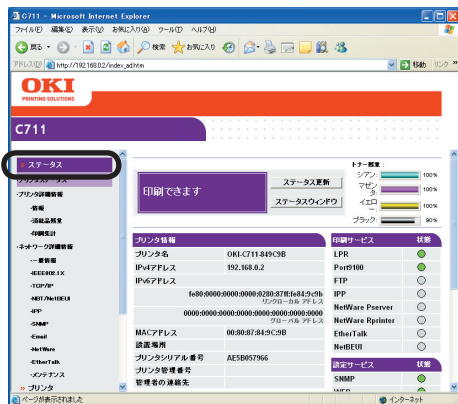
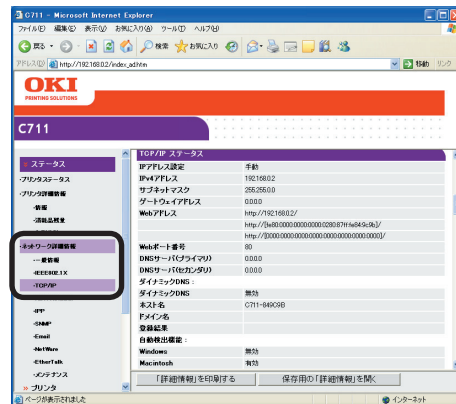
❺［ネットワーク］タブをクリックします。

❻［TCP/IP］をクリックします。

❼［IPv6］で［有効］を選択します。

❽［送信］をクリックします。

❾プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

メモ

Telnet を使うと、IPv4 を無効にし、IPv6 のみ有効に設定することができます。この場合、IPv4 でしか機能しないネットワーク機能は使用できなくなりますので注意してください。

IPv6 アドレスを確認します

IPv6 アドレスは自動的に取得されます。
取得された IPv6 アドレスは、Web ブラウザ、ネットワークの設定情報（Network Information）に表示されます。

❶［ステータス］タブをクリックします。

❷［ネットワーク詳細情報］-［TCP/IP］をクリックします。

リンクローカルアドレスとグローバルアドレスを確認します。図示した環境ではグローバルアドレスは取得されていません。

- グローバルアドレスがすべて“0”で表示されている場合は、ルータからネットワークプレフィックスを取得できていません。お使いのルータが正しく設定されているか確認してください。
- お使いのコンピュータから IPv6 を使ってプリンタに接続するための設定方法は、お使いのコンピュータまたはアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

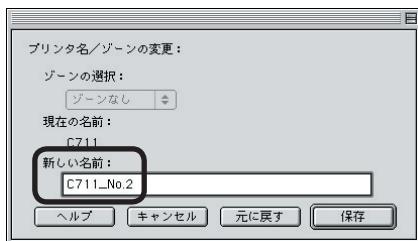
EtherTalk プリンタ名を変更したい

EtherTalk の場合に、プリンタに識別しやすい名前を付けることができます。

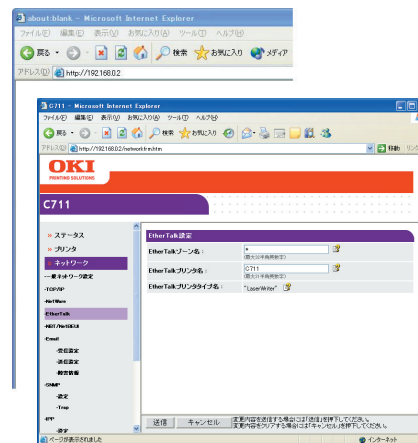
MicrolinePS Utility（Macintosh）を使う場合

- EtherTalk でネットワークに接続している場合に利用できます。
- Mac OS X では利用できません。

❶ [MicrolinePS] - [MicrolinePS Utility] - [MicrolinePS Utility] をダブルクリックします。

❷ メインダイアログから［プリンタ名 / ゾーンの変更］を選択します。

❸ 新しい名前を入力し、［保存］をクリックします。

プリンタ名の文字長は最大 31 文字にすることができます。ただしプリンタ名に（=:*@˜≈）などの記号は使用できません。
2 バイトコードの上下どちらかのバイトに（=:*@˜≈）と一致するコードが含まれるような文字、例えば（円、淳、ァ、法）などはプリンタ名として使用することはできません。

Web ブラウザを使う場合

TCP/IP でネットワークに接続している場合に利用できます。

❶ Web ブラウザを起動し、［アドレス］にプリンタの IP アドレスを入力し、Enter キーを押します。

「プリンタステータス」画面が表示されます。

❷ ［管理者のログイン］をクリックします。

❸ ［ユーザ名］に「root」、［パスワード］に現在のパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

パスワードの初期値は「操作パネルの管理者用メニューのパスワード」と同じ「aaaaaa」です。

❹ ［ネットワーク］タブの［EtherTalk］をクリックします。

❺ ［EtherTalk プリンタ名］に新しい名前を入力し、［送信］をクリックします。

- プリンタ名は 32 文字以内の英数字で設定できます。
- プリンタ名に（=:*@˜≈）などの記号は使用しないでください。

EtherTalk ゾーンを変更したい

複数の論理ゾーンで区切られている EtherTalk で、プリンタを現在のゾーンから他のゾーンに変更できます。

選択できるゾーンは同一セグメント内です。

MicrolinePS Utility（Macintosh）を使う場合

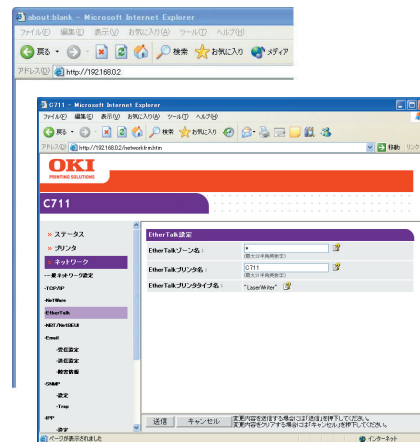
- EtherTalk でネットワークに接続している場合に利用できます。
- Mac OS X では利用できません。

❶ [MicrolinePS] - [MicrolinePS Utility] - [MicrolinePS Utility] をダブルクリックします。

❷ メインダイアログから［プリンタ名 / ゾーンの変更］を選択します。

❸ 変更したいゾーン名を選び、［保存］をクリックします。

Web ブラウザを使う場合

注 TCP/IP でネットワークに接続している場合に利用できます。

❶ Web ブラウザを起動し、［アドレス］にプリンタの IP アドレスを入力し、Enter キーを押します。

「プリンタステータス」画面が表示されます。

❷［管理者のログイン］をクリックします。

❸［ユーザ名］に「root」、［パスワード］に現在のパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

パスワードの初期値は「操作パネルの管理者用メニューのパスワード」と同じ「aaaaaa」です。

❹［ネットワーク］タブの［EtherTalk］をクリックします。

❺［EtherTalk ゾーン名］に新しい名前を入力し、［送信］をクリックします。

IEEE802.1X を使います

IEEE802.1X による認証機能に対応しています。
AdminManager(Windows)、Web ブラウザ、TELNET で設定できます。

お使いのネットワーク環境によっては正常に動作しないことがあります。

IEEE802.1X セットアップの流れ

プリンタに IEEE802.1X の設定を行うために、まず、プリンタとコンピュータとを通常のハブを経由してセットアップ用の接続をします。IEEE802.1X の設定完了後、認証スイッチにプリンタを接続します。

1. プリンタとコンピュータとを接続します。
2. コンピュータにセットアップ用の IP アドレスを設定します。
3. プリンタにセットアップ用の IP アドレスを設定します。
   プリンタとコンピュータとの接続およびプリンタとコンピュータ (Windows) の IP アドレス設定方法については､セットアップ編「ケーブルを接続します」から「セットアップします (3 プリンタに IP アドレス等を設定します。)」までをご覧ください。
4. プリンタに IEEE802.1X の設定をします。
5. プリンタを認証スイッチに接続します。

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

プリンタ	：C711dn2
IP アドレス	：192.168.0.3（コンピュータのセットアップ用アドレス） 192.168.0.2（プリンタのセットアップ用アドレス）
サブネットマスク	：255.255.255.0
Web ブラウザ	：Microsoft Internet Explorer Ver.6.0

IEEE802.1X の設定をします

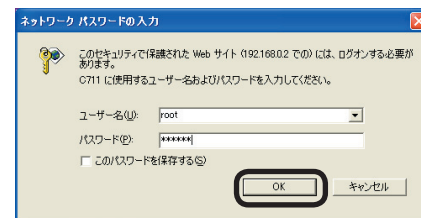
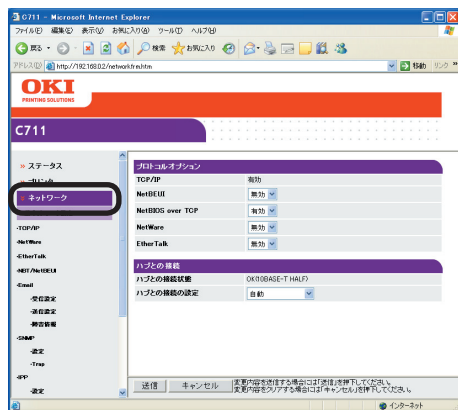
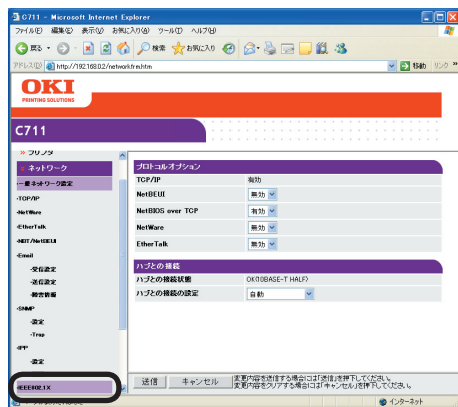
❶ Web ブラウザを起動します。

❷ [アドレス] に「http:// プリンタの IP アドレス」を入力し､Enter キーを押します。

プリンタステータス画面が表示されます。

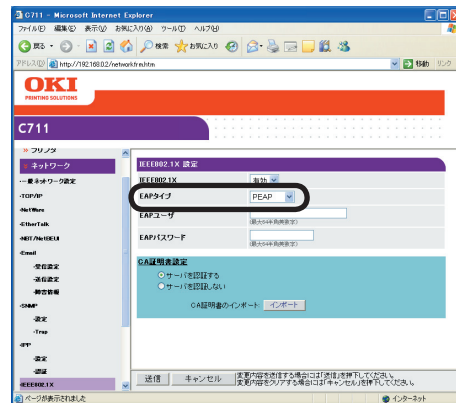
❸ [管理者のログイン] をクリックします。

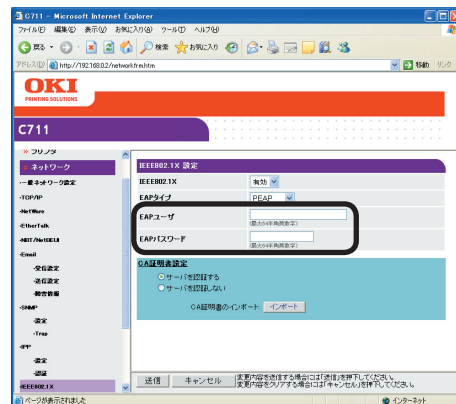
❹ [ユーザ名] に「root」、[パスワード] に「現在のパスワード」を入力し、[OK] をクリックします。

パスワードの初期値は「操作パネルの管理者用メニューのパスワード」と同じ「aaaaaa」です。

❺［ネットワーク］タブをクリックします。

❻［IEEE802.1X］メニューをクリックします。

PEAP を使用する場合

メモ EAP-TLS を使用する場合は、328 ページへ進んでください。

❼［IEEE802.1X］で［有効］を選択します。

❽［EAP タイプ］で［PEAP］を選択します。

❾［EAP ユーザ］にユーザ名を入力します。

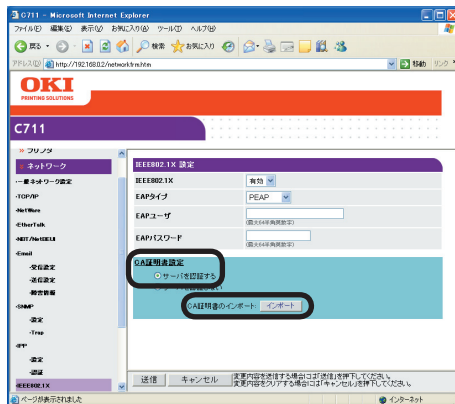
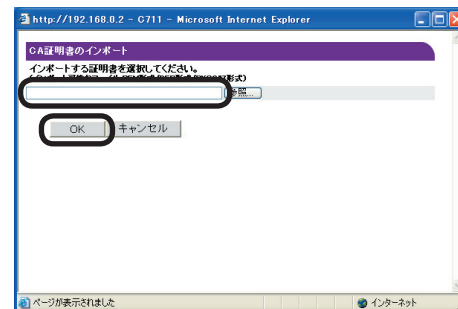
❿［EAP パスワード］にパスワードを入力します。

⓫［サーバを認証する］をチェックします。

⓬［CA 証明書のインポート］をクリックします。

メモ ［サーバを認証しない］をチェックした場合は、CA 証明書のインポートは必要ありません。
［サーバを認証しない］をチェックした場合、正しい認証サーバに接続されたかどうかをチェックしなくなります。

「CA 証明書のインポート」画面が表示されます。

⓭ CA 証明書のファイル名を入力し、［OK］をクリックします。

メモ
- インポートする CA 証明書は、RADIUS サーバのサーバ証明書の発行元認証局の証明書です。
- インポートできるファイル形式は PEM、DER、PKCS#7 形式です。

CA 証明書がプリンタにインポートされます。

⓮［送信］をクリックします。

⓯ プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

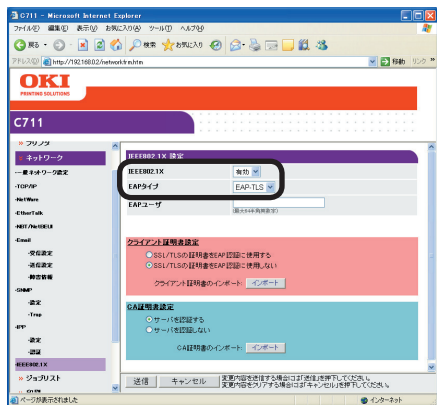
操作パネルに［印刷できます］が表示されたら、プリンタの電源を切ります。

プリンタの電源の切り方はユーザーズマニュアル（セットアップ編）をご覧ください。

「プリンタを認証スイッチに接続します」（330 ページ）に進みます。

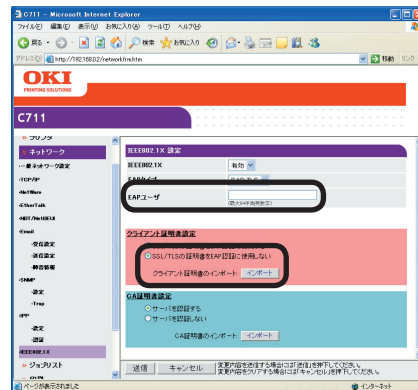
EAP-TLS を使用する場合

⑯ [IEEE802.1X] で [有効] を選択します。

⑰ [EAP タイプ] で [EAP-TLS] を選択します。

⑱ [EAP ユーザ] にユーザ名を入力します。

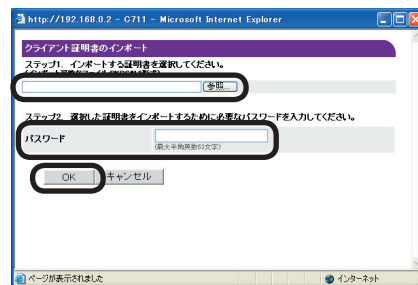
⑲ [SSL/TLS の証明書を EAP 認証に使用しない] をチェックします。

メモ　通常は [SSL/TLS の証明書を EAP 認証に使用する] にチェックしないでください。

⑳ [クライアント証明書のインポート] をクリックします。

「クライアント証明書のインポート」画面が表示されます。

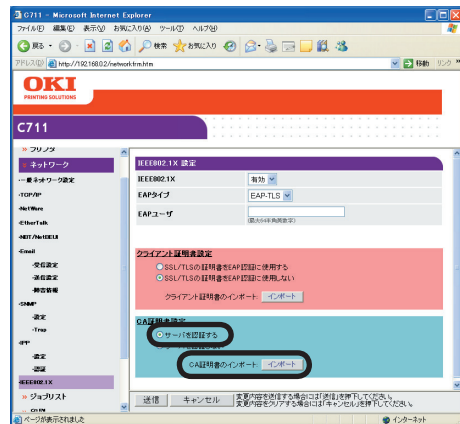
㉑ クライアント証明書のファイル名を入力します。

メモ　インポートできる証明書ファイルの形式は PKCS#12 です。

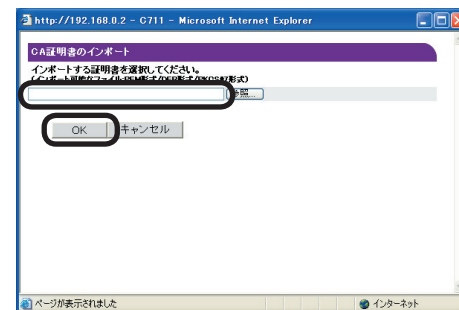
㉒ クライアント証明書のパスワードを入力し、[OK] をクリックします。

クライアント証明書がプリンタにインポートされます。

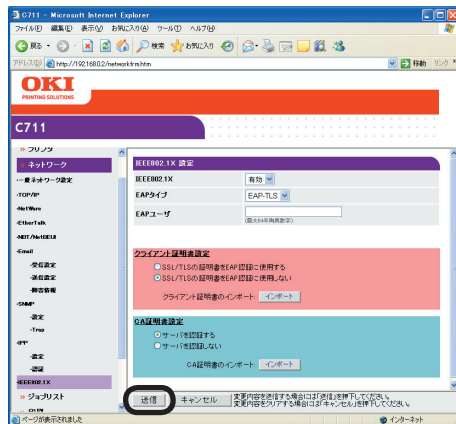
㉓［サーバを認証する］をチェックします。

㉔［CA 証明書のインポート］をクリックします。

メモ ［サーバを認証しない］をチェックした場合は、CA 証明書のインポートは必要ありません。
［サーバを認証しない］をチェックした場合、正しい認証サーバに接続されたかどうかをチェックしなくなります。

「CA 証明書のインポート」画面が表示されます。

㉕ CA 証明書のファイル名を入力し、［OK］をクリックします。

メモ
- インポートする CA 証明書は、RADIUS サーバのサーバ証明書の発行元認証局の証明書です。
- インポートできるファイル形式は PEM、DER、PKCS#7 形式です。

CA 証明書がプリンタにインポートされます。

㉖［送信］をクリックします。

㉗プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

操作パネルに［印刷できます］と表示されたら、プリンタの電源を切ります。

プリンタの電源の切り方はユーザーズマニュアル（セットアップ編）をご覧ください。

「プリンタを認証スイッチに接続します」に進みます。

プリンタを認証スイッチに接続します

メモ プリンタの電源が切れていることを確認してください。

1. イーサネットケーブルをプリンタのネットワークインタフェースコネクタに差し込みます。
2. イーサネットケーブルを認証スイッチの認証ポートに差し込みます。
3. プリンタの電源スイッチの On（｜）を押します
4. 操作パネルに［印刷できます］と表示したことを確認します。
5. プリンタの IP アドレス等をお使いの環境に従って設定します。

8 UNIX、Linux で使用する場合

LPD プロトコルを利用します

TCP/IP の LPD プロトコル(lpr, lp コマンド)を使用して印刷する方法を説明します。lpr, lp コマンドの詳細は UNIX のマニュアルをご覧ください。

LPD について

LPD(Line Printer Daemon)はネットワーク上のプリンタに印刷するためのプロトコルです。

論理プリンタについて

本プリンタには 3 つの論理プリンタがあります。

論理プリンタ	機　能
lp	PostScript または PCL 形式のファイルを印刷する場合
sjis	シフト JIS 漢字コードのテキストファイルを印刷する場合
euc	euc 漢字コードのテキストファイルを印刷する場合

sjis, euc はポストスクリプトプリンタのみの機能です。

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

プリンタ　　　: C711dn2
IP アドレス　　: 192.168.0.2
MAC アドレス : 00:80:87:84:9C:9B

UNIX を設定し印刷します

Sun Solaris2.6 および 8 の場合

- スーパーユーザーの権限が必要です。
- OpenWindows 上より Admintool を使ってリモートプリンタを登録する方法は、出力先とキューの名称が同一になるため本プリンタでは利用できません。リモートプリンタの登録は以下の方法で行ってください。
- Solaris 2.x はシステムの仕様上、リモートプリンタとの接続が長時間滞った場合にエラーとみなし、強制切断するようになっています。従って、印刷中に用紙切れやオフラインなどのエラーによって待ち時間が発生した場合には印刷が打ち切られてしまいます。

❶ UNIX に管理者（root）でログインします。

❷ /etc/hosts ファイルにプリンタの IP アドレスとホスト名を登録します。

```
192.168.0.2 ML
```

❸ ping コマンドで接続を確認します。

```
# ping ML
```

❹ プリントサーバを登録します。

```
# lpadmin -p ML_lp -m netstandard -o protocol=bsd -o dest=ML:lp -v /dev/
null
```

- 「：」に続く「lp」が論理プリンタになります。
- 印刷するファイル形式によりプリンタタイプやファイル内容形式を設定する必要があります。詳細は OS 付属のマニュアルをご覧ください。

❺ プリントキューを有効にします。

```
#/usr/sbin/accept ML_lp
#/usr/bin/enable ML_lp
```

❻ 印刷します。

```
# lp -d ML_lp 〈ファイル名〉
```

バナーページが不要な場合は以下のコマンドを使用します。

```
# lp -d ML_lp -o nobanner
```

❼ 印刷要求を取り消します。

```
# cancel ML_lp- 〈ジョブ番号〉
```

❽ プリンタの状態を確認します。

```
# lpstat -p ML_lp
```

UNIX の仕様により正常に表示できない場合があります。

HP-UX9.X および 10.X の場合

- スーパーユーザーの権限が必要です。
- HP-UX9.03 を例にしています。

❶ UNIX に管理者（root）でログインします。

❷ /etc/hosts ファイルにプリンタの IP アドレスとホスト名を登録します。

```
192.168.0.2 ML
```

❸ ping コマンドで接続を確認します。

```
# ping ML
```

❹ 使用している HP-UX マシンに、リモートスプーラが設定されていないときは以下の設定を行ってください。

① プリンタスプーラを停止します。

```
#/usr/lib/lpshut
```

② /etc/inetd.conf ファイルに以下の行を追加し、リモートスプーラを登録します。

```
printer stream tcp nowait root /usr/lib/rlpdaemon rlpdaemon -i
```

③ inetd を再起動します。

```
#/etc/inetd -c
```

❺ プリントキューを設定します。

```
#/usr/lib/lpadmin -pML_lp -mrmodel -ormML -orplp -ocmrcmodel
-osmrsmodel -ob3 -v/dev/null
```

「-p」に続く「ML_lp」がプリントキュー名、「-orm」に続く「ML」がホスト名、「-orp」に続く「lp」が論理プリンタ名になります。

❻ プリントキューを有効にします。

```
#/usr/lib/accept ML_lp
#/usr/bin/enable ML_lp
```

❼ プリンタスプーラを起動します。

```
#/usr/lib/lpsched
```

❽ 印刷します。

```
# lp -d ML_lp 〈ファイル名〉
```

❾ 印刷要求を取り消します。

```
# cancel ML_lp- 〈ジョブ番号〉
```

❿ プリンタの状態を確認します。

```
# lpstat -p ML_lp
```

UNIX の仕様により正常に表示できない場合があります。

FTP プロトコルを利用します

TCP/IP の FTP プロトコル（ftp コマンド）を使用して印刷する方法を説明します。ftp コマンドの詳細は UNIX のマニュアルをご覧ください。

FTP について

FTP(File Transfer Protocol)はネットワーク上のホストにファイルを転送するためのプロトコルです。

論理ディレクトリについて

本プリンタには 3 つの論理ディレクトリがあります。

論理プリンタ	機　能
/lp	PostScript または PCL 形式のファイルを印刷する場合
/sjis	シフト JIS 漢字コードのテキストファイルを印刷する場合
/euc	euc 漢字コードのテキストファイルを印刷する場合

sjis, euc はポストスクリプトプリンタのみの機能です。

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

プリンタ　　　: C711dn2
IP アドレス　 : 192.168.0.2
MAC アドレス : 00:80:87:84:9C:9B

印刷します

❶ プリンタにログインします。

「Name」と「Password」にどのような値を入力しても印刷可能です。ただし、「Name」が「root」の場合は「Password」が必要となります。初期値は「MAC アドレスの英数字下 6 桁」です。

```
#ftp 192.168.0.2
Connected to 192.168.0.2
220 EthernetBoard OkiLAN 8450e Ver 01.00 FTP Server.
User (192.168.0.2:none):root
331 Password required.
Password:
230 user Logged in.
Remote system type is FTP.
ftp>
```

❷ 転送先ディレクトリへ移動します。

ルートディレクトリへのファイル転送はできません。

```
ftp>cd /lp
250 Command OK.
ftp>pwd
257"/lp" is current directory.
ftp>
```

❸ 転送モードを設定します。

転送モードには、ファイルの内容をそのまま出力する「BINARY モード」と、LF コードを CR+LF コードに変換する「ASCII モード」の 2 種類があります。プリンタドライバで作成したファイルを転送する場合は、「BINARY モード」を使用します。

```
ftp> type binary
200 Type set to I.
ftp> type
Using binary mode to transfer files.
ftp>
```

❹ 印刷します。

例 1）印刷データ「test.prn」を転送する場合

```
ftp> put test.prn
```

例 2）印刷データを絶対パス「/users/test/test.prn」付きで指定して転送する場合

```
ftp> put /users/test/test.prn
```

❺ ログアウトします。

```
ftp> quit
```

quote コマンドの「stat」を使って、クライアントの IP アドレス、ログインユーザ名、転送モードの 3 つの状態を確認することができます。また、stat の後に論理ディレクトリ（lp, sjis, euc）を指定すると、プリンタの状態を確認することができます。

```
ftp> quote stat
211-FTP server status:
Connected to: 192,168,0,3,5,112
User logged in: root
Transfer type: BINARY
Data connection: Closed.
211 End of status.
ftp>

ftp> quote stat /lp
211-FTP directory status:
Ready
211 End of status.
ftp>
```

9 困ったときには

操作パネルのメッセージ

プリンタの操作パネルに表示されるメッセージと対処方法を説明します。
ここで説明する処置をしても良くならない場合は、お客様相談センターへご連絡ください。

［カラー］: トナーカートリッジまたはイメージドラムの色を示します。

○：点灯　△：点滅　×：消灯　－：不定

操作パネルに表示されるメッセージ	説　明	オンライン ランプ	点検 ランプ
印刷できます	印刷できる状態になっています。	○	×
オフラインです	オフライン状態になっています。	×	×
ファイルアクセス中です	ファイルシステムにアクセス中です。	－	－
データを受信しています	データを受信中です。	－	－
処理中です	データを処理中です。	△	－
データがあります	印刷されないデータがあります。	－	－
［トレイ］から印刷しています	表示しているトレイの用紙に印刷しています。	－	－
デモページを印刷しています	デモページを印刷しています。	－	－
フォントリストを印刷しています	フォント一覧を印刷中です。	－	－
ネットワーク設定を印刷しています	ネットワーク設定を印刷中です。	－	－
設定内容を印刷しています	設定内容を印刷中です。	－	－
ファイルリストを印刷しています	ファイルシステムに格納されているファイルの一覧を印刷中です。	－	－
エラーログを印刷しています	エラーのログを印刷中です。	－	－

○：点灯　△：点滅　×：消灯　－：不定

操作パネルに表示されるメッセージ	説　明	オンライン ランプ	点検 ランプ
□ □ 丁合印刷 iii/jjj	丁合印刷中です。	－	－
□ □ コピー印刷 kkk/lll	コピー印刷中です。	－	－
暗号化認証印刷のデータを検証中です	暗号化認証印刷のデータを検証中です。	△	－
データを削除しています	データを削除しています。	△	－
□ 定着温度調整中です .	クーリングダウン中です。	－	－
□ 定着温度調整中です	ウォーミングアップ中です。	－	－
□ 温度調整中です	プリンタ内の温度を調整中です。	－	－
□ 省電力モード中です	プリンタが省電力状態になっています。	－	－
□ カラー調整中です	自動色ずれ補正中です。	－	－
□ 濃度補正中です	自動濃度補正中です。	－	－
□ ［カラー］トナーが少なくなっています	表示している色のトナーが少なくなっています。	－	－
□ ［カラー］ 廃棄トナーがいっぱいです . トナーを交換してください	廃棄トナーがいっぱいになったので、表示している色のトナーを交換してください。	－	○
□ Non OEM［カラー］トナー	表示している色のトナーカートリッジが純正品ではありません。	－	○
□ ［カラー］トナーカートリッジが正しくありません	表示している色のトナーカートリッジが純正品ではありません。	－	○

○：点灯　△：点滅　×：消灯　－：不定

操作パネルに表示されるメッセージ	説　明	オンライン ランプ	点検 ランプ
□ ［カラー］トナーカートリッジが認識できません	表示している色のトナーカートリッジが純正品ではありません。	－	○
□ ［カラー］トナーセンサーに異常が発生しています	トナーセンサーに異常があります。イメージドラムカートリッジとトナーカートリッジが正しくセットされているか確認してください。	－	○
□ ポストスクリプトエラーです	ポストスクリプトエラーが発生しました。	△	－
□ ［カラー］イメージドラムの寿命が近づいています	表示している色のイメージドラムの寿命が近づいています。	－	－
□ 定着器の寿命が近づいています	定着器の寿命が近づいています。	－	－
□ ベルトの寿命が近づいています	転写ベルトの寿命が近づいています。	－	－
□ 定着器を交換してください	定着器が寿命になったので、新しい定着器と交換してください。	－	○
□ ベルトを交換してください	転写ベルトが寿命になったので、新しい転写ベルトと交換してください。	－	○
□ ［カラー］トナーがありません	表示している色のトナーがなくなりました。	－	○
□ ［カラー］トナーカートリッジがありません	表示している色のトナーカートリッジがありません。	－	○
□ ［カラー］イメージドラムを交換してください	表示している色のイメージドラムを新しいものと交換してください。	－	○
□ ［トレイ］に用紙がありません	表示しているトレイの用紙がなくなりました。	－	○
□ ファイルシステムがいっぱいです	ファイルシステムの空き容量がなくなりました。	－	○
□ ファイルシステムへの書き込みは禁止されています	書き込みが禁止されているファイルをファイルシステムに書き込もうとしています。	－	○
□ ジョブを制限しています	ジョブを制限しています。	－	○

○：点灯　△：点滅　×：消灯　－：不定

操作パネルに表示されるメッセージ	説　明	オンライン ランプ	点検 ランプ
□ ファイルを消去しています	機密ファイルを消去しています。	－	○
□ 暗号化認証印刷ジョブを削除しています	暗号化認証印刷ジョブを削除しています。	－	○
□ 消去処理待ちのファイルが一杯になりました	消去処理待ち機密ファイルが一杯になりました。	－	○
□ USB Hub は利用できません 取り外してください	プリンタが対応していない USB ハブが接続されています。プリンタが対応していない USB ハブが接続されている間に表示されます。	－	－
□ 対応していない USB 機器が接続されました 取り外してください	プリンタが対応していない USB 機器が接続されていることを示します。プリンタが対応していない USB 機器が接続されている間は、このメッセージが表示されます。	－	－
□ 丁合印刷エラーです オンラインボタンを押してください	丁合印刷中にエラーが発生しました。オンラインボタンを押すと、エラーメッセージは消えます。	－	－
□ 集計ログバッファがいっぱいです オンラインボタンを押してください	集計ログバッファが一杯なりました。オンラインボタンを押すと、エラーメッセージは消えます。	－	○
□ カラー印刷制限されているためモノクロ印刷しました オンラインボタンを押してください	カラー印刷が制限されているため、モノクロで印刷しました。オンラインボタンを押すと、メッセージは消えます。	－	○
□ カラー印刷制限されているためデータを削除しました オンラインボタンを押してください	カラー印刷が制限されているため、データを削除しました。オンラインボタンを押すと、メッセージは消えます。	－	○
□ 印刷制限されているためデータを削除しました オンラインボタンを押してください	印刷が制限されているため、データを削除しました。オンラインボタンを押すと、メッセージは消えます。	－	○

○：点灯　△：点滅　×：消灯　－：不定

操作パネルに表示されるメッセージ	説　　明	オンラインランプ	点検ランプ
□ ログバッファがいっぱいのためデータを削除しました オンラインボタンを押してください	ログバッファが一杯のため、データを削除しました。オンラインボタンを押すと、メッセージは消えます。	－	○
□ 保存期間が過ぎた暗号化認証印刷ジョブを削除しました オンラインボタンを押してください	保存期間が過ぎた暗号化認証印刷ジョブを削除しました。 オンラインボタンを押すと、メッセージは消えます。	－	○
□ ファイルシステム アクセスエラー <nnn> オンラインボタンを押してください	ファイルシステム アクセスエラーが発生しました。オンラインボタンを押すと、メッセージは消えます。	－	○
□ 無効な認証印刷データを受信しました オンラインボタンを押してください	無効な認証印刷データを受信したため、データを削除しました。 オンラインボタンを押すと、メッセージは消えます。	－	－
□ 無効なデータを受信しました オンラインボタンを押してください	無効なデータを受信しました。オンラインボタンを押すと、メッセージは消えます。	－	－
用紙を入れてください マルチパーパストレイ [メディアサイズ] オンラインボタンを押してください	表示しているサイズの用紙をマルチパーパストレイにセットし、オンラインボタンを押してください。	○	×
[トレイ] の用紙をかえてください [メディアサイズ] [メディアタイプ] を入れてオンラインボタンを押してください 詳しくはヘルプをご覧ください	トレイにセットしてある用紙が、印刷データと一致しません。表示しているトレイに、表示している用紙をセットし、オンラインボタンを押してください。	×	△
マルチパーパストレイの用紙をかえてください [メディアサイズ] [メディアタイプ] を入れてオンラインボタンを押してください 詳しくはヘルプをご覧ください	マルチパーパストレイの用紙が、印刷データと一致しません。マルチパーパストレイに表示している用紙をセットし、オンラインボタンを押してください。	×	△

○：点灯　△：点滅　×：消灯　－：不定

操作パネルに表示されるメッセージ	説　　明	オンラインランプ	点検ランプ
[トレイ] の用紙サイズをかえてください [メディアサイズ] [メディアタイプ] を入れてオンラインボタンを押してください 詳しくはヘルプをご覧ください	表示されているトレイにセットしてある用紙が、印刷データと一致しません。表示しているトレイに、表示している用紙をセットし、オンラインボタンを押してください。	×	△
マルチパーパストレイの用紙サイズをかえてください [メディアサイズ] [メディアタイプ] を入れてオンラインボタンを押してください 詳しくはヘルプをご覧ください	マルチパーパストレイにセットしてある用紙が、印刷データと一致しません。表示しているトレイに、表示している用紙をセットし、オンラインボタンを押してください。	×	△
用紙を入れてください マルチパーパストレイ [メディアサイズ] を入れてオンラインボタンを押してください 詳しくはヘルプをご覧ください	マルチパーパストレイの用紙が無くなりました。表示しているサイズの用紙をマルチパーパストレイにセットし、オンラインボタンを押してください。	×	△
用紙を取り除いてください フェイスダウンスタッカ 詳しくはヘルプをご覧ください	フェイスダウンスタッカが印刷済みの用紙で一杯になりました。フェイスダウンスタッカにある、印刷済みの用紙を取り除いてください。	×	△
復旧のためにはオンラインボタンを押してください メモリオーバーフロー	メモリーオーバーフローが発生しました。オンラインボタンを押すと復旧します。	×	△
しばらくお待ちください ネットワーク設定を保存中です	ネットワーク設定を保存中です。しばらくお待ちください。	－	－
しばらくお待ちください ネットワーク初期化中です	ネットワーク初期化中です。しばらくお待ちください。	－	－
しばらくお待ちください プログラムデータ受信中です	プログラムデータ受信中です。しばらくお待ちください。	×	△
しばらくお待ちください プログラムデータの受信が完了しました	プログラムデータの受信が完了しました。しばらくお待ちください。	×	×
データを確認してください プログラムデータ受信エラー <nnn>	プログラムデータの受信処理中にエラーが発生しました。データを確認してください。	×	○
しばらくお待ちください プログラムデータ書き込み中です	プログラムデータを書き込み中です。しばらくお待ちください。	×	△

○：点灯　△：点滅　×：消灯　－：不定

操作パネルに表示されるメッセージ	説　明	オンラインランプ	点検ランプ
プリンタを再起動してください プログラムデータの書き込みが完了しました	プログラムデータの書き込みが終了しました。プリンタを再起動してください。	×	×
データを確認してください プログラムデータ書き込みエラー <nnn>	プログラムデータの書き込み中にエラーが発生しました。データを確認してください。	×	○
しばらくお待ちください メッセージデータ受信中です	メッセージデータを受信中です。しばらくお待ちください。	－	－
しばらくお待ちください メッセージデータ書き込み中です	メッセージデータを書き込み中です。しばらくお待ちください。	－	－
プリンタを再起動してください メッセージデータの書き込みが完了しました	メッセージデータの書き込みが完了しました。プリンタを再起動してください。	－	－
データを確認してください メッセージデータ書き込みエラー <nnn>	メッセージデータの書き込み中にエラーが発生しました。データを確認してください。	－	－
用紙を入れてください [トレイ] [メディアサイズ] 詳しくはヘルプをご覧ください	表示しているトレイに用紙がありません。表示しているトレイに、表示している用紙をセットしてください。	×	△
カセットを入れてください [トレイ] 詳しくはヘルプをご覧ください	表示しているトレイのカセットが正しくセットされていません。正しくセットしてください。	×	△
カセットを入れてください [トレイ] 詳しくはヘルプをご覧ください	表示しているトレイがセットされていません。セットしてください。	×	△
トナーカートリッジを交換してください [カラー] 詳しくはヘルプをご覧ください	表示している色のトナーカートリッジを新しいものと交換してください。	×	△

○：点灯　△：点滅　×：消灯　－：不定

操作パネルに表示されるメッセージ	説　明	オンラインランプ	点検ランプ
トナーカートリッジが正しくありません [カラー] 詳しくはヘルプをご覧ください	表示している色のトナーカートリッジは、別機種のトナーカートリッジです。この機種のトナーカートリッジをセットしてください。	×	△
他社プリンタ用のトナーカートリッジが入っています [カラー] 詳しくはヘルプをご覧ください	表示している色のトナーカートリッジが純正品ではありません . 純正のトナーカートリッジをセットしてください。	×	△
トナーカートリッジがありません [カラー] 詳しくはヘルプをご覧ください	表示している色のトナーカートリッジがセットされていません。セットしてください。	×	△
カセットを引き出してください 用紙が残っています [トレイ] 詳しくはヘルプをご覧ください	紙づまりが発生しました。表示しているトレイ内に用紙が残っています。カセットを引き出し、残っている用紙を取り除いてください。	×	△
カバーを開けてください 用紙が残っています フロントカバー 詳しくはヘルプをご覧ください	紙づまりが発生しました。フロントカバーを開け、残っている用紙を取り除いてください。	×	△
カバーを開けてください 用紙が残っています トップカバー 詳しくはヘルプをご覧ください	紙づまりが発生しました。トップカバーを開け、つまっている用紙を取り除いてください。	×	△

○：点灯　△：点滅　×：消灯　－：不定

操作パネルに表示されるメッセージ	説　明	オンラインランプ	点検ランプ
両面印刷ユニットを確認してください 用紙が残っています 詳しくはヘルプをご覧ください	紙づまりが発生しました。両面印刷ユニット付近に用紙が残っています。両面印刷ユニットを引き出し、用紙を取り除いてください。	×	△
トナーカートリッジを確認してください ［カラー］	トナーセンサーに異常発生、またはトナーカートリッジのレバー回し忘れ、あるいはイメージドラムが正しくセットされていません。 正しくセットされているか確認してください。 エラーが消えない場合は、お客様相談センターに連絡してください。	×	△
用紙を確認してください 用紙サイズエラー ［トレイ］ 詳しくはヘルプをご覧ください	用紙サイズエラーが発生しました。表示しているトレイの用紙を確認してください。	×	△
カバーを開けてください 紙づまりです フロントカバー 詳しくはヘルプをご覧ください	紙づまりが発生しました。フロントカバーを開け、つまった用紙を取り除いてください。	×	△
カセットを引き出してください 紙づまりです ［トレイ］ 詳しくはヘルプをご覧ください	紙づまりが発生しました。表示しているトレイのカセットを引き出し、つまった用紙を取り除いてください。	×	△
カバーを開けてください 紙づまりです トップカバー 詳しくはヘルプをご覧ください	紙づまりが発生しました。トップカバーを開け、つまっている用紙を取り除いてください。	×	△
両面印刷ユニットを確認してください 紙づまりです 詳しくはヘルプをご覧ください	紙づまりが発生しました。両面印刷ユニットを引き出し、用紙を取り除いてください。	×	△

○：点灯　△：点滅　×：消灯　－：不定

操作パネルに表示されるメッセージ	説　明	オンラインランプ	点検ランプ
両面印刷ユニットを入れてください 詳しくはヘルプをご覧ください	両面印刷ユニットが正しくセットされていません。正しくセットしてください。	×	△
イメージドラムを交換してください イメージドラム寿命です ［カラー］ 詳しくはヘルプをご覧ください	表示している色のイメージドラムが寿命になりました。新しいイメージドラムと交換してください。	×	△
定着器を交換してください 定着器寿命です 詳しくはヘルプをご覧ください	定着器が寿命になりました。新しい定着器と交換してください。	×	△
ベルトを交換してください ベルト寿命です 詳しくはヘルプをご覧ください	転写ベルトが寿命になりました。新しい転写ベルトと交換してください。	×	△
トナーカートリッジを確認してください レバーの位置が正しくありません ［カラー］ 詳しくはヘルプをご覧ください	表示している色のトナーカートリッジのレバーの位置が正しくありません。正しい位置にセットしてください。	×	△
イメージドラムをセットし直してください ［カラー］ 詳しくはヘルプをご覧ください	表示している色のイメージドラムが正しくセットされていません。セットし直してください。	×	△
定着器をセットし直してください 詳しくはヘルプをご覧ください	定着器が正しくセットされていません。セットし直してください。 それでも直らない場合は、しばらく待ってからプリンタを再起動してください。	×	△

○：点灯　△：点滅　×：消灯　ー：不定

操作パネルに表示されるメッセージ	説　明	オンライン ランプ	点検 ランプ
ベルトをセットし直してください 詳しくはヘルプをご覧ください	ベルトが正しくセットされていません。セットし直してください。	×	△
カバーを閉めてください [カバー] 詳しくはヘルプをご覧ください	表示しているカバーが開いています。表示しているカバーを閉めてください。	×	△
しばらくお待ちください 再起動しています <n>	プリンタを再起動しています。しばらくお待ちください。	×	○
シャットダウン中です	プリンタをシャットダウンしています。	×	×
電源を切ってください シャットダウン完了しました	プリンタのシャットダウンが完了しました。電源を切ってください。	×	×
電源を切り、しばらくお待ちください 126: プリンタが結露しています	プリンタが結露しています。電源を切って、しばらくお待ちください。	×	△
プリンタを再起動してください nnn: エラー	エラーが発生しました。プリンタを再起動してください。	×	△

○：点灯　△：点滅　×：消灯　ー：不定

操作パネルに表示されるメッセージ	説　明	オンライン ランプ	点検 ランプ
サービスセンターへ連絡してください nnn: エラー	致命的なエラーが発生しました。 お客様相談センターへ連絡してください。 nnn が、下記の番号の場合は、下記の方法で復旧するか確認してください。それでも復旧しない場合は、お客様相談センターへ連絡してください。 nnn が、168、171、175、177 の場合は、しばらく待ってからプリンタを再起動してください。 nnn が、181 の場合は、両面印刷ユニットを取り付け直してください。 nnn が、182 の場合は、オプションのセカンドトレイユニットを取り付け直してください。 nnn が、183 の場合は、オプションのサードトレイユニットを取り付け直してください。 nnn が、983、984、985、986、987 の場合は、本装置でない、もしくは不適切なトナーカートリッジが使用されています。トナーカートリッジの型名を確認してください。	×	△
Power Off/On nnn:Fatal Error PC:nnnnnnnn LR:nnnnnnnn FR:nnnnnnnn	致命的なエラーが発生しました。 プリンタの電源をオフ / オンしてください。	×	△
プリンタを再起動してください 209: ダウンロードエラー	ダウンロードエラーが発生しました。 プリンタを再起動してください。	×	△

故障かな？と思ったとき

電源を ON にしても「印刷できます」にならない。	
電源コードが抜けています。	電源を OFF にしてから、電源コードをしっかり差し込んでください。
停電しています。	コンセントに電気がきているか、停電していないか確認してください。

印刷処理を開始しない。	
プリンタがスリープモードになっています。	◯「節電 / 復帰」ボタンを押して、スリープモードより復帰させてください。スリープモードが不便な場合はプリンタのメニュー設定でスリープモードを「Disable」にしてください。
エラーが表示されています。	プリンタの操作パネルにエラーが表示されている場合は「操作パネルのメッセージ」(338 ページ)をご覧ください。
プリンタケーブルが外れています。	プリンタケーブルを差し込んでください。
プリンタケーブルに問題があります。	予備のプリンタケーブルがあれば取り替えてみてください。
プリンタケーブルが規格に合っていない可能性があります。	USB2.0 仕様の USB ケーブルを使用してください。
プリンタの印刷機能に問題がある可能性があります。	プリンタの設定内容印刷ができるか確認してください。
インタフェースが無効になっています。	プリンタのメニュー設定で、使用しているインタフェースを［Enable］にしてください。
プリンタドライバが選択されていません。	プリンタドライバを［通常使うプリンタ］に設定してください。
プリンタドライバの出力ポートが間違っています。	プリンタケーブルを接続した出力ポートを選択してください。

印刷処理が中断する。	
プリンタケーブルが断線しています。	プリンタケーブルを取り替えてください。
コンピュータのタイムアウトにかかっています。	タイムアウトを長く設定してください。

異常音がする。	
プリンタが傾いています。	安定した水平な場所に設置してください。
プリンタ内部に用紙くずや異物があります。	プリンタ内部を点検し、取り除いてください。
トップカバーが開いています。	トップカバーの左右を押して閉じてください。

共振音がする。	
プリンタ内部の温度が上昇している状態で、幅狭用紙や厚紙などに印刷をしています。	プリンタの故障ではありません。そのままお使いください。

すぐに印刷を開始しない。印刷を開始するのに時間がかかる。	
スリープモードあるいは省電力モード時にウォーミングアップを行っています。	プリンタの Boot Menu 設定で、[Power Save]を[Disable]にすると、ウォーミングアップ時間を短くできる場合があります。
イメージドラムカートリッジのクリーニング動作を行っていることがあります。	印刷品質を保つための動作です。しばらくお待ちください。
定着器の温度を調整しています。	しばらくお待ちください。
他のインタフェースからのデータを処理しています。	印刷処理が中断するまでお待ちください。

印刷の途中で印刷が止まる。	
連続印刷などで定着器の温度が上昇したため、間欠印刷※により温度を調整しています。	適切な温度になると自動的に通常の印刷に戻りますので、電源を切らずにそのままお待ちください。
長時間の連続印刷などでプリンタの内部温度が上昇したため、間欠印刷や印刷一時停止により温度調整をしています。	適切な温度になると自動的に通常の印刷に戻りますので、電源を切らずにそのままお待ちください。

※ 間欠印刷とは、一定の間隔をおいて印刷することです。

用紙送りがおかしい

紙づまりがよく起きる。複数枚同時に引き込まれる。斜めに引き込まれる。		
プリンタが傾いています。	☞	安定した水平な場所に設置してください。
用紙が薄すぎるか厚すぎます。	☞	プリンタに適した用紙を使用してください。
用紙が湿気が含んでいたり、静電気を帯びています。	☞	適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。
用紙に折り目やシワや反りがあります。	☞	プリンタに適した用紙を使用してください。 反りがある場合は修正してください。
裏面が印刷された用紙を使用しています。	☞	一度印刷した用紙は用紙カセットからは印刷できません。マルチパーパストレイから印刷してください。
用紙がそろっていません。	☞	用紙の上下左右をそろえてからセットしてください。
用紙を 1 枚だけセットしています。	☞	用紙は複数枚でセットしてください。
用紙カセット、マルチパーパストレイに用紙が入ったまま追加しています。	☞	先に入っている用紙を取り出し、追加する用紙と上下左右をそろえてからセットしてください。
用紙がまっすぐにセットされていません。	☞	用紙カセットの用紙ストッパと用紙ガイドを用紙に合わせてください。マルチパーパストレイの手差しガイドを用紙に合わせてください。
はがきや封筒のセット方向が間違っています。	☞	正しくセットしてください。
連量 190 ～ 215kg の用紙、はがき、封筒、ラベル紙を用紙カセットにセットしています。	☞	連量 190 ～ 215kg の用紙、はがき、封筒、ラベル紙は用紙カセットから印刷できません。マルチパーパストレイにセットし、フェイスアップスタッカへ排出してください。詳しくは 3 章をご覧ください。

用紙が送られない。		
プリンタドライバの［給紙方法］の選択が間違っています。	☞	用紙をセットしてある給紙方法を選択してください。
プリンタドライバで手差しの指定をしています。	☞	マルチパーパストレイに用紙をセットして、「オンライン」ボタンを押してください。または「マルチパーパストレイ設定」の［手差しとして扱う］のチェックを外してください。

つまった用紙を取り除いても復旧しない。		
用紙を取り除くだけでは復旧しません。	☞	トップカバーを開閉してください。

用紙がまるまってしまう。シワが出る。		
用紙が湿気を含んでいたり、静電気を帯びています。	☞	適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。
薄い用紙を使用しています。	☞	プリンタのメニュー設定で［メディアウェイト］を 1 つ薄い紙の値にしてください。

定着器ユニットのローラへ用紙が巻きつく。		
用紙の厚さや種類の設定が不適切です。	☞	プリンタのメニュー設定で［メディアウェイト］［メディアタイプ］を適切な値にしてください。
薄い紙を使用しています。	☞	より厚手の用紙を使用してください。
用紙先端部にベタに近い塗りつぶしがあります。	☞	用紙先端部に余白を入れてみてください。両面印刷の場合、後端部にも余白を入れてみてください。

印刷が不鮮明なとき

縦方向に白いスジが入る。

原因	対処
LED ヘッドが汚れています。	柔らかいティッシュペーパーで拭いてください。
トナーが残り少なくなっています。	トナーカートリッジを交換してください。
異物がつまっています。	イメージドラムカートリッジを交換してください。
イメージドラムカートリッジの遮光フィルムが汚れています。	柔らかいティッシュペーパーで拭いてください。

縦方向にかすれる。

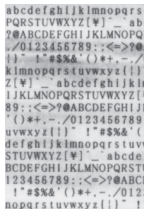
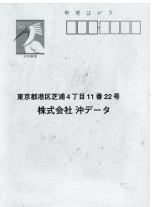
原因	対処
LED ヘッドが汚れています。	柔らかいティッシュペーパーで拭いてください。
トナーが残り少なくなっています。	トナーカートリッジを交換してください。
用紙がプリンタに適していません。	推奨紙を使用してください。

印刷が薄い

原因	対処
トナーカートリッジが正しくセットされていません。	トナーカートリッジを取り付け直してください。
トナーが残り少なくなっています。	トナーカートリッジを交換してください。
用紙が湿気を含んでいます。	適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。
用紙がプリンタに適していません。	推奨紙を使用してください。
用紙がプリンタに適していません。用紙の厚さや種類の設定が不適切です。	プリンタのメニュー設定で［メディアウェイト］［メディアタイプ］を適切な値にしてください。または、［メディアウェイト］を１つ厚い紙の値にしてください。
再生紙を使用しています。	プリンタのメニュー設定で［メディアウェイト］を１つ厚い紙の値にしてください。

部分的にかすれる。ベタを印刷すると白い点や線が現れる。

原因	対処
用紙が湿気を含んでいるか、乾燥しています。	適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。
［セッティング］の設定が不適切です。	プリンタのメニュー設定で［普通紙ブラック設定］または［普通紙カラー設定］の値を変更してみてください。

縦方向にスジが入る。

原因	対処
イメージドラムカートリッジに傷がついています。	イメージドラムカートリッジを交換してください。
トナーが残り少なくなっています。	トナーカートリッジを交換してください。

横方向にスジや点が周期的に入る。

原因	対処
約 94mm 周期の場合は、イメージドラム（緑の筒の部分）に傷または汚れがついています。	柔らかいティッシュペーパーで軽く拭き取ってください。傷がついていたら、イメージドラムカートリッジを交換してください。
約 40mm 周期の場合は、イメージドラムカートリッジ内にゴミが混入しています。	トップカバーの開閉を行い、イニシャル動作を繰り返してください。
約 90mm 周期の場合は、定着器ユニットに傷がついています。	定着器ユニットを交換してください。
イメージドラムカートリッジが光にさらされました。	イメージドラムカートリッジをプリンタの内部に戻し、数時間プリンタを使用しないでください。それでも直らない場合は、イメージドラムカートリッジを交換してください。

白地の部分が薄く汚れる。		
用紙が静電気を帯びています。	☞	適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。
厚い用紙を使用しています。	☞	より薄手の用紙を使用してください。
トナーが残り少なくなっています。	☞	トナーカートリッジを交換してください。

文字の周辺がにじむ。		
LED ヘッドが汚れています。	☞	柔らかいティッシュペーパーで拭いてください。

はがき、封筒またはコート紙を印刷すると全体的に薄く汚れる。擦ると文字の周辺が汚れる。		
はがき、封筒に印刷すると、全体的にトナーが付着（かぶり）することがあります。	☞	プリンタの故障ではありません。
コート紙に印刷すると薄くトナーが付着（かぶり）することがあります。	☞	コート紙はなるべく使用しないでください。

擦るとトナーがとれる。		
用紙の厚さや種類の設定が不適切です。	☞	プリンタのメニュー設定で［メディアウェイト］［メディアタイプ］を適切な値にしてください。または、［メディアウェイト］ を 1 つ厚い紙の値にしてください。
再生紙を使用しています。	☞	プリンタのメニュー設定で ［メディアウェイト］ を 1 つ厚い紙の値にしてください。

光沢にムラが出る。		
用紙の厚さや種類の設定が不適切です。	☞	プリンタのメニュー設定で［メディアウェイト］［メディアタイプ］を適切な値にしてください。または、［メディアウェイト］ を 1 つ厚い紙の値にしてください。

思った色合いで印刷されない。		
トナーが残り少なくなっています。	☞	トナーカートリッジを交換してください。
［黒の生成］ の設定がアプリケーションに合っていません。	☞	プリンタドライバの ［黒の生成］ で ［CMYK トナーで生成］ または、［黒トナーのみで生成］ を選択してみてください。詳しくは「黒の部分の仕上がりを変更したい」（193 ページ） をご覧ください。
カラー調整を変更しています。	☞	プリンタドライバのカラーマッチングにしてください。詳しくは 「簡単にカラーマッチングする （オフィスカラー）」（153 ページ） をご覧ください。
カラーバランスがとれていません。	☞	プリンタの操作パネルで濃度補正を実行してください。
色ずれが起こっています。	☞	トップカバーを開閉してください。または、プリンタの操作パネルで色ずれ補正調整をしてください。詳しくは「色ずれ補正調整をします」（セットアップ編） をご覧ください。

CMY 各色 100%のベタが薄い		
［CMY100%濃度］ が ［無効］ になっています。	☞	［カラー設定］ - ［CMY100%濃度］ を ［有効］ にしてください。

Windows から印刷できない

アプリケーションに関する問題については、各アプリケーションの発売元へお問い合わせください。

印刷できない		
プリンタがスリープモードになっています。	☞	◯「節電 / 復帰」ボタンを押して、スリープモードより復帰させてください。スリープモードが不便な場合はプリンタのメニュー設定でスリープモードを「Disable」にしてください。
プリンタの電源が OFF になっています。	☞	プリンタの電源を ON にしてください。(セットアップ編)
[オフライン]になっています。	☞	◯「オンライン」ボタンを押して[印刷できます]にしてください。
プリンタケーブルが外れています。	☞	プリンタケーブルを差し込んでください。
プリンタケーブルに問題があります。	☞	予備のプリンタケーブルがあれば取り替えてみてください。
切替器、バッファ、延長ケーブル、USB ハブを使用しています。	☞	プリンタとコンピュータを直接接続してみてください。
プリンタドライバの出力ポートが間違っています。	☞	プリンタケーブルを接続した出力ポートを指定してください。
他のインタフェースからの印刷を処理しています。	☞	処理が完了するまでお待ちください。
プリンタドライバが[通常使うプリンタ]になっていません。	☞	[通常使うプリンタ]にしてください。
USB で動作する他のプリンタドライバがインストールされています。	☞	他のプリンタドライバを削除してみてください。
LCD 表示が「無効なデータを受信しました/オンラインボタンを押してください」と表示され印刷しません。	☞	プリンタのメニュー設定で「タイムアウト印刷」の設定値を長くしてみてください。
印刷が自動的にキャンセルされます。	☞	プリントジョブアカウンティング(オプション)を使用している場合、プリントジョブアカウンティングの印刷制限または、プリンタのログバッファがいっぱいになってる可能性があります。詳しくは、「プリントジョブアカウンティング ユーザーズマニュアル」をご覧ください。
USB 接続でプリンタアイコンが[オフライン]になっています。	☞	プリンタアイコンを右クリックして[プリンタをオフラインにする]のチェックを外してください。

メモリ不足になる。		
複数のアプリケーションを同時に起動してます。	☞	使用していないアプリケーションを終了してください。

印刷が遅い。		
印刷処理をコンピュータ側でも行っています。	☞	処理速度の速いコンピュータを使用してください。
[印刷オプション]の[高精細]を選択しています。	☞	プリンタドライバの[印刷オプション]で[きれい]または[ふつう]を指定してください。
印刷データが複雑です。	☞	印刷データを簡単にしてください。

ネットワーク接続でセットアップできない。印刷できない。		
セットアップ、印刷方法などに問題があります。	☞	「ネットワーク経由で印刷できない」(350 ページ)をご覧ください。

Macintosh から印刷できない

アプリケーションに関する問題については、各アプリケーションの発売元へお問い合わせください。

印刷できない。		
プリンタがスリープモードになっています。（ネットワーク接続で EtherTalk/Bonjour をご使用の場合）	☞	◯「節電 / 復帰」ボタンを押して、スリープモードより復帰させてください。EtherTalk/Bonjour でご使用の場合で、スリープモードが不便な場合はプリンタのメニュー設定でスリープモードを「Disable」としてください。（IP プリントをご使用のになりますと、スリープモードから復帰して印刷します。）

メモリエラーになる。		
デスクトップ・プリントモニタのメモリサイズが不足しています。	☞	メモリサイズを大きくしてください。

印刷が遅い。		
印刷処理を Macintosh 側でも行っています。	☞	処理速度の速い Macintosh を使用してください。
［印刷オプション］の［きれい］または［高精細］を選択しています。	☞	プリンタドライバの［印刷品位］で［ふつう］を指定してください。
印刷データが複雑です。	☞	印刷データを簡単にしてください。

ネットワーク接続でセットアップできない。印刷できない。		
セットアップ、印刷方法などに問題があります。	☞	セットアップ編の「印刷できないときには」をご覧ください。

PS プリンタドライバで印刷すると、文字の種類が画面と印刷結果で異なる。		
書類中にシステムに存在しないフォントを使用しています。	☞	書類中で使用しているフォントをシステムにインストールしてください。または、書類中で使用しているフォントをシステムに存在しているものに変更してください。

多くの書体を使用した文書を印刷すると、PostScript エラーになる。		
MacOS の制限です。	☞	［用紙設定］-［PostScript オプション］で［ダウンロード可能フォントの制限なし］にチェックを付けてください。

プリンタドライバの表示がおかしい。		
プリンタドライバが正しく動作していない可能性があります。	☞	プリンタドライバを一旦削除した後、再インストールを行ってください。（セットアップ編）

ネットワーク経由で印刷できない

UNIX

- 「etc/hosts ファイル」にプリンタの［IP アドレス］と［ホスト名］が登録されているか確認します。
- lp プロトコルを利用する場合は、「etc/printcap ファイル」にリモートプリンタの論理プリンタ名（例：rp=lp）が登録されているか確認します。論理プリンタ名には「lp」「sjis」「euc」があり、「lp」は無変換出力設定用、「sjis」はシフト JIS PostScript 漢字変換出力用、「euc」は EUC PostScript 漢字変換出力用です。それ以外は全て無効です。
- ftp プロトコルを利用する場合は、出力先（イーサネットボードの論理ディレクトリ名）が指定されているか確認します。出力先には「lp」「sjis」「euc」があり、「lp」は無変換出力設定用、「sjis」はシフト JIS PostScript 漢字変換出力用、「euc」は EUC PostScript 漢字変換出力用です。それ以外は全て無効です。

NetWare

◆プリントサーバモードを利用する場合

- ファイルサーバ上にプリントサーバが起動しているか確認します。
- ネットワークの設定情報（Network Information）（256 ページ）の「File Server#」が、利用している「ファイルサーバ名」と同じか確認します。
- ネットワークの設定情報（Network Information）（256 ページ）の「Printer Name」が、ファイルサーバの「プリンタ名」と同じか確認します。
- ネットワークの設定情報（Network Information）（256 ページ）の「Print Server Name」がファイルサーバの「プリントサーバ名」と同じか確認します。
- イーサネットボードが複数存在する場合はイーサネットボード同士の「Printer Name」が同じにならないようにします。

◆リモートプリンタモードを利用する場合

- ファイルサーバ上にプリントサーバが起動しているか確認します。
- ネットワークの設定情報（Network Information）（256 ページ）の「Print Server#」がファイルサーバ上の「プリントサーバ名」と同じか確認します。
- ネットワークの設定情報（Network Information）（256 ページ）の「Printer Name」がファイルサーバのプリントサーバモニタに表示されている「プリンタ名」と一致しているか確認します。

ユーティリティ

- AdminManager（Windows）でプリンタを検出できるか確認します。
- Setup Utility（Macintosh）でプリンタを検出できるか確認します。
- Web ブラウザでプリンタを検出できるか確認します。（41 ページ）
- TELNET でプリンタを検出できるか確認します。
- ping でプリンタを検出できるか確認します。Windows のコマンドプロンプト（MS-DOS プロンプト）で「ping xxx.xxx.xxx.xxx」（xxx.xxx.xxx.xxx はプリンタの IP アドレス）と入力し、Enter キーを押します。

Windows 7/ Windows Vista/ Windows Server 2008 に関する制限事項

項　　目	発生する制限事項	詳細、回避方法
プリンタドライバ（PS） NIC セットアップユーティリティ （AdminManager、Quick Setup） Network Extension	ヘルプが表示されない。	Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008 でのヘルプの表示には対応しておりません。
プリンタドライバ（PS, PCL）	暗号化認証印刷が実行できない。	Windows 7（64bit 版）/Windows Vista（64bit 版）/Windows Server 2008（64bit 版）での暗号化印刷には対応しておりません。 なお、Windows XPSプリンタドライバは、暗号化認証印刷には対応しておりません。
プリンタドライバ（PS, PCL） カラー調整ユーティリティ 色見本印刷ユーティリティ NIC セットアップユーティリティ （AdminManager、Quick Setup） Network Extension PS ハーフトーン調整ユーティリティ	「ユーザアカウント制御」画面が表示される。	インストーラやユーティリティの起動時などで、「ユーザアカウント制御」画面が表示される場合があります。インストーラやユーティリティを管理者権限で実行するために必要ですので、［続行］をクリックしてください。［キャンセル］をクリックすると、インストーラやユーティリティは起動されません。
カラー調整ユーティリティ 色見本印刷ユーティリティ Network Extension PS ハーフトーン調整ユーティリティ	「プログラム互換性アシスタント」画面が表示される。	インストール完了後（インストールを途中で中止した場合も含みます）、「プログラム互換性アシスタント」画面が表示された場合は、必ず［このプログラムは正しくインストールされました］をクリックしてください。

Windows XP Service Pack2/ Windows Server 2003 Service Pack1 に関する制限事項

Windows ファイアウォールの設定による制限事項について

Windows XP Service Pack 2/Windows Server 2003 Service Pack1 セキュリティ強化機能搭載では、Windows ファイアウォールの機能が強化されておりますが、それに伴いプリンタドライバ・ユーティリティに以下の制限事項が生じる場合があります。

項　目	発生する制限事項	詳細、回避方法
プリンタドライバ全般	PC ネットワーク共有時、印刷ができません。	サーバ側で［Windows ファイアウォール］-［例外］を開き、「ファイルとプリンタの共有」にチェックを入れてください。
AdminManager	プリンタ検索、NIC の設定が行えません。	ルータを超えるセグメントに対してプリンタの検索、NIC の設定ができなく なります。同一セグメント内に接続されたプリンタは問題ありません。 ルータを超えるプリンタの検索、NIC の設定を行う場合は、［Windows ファイアウォール］-［例外］-［プログラムの追加］を開き、AdminManager を追加し、チェックを入れてください。
OKILPR ユーティリティ	プリンタ検索が行えません。	ファイアウォールの設定で「例外を許可しない」にチェックがついている場合は、ルータを超えるセグメントに対してプリンタの検索ができなくなります。同一セグメント内に接続されたプリンタは問題ありません 。プリンタの検索ができない場合でも、「プリンタの追加」や「プリンタの再設定」画面で IP アドレスを直接入力することで設定できます 。
OKI ストレージデバイスマネージャ	プリンタ検索が行えません。	ファイアウォールの設定で「例外を許可しない」にチェッ クがついている場合は、ルータを超えるセグメントに対してプリンタの検索ができなくなります。同一セグメント内に接続されたプリンタ は問題ありません。プリンタの検索ができない場合でも、「プリンタ」-「プリンタの追加 / 削除」で、プリンタ名（任意）と IP アドレスを 入力し、OK ボタンをクリックすることでプリンタウィンドウにプリンタが表示されます。
Print Job Accounting Lite	プリンタ検索が行えません。	ファイアウォールの設定で「例外を許可しない」にチェックがついている場合は、ルータを超えるセグメントに対してプリンタの検索ができなくなります。同一セグメント内に接続されたプリンタは問題ありません 。プリンタの検索ができない場合でも、ログ取得プリンタの追加ウィザードで「プリンタを接続先で指定する」を選択し､「接続先」で「TCP/IP ネットワーク」を選択し、IP アドレスを直接入力することで設定できます。

項　目	発生する制限事項	詳細、回避方法
Print Job Accounting Lite	ログ取得スケジュールに従ってログが取得されていません。また、「プリンタ」-「ログを直ちに取得」を行っても、「ログ取得 スケジュールに従って、ログを取得中のためできません。」が表示され、取得ができません。	Windows XP Service Pack1 以前に、プリン トジョブアカウンティングにプリンタを登録し、ログの取得を開始している状態で、Windows XP Service Pack2 にアップデートを行うと、左記の現象が発生する場合があります。このような場合は、Windows を再起動します。
Print Super Vision	リモート PC からアクセスできません。	［Windows ファイアウォール］-［例外］-［プログラムの追加］を開き、［参照］をクリックします。 以下のファイルを選択し、［OK］ボタンをクリックします。 "J2EE のインストール先 "¥jdk¥bin¥java.exe "J2EE のインストール先 "¥jdk¥bin¥javaw.exe "J2EE のインストール先 "¥jdk¥jre¥bin¥java.exe "J2EE のインストール先 "¥jdk¥jre¥bin¥javaw.exe
	ポップアップウインドウがブロックされます。	Internet Explorer を使用している場合、ポップアップウインドウがブロックされることがあります。 以下のことを確認してください。 Internet Explorer を起動し、［ツール］-［インターネットオプション ...］-［プライバシー］を開き､［ポップアップ ブロック］の［設定］ボタンをクリックします。 ［許可する Web サイトのアドレス］に PrintSuperVision の URL を入力し、［追加］ボタンをクリックします。
Web Driver Installer	プリンタ検索が行えません。	ファイアウォールの設定で「例外を許可しない」にチェックがついている場 合は、ルータを超えるセグメントに対してプリンタの検索ができなくなります。同一セグメント内に接続されたプリンタは問題ありません 。プリンタの検索ができない場合でも、グループの検索範囲の 4 桁目を *（例：192.168.0.*）にすると、検索できます。
	リモート PC からアクセスできません。	[Windows ファイアウォール］-［例外］-［ポートの追加］を開き、Web Driver Installer がインストールされている Web サイトのポート番号を追加し､［管理ツール］-［コンポーネント サービス］で Web Driver Installer 用コンポーネントのアクセス権を変更してください。 ※設定方法は､［すべてのプログラム］-［沖データ］-［Web Driver Installer］-［お読みください］をご覧ください。

※詳細は沖データホームページ（http://www.okidata.co.jp）の最新対応情報をご覧ください。

付　録

仕様

USB インタフェース仕様

基本仕様

USB（Hi-Speed USB をサポート）

コネクタ

B レセプタクル (メス) アップストリームポート

ケーブル

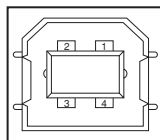
5m 以下の USB2.0 仕様のケーブル（2m 以下を推奨）
（シールドされているケーブル線を使用してください。）

伝送モード

フルスピード (最大 12Mbps ± 0.25%)
ハイスピード (最大 480Mbps ± 0.05%)

電力制御

セルフパワーデバイス

コネクタピン配列

インタフェース信号

	信号名	機　　能
1	Vbus	電源（+5V）
2	D-	データ転送用
3	D+	データ転送用
4	GND	信号グランド
Shell	Shield	

ネットワークインタフェース仕様

基本仕様

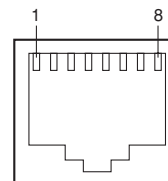
ネットワークプロトコル
TCP/IP 関連
NetWare 関連
EtherTalk 関連
NetBEUI 関連

コネクタ

100 BASE-TX / 10 BASE-T（自動切り替え、同時使用不可）

ケーブル

RJ-45 コネクタ付き非シールドツイストペアケーブル（Category 5 推奨）

コネクタピン配列

インタフェース信号

ピン No.	信号名	方　向	機　　能
1	TxD+	FROM PRINTER	送信データ +
2	TxD-	FROM PRINTER	送信データ -
3	RXD+	TO PRINTER	受信データ +
4	—	—	使用していません。
5	—	—	使用していません。
6	RXD-	TO PRINTER	受信データ -
7	—	—	使用していません。
8	—	—	使用していません。

パラレルインタフェース仕様

基本仕様

IEEEstd1284 -1994 準拠パラレルインタフェース

コネクタ

プリンタ側　36 極レセプタクル (メス)　57RE-40360-830B-D29 型 (第一電子工業製または相当品)

ケーブル側　36 極プラグ (オス)　57FE-30360 型 (第一電子工業製または相当品)

ケーブル

1.8m 以下の IEEEstd 1284-1994 適合ケーブルまたは相当品（シールドされているケーブル線を使用してください。）

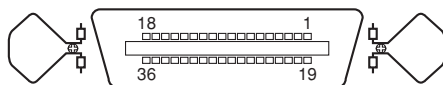
伝送モード

コンパチブル／ニブル／ ECP

インタフェースレベル

ローレベル　＋ 0.0 ～＋ 0.8V

ハイレベル　＋ 2.4 ～＋ 5.0V

コネクタピン配列

インタフェース信号

ピン No.	信号名	方　向	機　能
1	nStrobe (HostClk)	TO PRINTER	データを読み込むためのパルスです。後縁でデータを読み込みます。
2 ～ 9	DATA 1 ～ DATA 8	Bi-direction	8 ビットのパラレルデータです。ハイレベルが “1”、ローレベルが “0” です。
10	nAck(PtrClk)	FROM PRINTER	データの受信完了を示す信号です。
11	Busy(PtrBusy)	FROM PRINTER	プリンタがデータを受け取れる状態かどうかを示す信号です。ハイレベルのときはデータを受け取れません。
12	PError(AckDataReq)	FROM PRINTER	ハイレベルのときは、用紙のエラーを示します。
13	Select(Xflag)	FROM PRINTER	パラレルインタフェースが有効な場合、常にハイレベルです。
14	nAutoFd(HostBusy)	TO PRINTER	双方向通信で使用します。
15	―	―	使用していません。
16	GND	―	信号グランド
17	FG	―	シャーシグランド
18	＋ 5V	FROM PRINTER	外部へ電源を供給できません。
19 ～ 30	GND	―	信号グランド
31	nInit(nInit)	TO PRINTER	ローレベルで、プリンタが初期化されます。
32	nFault(nDataAvail)	FROM PRINTER	プリンタがアラーム状態のときローレベルになります。
33	GND	―	信号グランド
34	―	―	使用していません。
35	HILEVEL	FROM PRINTER	プリンタ内部で 3.3K Ωで +5V にプルアップされています。
36	nSelectIn (IEEE1284 active)	TO PRINTER	双方向通信で使用します。コンパチブルモード時はローレベルでなければなりません。

- カッコ内はニブルモードの信号名です。
- コンパチブルモードの機能のみ説明しています。
- 米国電気電子技術者協会が規定する IEEEstd1284-1994 のニブルモードをサポートしています。この規格に適合しないコンピュータやケーブルを使用すると、予期しない動作をすることがあります。

ACC インタフェース仕様

基本仕様

USB（沖データ確認済みカードリーダライタのみ）

コネクタ

A レセプタクル (メス) ダウンストリームポート

ケーブル

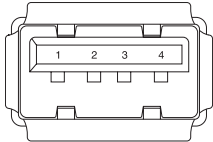
カードリーダに付属するケーブル線を使用してください。
（ハブは使用できません。）

伝送モード

ロウスピード (最大 1.5Mbps ± 1.5%)

供給電流

最大 500mA

コネクタピン配列

インタフェース信号

	信号名	機　　能
1	Vbus	電源（+5V）
2	D-	データ転送用
3	D+	データ転送用
4	GND	信号グランド
Shell	Shield	

フォントサンプル（PostScript3 エミュレーションモード）

日本語 2 書体

Macintosh、Mac OS X では使用できません。

平成角ゴシック体TMW5
株式会社 沖データ

平成明朝体TMW3
株式会社 沖データ

欧文 80 書体

・ OS によって使用できる書体に制限があります。
・ Mac OS X では使用できません。

Albertus-ExtraBold
Albertus-Medium
AntiqueOlive
AntiqueOlive-Bold
AntiqueOlive-Italic
Arial
Arial-Bold
Arial-BoldItalic
Arial-Italic
AvantGarde-Book
AvantGarde-BookOblique
AvantGarde-Demi
AvantGarde-DemiOblique
Bookman-Demi
Bookman-DemiItalic
Bookman-Light
Bookman-LightItalic
CGOmega
CGOmega-Bold
CGOmega-BoldItalic
CGOmega-Italic
CGTimes
CGTimes-Bold
CGTimes-BoldItalic
CGTimes-Italic
Clarendon-Condensed-Bold
Coronet
Courier
Courier-Bold
Courier-BoldOblique
Courier-Oblique
CourierHP
CourierHP-Bold
CourierHP-BoldItalic
CourierHP-Italic
Garamond-Antiqua
Garamond-Halbfett
Garamond-Kursiv
Garamond-KursivHalbfett
Helvetica
Helvetica-Bold
Helvetica-BoldOblique
Helvetica-Narrow
Helvetica-Narrow-Bold
Helvetica-Narrow-BoldOblique
Helvetica-Narrow-Oblique
Helvetica-Oblique
LetterGothic
LetterGothic-Bold
LetterGothic-Italic
Marigold
NewCenturySchlbk-Bold
NewCenturySchlbk-BoldItalic
NewCenturySchlbk-Italic
NewCenturySchlbk-Roman
Palatino-Bold
Palatino-BoldItalic
Palatino-Italic
Palatino-Roman
Symbol αβχ
SymbolMT αβχ
Times-Bold
Times-BoldItalic
Times-Italic
Times-Roman
TimesNewRoman
TimesNewRoman-Bold
TimesNewRoman-BoldItalic
TimesNewRoman-Italic
Univers-Bold
Univers-BoldItalic
Univers-Condensed-Bold
Univers-Condensed-BoldItalic
Univers-Condensed-Medium
Univers-Condensed-MediumItalic
Univers-Medium
Univers-MediumItalic
Wingdings-Regular ♋♌♍
ZapfChancery-MediumItalic
ZapfDingbats ❁❂❃

フォントサンプル（PCL エミュレーションモード）

- Macintosh 環境では使用できません。
- Windows XPS プリンタドライバでは利用できません。

日本語 4 書体

平成明朝	平成角ゴシック
株式会社　沖データ	株式会社　沖データ

P平成明朝	P平成角ゴシック
株式会社　沖データ	株式会社　沖データ

欧文 91 書体

- OCR-A、OCR-B、USPS POSTNET Bar Codes、Line Printer は Windows 環境では使用できません。
- ビットマップフォントと USPS POSTNET Bar Codes は、固定サイズです。

Scalable Font（87 書体）

No.	
000	Courier
001	Courier Bold
002	Courier Italic
003	Courier Bold Italic
004	CG Times
005	CG Times Bold
006	CG Times Italic
007	CG Times Bold Italic
008	CG Omega
009	CG Omega Bold
010	CG Omega Italic
011	CG Omega Bold Italic
012	Coronet
013	Clarendon Condensed
014	Univers Medium
015	Univers Bold
016	Univers Medium Italic
017	Univers Bold Italic
018	Univers Medium Condensed
019	Univers Bold Condensed
020	Univers Medium Condensed Italic
021	Univers Bold Condensed Italic
022	Antique Olive
023	Antique Olive Bold
024	Antique Olive Italic
025	Garamond Antiqua
026	Garamond Halbfett
027	Garamond Kursiv
028	Garamond Kursiv Halbfett
029	Marigold
030	Albertus Medium
031	Albertus Extra Bold
032	Letter Gothic
033	Letter Gothic Bold
034	Letter Gothic Italic
035	Arial
036	Arial Bold
037	Arial Italic
038	Arial Bold Italic
039	Times New
040	Times New Bold
041	Times New Italic
042	Times New Bold Italic
043	ITC Avant Garde Gothic Book
044	ITC Avant Garde Gothic Demi
045	ITC Avant Garde Gothic Book Oblique
046	ITC Avant Garde Gothic Demi Oblique
047	ITC Bookman Light
048	ITC Bookman Demi
049	ITC Bookman Light Italic
050	ITC Bookman Demi Italic
051	CourierPS
052	CourierPS Bold
053	CourierPS Oblique
054	CourierPS Bold Oblique
055	Helvetica
056	Helvetica Bold
057	Helvetica Oblique
058	Helvetica Bold Oblique
059	Helvetica Narrow
060	Helvetica Narrow Bold
061	Helvetica Narrow Oblique
062	Helvetica Narrow Bold Oblique
063	New Century Schoolbook Roman
064	New Century Schoolbook Bold
065	New Century Schoolbook Italic
066	New Century Schoolbook Bold Italic
067	Palatino Roman
068	Palatino Bold
069	Palatino Italic
070	Palatino Bold Italic
071	Times Roman
072	Times Bold
073	Times Italic
074	Times Bold Italic
075	ITC Zapf Chancery Medium Italic
076	Symbol
077	SymbolPS
078	Wingdings
079	ITC Zapf Dingbats
080	Koufi
081	Koufi Bold
082	Naskh
083	Naskh Bold
084	Ryadh
085	Ryadh Bold
086	OKI-OCRB

ビットマップ フォント（3 書体）

No.	
087	Line Printer ABCDEfghij12345
088	OCR-A ABCDEfghij12345
089	OCR-B ABCDEfghij12345

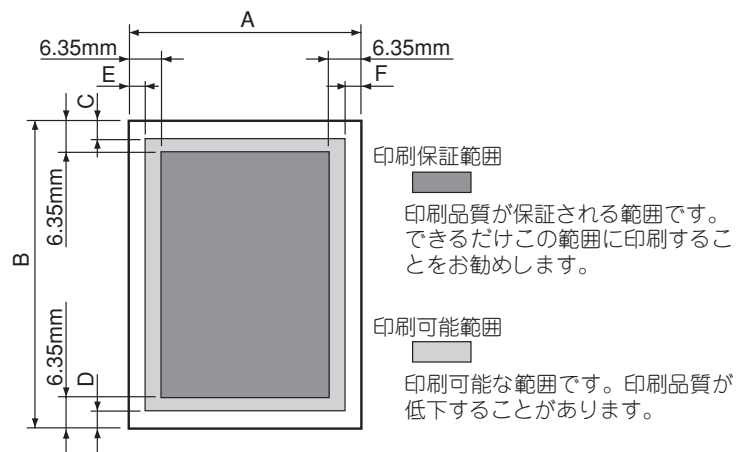
USPS POSTNET Bar Codes

No.	
090	USPS POSTNET Bar Codes

印刷範囲と印刷精度（PostScript3 エミュレーションモード、PCL エミュレーションモード）

プリンタドライバの印刷範囲は次のとおりです。

実際の印刷範囲は、アプリケーションにより異なることがあります。

- 印刷精度は、書き出し位置 ± 2mm、用紙の斜行 ± 1mm/100mm、画像伸縮 ± 1mm/100mm（連量 70kg の場合）です。
- 両面印刷時の表裏の印刷位置精度は± 2.5mm です。

単位 : mm

用紙サイズ	幅	長さ	PS プリンタドライバ				PCL プリンタドライバ XPS プリンタドライバ（Windows）			
			上余白	下余白	左余白	右余白	上余白	下余白	左余白	右余白
	A	B	C	D	E	F	C	D	E	F
A4	210	297	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
A5	148	210	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
A6	105	148	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
B5	182	257	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
レター	215.9	279.4	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
リーガル（13 インチ）	215.9	330.2	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
リーガル（13.5 インチ）	215.9	342.9	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
リーガル（14 インチ）	215.9	355.6	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
エグゼクティブ	184.2	266.7	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
カスタム	64 ～ 216	127 ～ 1,321	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
はがき	100	148	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
往復はがき	148	200	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
封筒（長形 3 号）	120	235	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
封筒（長形 4 号）	90	205	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
封筒（洋形 4 号）	105	235	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
封筒 A4	210	297	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
Com-9	98.4	225.4	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
Com-10	104.8	241.3	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
DL	110	220	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
C5	162	229	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
Monarch	98.4	190.5	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
インデックスカード	76.2	127	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23

文字コード表（PostScript3 エミュレーションモード）

- ***-83pv-RKSJ-H は、主に Macintosh で使用します。（*** はフォント名）
  -90ms-RKSJ-H、-RKSJ-H および ***-Ext-RKSJ-H は、主に Windows で使用します。（*** はフォント名）
- プリンタの文字コード表にない文字は、出力できなかったり、文字化けするなど、思わぬ結果になることがあります。
- アプリケーションソフトを使用して印刷する場合、アプリケーションソフトは独自の文字コード表を使用することがあります。
- 漢字コード表は「ソフトウェア CD-ROM」の以下のフォルダに PDF ファイルで入っています。
  ［Windows］...........［OKI］-［MISC］-［KanjiCode］フォルダ
  ［Macintosh］.........［OKI］-［漢字コード表］フォルダ
- 各 PDF ファイルが示すプリンタのフォントは以下のとおりです。

ファイル名（Windows）	ファイル名（Macintosh）	プリンタフォント名
HG-83pv.pdf	HeiseiKakuGo-W5-83pv-RKSJ.pdf	HeiseiKakuGo-W5-83pv-RKSJ-H
HG-90ms.pdf	HeiseiKakuGo-W5-90ms-RKSJ.pdf	HeiseiKakuGo-W5-90ms-RKSJ-H
HGExRKSJ.pdf	HeiseiKakuGo-W5-Ext-RKSJ.pdf	HeiseiKakuGo-W5-Ext-RKSJ-H
HG-RKSJ.pdf	HeiseiKakuGo-W5-RKSJ.pdf	HeiseiKakuGo-W5-RKSJ-H
HM-83pv.pdf	HeiseiMin-W3-83pv-RKSJ.pdf	HeiseiMin-W3-83pv-RKSJ-H
HM-90ms.pdf	HeiseiMin-W3-90ms-RKSJ.pdf	HeiseiMin-W3-90ms-RKSJ-H
HMExRKSJ.pdf	HeiseiMin-W3-Ext-RKSJ.pdf	HeiseiMin-W3-Ext-RKSJ-H
HM-RKSJ.pdf	HeiseiMin-W3-RKSJ.pdf	HeiseiMin-W3-RKSJ-H

欧文標準

Low code（横） / High code（縦）

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0																
1																
2		!	"	#	$	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/
3	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
4	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
5	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[	\	]	^	_
6	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
7	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{	|	}	~	
8																
9																
A		¡	¢	£	⁄	¥	ƒ	§	¤	'	"	«	‹	›	ﬁ	ﬂ
B		–	†	‡	·		¶	•	‚	„	”	»	…	‰		¿
C		`	´	ˆ	˜	¯	˘	˙	¨		˚	¸		˝	˛	ˇ
D	—															
E		Æ		ª					Ł	Ø	Œ	º				
F		æ				ı			ł	ø	œ	ß				

Symbol

Low code (columns) / High code (rows)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0																
1																
2		!	∀	#	∃	%	&	∋	(	)	∗	+	,	−	.	/
3	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
4	≅	Α	Β	Χ	Δ	Ε	Φ	Γ	Η	Ι	ϑ	Κ	Λ	Μ	Ν	Ο
5	Π	Θ	Ρ	Σ	Τ	Υ	ς	Ω	Ξ	Ψ	Ζ	[	∴	]	⊥	_
6	‾	α	β	χ	δ	ε	φ	γ	η	ι	ϕ	κ	λ	μ	ν	ο
7	π	θ	ρ	σ	τ	υ	ϖ	ω	ξ	ψ	ζ	{	|	}	∼	
8																
9																
A	€	ϒ	′	≤	⁄	∞	ƒ	♣	♦	♥	♠	↔	←	↑	→	↓
B	°	±	″	≥	×	∝	∂	•	÷	≠	≡	≈	…	⏐	⎯	↵
C	ℵ	ℑ	ℜ	℘	⊗	⊕	∅	∩	∪	⊃	⊇	⊄	⊂	⊆	∈	∉
D	∠	∇	®	©	™	∏	√	⋅	¬	∧	∨	⇔	⇐	⇑	⇒	⇓
E	◊	〈	®	©	™	∑	⎛	⎜	⎝	⎡	⎢	⎣	⎧	⎨	⎩	⎪
F		〉	∫	⌠	⎮	⌡	⎞	⎟	⎠	⎤	⎥	⎦	⎫	⎬	⎭	

Wingdings-Regular

Low code (columns) / High code (rows)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0																
1																
2		🖉	✂	✁	👓	🕭	🕮	🕯	🕿	✆	🖂	🖃	📪	📫	📬	📭
3	📁	📂	📄	🗏	🗐	🗄	⌛	🖮	🖰	🖲	🖳	🖴	🖫	🖬	✇	✍
4	🖎	✌	👌	👍	👎	☜	☞	☝	☟	✋	☺	😐	☹	💣	☠	🏳
5	🏱	✈	☼	💧	❄	🕆	✞	🕈	✠	✡	☪	☯	ॐ	☸	♈	♉
6	♊	♋	♌	♍	♎	♏	♐	♑	♒	♓	🙰	🙵	●	❍	■	□
7	🞐	❑	❒	⬧	⧫	◆	❖	⬥	⌧	⍓	⌘	❀	✿	❝	❞	
8	⓪	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⓿	❶	❷	❸	❹
9	❺	❻	❼	❽	❾	❿	🙢	🙠	🙡	🙣	🙞	🙜	🙝	🙟	·	•
A	▪	○	🞅	🞇	◉	◎	🔿	▪	◻	🟂	✦	★	✶	✴	✹	✵
B	⯐	⌖	⟡	⌑	⯑	✪	✰	🕐	🕑	🕒	🕓	🕔	🕕	🕖	🕗	🕘
C	🕙	🕚	🕛	⮰	⮱	⮲	⮳	⮴	⮵	⮶	⮷	🙪	🙫	🙕	🙔	🙗
D	🙖	🙐	🙑	🙒	🙓	⌫	⌦	⮘	⮚	⮙	⮛	⮈	⮊	⮉	⮋	🡨
E	🡪	🡩	🡫	🡬	🡭	🡯	🡮	🡸	🡺	🡹	🡻	🡼	🡽	🡿	🡾	⇦
F	⇨	⇧	⇩	⬄	⇳	⬁	⬀	⬃	⬂	▫	▫	🗶	✔	🗷	🗹	⊞

ZapfDingbats

Low code

High code

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0																
1																
2		✁	✂	✃	✄	☎	✆	✇	✈	✉	☛	☞	✌	✍	✎	✏
3	✐	✑	✒	✓	✔	✕	✖	✗	✘	✙	✚	✛	✜	✝	✞	✟
4	✠	✡	✢	✣	✤	✥	✦	✧	★	✩	✪	✫	✬	✭	✮	✯
5	✰	✱	✲	✳	✴	✵	✶	✷	✸	✹	✺	✻	✼	✽	✾	✿
6	❀	❁	❂	❃	❄	❅	❆	❇	❈	❉	❊	❋	●	❍	■	❏
7	❐	❑	❒	▲	▼	◆	❖	◗	❘	❙	❚	❛	❜	❝	❞	
8	❨	❩	❪	❫	❬	❭	❮	❯	❰	❱	❲	❳	❴	❵		
9																
A		❡	❢	❣	❤	❥	❦	❧	♣	♦	♥	♠	①	②	③	④
B	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	❶	❷	❸	❹	❺	❻	❼	❽	❾	❿
C	➀	➁	➂	➃	➄	➅	➆	➇	➈	➉	➊	➋	➌	➍	➎	➏
D	➐	➑	➒	➓	➔	→	↔	↕	➘	➙	➚	➛	➜	➝	➞	➟
E	➠	➡	➢	➣	➤	➥	➦	➧	➨	➩	➪	➫	➬	➭	➮	➯
F		➱	➲	➳	➴	➵	➶	➷	➸	➹	➺	➻	➼	➽	➾	

文字コード表（PCL エミュレーションモード）

アプリケーションソフトを使用して印刷する場合、アプリケーションは独自の文字コード表を使用することがあります。

シンボルセット

WIN3.1J
PC-8
PC-8 Dan/Nor
PC-8 TK
PC-775
PC-850
PC-852
PC-855
PC-857 TK
PC-858
PC-864L/A
PC-866
PC-869
PC-1004
Pi Font
Plska Mazvia
PS Math
PS Text
Roman-8
Roman-9
Roman Ext
Sebro Croat1
Sebro Croat2
Spanish
Ukrainian
VN Int'l
VN Math
VN US
Win 3.0
Win 3.1 Blt
Win 3.1 Cyr
Win 3.1 Grk
Win 3.1 Heb
Win 3.1 L1
Win 3.1 L2
Win 3.1 L5
Wingdings
Dingbats MS
Symbol
OCR-A
OCR-B
HP ZIP
USPSFIM
USPSSTP
USPSZIP
ISO Swedish1
ISO Swedish2
ISO Swedish3
ISO-2 IRV
ISO-4 UK
ISO-6 ASC
ISO-10 S/F
ISO-11 Swe
ISO-14 JASC
ISO-15 Ita
ISO-16 Por
ISO-17 Spa
ISO-21 Ger
ISO-25 Fre
ISO-57 Chi
ISO-60 Nor
ISO-61 Nor
ISO-69 Fre
ISO-84 Por
ISO-85 Spa
Kamenicky
Legal
Math-8
MC Text
MS Publish
PC Ext D/N
PC Ext US
PC Set1
PC Set2 D/N
PC Set2 US
Bulgarian
CWI Hung
DeskTop
German
Greek-437
Greek-437 Cy
Greek-737
Greek-928
Hebrew NC
Hebrew OC
IBM-437
IBM-850
IBM-860
IBM-863
IBM-865
ISO Dutch
ISO L1
ISO L2
ISO L5
ISO L6
ISO L9

PCL 平成半角（WIN3.1J）

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0				0	@	P	`	p				ｰ	ﾀ	ﾐ		
1			!	1	A	Q	a	q			｡	ｱ	ﾁ	ﾑ		
2			"	2	B	R	b	r			｢	ｲ	ﾂ	ﾒ		
3			#	3	C	S	c	s			｣	ｳ	ﾃ	ﾓ		
4			$	4	D	T	d	t			､	ｴ	ﾄ	ﾔ		
5			%	5	E	U	e	u			･	ｵ	ﾅ	ﾕ		
6			&	6	F	V	f	v			ｦ	ｶ	ﾆ	ﾖ		
7			'	7	G	W	g	w			ｧ	ｷ	ﾇ	ﾗ		
8			(	8	H	X	h	x			ｨ	ｸ	ﾈ	ﾘ		
9			)	9	I	Y	i	y			ｩ	ｹ	ﾉ	ﾙ		
A			*	:	J	Z	j	z			ｪ	ｺ	ﾊ	ﾚ		
B			+	;	K	[	k	{			ｫ	ｻ	ﾋ	ﾛ		
C			,	<	L	¥	l	|			ｬ	ｼ	ﾌ	ﾜ		
D			-	=	M	]	m	}			ｭ	ｽ	ﾍ	ﾝ		
E			.	>	N	^	n	~			ｮ	ｾ	ﾎ	ﾞ		
F			/	?	O	_	o				ｯ	ｿ	ﾏ	ﾟ		

Symbol

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0				0	≅	Π	‾	π				°	ℵ	∠	◊	
1			!	1	Α	Θ	α	θ			ϒ	±	ℑ	∇	〈	〉
2			∀	2	Β	Ρ	β	ρ			′	″	ℜ	®	®	∫
3			#	3	Χ	Σ	χ	σ			≤	≥	℘	©	©	⌠
4			∃	4	Δ	Τ	δ	τ			⁄	×	⊗	™	™	⎮
5			%	5	Ε	Υ	ε	υ			∞	∝	⊕	∏	∑	⌡
6			&	6	Φ	ς	ϕ	ϖ			ƒ	∂	∅	√	⎛	⎞
7			∋	7	Γ	Ω	γ	ω			♣	•	∩	⋅	⎜	⎟
8			(	8	Η	Ξ	η	ξ			♦	÷	∪	¬	⎝	⎠
9			)	9	Ι	Ψ	ι	ψ			♥	≠	⊃	∧	⎡	⎤
A			∗	:	ϑ	Ζ	φ	ζ			♠	≡	⊇	∨	⎢	⎥
B			+	;	Κ	[	κ	{			↔	≈	⊄	⇔	⎣	⎦
C			,	<	Λ	∴	λ	|			←	…	⊂	⇐	⎧	⎫
D			−	=	Μ	]	μ	}			↑	⏐	⊆	⇑	⎨	⎬
E			.	>	Ν	⊥	ν	∼			→	⎯	∈	⇒	⎩	⎭
F			/	?	Ο	_	ο				↓	↵	∉	⇓	⎪	

Wingdings

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0				📁	🖎	🏱	♊	🞐	⓪	❺	▪	⯐	🕙	🙖	🡪	⇨
1			🖉	📂	✌	✈	♋	❑	①	❻	⚪	⌖	🕚	🙐	🡩	⇧
2			✂	📄	👌	☼	♌	❒	②	❼	🞆	⟡	🕛	🙑	🡫	⇩
3			✁	🗏	👍	💧	♍	⬧	③	❽	🞈	⌑	⮰	🙒	🡬	⬄
4			👓	🗐	👎	❄	♎	⧫	④	❾	◉	⯑	⮱	🙓	🡭	⇳
5			🕭	🗄	☜	🕆	♏	◆	⑤	❿	◎	✪	⮲	⌫	🡯	⬁
6			🕮	⌛	☞	✞	♐	❖	⑥	🙢	🔿	✰	⮳	⌦	🡮	⬀
7			🕯	🖮	☝	🕈	♑	⬥	⑦	🙠	▪	🕐	⮴	⮘	🡸	⬃
8			🕿	🖰	☟	✠	♒	⌧	⑧	🙡	◻	🕑	⮵	⮚	🡺	⬂
9			✆	🖲	🖐	✡	♓	⮹	⑨	🙣	🟂	🕒	⮶	⮙	🡹	🢬
A			🖂	🖳	☺	☪	🙰	⌘	⑩	🙞	✦	🕓	⮷	⮛	🡻	🢭
B			🖃	🖴	😐	☯	🙵	🏵	⓿	🙜	★	🕔	🙪	⮈	🡼	🗶
C			📪	🖫	☹	ॐ	●	🏶	❶	🙝	✶	🕕	🙫	⮊	🡽	✔
D			📫	🖬	💣	☸	🔾	🙶	❷	🙟	✴	🕖	🙕	⮉	🡿	🗷
E			📬	✇	☠	♈	■	🙷	❸	·	✹	🕗	🙔	⮋	🡾	🗹
F			📭	✍	🏳	♉	□		❹	•	✵	🕘	🙗	🡨	⇦	⊞

消耗品・オプション一覧

これらの消耗品、オプションは、お近くの販売店でお求めください。

品　名		型　名	内　容
大容量トナーカートリッジ　ブラック		TNR-C4GK2	約11,000 枚 *1 *2 *3
大容量トナーカートリッジ　イエロー		TNR-C4GY2	
大容量トナーカートリッジ　マゼンタ		TNR-C4GM2	
大容量トナーカートリッジ　シアン		TNR-C4GC2	
トナーカートリッジ　ブラック		TNR-C4GK1	約 5,500 枚 *1 *2 *3
トナーカートリッジ　イエロー		TNR-C4GY1	
トナーカートリッジ　マゼンタ		TNR-C4GM1	
トナーカートリッジ　シアン		TNR-C4GC1	
イメージドラム　ブラック		ID-C4JK	約 20,000 枚 *4 *5 *6
イメージドラム　イエロー		ID-C4JY	
イメージドラム　マゼンタ		ID-C4JM	
イメージドラム　シアン		ID-C4JC	
セカンド / サードトレイユニット		TRY-C4F1	セカンド／サードトレイユニット
256MB 増設メモリ		MEM256G	増設メモリ（256MB）
512MB 増設メモリ		MEM512D	増設メモリ（512MB）
SD メモリーカード		SDC-A1	SD メモリーカード
エクセレントホワイト	A4	PPR-CA4NA	OKI カラーページプリンタ用紙
	A4（厚口）	PPR-CA4DA	
	A4 長尺	PPR-CT4DA	

*1　A4 片面印刷、ISO/IEC 19798 に準拠の参考値。

*2　内容に記載の印刷枚数相当に交換が必要です。所定の印刷品質・動作確保および商品の故障防止のため、トナーを交換しないと印刷動作を一時停止した後、約 100 枚（ISO/IEC 19798 準拠の参考値）でそれ以降印刷ができなくなります。

*3　プリンタ購入時には約 4,000 枚印刷可能なスターターカートリッジが付属しています。

*4　A4 片面、一度に 3 枚ずつ印刷時。

*5　一般的な使用状況（一度に 3 枚ずつ印刷）を想定した値です。連続印刷時の参考値は約 27,000 枚（A4 片面印刷時）になります。一度に 1 枚のみ印刷する場合は、一般的な使用状況に比べ約半分の枚数で寿命となります。使用条件によっては、目安の印刷枚数よりさらに半分以下になる場合があります。

*6　内容に記載の印刷枚数相当毎にイメージドラムの交換が必要です。所定の印刷品質・動作確保および商品の故障防止のため、イメージドラムを交換しないと印刷動作を一時停止した後、イメージドラム内のトナーが無くなってから約 100 枚（ISO/IEC 19798 準拠の参考値）でそれ以降印刷ができなくなります。

- 消耗品、オプションは、商品本来の性能を発揮させるために、沖データ純正の消耗品をご使用ください。
  純正品以外の消耗品をご使用になると、印刷品質の低下をはじめ本来の性能を発揮できない場合があります。
  純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保障期間中あるいは保守契約期間中であっても有償となります。（純正品以外の消耗品の使用が全て不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分にご留意ください。）
- トナーカートリッジ、イメージドラムカートリッジは、開封後 1 年以上経過すると印刷品位が低下しますので、新しい消耗品を準備してください。
- ご使用になるまで、開封しないでください。
- 直射日光をさけ、温度：0 ～ 35℃、湿度：20 ～ 85%RH 範囲にある場所で保管してください。
- 周囲の温度や湿度が高すぎたり、急激に変化する場所では保管しないでください。
- 幼児の手が届かない所に保管してください。

プリントジョブアカウンティングの使用について

- オプションのプリントジョブアカウンティングが必要です。
- プリントジョブアカウンティングソフトウェアのバージョンアップなどにより、本項の記述と異なる場合があります。
- プリンタがプリントジョブアカウンティングに追加されている場合は、設定内容印刷で「JobAccounting : ON」と印刷されます。

工場出荷時の状態で登録可能なユーザ ID 数、および保存可能ログ数

工場出荷時の状態で登録可能なユーザ ID の数と保存可能なログの数は以下の通りです。ログの内容によっては、少なくなる場合があります。

SD メモリーカード	登録可能ユーザ ID 数	保存可能ログ数
無	5000ID	200 ログ
有	5000ID	5000 ログ

- SD メモリーカード , フラッシュメモリの使用状況によっては、上記の値まで保存できない場合があります。
- プリントジョブアカウンティングで「ログを格納するのに十分な領域がありません。」とエラーが表示された場合は、SD メモリーカードの「共通」パーティションおよびフラッシュメモリの「MIX」パーティションの空き容量を確保してください。空き容量を確保する方法は、「SD メモリーカード（オプション）やフラッシュメモリの空き容量を確保したい」(227 ページ）をご覧ください。

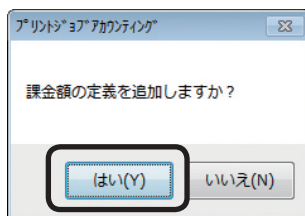
課金額の定義の追加

本プリンタの各消耗品の標準価格と寿命枚数から算出した課金額の定義を追加するには、プリントジョブアカウンティングのサーバソフトウェアがインストールされているコンピュータで以下を行ってください。

「ソフトウェア CD-ROM」には格納されていません。沖データホームページからダウンロードしてください。

❶ プリントジョブアカウンティングのサーバソフトウェアが起動していたら終了します。

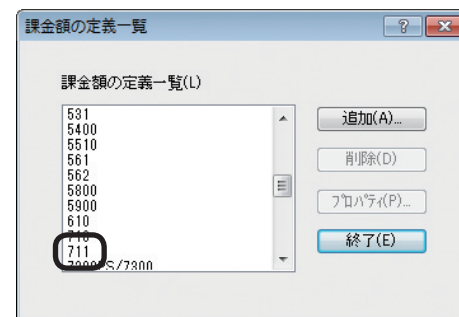
❷ 沖データホームページよりファイルをダウンロードし、解凍します。

❸ CPADD.EXE ファイルをダブルクリックします。

❹ 確認画面で［はい］をクリックします。

❺ 完了画面で［はい］をクリックします。

❻ プリントジョブアカウンティングのサーバソフトウェアを起動します。

❼［プリンタ］メニューから［課金額の定義］を選択します。

❽ 課金額の定義一覧に「711」が追加されていることを確認します。

課金額の設定方法は「プリントジョブアカウンティング　ユーザーズマニュアル」をご覧ください。

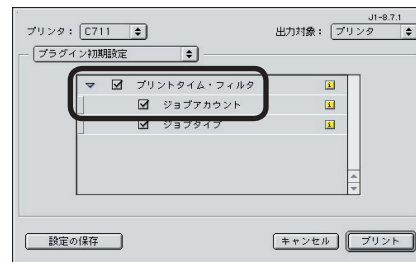
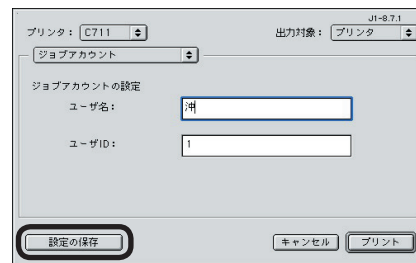
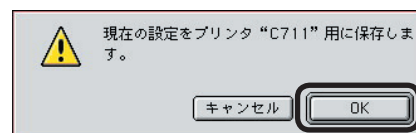
Macintosh でのユーザ名、ユーザ ID の設定方法

Macintosh プリンタドライバでのユーザ名、ユーザ ID の設定方法です。Mac OS X および Windows プリンタドライバでの設定方法は、「プリントジョブアカウンティング ユーザーズマニュアル」をご覧ください。

- C711dn2 では、Macintosh でのユーザ名、ユーザ ID の設定方法が「プリントジョブアカウンティング ユーザーズマニュアル」に記述された方法と異なります。
- 設定しないで印刷した場合、ユーザ名は Macintosh User、ユーザ ID は 0 でログに残ります。
- プリントジョブアカウンティングソフトウェアのバージョンアップなどにより、本項の記述と異なる場合があります。

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶ ［ファイル］メニューの［デスクトップのプリント］を選択します。

❷ ［プラグイン初期設定］パネルで［プリントタイム・フィルタ］と［ジョブアカウント］にチェックを付けます。

❸ ［ジョブアカウント］パネルでユーザ名、ユーザ ID を設定し、［設定の保存］をクリックします。

❹ ［OK］をクリックし、ダイアログを閉じます。

SD メモリーカードのセキュリティ機能の使用方法

SD メモリーカードのセキュリティ機能は、SD メモリーカードに保存されるデータを暗号化し、特定の暗号鍵がないと読み出せないように保護します。

セキュリティモードを設定するには、[Boot Menu] - [Storage Setup] - [Enable Initialization] を、[Yes] に設定する必要があります。

メモ SD メモリーカードは初期化されるので、それまでに SD メモリーカードに格納されていたデータは失われます。他の装置の SD メモリーカードを取り付けた場合も、取り付けた SD メモリーカードは初期化されますので、それまでに SD メモリーカードに格納されていたデータは失われます。

セキュリティモード設定方法

❶ SD メモリーカードを取り付けます。取り付け方法は、ユーザーズマニュアル（セットアップ編）1 章の「SD メモリーカード」をご覧ください。

❷ プリンタの操作パネルの 「設定」ボタンを押しながら電源を入れます。

注 「設定」ボタンは押したままにしてください。

❸ 操作パネルに［Boot Menu］と表示されたら、 「設定」ボタンを離します。

❹ ［Enter Password］と表示されるので、 ボタンまたは ボタンを数回押してパスワードの 1 桁目を表示し、 「設定」ボタンを押します。
同様の手順で 6 ～ 12 桁のパスワードを入力します。

メモ パスワードの初期値は「aaaaaa」です。

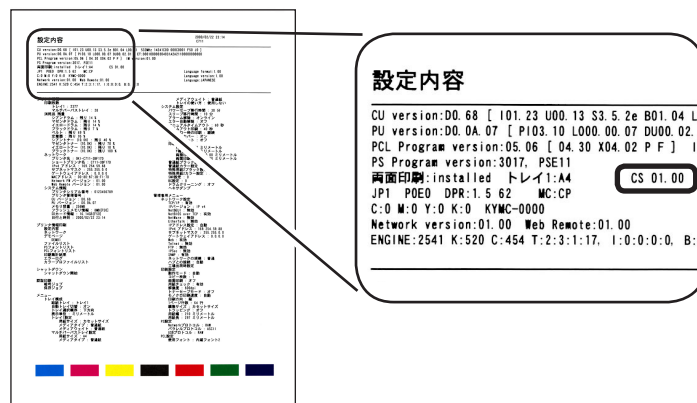
❺ 「設定」ボタンを押し、 ボタンを数回押すと、［Security Setup］が表示され、 「設定」ボタンを押すと、［Make Secure SD Card］が表示されます。

❻ 「設定」ボタンを押し、［Execute］が表示されるので、その状態で 「設定」ボタンを押します。

❼ ［Are You Sure?］が表示されるので、［Yes］を選択します。
自動的に SD メモリーカードの初期化が開始され、プリンタが再起動されてセキュリティモードになります。

確認方法

設定内容印刷を行い、セキュリティモジュールのバージョンが CS 01.00 と印刷されることを確認します。

（サンプル）

セキュリティモジュール以外のバージョンは、図に記載された値と異なる場合があります。

暗号鍵再生成方法

❶ SD メモリーカードが取り付けられていることを確認します。

❷ プリンタの操作パネルの「設定」ボタンを押しながら電源を入れます。

注 「設定」ボタンは押したままにしてください。

❸ 操作パネルに［Boot Menu］と表示されたら、「設定」ボタンを離します。

❹ ［Enter Password］と表示されるので、ボタンまたはボタンを数回押してパスワードの 1 桁目を表示し、「設定」ボタンを押します。
同様の手順で 6 〜 12 桁のパスワードを入力します。

メモ パスワードの初期値は「aaaaaa」です。

❺ 「設定」ボタンを押し、ボタンを数回押すと、［Security Setup］が表示され、「設定」ボタンを押すと、［Reset Cipher Key］が表示されます。

❻ 「設定」ボタンを押し、［Execute］が表示されるので、その状態で「設定」ボタンを押します。

❼ ［Are You Sure?］が表示されるので、［Yes］を選択します。
自動的に暗号鍵を再生成し、プリンタは再起動されます。

メモ SD メモリーカードは初期化されるので、それまでに SD メモリーカードに格納されていたデータは失われます。

セキュリティモード解除方法

❶ SD メモリーカードが取り付けられていることを確認します。

❷ プリンタの操作パネルの「設定」ボタンを押しながら電源を入れます。

注 「設定」ボタンは押したままにしてください。

❸ 操作パネルに［Boot Menu］と表示されたら、「設定」ボタンを離します。

❹ ［Enter Password］と表示されるので、ボタンまたはボタンを数回押してパスワードの 1 桁目を表示し、「設定」ボタンを押します。
同様の手順で 6 〜 12 桁のパスワードを入力します。

メモ パスワードの初期値は「aaaaaa」です。

❺ 「設定」ボタンを押し、ボタンを数回押すと、［Security Setup］が表示され、「設定」ボタンを押すと、［Make Normal SD Card］が表示されます。

❻ 「設定」ボタンを押し、［Execute］が表示されるので、その状態で「設定」ボタンを押します。

❼ ［Are You Sure?］が表示されるので、［Yes］を選択します。
自動的にセキュリティモードを解除し、SD メモリーカードの初期化が開始され、プリンタは再起動されます。

メモ SD メモリーカードは初期化されますので、それまでに SD メモリカードに格納されていたデータは失われます。他の装置でセキュリティモードで使用していた SD メモリーカードを取り付けた場合、取り付けた SD メモリーカードは、非セキュリティモードの SD メモリーカードとして初期化されますので、それまでに SD メモリーカードに格納されていたデータは失われます。

確認方法

設定内容印刷を行い、セキュリティモジュールのバージョンが CS 01.00 と印刷されていないことを確認します。

（サンプル）

注 セキュリティモジュール以外のバージョンは、図に記載された値と異なる場合があります。

索　引

カラーページプリンタ
C711dn2

ユーザーズマニュアル（応用編）

発行日　2012年　12月　第１版
発行者　株式会社 沖データ

45507701EE

目次へ 戻る 前へ 索引へ 検索する

株式会社 沖データ

お客様相談センター
0120-654-632
（携帯電話からは 0570-055-654）
ご注意：ナビダイヤルの通話料は、お客様のご負担となります。

受付時間 9:00～20:00 月曜日～金曜日
9:00～17:00 土曜日
（ただし 祝日、年末年始等を除く）